

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 基礎演習 I E-井上(航) |
| 講義名(英字) | Foundational Seminar I |
| 担当教員 | 井上 航人 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。 |
| 【到達目標】 | 大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。 |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------|---|---|-----|--|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1年生は全員履修。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書: タクナル(イベントプロデュース学科のみ) 参考書: 山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』(講談社現代新書、2022年) 戸田山和久『最新版 論文の教室』(NHKブックス、2022年) | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 授業態度(講義における積極的な発言など) | 60% | 評価項目に基づいて総合的に判断する。 | | | | | |
| | レポートなどの講義での課題 | 40% | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。 | | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | 大学での学びとは? | 入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加 | | | | | |
| | No2 | 大学での学び方、考える力を身に付ける① | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | | |
| | No3 | 大学での学び方、考える力を身に付ける② | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | | |
| | No4 | 大学での学び方、考える力を身に付ける③ | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | | |
| | No5 | 大学での学び方、考える力を身に付ける④ | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | | |
| | No6 | レポートを書く① | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | | |
| | No7 | レポートを書く② | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | | |
| | No8 | レポートを書く③ | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | | |
| | No9 | レポートを書く④ | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | | |

| | | |
|------|---------------|--|
| No10 | レポートを書く⑤ | <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No11 | プレゼンテーションをする① | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No12 | プレゼンテーションをする② | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No13 | プレゼンテーションをする③ | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No14 | 総括 | 今までの授業についての総括 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 基礎演習 I S-浮谷(再履修) |
| 講義名(英字) | Foundational Seminar I |
| 担当教員 | 浮谷 秀一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。 この科目は、再履修者対象なので、必要に応じて履修者個人個人にあった指導をしていくことがある。 |
| 【到達目標】 | 大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|---------------------|---|---|--------------------|--|-----|
| | 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。 | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 2年生以上の再履修者対象 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。 履修者個人個人に合わせた指導をすることがある。 | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 特に指定しないが、必要に応じて指示する。 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | | 評価方法 | | |
| | 授業態度(講義におけるプレゼンなどの課題遂行状況) | | 60% | | 評価項目に基づいて総合的に判断する。 | | |
| | 授業進行に合わせて提示するレポートなど | | 40% | | | | |
| | 合計 | | 100% | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 出席率は3分の2以上を前提とする。 | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | |
| | No1 | 大学での学びとは？ | 履修者個人個人に合わせた指導をする。 | | | | |
| | No2 | 大学での学び方、考える力を身に付ける① | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No3 | 大学での学び方、考える力を身に付ける② | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No4 | 大学での学び方、考える力を身に付ける③ | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No5 | 大学での学び方、考える力を身に付ける④ | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No6 | レポートを書く① | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます | | | | |
| | No7 | レポートを書く② | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます | | | | |
| | | | 履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 | | | | |

| | | |
|------|---------------|---|
| No8 | レポートを書く③ | <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No9 | レポートを書く④ | <p>履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No10 | レポートを書く⑤ | <p>履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No11 | プレゼンテーションをする① | <p>履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No12 | プレゼンテーションをする② | <p>履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No13 | プレゼンテーションをする③ | <p>履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No14 | 総括 | 今までの授業についての総括 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 基礎演習 I E-志塚 |
| 講義名(英字) | Foundational Seminar I |
| 担当教員 | 志塚 昌紀 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。 |
| 【到達目標】 | 大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------|-----|---|--------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1年生は全員履修。 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。 | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書: タクナル(イベントプロデュース学科のみ) 参考書: 山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』(講談社現代新書、2022年) 戸田山和久『最新版 論文の教室』(NHKブックス、2022年) | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |
| | 授業態度(講義における積極的な発言など) | | | 60% | 評価項目に基づいて総合的に判断する。 | | |
| | レポートなどの講義での課題 | | | 40% | | | |
| | 合計 | | | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | ①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。 | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | | 学習内容 | | | |
| | No1 | 大学での学びとは? | | 入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加 | | | |
| | No2 | 大学での学び方、考える力を身に付ける① | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No3 | 大学での学び方、考える力を身に付ける② | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No4 | 大学での学び方、考える力を身に付ける③ | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No5 | 大学での学び方、考える力を身に付ける④ | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No6 | レポートを書く① | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |
| | No7 | レポートを書く② | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |
| | No8 | レポートを書く③ | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |
| | No9 | レポートを書く④ | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |

| | | |
|------|---------------|--|
| No10 | レポートを書く⑤ | <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No11 | プレゼンテーションをする① | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No12 | プレゼンテーションをする② | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No13 | プレゼンテーションをする③ | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No14 | 総括 | 今までの授業についての総括 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 基礎演習 I E-清水(太) |
| 講義名(英字) | Foundational Seminar I |
| 担当教員 | 清水 太陽 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。 |
| 【到達目標】 | 大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------|---|---|-----|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1年生は全員履修。 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。 | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書: タクナル(イベントプロデュース学科のみ) 参考書: 山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』(講談社現代新書、2022年) 戸田山和久『最新版 論文の教室』(NHKブックス、2022年) | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | |
| | 授業態度(講義における積極的な発言など) | 60% | 評価項目に基づいて総合的に判断する。 | | | | |
| | レポートなどの講義での課題 | 40% | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。 | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | |
| | No1 | 大学での学びとは? | 入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加 | | | | |
| | No2 | 大学での学び方、考える力を身に付ける① | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No3 | 大学での学び方、考える力を身に付ける② | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No4 | 大学での学び方、考える力を身に付ける③ | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No5 | 大学での学び方、考える力を身に付ける④ | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | | |
| | No6 | レポートを書く① | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | |
| | No7 | レポートを書く② | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | |
| | No8 | レポートを書く③ | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | |
| | No9 | レポートを書く④ | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | | |

| | | |
|------|---------------|--|
| No10 | レポートを書く⑤ | <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No11 | プレゼンテーションをする① | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No12 | プレゼンテーションをする② | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No13 | プレゼンテーションをする③ | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No14 | 総括 | 今までの授業についての総括 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 基礎演習 I E-田島 |
| 講義名(英字) | Foundational Seminar I |
| 担当教員 | 田島 外志美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。 |
| 【到達目標】 | 大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---------------------|-----|---|--------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1年生は全員履修。 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。 | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書: タクナル(イベントプロデュース学科のみ) 参考書: 山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』(講談社現代新書、2022年) 戸田山和久『最新版 論文の教室』(NHKブックス、2022年) | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |
| | 授業態度(講義における積極的な発言など) | | | 60% | 評価項目に基づいて総合的に判断する。 | | |
| | レポートなどの講義での課題 | | | 40% | | | |
| | 合計 | | | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | ①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。 | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | | 学習内容 | | | |
| | No1 | 大学での学びとは? | | 入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加 | | | |
| | No2 | 大学での学び方、考える力を身に付ける① | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No3 | 大学での学び方、考える力を身に付ける② | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No4 | 大学での学び方、考える力を身に付ける③ | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No5 | 大学での学び方、考える力を身に付ける④ | | <ul style="list-style-type: none"> 成果の出る学び方(学習方法)について学びます 適切な思考法として、論理の基礎を学びます 意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます 意見を整理する方法について学びます | | | |
| | No6 | レポートを書く① | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |
| | No7 | レポートを書く② | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |
| | No8 | レポートを書く③ | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |
| | No9 | レポートを書く④ | | <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成の基本である文章執筆について学びます レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます 参考文献リストと文献の活用方法について学びます 計画的な執筆について学びます 効率的なレポートの書き方について学びます | | | |

| | | |
|------|---------------|--|
| No10 | レポートを書く⑤ | <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます |
| No11 | プレゼンテーションをする① | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No12 | プレゼンテーションをする② | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No13 | プレゼンテーションをする③ | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する |
| No14 | 総括 | 今までの授業についての総括 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|---|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英会話 I BE-A |
| 講義名(英字) | English Conversation I |
| 担当教員 | Janet.Johnson |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>The course is designed to reinforce listening and speaking skills.</p> <p>Conversations, practiced with a partner, will reflect daily life events. Practice will include learning new vocabulary. Asking and answering questions, will be used for speaking as well as listening improvement.</p> |
| 【到達目標】 | <p>◇授業で扱う内容の予習と復習はしっかり行ってください。また、リスニング力アップのため練習をしてください。宿題はきちんと済ませ、単語の暗記もすること。ペアでの会話練習は積極的に参加すること。</p> <p>The target of the course is to improve vocabulary, speaking skills and listening ability. The study and use of English should enable students to have more cross cultural understanding.</p> |

| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>Attendance and active participation are required. Completion of assignments and a passing grade on exams is also required. Students are expected to cooperate with each other by practicing together.</p> <p>◇授業で行う活動に積極的に参加すること(とくに会話練習)。会話練習やその他授業で行う活動についていけるよう、出席は必須です。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|------|------|------------|-----|-----|---|--|--|-----------------------|-----------------------|---|----|------|----------|--|--|--|--|----------|---|----|---|-----|-------------|--|--|--|----------|---|----|---|----------|---------------------------------------|----|---|-----|-----------------|--|--|--|--------------|--|--|--|----------|--------------------------------------|----|---|--|----------|------------------------------------|----|---|-----|-----------------|---|--|--|----------|---------------------|----|---|----------|--------------------------|----|---|-----|--------|--|--|--|----------|--------------------------------------|----|---|----------|--------------------------|----|---|
| 【教育方法】 | <p>The methods used will be explanation, comprehension check, verbal questions, written exercises and confirmation of answers, checking pronunciation, review and testing.</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>Side by Side Extra. Book and eText 1. International edition. Steven J. Molinsky and Bill Bliss Pearson Education Inc.</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 577 1347 629">評価項目と割合</th> <th colspan="2" data-bbox="1351 577 1528 629">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 636 1201 687">Attendance</td> <td data-bbox="1206 636 1347 687">20%</td> <td data-bbox="1351 636 1528 687"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 694 1201 745">Active participation in conversation and listening exercises.</td> <td data-bbox="1206 694 1347 745">20%</td> <td data-bbox="1351 694 1528 745"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 752 1201 804">Exams and assignments</td> <td data-bbox="1206 752 1347 804">60%</td> <td data-bbox="1351 752 1528 804"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 810 1201 862">合計</td> <td data-bbox="1206 810 1347 862">100%</td> <td data-bbox="1351 810 1528 862"></td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | | Attendance | 20% | | Active participation in conversation and listening exercises. | 20% | | Exams and assignments | 60% | | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Attendance | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Active participation in conversation and listening exercises. | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Exams and assignments | 60% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>Students should refrain from using smartphones during class. The textbook is necessary for conversation practice and exercises and should always be brought to class. Misc. prints will be distributed for additional practice. These should be brought to class.</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1019 316 1070">週</th> <th data-bbox="320 1019 496 1070">テーマ</th> <th data-bbox="501 1019 1528 1070">学習内容</th> <th data-bbox="1437 1211 1481 1263"></th> <th data-bbox="1485 1211 1528 1263">分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1077 316 1317" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="320 1077 496 1128">Class Intro.</td> <td data-bbox="501 1077 1528 1128">Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information.</td> <td data-bbox="1437 1077 1481 1128"></td> <td data-bbox="1485 1077 1528 1128"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1135 496 1187">Unit 1 Text: To Be</td> <td data-bbox="501 1135 1528 1187">Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice.</td> <td data-bbox="1437 1135 1481 1187"></td> <td data-bbox="1485 1135 1528 1187"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1193 496 1245">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1193 1528 1245"></td> <td data-bbox="1437 1193 1481 1245"></td> <td data-bbox="1485 1193 1528 1245"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1252 316 1303"></td> <td data-bbox="320 1252 496 1303">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1252 1528 1303">Students should review all material after every class and practice as much as possible.</td> <td data-bbox="1437 1252 1481 1303">60</td> <td data-bbox="1485 1252 1528 1303">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1310 316 1503" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="320 1310 496 1361">Text Unit 2</td> <td data-bbox="501 1310 1528 1361">Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns</td> <td data-bbox="1437 1310 1481 1361"></td> <td data-bbox="1485 1310 1528 1361"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1368 496 1420">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1368 1528 1420">Students should review previous lesson before class</td> <td data-bbox="1437 1368 1481 1420">60</td> <td data-bbox="1485 1368 1528 1420">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1426 496 1478">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1426 1528 1478">Review Lesson 2 content and practice.</td> <td data-bbox="1437 1426 1481 1478">60</td> <td data-bbox="1485 1426 1528 1478">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1485 316 1722" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="320 1485 496 1536">Continue Unit 2</td> <td data-bbox="501 1485 1528 1536">Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises.</td> <td data-bbox="1437 1485 1481 1536"></td> <td data-bbox="1485 1485 1528 1536"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1543 496 1594">Begin Unit 3</td> <td data-bbox="501 1543 1528 1594">Begin Present Continuous tense. Everyday Activities.</td> <td data-bbox="1437 1543 1481 1594"></td> <td data-bbox="1485 1543 1528 1594"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1601 496 1653">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1601 1528 1653">Review and do exercises if assigned.</td> <td data-bbox="1437 1601 1481 1653">60</td> <td data-bbox="1485 1601 1528 1653">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1659 316 1711"></td> <td data-bbox="320 1659 496 1711">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1659 1528 1711">Review material before next class.</td> <td data-bbox="1437 1659 1481 1711">60</td> <td data-bbox="1485 1659 1528 1711">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1718 316 1933" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="320 1718 496 1769">Continue Unit 3</td> <td data-bbox="501 1718 1528 1769">Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises.</td> <td data-bbox="1437 1718 1481 1769"></td> <td data-bbox="1485 1718 1528 1769"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1776 496 1827">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1776 1528 1827">Review and practice</td> <td data-bbox="1437 1776 1481 1827">60</td> <td data-bbox="1485 1776 1528 1827">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1834 496 1886">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1834 1528 1886">Review before next class</td> <td data-bbox="1437 1834 1481 1886">60</td> <td data-bbox="1485 1834 1528 1886">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1892 316 2132" rowspan="3">No5</td> <td data-bbox="320 1892 496 1944">Unit 4</td> <td data-bbox="501 1892 1528 1944">To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises.</td> <td data-bbox="1437 1892 1481 1944"></td> <td data-bbox="1485 1892 1528 1944"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1951 496 2002">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 1951 1528 2002">Review and practice. Do assignments.</td> <td data-bbox="1437 1951 1481 2002">60</td> <td data-bbox="1485 1951 1528 2002">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 2009 496 2060">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="501 2009 1528 2060">Review before next class</td> <td data-bbox="1437 2009 1481 2060">60</td> <td data-bbox="1485 2009 1528 2060">分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | 分 | No1 | Class Intro. | Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information. | | | Unit 1 Text: To Be | Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice. | | | 予習内容(時間) | | | | | 復習内容(時間) | Students should review all material after every class and practice as much as possible. | 60 | 分 | No2 | Text Unit 2 | Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns | | | 予習内容(時間) | Students should review previous lesson before class | 60 | 分 | 復習内容(時間) | Review Lesson 2 content and practice. | 60 | 分 | No3 | Continue Unit 2 | Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises. | | | Begin Unit 3 | Begin Present Continuous tense. Everyday Activities. | | | 予習内容(時間) | Review and do exercises if assigned. | 60 | 分 | | 復習内容(時間) | Review material before next class. | 60 | 分 | No4 | Continue Unit 3 | Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises. | | | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 | No5 | Unit 4 | To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises. | | | 予習内容(時間) | Review and practice. Do assignments. | 60 | 分 | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | Class Intro. | Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Unit 1 Text: To Be | Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Students should review all material after every class and practice as much as possible. | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Text Unit 2 | Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Students should review previous lesson before class | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Review Lesson 2 content and practice. | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Continue Unit 2 | Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Begin Unit 3 | Begin Present Continuous tense. Everyday Activities. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Review and do exercises if assigned. | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Review material before next class. | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Continue Unit 3 | Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Unit 4 | To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice. Do assignments. | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------------------------|---|----|---|
| No6 | Unit 4 cont. Review 1-4 | Finish Unit 4 Review Units 1-4 for Midterm Exam | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 |
| No7 | Midterm Exam | iMidterm Exam : Includes both written and listening sections. | | |
| | 予習内容(時間) | Review test questions | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review units 1-4 and exercises | 60 | 分 |
| No8 | Unit 5 | Yes/No questions, short answers, adjectives. possessive nouns. Describing people and things and weather. | | |
| | 予習内容(時間) | Review content of lesson and exercises. | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review and prepare for next class | 60 | 分 |
| No9 | Continue Unit 5 Begin Unit 6 | Review Unit 5 Review present continuous tense. Review prepositions of location. Talk about Family members. Describe activities and events. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review before class | 60 | 分 |
| No10 | Continue Unit 6 Begin Unit 7 | Prepositions.. There is/there are. Places around town. Locating places. Describing neighborhoods. Describing apartments. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review before next class. | 60 | 分 |
| No11 | Continue Unit 7 | Continue Unit 7. Do supplementary materials and exercises. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review for next class | 60 | 分 |
| No12 | Unit 8 | Singular/plural. Adjectives. This/that/these/those. Conversation practice. Listening exercises. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Prep | 60 | 分 |
| No13 | Continue Unit 8 Review U. 5-8 | Finish text material. Do exercises. Review assignments. Listening practice. Review Units 5-8 for final exam. | | |
| | 予習内容(時間) | Review | 90 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Prep | 60 | 分 |
| No14 | Final Exam | Final exam on Units 5-8 | | |
| | 予習内容(時間) | Review Units 5-8 | 90 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review test. | 60 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|---|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英会話 I BE-D |
| 講義名(英字) | English Conversation I |
| 担当教員 | 菅原 千津 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 英会話を上達させるためには、英文法や語彙のインプット学習だけでなく会話練習などのアウトプット学習が必須である。本講義では基礎的な英語フレーズを用いたスピーキング・リスニング練習に重点をおき、「英語を話せる自信をつけること」を目標とする。そのため、ペアワークなどの会話練習には積極的に参加をすること。さらに、テキスト付属のオンライン学習プログラム「English Central」では単語学習や発音トレーニングを各自で行うことができるので大いに活用してほしい。 |
| 【到達目標】 | 語彙力をつけ、日常生活で使われる英語表現を読んで理解できるようになる。 日常生活で使われる英語表現を聞いて理解できるようになる。 日常生活で使われる英語表現を適切に発話できるようになる。 |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------------|--------------------------------------|-----|-----|---|-----|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | とくになし。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | ペアワーク、グループワーク、スピーチなどの活動を通して、英語コミュニケーション能力を向上させる。 教科書のオンライン発話プログラムを使用し、各自でスピーキング能力を向上させる。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | James Bury / Anthony Sellick / 堀内 香織 (共著) 『Complete Communication Book 1 -Basicコミュニケーションのための実践演習 Book1《初級編》』成美堂 2022 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 授業への積極的な参加 | 40 | 評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。 | | | | | |
| | 確認テスト | 30 | | | | | | |
| | 課題・スピーキングテスト・オンライン学習プログラム"English Central"の学習状況 | 30 | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 初回に本講義についての詳細や注意事項を説明するので、しっかりと理解して講義に参加すること。 | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | 初回ガイダンス | 講義内容・評価方法・テキスト補助教材の使い方についての説明 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。 | 30 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 初回授業の内容を理解しておくこと。 | 30 | 分 | | | |
| | No2 | Unit 1 Personal Information | 自己紹介などの語彙・表現を学ぶ。 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容の復習 | 100 | 分 | | | |
| | No3 | Unit 1 Personal Information | 自己紹介などの語彙・表現を学ぶ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | English Central 課題提出 | 100 | 分 | | | |
| | No4 | Unit 2 Hobbies and pastimes | 趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 学習内容の復習 | 100 | 分 | | | |
| | No5 | Unit 2 Hobbies and pastimes | 趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | English Central 課題提出 | 100 | 分 | | | |
| | No6 | Unit 3 Location | 出身地について話すときの語彙・表現を学ぶ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | English Central 課題提出 | 100 | 分 | | | |
| | No7 | Unit 4 Family members | 家族について話すときの語彙・表現を学ぶ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 | | | |

| | | | | | |
|----------|------|-------------------------------------|----------------------------|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | English Central 課題提出 | 100 | 分 |
| | No8 | スピーキングテスト① | Unit 1～4の表現のスピーキングテスト | | |
| | | 予習内容(時間) | スピーキングテストのための準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | テストの復習 | 40 | 分 |
| | No9 | Unit 5 Places | 観光地などについて話すときの語彙・表現を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容の復習 | 100 | 分 |
| | No10 | Unit 5 Places | 観光地などについて話すときの語彙・表現を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | English Central 課題提出 | 100 | 分 |
| | No11 | Unit 6 Transportation and direction | 交通機関や道順などについて話すときの語彙・表現を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容の復習 | 100 | 分 |
| | No12 | Unit 6 Transportation and direction | 交通機関や道順などについて話すときの語彙・表現を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容の予習 | 30 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | English Central 課題提出 | 100 | 分 |
| | No13 | スピーキングテスト② | Unit 5～6の表現のスピーキングテスト | | |
| | | 予習内容(時間) | スピーキングテストのための準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | テストの復習 | 40 | 分 |
| | No14 | 総括 | 今学期の授業についての総括 | | |
| | | 予習内容(時間) | 今学期の振り返り・総復習 | 40 | 分 |
| 復習内容(時間) | | 確認テストのための準備 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|---|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英会話 I BE-F |
| 講義名(英字) | English Conversation I |
| 担当教員 | J.P.Brent Fialka |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>The course is designed to reinforce listening and speaking skills.</p> <p>Conversations, practiced with a partner, will reflect daily life events. Practice will include learning new vocabulary. Asking and answering questions, will be used for speaking as well as listening improvement.</p> |
| 【到達目標】 | <p>◇授業で扱う内容の予習と復習はしっかり行ってください。また、リスニング力アップのため練習をしてください。宿題はきちんと済ませ、単語の暗記もすること。ペアでの会話練習は積極的に参加すること。</p> <p>The target of the course is to improve vocabulary, speaking skills and listening ability. The study and use of English should enable students to have more cross cultural understanding.</p> |

| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>Attendance and active participation are required. Completion of assignments and a passing grade on exams is also required. Students are expected to cooperate with each other by practicing together.</p> <p>◇授業で行う活動に積極的に参加すること(とくに会話練習)。会話練習やその他授業で行う活動についていけるよう、出席は必須です。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|---------|------|------------|-----|---|--|-----------------------|---|----------|------|-----|----------|------|-----|-------------|--|----------|------|----------|------|-----|-----------------|--|--------------|--|----------|------|--|----------|------|-----|-----------------|---|----------|------|----------|------|-----|--------|--|----------|------|
| 【教育方法】 | <p>The methods used will be explanation, comprehension check, verbal questions, written exercises and confirmation of answers, checking pronunciation, review and testing.</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>Side by Side Extra. Book and eText 1. International edition. Steven J. Molinsky and Bill Bliss Pearson Education Inc.</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">自制力</td> <td style="width:10%; text-align:center;">○</td> <td style="width:25%;">思考力</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:20%;">突破力</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">忍耐力</td> <td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td>主張力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td>創造力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | 自制力 | ○ | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:75%;">評価項目と割合</th> <th style="width:25%;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Attendance</td> <td style="text-align:center;">20%</td> </tr> <tr> <td>Active participation in conversation and listening exercises.</td> <td style="text-align:center;">20%</td> </tr> <tr> <td>Exams and assignments</td> <td style="text-align:center;">60%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align:center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | Attendance | 20% | Active participation in conversation and listening exercises. | 20% | Exams and assignments | 60% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Attendance | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Active participation in conversation and listening exercises. | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Exams and assignments | 60% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>Students should refrain from using smartphones during class. The textbook is necessary for conversation practice and exercises and should always be brought to class. Misc. prints will be distributed for additional practice. These should be brought to class.</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">週</th> <th style="width:20%;">テーマ</th> <th style="width:75%;">学習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No1</td> <td>Class Intro.</td> <td>Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information.</td> </tr> <tr> <td>Unit 1 Text: To Be</td> <td>Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice.</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>復習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No2</td> <td>Text Unit 2</td> <td>Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No3</td> <td>Continue Unit 2</td> <td>Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises.</td> </tr> <tr> <td>Begin Unit 3</td> <td>Begin Present Continuous tense. Everyday Activities.</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No4</td> <td>Continue Unit 3</td> <td>Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises.</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align:center;">No5</td> <td>Unit 4</td> <td>To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises.</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td style="text-align:right;">60 分</td> </tr> </tbody> </table> | | | 週 | テーマ | 学習内容 | No1 | Class Intro. | Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information. | Unit 1 Text: To Be | Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice. | 予習内容(時間) | | | 復習内容(時間) | 60 分 | No2 | Text Unit 2 | Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns | 予習内容(時間) | 60 分 | 復習内容(時間) | 60 分 | No3 | Continue Unit 2 | Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises. | Begin Unit 3 | Begin Present Continuous tense. Everyday Activities. | 予習内容(時間) | 60 分 | | 復習内容(時間) | 60 分 | No4 | Continue Unit 3 | Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises. | 予習内容(時間) | 60 分 | 復習内容(時間) | 60 分 | No5 | Unit 4 | To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises. | 予習内容(時間) | 60 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | Class Intro. | Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Unit 1 Text: To Be | Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Text Unit 2 | Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Continue Unit 2 | Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Begin Unit 3 | Begin Present Continuous tense. Everyday Activities. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Continue Unit 3 | Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Unit 4 | To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 60 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------------------------|---|----|---|
| | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 |
| No6 | Unit 4 cont. Review 1-4 | Finish Unit 4 Review Units 1-4 for Midterm Exam | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review before next class | 60 | 分 |
| No7 | Midterm Exam | Midterm Exam : Includes both written and listening sections. | | |
| | 予習内容(時間) | Review test questions | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review units 1-4 and exercises | 60 | 分 |
| No8 | Unit 5 | Yes/No questions, short answers, adjectives. possessive nouns. Describing people and things and weather. | | |
| | 予習内容(時間) | Review content of lesson and exercises. | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review and prepare for next class | 60 | 分 |
| No9 | Continue Unit 5 Begin Unit 6 | Review Unit 5 Review present continuous tense. Review prepositions of location. Talk about Family members. Describe activities and events. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review before class | 60 | 分 |
| No10 | Continue Unit 6 Begin Unit 7 | Prepositions.. There is/there are. Places around town. Locating places. Describing neighborhoods. Describing apartments. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review before next class. | 60 | 分 |
| No11 | Continue Unit 7 | Continue Unit 7. Do supplementary materials and exercises. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review for next class | 60 | 分 |
| No12 | Unit 8 | Singular/plural. Adjectives. This/that/these/those. Conversation practice. Listening exercises. | | |
| | 予習内容(時間) | Review and practice | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Prep | 60 | 分 |
| No13 | Continue Unit 8 Review U. 5-8 | Finish text material. Do exercises. Review assignments. Listening practice. Review Units 5-8 for final exam. | | |
| | 予習内容(時間) | Review | 90 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Prep | 60 | 分 |
| No14 | Final Exam | Final exam on Units 5-8 | | |
| | 予習内容(時間) | Review Units 5-8 | 90 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Review test. | 60 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|---|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英会話 I BE-I |
| 講義名(英字) | English Conversation I |
| 担当教員 | 渡邊 きみ代 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現を身に着けることを目標とします。英会話に必要な基礎的な英語力を育てるために語彙、文法、英作文なども学びます。海外の文化、習慣なども知り、楽しんで知識を広げ、役立つ英語を身につけましょう。 |
| 【到達目標】 | 単語、文法の習得 リスニング能力を習得 自然な会話、プレゼンテーションの能力を習得 |
| 【履修条件・受 | 将来役に立つ英語を身につけたいと希望し、積極的に授業に参加すること |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------------------|---|-----|-----|---|-----|--|
| 【講推奨者】 | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 英会話に必要な基礎的な英語力を鍛え、実用的な英語表現を身につけるためのトレーニングをする | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | English First (Starter) 著者 Robert Hickling / Misato Usukura 金星堂 副教材としてプリント、CDなどを使用 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 語彙、文法、表現、知識の習得 | 30% | 語彙、文法、表現、知識については期末試験で評価する。応用力については、中間、期末の2回、また授業内の会話練習などで評価する。授業内の積極性については随時評価する。 | | | | | |
| | 英語の応用力(プレゼンテーション、会話など) | 50% | | | | | | |
| | 授業内の積極性 | 20% | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特になし | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| No1 | | Introduction | 授業の進め方の説明、語彙をふやすためのクイズ、あいさつのしかた。 | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | テキストに目を通す | 120 | 分 | | | |
| | 復習内容(時間) | | 学習内容を確認 | 120 | 分 | | | |
| No2 | | Unit1 It's Nice to Meet You | 語彙をふやすためのクイズ、be動詞についての文法を学び、問題を解く。自己紹介文を書く。 | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | Unit 1に目を通す | 120 | 分 | | | |
| | 復習内容(時間) | | 学習内容を確認 | 120 | 分 | | | |
| No3 | | Unit1 It's Nice to Meet You | 語彙をふやすためのクイズ、be動詞を使った会話のリスニング、be動詞を使った文章を書き、会話をする。 | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | Unit 1に目を通す | 120 | 分 | | | |
| | 復習内容(時間) | | 学習内容を確認 | 120 | 分 | | | |
| No4 | | Unit 2 Take a Hike | 語彙をふやすためのクイズ、に一般動詞についての文法を学び、問題を解く。一般動詞を使った文章を書く。 | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | Unit 2に目を通す | 120 | 分 | | | |
| | 復習内容(時間) | | 授業内容の確認 | 120 | 分 | | | |
| No5 | | Unit 2 Take a Hike | 語彙をふやすためのクイズ、一般動詞を使った会話のリスニング、一般動詞を使った文章を書き、会話をする。 | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | Unit 2に目を通す | 120 | 分 | | | |
| | 復習内容(時間) | | 授業内容の確認 | 120 | 分 | | | |
| No6 | | Unit 3 Don't Wear Your High Heels | 語彙をふやすためのクイズ、代名詞についての文法を学び、問題を解く。代名詞を使った文章を書く。 | | | | | |
| | 予習内容(時間) | | Unit 3に目を通す | 120 | 分 | | | |
| | 復習内容(時間) | | 授業内容の確認 | 120 | 分 | | | |
| No7 | | Unit 3 Don't Wear Your High Heels | 語彙をふやすためのクイズ、代名詞を使った会話のリスニング、Unit1,Unit2,Unit3で学習したことを使った会話文を作成。ペアワークで練習する。次週会話テスト。 | | | | | |

| | | | | | |
|--------|----------|---|--|-----|---|
| 【授業計画】 | | 予習内容(時間) | Unit 3に目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 学習内容を確認 | 120 | 分 |
| | | 英会話テスト | Unit1, Unit2, Unit3で学習したことを応用する会話テスト。 | | |
| | No8 | 予習内容(時間) | 会話文を練習する | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | Unit1, Unit2, Unit3で学習したことを確認 | 120 | 分 |
| | | Unit 4 There's Nothing in My Backpack | 語彙をふやすためのクイズ、場所を表す前置詞についての文法を学び、問題を解く。場所を表す前置詞を使った文章を書く。 | | |
| | No9 | 予習内容(時間) | Unit4に目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 学習内容を確認 | 120 | 分 |
| | | Unit 4 There's Nothing in My Backpack | 語彙をふやすためのクイズ、場所を表す前置詞を使った会話のリスニング、場所を表す前置詞をつかった会話をペアワークで。 | | |
| | No10 | 予習内容(時間) | Unit 4に目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 学習内容を確認 | 120 | 分 |
| | | Unit5 What a Small World! | 語彙をふやすためのクイズ、Yes.Noで答える疑問文についての文法を学び、問題を解く。Yes.Noで答える疑問文を使った文章を書く。 | | |
| | No11 | 予習内容(時間) | Unit5に目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 学習内容を確認 | 120 | 分 |
| | | Unit5 What a Small World! | 語彙をふやすためのクイズ、場所を表す前置詞を使った会話のリスニング、場所を表す前置詞をつかった会話をペアワークで練習する。 | | |
| | No12 | 予習内容(時間) | Unit5に目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 学習内容を確認 | 120 | 分 |
| | | 総復習 | Unit1～5の学習内容(テキスト、プリントなど)を総復習。ペアを作り、Unit4, Unit5で学習したことを応用する会話文を作り、練習する。 | | |
| | No13 | 予習内容(時間) | 春学期に学習したことを総復習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | Unit4, Unit5の学習内容を確認して会話テストに備える | 120 | 分 |
| | 英会話テスト | 英会話テスト及びUnit1～Unit5, 学習した語、表現、英文などについての総復習。 | | | |
| No14 | 予習内容(時間) | Unit1～Unit5, 学習した語、表現、英文などについての確認 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 総復習して期末試験に備える | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|---|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英会話 I S-A |
| 講義名(英字) | English Conversation I |
| 担当教員 | 木村 直樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 英会話の基本を学ぶこと、そして必要な語彙を習得することを通じて、自信を持って自分を英語で発信できるようになることを目標とします。様々な状況を想定しながらリスニングとスピーキングの練習を重ね、簡潔な英文表現の作り方や的をしぼったリスニングのストラテジーを学習します。 |
| 【到達目標】 | 基本的な英語表現を身に付ける。 相手の意図を理解し、簡単な英語表現で応答できるようになる。 会話の鍵となる単語や語句を聞き取り、書いて表現できるようになる。 |
| 【履修条件・受】 | 条件はありません。 |

| 【講推奨者】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|-----|------|------------|-----|---|----------------|------------------------|---------|-----|----------|--------------------|-----|---|----------|--------------|-----|---|-----|----------------------|------------|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|--------------|-----|---|-----|------------|--------------------------|--|--|----------|-------------------------|-----|---|----------|----------|-----|---|-----|----------------------|------------------|--|--|----------|-----------------------|-----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|-----------------------------|-----------------------|--|--|----------|---------------|-----|---|----------|---------|-----|---|-----|---------------------------|---------------------------|--|--|----------|---------------|-----|---|----------|-------------|-----|---|-----|-----------------------|----------------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|--------------|-----|---|--|--------------------|------------------|--|--|
| 【教育方法】 | テキストに沿って英会話表現の意味を理解し、ペアワークやグループワークでその表現を使ってみたり、教員との会話のやり取りを英語で完成させたりすることで、様々な表現を身に付ける。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Herman Bertelen(著) Take It Easy! Second Edition. Gengage Learning | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td></td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>到達度確認評価テスト</td> <td>70%</td> <td rowspan="4">達成度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。</td> </tr> <tr> <td>授業中の会話ワークでの積極性</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>リスニング課題</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 到達度確認評価テスト | 70% | 達成度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。 | 授業中の会話ワークでの積極性 | 15% | リスニング課題 | 15% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 到達度確認評価テスト | 70% | 達成度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業中の会話ワークでの積極性 | 15% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リスニング課題 | 15% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 授業の特性上、指定の期日までに教科書を用意できなかった者は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業計画】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>初回ガイダンス</td> <td>講義内容や評価方法の説明、レベルチェック課題</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>自己紹介を英語でできるようにしておく</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>レベルチェック問題の復習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>Meeting and Greeting</td> <td>あいさつの仕方を学ぶ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>様々な文化圏(英語圏)のあいさつのバリエーションをリサーチ</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>あいさつ表現使い分け復習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>Hesitating</td> <td>相手の意図がよくわからなかった際の言い回しを学ぶ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>様々なメディアで「聞き返し」の表現を調べておく</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>聞き返し表現復習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>Present / Past Tense</td> <td>時制を使った出来事の描写法を学ぶ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>現在時制と過去時制の形について事前リサーチ</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>自分が昨日やったことと今日やることを表してみる</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>Frequency / Talk about News</td> <td>頻度の表し方や“How”を使った表現を学ぶ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>頻度の語句を洗い出しておく</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>頻度の表現復習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>Making Plans / Invitation</td> <td>外出先で人に出会った際、相手を何かに誘う表現を学ぶ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>招待の英語表現を調べておく</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>計画を立てる表現類復習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No7</td> <td>Talk about Activities</td> <td>身の周りのアクティビティーについて説明する表現を学ぶ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>自分の好きなことについて説明できるようにしておく</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>アクティビティー表現復習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Likes and Dislikes</td> <td>英語で好き嫌いを表せるようになる</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | 初回ガイダンス | 講義内容や評価方法の説明、レベルチェック課題 | | | 予習内容(時間) | 自己紹介を英語でできるようにしておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | レベルチェック問題の復習 | 120 | 分 | No2 | Meeting and Greeting | あいさつの仕方を学ぶ | | | 予習内容(時間) | 様々な文化圏(英語圏)のあいさつのバリエーションをリサーチ | 120 | 分 | 復習内容(時間) | あいさつ表現使い分け復習 | 120 | 分 | No3 | Hesitating | 相手の意図がよくわからなかった際の言い回しを学ぶ | | | 予習内容(時間) | 様々なメディアで「聞き返し」の表現を調べておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 聞き返し表現復習 | 120 | 分 | No4 | Present / Past Tense | 時制を使った出来事の描写法を学ぶ | | | 予習内容(時間) | 現在時制と過去時制の形について事前リサーチ | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 自分が昨日やったことと今日やることを表してみる | 120 | 分 | No5 | Frequency / Talk about News | 頻度の表し方や“How”を使った表現を学ぶ | | | 予習内容(時間) | 頻度の語句を洗い出しておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 頻度の表現復習 | 120 | 分 | No6 | Making Plans / Invitation | 外出先で人に出会った際、相手を何かに誘う表現を学ぶ | | | 予習内容(時間) | 招待の英語表現を調べておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 計画を立てる表現類復習 | 120 | 分 | No7 | Talk about Activities | 身の周りのアクティビティーについて説明する表現を学ぶ | | | 予習内容(時間) | 自分の好きなことについて説明できるようにしておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | アクティビティー表現復習 | 120 | 分 | | Likes and Dislikes | 英語で好き嫌いを表せるようになる | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 初回ガイダンス | 講義内容や評価方法の説明、レベルチェック課題 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介を英語でできるようにしておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | レベルチェック問題の復習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Meeting and Greeting | あいさつの仕方を学ぶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 様々な文化圏(英語圏)のあいさつのバリエーションをリサーチ | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | あいさつ表現使い分け復習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Hesitating | 相手の意図がよくわからなかった際の言い回しを学ぶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 様々なメディアで「聞き返し」の表現を調べておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 聞き返し表現復習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Present / Past Tense | 時制を使った出来事の描写法を学ぶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 現在時制と過去時制の形について事前リサーチ | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 自分が昨日やったことと今日やることを表してみる | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Frequency / Talk about News | 頻度の表し方や“How”を使った表現を学ぶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 頻度の語句を洗い出しておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 頻度の表現復習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | Making Plans / Invitation | 外出先で人に出会った際、相手を何かに誘う表現を学ぶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 招待の英語表現を調べておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 計画を立てる表現類復習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No7 | Talk about Activities | 身の周りのアクティビティーについて説明する表現を学ぶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の好きなことについて説明できるようにしておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | アクティビティー表現復習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Likes and Dislikes | 英語で好き嫌いを表せるようになる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------|-----------------------|----------------------------------|-----|---|
| No8 | 予習内容(時間) | 好きなこと、嫌いなことの度合いを表す表現をリストアップ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 嫌いなことについて表す表現類復習 | 120 | 分 |
| No9 | Polite Expressions | 丁寧な言い回しで依頼する表現、レストランで注文する際の表現を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 欧米の食文化についてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レストランでの注文の仕方復習 | 120 | 分 |
| No10 | Future Tense | これから先の予定を確認したり、質問したりする | | |
| | 予習内容(時間) | 助動詞willの使い方について調べておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 近い将来のことを表す表現復習 | 120 | 分 |
| No11 | Agree or Disagree | 賛成・反対の意見を表明できるようになる | | |
| | 予習内容(時間) | 答えの明確でないトピックについて考えておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の立場を明確にする表現復習 | 120 | 分 |
| No12 | Asking for Directions | 旅行先での道の尋ね方を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 旅行に行ってみたい場所を調べて決めておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 迷子になった際の表現復習 | 120 | 分 |
| No13 | Ending Conversations | お礼の述べ方、会話の締めくり方を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 母国語で会話を負える際にどうしているかを考えてみる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会話を終える表現復習 | 120 | 分 |
| No14 | Describing Places | 旅先の様子を人に説明できるようになる | | |
| | 予習内容(時間) | 思い出深い場所の様子を説明できるようにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 場所の描写説明復習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|---|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英会話 I BE-K |
| 講義名(英字) | English Conversation I |
| 担当教員 | 木村 直樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>この講座では、英語のミステリードラマを見ながら、高校までに習ってきた単語や文法が実際にどのように使われるのかを学びます。これまで何年も英語を勉強してきたにもかかわらず、単語を文法的にどうつなげて、どのように言いたいことを表すのかがよくわからない、という人は、少なからずいると思います。そこで、まずは比較的優しいレベルの英文や構文を使って基礎を復習しながら、主にリスニングとスピーキングの2つの側面に焦点を当てることにします。また、ドラマで実際に登場人物が話すシーンを見ながら、英語圏の日常生活で起こりやすい状況で使える英会話表現を学びます。</p> |
| 【到達目標】 | <p>英語コミュニケーションに必要な構文、文法知識を身につける。</p> <p>会話の流れを聞いて理解し、適切な表現で応答できるようになる。</p> <p>学んだ表現を応用して会話を組み立てることができるようになる。</p> |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|----------------------------------|--------------------------|---|-----|--|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特にありません。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | リスニングや、スピーキングのロールプレイ、日常会話表現などを、ドラマの動画を見ながら学習します。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Asari, A., Kanno, S., Kubo, T., & Sato, R. (2021) Olive Green: Learning English through a Mystery Drama. Asahi Press. | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 到達度評価試験 | 70% | 授業中の課題への取り組み、および到達度評価試験 | | | | | |
| | リスニング | 15% | | | | | | |
| | 適切な英会話表現を作る | 15% | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 授業の特性上、指定期日までにテキストを用意できない学生は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。 | | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | 初回ガイダンス | 講義内容や評価方法の説明、レベルチェック問題 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 高校までの基本的な英会話表現に触れておく | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | レベルチェック問題の復習 | | | | 120 | 分 |
| | No2 | Chapter1: Job Offer | 会話で使われるbe動詞 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | be動詞の変化形について | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 動画内の新出表現の復習 | | | | 120 | 分 |
| | No3 | Chapter1: Job Offer | Yes/Noで答える疑問文とbe動詞の組み合わせ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 一般動詞とbe動詞の区別 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | | | | 120 | 分 |
| | No4 | Chapter2: The Murrays | 指示詞の用法について学ぶ | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 高校までに習ったthisやthatの使い方 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | | | | 120 | 分 |
| | No5 | Chapter2: The Murrays | have gotを使った特殊所有表現 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 指示詞を使った疑問文の作り方 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | | | | 120 | 分 |
| | No6 | Chapter3: Old Berry's Best B&B | 一般動詞の現在形の用法 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 現在形の概念について | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | | | | 120 | 分 |
| | No7 | Chapter3: Old Berry's Best B&B | 宿泊予約、食事で使う英会話表現 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 「～したい」を表す英語表現について | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | | | | 120 | 分 |
| | | Chapter4: Homemade Soup and Wine | 現在形を用いた疑問文とその返答の仕方 | | | | | |

| | | | | |
|------|----------------------------------|--------------------------------------|-----|---|
| No8 | 予習内容(時間) | 3人称単数現在の-sが使われる環境 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | 120 | 分 |
| No9 | Chapter4: Homemade Soup and Wine | WH語句を使った疑問文の作り方 | | |
| | 予習内容(時間) | 英語で質問をするにはどうすればよいか | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | 120 | 分 |
| No10 | Chapter5: Jogging | Thereを用いた「存在」を表す表現の作り方 | | |
| | 予習内容(時間) | 英語でthereを使った英文を考える | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | 120 | 分 |
| No11 | Chapter5: Jogging | Thereを用いた疑問文と、単数主語・複数主語の使い分け、動詞の語形変化 | | |
| | 予習内容(時間) | 複数主語と単数主語に対応するbe動詞の形 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | 120 | 分 |
| No12 | Chapter6: In the Pub | 一般動詞の過去形、英語の過去形が持つイメージの理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 規則変化と不規則変化形の違い | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | 120 | 分 |
| No13 | Chapter6: In the Pub | 過去形を用いた疑問文の作り方とその応答の仕方 | | |
| | 予習内容(時間) | WH代名詞と過去形の組み合わせ方 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各種文法問題の復習 | 120 | 分 |
| No14 | Chapter7: Review1 | 6章までの内容の確認と総括 | | |
| | 予習内容(時間) | 過去形と現在形をthere構文と組み合わせる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 6章までの会話表現総復習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 英語 I BE-A |
| 講義名(英字) | English Reading & Writing(Basics) I |
| 担当教員 | 阿部 牧子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この授業では、350語の題材を、なるべく日本語を介さず読み進める練習をします。わからない単語は文脈からの推測を試みます。それでも意味がわからない場合は、必ず辞書で確認することが大切です。ライティングは、文構造、基本的文法事項を理解し、理解を定着させるための練習問題をくり返します。また、音読にも時間をかけて、正確に読む練習をする予定です。 |
| 【到達目標】 | 350語の読み物の主旨、大意を把握できる 本文で取り上げられたトピックについて意見交換をし、相手の意見を理解できる |

| | 英文の基本的な構造(語順)、品詞、時制などについて理解できる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|------|------|-----|----------|-----|------------------|---|-----|------|----------|---------------------|-----|---|----------|------------------------|----|---|-----|-------------------|------------------------------------|--|--|----------|--------------------|----|---|----------|------------------------|----|---|-----|-------------------------------|---|--|--|----------|----------------------------|----|---|----------|--------------------|----|---|-----|-------------------------------|------------------|--|--|----------|----|----|---|----------|----|----|---|-----|-------------------------------|---|--|--|----------|----|----|---|----------|----|----|---|--|-------------------------------|------------------|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 英語 I は英語初学者向けではありません。基礎力があり、さらに英語力を伸ばしたい学生が履修してください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | グループディスカッションを取り入れます。他人の意見を聞くことによって自身の価値観を問い直す機会ととらえてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Reading for Speed and Fluency 4 (Second Edition) 著者: Paul Nation, Marcus Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel 出版社: Compass Publishing | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筆記試験</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>レポート・提出物</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業での発言など授業中の取り組み</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>提出物については第1回授業で説明します。提出物が100%できていても、筆記試験の素点が30点に満たない場合は単位修得できないことがあります。</p> | 評価項目と割合 | 評価方法 | 筆記試験 | 30% | レポート・提出物 | 30% | 授業での発言など授業中の取り組み | 40% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 筆記試験 | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| レポート・提出物 | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業での発言など授業中の取り組み | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 遅刻2回で欠席1回とします。出席回数が10回に満たない場合、評価の対象外になることがありますので注意してください。シラバスの内容・順番は、受講生の習熟度などにより変更することがあります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス プリント教材</td> <td>どのように授業を進めていくか説明する 第1週は登録変更ができるので、教科書ではなくプリント教材で授業する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>英語での自己紹介を考えておいてください</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>プリント教材で理解できなかったところを調べる</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>プリント教材の続き 自己紹介</td> <td>プリント教材を終える クラス全体に向けて、英語で自己紹介をする</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>プリント教材で訳せないところを調べる</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>プリント教材で理解できなかったところを調べる</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>Chapter 7 Health and Medicine</td> <td>健康に関する英文を読む 語彙の理解 ペア/グループディスカッション What do you think is the best way to keep fit and healthy?</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で理解不足だったところを復習する</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>Chapter 7 Health and Medicine</td> <td>健康に関する英文についてのまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>同上</td> <td>65</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>同上</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>Chapter 7 Health and Medicine</td> <td>医療に関する英文を読む 語彙の理解 How are new medicines tested?</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>同上</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>同上</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Chapter 7 Health and Medicine</td> <td>医療に関する英文についてのまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス プリント教材 | どのように授業を進めていくか説明する 第1週は登録変更ができるので、教科書ではなくプリント教材で授業する | | | 予習内容(時間) | 英語での自己紹介を考えておいてください | 60 | 分 | 復習内容(時間) | プリント教材で理解できなかったところを調べる | 60 | 分 | No2 | プリント教材の続き 自己紹介 | プリント教材を終える クラス全体に向けて、英語で自己紹介をする | | | 予習内容(時間) | プリント教材で訳せないところを調べる | 60 | 分 | 復習内容(時間) | プリント教材で理解できなかったところを調べる | 60 | 分 | No3 | Chapter 7 Health and Medicine | 健康に関する英文を読む 語彙の理解 ペア/グループディスカッション What do you think is the best way to keep fit and healthy? | | | 予習内容(時間) | 教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で理解不足だったところを復習する | 60 | 分 | No4 | Chapter 7 Health and Medicine | 健康に関する英文についてのまとめ | | | 予習内容(時間) | 同上 | 65 | 分 | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 | No5 | Chapter 7 Health and Medicine | 医療に関する英文を読む 語彙の理解 How are new medicines tested? | | | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 | | Chapter 7 Health and Medicine | 医療に関する英文についてのまとめ | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス プリント教材 | どのように授業を進めていくか説明する 第1週は登録変更ができるので、教科書ではなくプリント教材で授業する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 英語での自己紹介を考えておいてください | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | プリント教材で理解できなかったところを調べる | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | プリント教材の続き 自己紹介 | プリント教材を終える クラス全体に向けて、英語で自己紹介をする | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | プリント教材で訳せないところを調べる | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | プリント教材で理解できなかったところを調べる | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Chapter 7 Health and Medicine | 健康に関する英文を読む 語彙の理解 ペア/グループディスカッション What do you think is the best way to keep fit and healthy? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解不足だったところを復習する | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Chapter 7 Health and Medicine | 健康に関する英文についてのまとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 65 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Chapter 7 Health and Medicine | 医療に関する英文を読む 語彙の理解 How are new medicines tested? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Chapter 7 Health and Medicine | 医療に関する英文についてのまとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--|---|----|---|
| No6 | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| No7 | Chapter 7 Health and Medicine | 感染症についての英文を読む 語彙を理解する グループディスカッション How can we fight this common illness? What are some other ways to avoid getting the flu? | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| No8 | Chapter 7 Health and Medicine | 感染症に関する英文についてのまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| No9 | 語彙テスト | 前週までの語彙の知識を問う | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙テストの準備をする | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 語彙テストの振り返りをする | 60 | 分 |
| No10 | Chapter 6 Business | Saving Moneyを読む 語彙を理解する How can we save money? グループワーク | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解不足だったところを復習する | 60 | 分 |
| No11 | Chapter 6 Business | Saving Money まとめ Free marketsを読む 語彙の理解 What are the pros and cons of a free market economy? グループワーク | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| No12 | Chapter 6 Business Chapter 1 Nature | Free Markets まとめ Global Warmingを読む 語彙の理解 What is causing the earth to get warmer? グループワーク | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| No13 | Chapter 1 Nature | Global warming まとめ 今までの授業内容の総復習をする | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 60 | 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 | 今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | テストの準備をする | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | テストの振り返りをする | 60 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 英語Ⅲ BE-A |
| 講義名(英字) | English Reading & Writing (Intermediate) III |
| 担当教員 | 阿部 牧子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 今年度の英語Ⅲは「英語を書くこと」にもじっくり取り組む予定です。短くても正確な英文を作る練習を積み重ね、最終的にはある程度の長さのバラグラフが書けることを目指します。「英語を読む」教材には英字新聞など時事的なものも取り入れていく予定です。音読も英語Ⅰ・Ⅱに引き続き、繰り返し練習します。 |
| 【到達目標】 | 英文を読むために必要な文法、単語についての知識を習得する なめらかに読む。相手に伝わる英語発音を習得する |

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|-----|---|-----|--|----|---|
| | 単純な内容であれば、論理的な短い英文で表現できる | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 英語に対する学習意欲があり、課題(ホームワーク)に取り組むことを優先できる学生 ペア・グループワークに意欲的に取り組める学生 | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | グループワークによってコミュニケーション能力を身につけていくようにする | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 第1回授業で説明します。 参考図書: What's That You Say? 著者: Jono David 出版社: Nan'un-do Impact Issues 2 著者: Richard R. Day, Joseph Shaules, Junko Yamanaka | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | |
| | 筆記試験 | 30 | 提出物が100%できていても、筆記試験の素点が30点未満(100点満点中)の場合は単位修得できないことがあります。 | | | | | | | |
| | 授業での発言(ペア・グループワークを含む) | 40 | | | | | | | | |
| | 提出物 | 30 | | | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 遅刻2回で欠席1回とします。シラバスの内容は、受講生の習熟度によって変更することがあります。 | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | |
| No1 | | The Last Chance for a First Impression 自己紹介 | Vocabulary Comprehension Question 自己紹介を英文で作成する | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 自己紹介できるよう準備 | | | | | | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | | | | | | 60 | 分 |
| No2 | | 自己紹介 The Last Chance for a First Impression | 自己紹介文の発表 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 自己紹介発表の準備をする | | | | | | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 自己紹介について振り返りをする | | | | | | 60 | 分 |
| No3 | | The Last Chance for a First Impression | プリント教材(教員が準備する)のQuestionに答えながら、内容を理解する | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | プリント教材を学習する | | | | | | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | | | | | | 60 | 分 |
| No4 | | 時事問題を読む(感染症など) | 教材は教員が準備します 語彙の意味を確認する 既知語については英文を作る練習 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 未知語の意味を調べる | | | | | | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | | | | | | 60 | 分 |
| No5 | | 要約する | 教材のreadingを読み、キーワードを見つけてそれを使って英文をつくる練習をする | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 指示されたreadingを読む 未知語を調べる | | | | | | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | | | | | | 60 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|---|--|----|---|
| | Discussion | 指示された質問に対する自分の考えを英文で表現する。グループでshareする | | |
| No6 | 予習内容(時間) | 指示された質問について自分の考えをまとめる | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | 60 | 分 |
| No7 | 語彙テスト | 今までの授業で取り上げた語彙を使った英文を作る 意図した文意が適切に表現できているか確認する | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙テストの準備 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 語彙テストの復習 | 60 | 分 |
| No8 | 英字新聞を読む | 教材は教員が準備します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教材に目を通し、未知語の意味を調べる | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | 60 | 分 |
| No9 | 助動詞の使い方について | 教員が準備する教材を読む | | |
| | 予習内容(時間) | 教材に目を通し、未知語の意味を調べる | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | 60 | 分 |
| No10 | Government Control(プリント教材) | プリント教材(教員が準備する)のQuestionに答えながら、内容を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | プリント教材に目を通し、未知語を調べるなど | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | 60 | 分 |
| No11 | Government Control | ペアでテーマについて考える Ask and answer the questions. グループエクステンジ Ask for their opinions | | |
| | 予習内容(時間) | 与えられたテーマについて考えをまとめるなど | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で学習した内容の復習 | 60 | 分 |
| No12 | Present Your Ideas 発表原稿を書く | インターネット検索や機械翻訳を利用して、ある程度長さのある文章を書く | | |
| | 予習内容(時間) | 発表原稿の下書きを書く | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 発表原稿を清書する | 60 | 分 |
| No13 | プレゼンテーション | グループあるいはクラス全体に向け、自分の考えを述べる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 発表の練習など | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 発表の振り返りなど | 30 | 分 |
| No14 | How to make use of Google翻訳 effectively | 機械翻訳を使って演習を行います | | |
| | 予習内容(時間) | 本試験の準備など | 90 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本試験の準備 | 60 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | TOEIC I BE-A |
| 講義名(英字) | TOEIC I |
| 担当教員 | 伊藤 満里 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | この授業は、TOEIC Listening & Reading テストを将来受験したいと考えている学生や、英語によるコミュニケーション力を伸ばしたいと考えている学生を対象とします。授業では、そのために必要な英語運用能力を伸ばすために、基本的な重要語句の学習と聞き取り、読解や文法の練習問題に取り組みます。 |
| 【到達目標】 | 語彙力を身につけること 基本的な文法事項を学習すること |

| | 読解力を身につけること | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----|------|-----|-----|---|-------------|-----------------------------|---------------|-----|----------|-----------------------|-----|---|----------|--|-----|---|-----|---------------|------------------|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|---------------|---------------------|--|--|----------|-------------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|-------------------|------------------------------------|--|--|----------|---|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|-------------------|---------------------|--|--|----------|-------------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|-----------------|--------------------------------|--|--|----------|---|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 演習授業になるので、欠席をしないこと。 指定された演習問題について、語彙の意味を調べることをしながら各自解答を準備すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 出題形式や内容についての理解を深められるよう、TOEIC Test と同形式のテキストを使用する。 授業では解説を行うので、各自提出した解答をもとに、確認、見直しを行なう。分からないことは質問する。 語彙や語法がわからない状態で直観的に解答しても学習効果が低いので、積極的に辞書や文法書などを用い論理的に考えることを推奨する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Score Booster For The TOEIC L&R Test: Beginner 早川幸治・岸洋一著 金星堂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本試験</td> <td>50%</td> <td rowspan="4">4回以上欠席した者は成績評価の対象外とし、遅刻・早退は3回につき欠席1回。テキスト忘れ、辞書忘れ3回につき欠席1回とする。</td> </tr> <tr> <td>確認テスト・単語テスト</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>授業参加度(発言回数など)</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 本試験 | 50% | 4回以上欠席した者は成績評価の対象外とし、遅刻・早退は3回につき欠席1回。テキスト忘れ、辞書忘れ3回につき欠席1回とする。 | 確認テスト・単語テスト | 40% | 授業参加度(発言回数など) | 10% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本試験 | 50% | 4回以上欠席した者は成績評価の対象外とし、遅刻・早退は3回につき欠席1回。テキスト忘れ、辞書忘れ3回につき欠席1回とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 確認テスト・単語テスト | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業参加度(発言回数など) | 10% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 指定されたテキストを初回の授業までに購入すること。 ◇ 辞書を持参すること(電子辞書可)。 ◇ 受講生の英語レベルによって、授業計画が一部変更される場合があり、その場合その旨を授業内で提示する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>TOEICテスト概要、テキスト紹介、評価方法、学習方法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキスト購入、授業について質問を考えておく</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>本授業で学びたいこと、半年後の目標をノートにまとめておく。テキストUnit 1の予習</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>Unit 1 Travel</td> <td>品詞①: 名詞(単数形・複数形)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストUnit 1の問題を解く、分からない単語は調べる。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>Unit 1 Travel</td> <td>リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Unit1の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>Unit 2 Dining Out</td> <td>品詞②: 形容詞(名詞修飾、補語) 確認テスト(Unit 1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストUnit 2の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>Unit 2 Dining Out</td> <td>リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Unit2の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No6</td> <td>Unit 3 Shopping</td> <td>品詞③: 副詞(動詞修飾) 確認テスト(Unit 2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストUnit 3の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | オリエンテーション | TOEICテスト概要、テキスト紹介、評価方法、学習方法 | | | 予習内容(時間) | テキスト購入、授業について質問を考えておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 本授業で学びたいこと、半年後の目標をノートにまとめておく。テキストUnit 1の予習 | 120 | 分 | No2 | Unit 1 Travel | 品詞①: 名詞(単数形・複数形) | | | 予習内容(時間) | テキストUnit 1の問題を解く、分からない単語は調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | No3 | Unit 1 Travel | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | | 予習内容(時間) | Unit1の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | No4 | Unit 2 Dining Out | 品詞②: 形容詞(名詞修飾、補語) 確認テスト(Unit 1) | | | 予習内容(時間) | テキストUnit 2の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | No5 | Unit 2 Dining Out | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | | 予習内容(時間) | Unit2の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | No6 | Unit 3 Shopping | 品詞③: 副詞(動詞修飾) 確認テスト(Unit 2) | | | 予習内容(時間) | テキストUnit 3の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | オリエンテーション | TOEICテスト概要、テキスト紹介、評価方法、学習方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト購入、授業について質問を考えておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 本授業で学びたいこと、半年後の目標をノートにまとめておく。テキストUnit 1の予習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Unit 1 Travel | 品詞①: 名詞(単数形・複数形) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストUnit 1の問題を解く、分からない単語は調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Unit 1 Travel | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Unit1の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Unit 2 Dining Out | 品詞②: 形容詞(名詞修飾、補語) 確認テスト(Unit 1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストUnit 2の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Unit 2 Dining Out | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Unit2の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | Unit 3 Shopping | 品詞③: 副詞(動詞修飾) 確認テスト(Unit 2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストUnit 3の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No7 | Unit 3 Shopping | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | |
| | 予習内容(時間) | Unit3の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No8 | Unit 4 Entertainment | 時制(現在・過去・未来) 確認テスト(Unit 3) | | |
| | 予習内容(時間) | テキストUnit 4の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No9 | Unit 4 Entertainment | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | |
| | 予習内容(時間) | Unit4の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No10 | Unit 5 Advertising | 3単現のS 確認テスト(Unit 4) | | |
| | 予習内容(時間) | テキストUnit 5の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No11 | Unit 5 Advertising | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング | | |
| | 予習内容(時間) | Unit5の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No12 | Unit 6 Events | 能動態・受動態 確認テスト(Unit 5) | | |
| | 予習内容(時間) | テキストUnit 6の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。 | 120 | 分 |
| No13 | Unit 6 Events | リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング 単語テスト(Unit1-6) | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 1-6の単語を覚え、テキストを総復習する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Unit 1-6の単語の復習とテキストを総復習する。 | 120 | 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 | 今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | Unit1-6の単語と文法を総復習する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 間違えた問題を復習する。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | TOEIC I BE-B |
| 講義名(英字) | TOEIC I |
| 担当教員 | 宍戸 カール |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | This course is an introduction to TOEIC which a popular and most common test used within the business community to measure a person's English skills. The class will mostly focus on listening and learning new vocabularies. |
| 【到達目標】 | One of the surest ways to develop a person's listening skill is dictation which is writing down on paper everything that is being played on CD. Also, shadowing which is to read out loud with the speaker on the CD at the same speed and intonation. |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|------------------------------------|--|-----|-----|---|-----|---|
| | Introduction of new vocabularies which will help increase student's TOEIC scores. | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | Elective Class | | | | | | | |
| 【教育方法】 | One of the effective listening skill is doing dictation drills and it will be used throughout the class. | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Longman Preparation Series for the TOEIC Test, Introductory Course 6th Edition, by Lin Lougheed, Pearson Education | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | Midterm and final examination | 60 | Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance. | | | | | |
| | Active class participation | 30 | | | | | | |
| | Class attendance | 10 | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | None | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | Part 1, Photographs | Dictation drills for Photograph Section, Overview | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 | | | |
| | No2 | Part 1, Photographs and Vocabulary | Dictation drills for Photograph Section, Overview. Vocabulary exercise. | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| | No3 | Part 1, Photographs | Dictation drills for Photograph Section, Photos of People | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 | | | |
| | No4 | Part 1, Photographs and Vocabulary | Dictation drills for Photograph Section, Photos of People. Vocabulary exercise. | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| | No5 | Part 1, Photographs | Dictation drills for Photograph Section, Photos of Things. | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 | | | |
| | No6 | Part 1, Photographs and Vocabulary | Dictation drills for Photograph Section, Strategies. Vocabulary exercise. | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| | No7 | Midterm Examination | Midterm Examination Part 1, Photographs | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | |
| 復習内容(時間) | | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--|--|-----|---|
| No8 | Part 2, Question-Response and Vocabulary | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying Time. Vocabulary exercise. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| No9 | Part 2, Question-Response | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying People. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 |
| No10 | Part 2, Question-Response and Vocabulary | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying an Opinion. Vocabulary exercise. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| No11 | Part 2, Question-Response | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Choice. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 |
| No12 | Part 2, Question-Response and Vocabulary | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Suggestion. Vocabulary exercise. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| No13 | Part 2, Question-Response | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Reason. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills | 120 | 分 |
| No14 | Part 2, Question-Response | Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Reason. | | |
| | 予習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Dictation drills and vocabulary | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | フランス語 I BE-A |
| 講義名(英字) | French I |
| 担当教員 | 野口 恵子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | フランス語に慣れ親しむ。基礎的な語彙、表現、文法を学び、口頭および文章による自己紹介や、簡単な会話を行う。入門期の外国語学習は、耳、口、目、手、そして頭を使う、いわば全身運動である。テキストの本文は、初めてのバリ旅行で直面するであろう場面での会話を中心となっている。まずは、フランス語を繰り返して聞き、口に出して言ってみよう。 |
| 【到達目標】 | 基礎的なフランス語を聞いて理解する能力を身につける。 自己紹介をはじめ、身近な話題について話す能力を身につける。 簡単なフランス語で書かれた文を読んで理解する能力を身につける。 書き取り、短文作成から始め、身近な話題について文章で表現する能力を身につける。 |

| | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|---|-----|--|-----|-----|---|
| | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | とくになし。 | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 教科書、プリント、板書等で学習項目を確認した上で、教員と受講者、受講者同士のフランス語によりやり取りを行う。適宜、聞き取り、音読等の小テストを実施する。 | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 瀬戸秀一・瀬戸和子(著)『街かどのフランス語(三訂版)』朝日出版社、2016年 | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | ○ |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | |
| | 本試験(リスニング、および筆記) | | 50% | | | | | | |
| | ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加 | | 50% | | | | | | |
| | 合計 | | 100% | | | | | | |
| 本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。 | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 毎回出席し、授業に積極的に参加すること。 | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | |
| | No1 | アルファベ(Alphabet)。発音のポイント(母音字)。日本語になったフランス語。 | アルファベを正しい発音で読む。自分の名前をローマ字で書いたものを、1文字ずつフランス語のアルファベで言ってみる。日本語になったフランス語の元の発音を確認する。「私は～です」とフランス語で名乗る。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストの音源にアクセスし、アルファベの発音を確認する。 | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | アルファベの発音、フランス語に特有な音、習った単語の綴り字と発音を復習する。 | | | | | 120 | 分 |
| | No2 | 簡単な挨拶の表現。発音のポイント(子音字)。数字。曜日。 | 人に会ったときの挨拶、人に何か頼むときの言い方、お礼の言い方、別れるときの挨拶、1から10までの数字と、曜日の言い方を学習する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。 | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 挨拶、数字、曜日を復習する。繰り返し発音を聞いて、すらすら言えるようにする。 | | | | | 120 | 分 |
| | No3 | 場所を指す表現と物を指す表現。名詞の性と数。 | Voici ～。(これが～です・ここに～があります。)、Voilà ～。(あれが～です・あそこに～があります。)、C'est ～。(これは・それは・あれは～です。)、名詞に男性名詞と女性名詞の区別があり、単数形と複数形があることを確認する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。 | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 習った文型、習った単語を確認し、発音練習する。 | | | | | 120 | 分 |
| | No4 | 不定冠詞。テキスト1課本文前半部分。 | 「ある～、1つの～、いくつかの～」を表す不定冠詞 un, une, desを学ぶ。テキスト1課本文の前半部分の意味を理解し、音読の練習をする。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。 | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 不定冠詞の使い方を復習し、テキスト本文前半部分を繰り返し音読する。 | | | | | 120 | 分 |
| | No5 | 原形が er で終わる規則動詞。主語となる人称代名詞。定冠詞。テキスト1課本文後半部分。 | 動詞 visiter をはじめとする、-er 型規則動詞を学び、Je visite Paris。(私はパリを訪れる。)と言えるようにする。visiter のほか、aimer(愛する・好きだ)、habiter(住む)を学習する。定冠詞を学び、J'aime le café。(私はコーヒーが好きです。)と言えるようにする。テキスト1課本文の後半部分を読む。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。 | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 最もよく使う人称代名詞 je(私は)とtu(あなたは)を完全に覚える。 | | | | | 120 | 分 |
| | | 不規則動詞 être(～である)の活用 | Je suis japonais。(私は日本人男性です。)、Je suis japonaise。(私は日本人女性です。))などの言い方を学ぶ。自分の国籍や職業などを言い、相手にも尋ねる。 | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|---|---|-----|---|
| No6 | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 「私は学生です」「あなたはフランス人ですか」などを繰り返し復習する。 | 120 | 分 |
| No7 | カフェで注文したり、タクシーで行き先を言ったりする時の表現。依頼の言い方。 | カフェで飲み物や食べ物を注文する。Monsieur, Madame, Mademoiselle のいずれかを用いて従業員を呼び、ほしいものを持って、「お願いします」で結ぶ。タクシーで運転手に行き先を告げたり、駅の窓口でチケットを買ったりするときも同じ文型を使うことができる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 習った文型を使用して、飲み物や食べ物の名前、行きたい場所の名前を言う練習。 | 120 | 分 |
| No8 | 所有形容詞。テキスト2課本文(ホテル到着時の会話) | 所有形容詞(私の・あなたの・彼の・彼女の、など)を学ぶ。「私のペン・私のカード・私の両親」の「私の」は、フランス語では順に、mon, ma, mes となることに注意する。テキスト2課本文を読む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 学習したことを繰り返し声に出して読み、書いてみる。 | 120 | 分 |
| No9 | 不規則動詞 avoir(持っている)の活用と表現 | 自分の持っているものを J'ai～ で表現する。「私はペンを1本持っている」「私には兄弟が2人いる」など。また、「私は暑い」「私は寒い」「私は眠い」「私は正しい」なども、J'ai～ で表すことを学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | avoir(持っている)を使って表すことのできる様々な表現を復習する。 | 120 | 分 |
| No10 | 可能かどうか尋ねる表現。テキスト3課本文(ホテルのフロント係との会話)前半。 | Est-ce que je peux ～を用いて、自分が～することが可能かどうか尋ねる。「ここで予約できますか」など。テキスト3課本文前半部分を読む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | テキストの本文を自分でも繰り返し発音してみる。 | 120 | 分 |
| No11 | テキスト3課本文(ホテルのフロント係との会話)後半。人数を尋ねる表現。 | 人数を尋ねる Vous êtes combien?(あなたたちは何人ですか。)、および、返答 Nous sommes ～。(私たちは～人です。)数字11～20を覚える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | テキストの本文を聞き、自分でも繰り返し発音してみる。 | 120 | 分 |
| No12 | 場所・道を尋ねる表現。否定文。 | Est-ce qu'il y a ～? を用いて、「(この近くに)～はありますか」と尋ねる。また、既習の Je suis étudiant.(私は学生です。)を否定する言い方(動詞を ne と pas で挟む)を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 肯定、否定の言い方をすらすら言えるようにする。 | 120 | 分 |
| No13 | 不規則動詞 aller(行く)の活用。テキスト4課本文前半部分(銀行への行き方を尋ねる)。 | 動詞 aller の活用と使い方を学ぶ。4課本文後半部分を読む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | aller の活用を覚える。本文を繰り返し音読する。 | 120 | 分 |
| No14 | 命令の言い方。テキスト4課本文後半部分(銀行で両替する)。 | 命令形の作り方を学ぶ。命令形を用いて、道順を説明する。「まっすぐ行ってください」「二つ目の通りを左に曲がってください」など。テキスト本文後半部分を読む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声を聞く。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本文を繰り返し音読する。 | 120 | 分 |

前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | フランス語 I BE-C |
| 講義名(英字) | French I |
| 担当教員 | 三富 祐子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>全く初めてフランス語を学ぶ者を対象にゼロから始め、初対面を想定しての自己紹介や好みなどを尋ね合うことができることを目指します。授業では、VTR(インターネットでアクセス可能)で自然な会話に触れ、文法理解と練習問題等を行った後、ペア・グループで実践的な会話の練習をします。各課終了後、ポイントをまとめたプリントを使用し充分復習します。「フランス語Ⅱ」と合わせて履修することで、仏検5級受験に必要な知識を得ることができるようにします。</p> |
| | <p>1. フランス語を読み、理解し、正しく発音できるようにする：授業中の音読、発話と学期末の口頭試験で評価。 フランス語特有の発音や、綴り字の読み方、イントネーションの付け方等、フランス人に意思が伝わるフランス語であるか否かを評価基準とする。</p> |

| 【到達目標】 | <p>2. フランス語を聞き、理解できるようにする：授業中の質問に対する回答と小テスト、学期末の口頭試験で評価。数字(値段・年齢等)の聞き取り、学習した基本的なフランス語を耳で聞いて理解し返答ができるか否かを評価基準とする。</p> <p>3. 基本的な文法を理解し、語彙を覚える：授業中の設問に対する回答と、学期末の筆記試験で評価。基本的な(仏検5級程度)文法と語彙を理解し暗記できているかを評価基準とする。</p> <p>4. フランス語でコミュニケーションをとる：授業中のペア練習への参加の積極性、学期末の口頭試験で評価。状況に即し、自然な流れで会話ができていくか否かを評価基準とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|-----|------|------|-----|---|---|---|------------|----|----------|--|-----|---|----------|---|-----|---|-----|---|--|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|--|-----|---|-----|--|---|--|--|----------|-------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | フランス文化、フランス語など、フランスに興味がある、あるいは新しい言語に対する興味、学習意欲があること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | VTR(インターネットでアクセス可能)で自然な会話に触れ、文法理解と練習問題等を行った後、ペア・グループで実践的な会話の練習をします。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | カフェ・フランセ 著者:Nicolas Gaillard他 出版社:朝日出版社 テキストホームページ https://text.asahipress.com/text-web/france/cafefrançais/index.html | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">自制力</td> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;">思考力</td> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;">突破力</td> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;">忍耐力</td> <td style="width:25%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>主張力</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筆記試験</td> <td style="text-align: center;">60%</td> <td rowspan="4">授業参加度:授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他、授業態度全般から評価。 課題:3回程度の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。</td> </tr> <tr> <td>口頭試験</td> <td style="text-align: center;">20%</td> </tr> <tr> <td>授業参加度・課題提出</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 筆記試験 | 60% | 授業参加度:授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他、授業態度全般から評価。 課題:3回程度の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。 | 口頭試験 | 20% | 授業参加度・課題提出 | 20 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 筆記試験 | 60% | 授業参加度:授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他、授業態度全般から評価。 課題:3回程度の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 口頭試験 | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業参加度・課題提出 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 8割以上の出席と、口頭試験、筆記試験を受けることを前提とする。 全出席を心がけること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 授業形態・評価法・到達目標について フランスについて Lecon1 <ul style="list-style-type: none"> フランス語の発音 挨拶・名前を言う 敬称 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アルファベ フランス語特有の発音 綴り字の読み方のきまり フランス語10単語を覚える ☆ 挨拶し、名前を言い合う </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>使用テキストのホームページにアクセスし、音声、映像を確認する。 https://text.asahipress.com/text-web/france/cafefrançais/index.html</td> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>コースパワーの授業資料添付「第1回授業」の見直し 挨拶し、名前を言えるようにする 10単語を覚える</td> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td> Lecon 1 <ul style="list-style-type: none"> 国籍・身分・出身を言う </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 職業の男性形・女性形 不定冠詞 ☆ 国籍・身分・出身を尋ね合う </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストHPで第1課の映像を見る</td> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>コースパワーの授業資料添付「第2回授業」の見直し 自分の国籍・職業・出身地を書き、言えるようにする</td> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No3</td> <td> Lecon 1 <ul style="list-style-type: none"> 元気がどうか尋ね合う Dialogue Lecon 2 <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる所を言う </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 主語人称代名詞と動詞 etre 国籍の男性形・女性形 ・数1~10 ・動詞 habiter 住む ・エリズイオン ☆住んでいる所を尋ね合う </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストHPで第2課の映像を見る。</td> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | <ul style="list-style-type: none"> 授業形態・評価法・到達目標について フランスについて Lecon1 <ul style="list-style-type: none"> フランス語の発音 挨拶・名前を言う 敬称 | <ul style="list-style-type: none"> アルファベ フランス語特有の発音 綴り字の読み方のきまり フランス語10単語を覚える ☆ 挨拶し、名前を言い合う | | | 予習内容(時間) | 使用テキストのホームページにアクセスし、音声、映像を確認する。 https://text.asahipress.com/text-web/france/cafefrançais/index.html | 120 | 分 | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第1回授業」の見直し 挨拶し、名前を言えるようにする 10単語を覚える | 120 | 分 | No2 | Lecon 1 <ul style="list-style-type: none"> 国籍・身分・出身を言う | <ul style="list-style-type: none"> 職業の男性形・女性形 不定冠詞 ☆ 国籍・身分・出身を尋ね合う | | | 予習内容(時間) | テキストHPで第1課の映像を見る | 120 | 分 | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第2回授業」の見直し 自分の国籍・職業・出身地を書き、言えるようにする | 120 | 分 | No3 | Lecon 1 <ul style="list-style-type: none"> 元気がどうか尋ね合う Dialogue Lecon 2 <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる所を言う | <ul style="list-style-type: none"> 主語人称代名詞と動詞 etre 国籍の男性形・女性形 ・数1~10 ・動詞 habiter 住む ・エリズイオン ☆住んでいる所を尋ね合う | | | 予習内容(時間) | テキストHPで第2課の映像を見る。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | <ul style="list-style-type: none"> 授業形態・評価法・到達目標について フランスについて Lecon1 <ul style="list-style-type: none"> フランス語の発音 挨拶・名前を言う 敬称 | <ul style="list-style-type: none"> アルファベ フランス語特有の発音 綴り字の読み方のきまり フランス語10単語を覚える ☆ 挨拶し、名前を言い合う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 使用テキストのホームページにアクセスし、音声、映像を確認する。 https://text.asahipress.com/text-web/france/cafefrançais/index.html | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第1回授業」の見直し 挨拶し、名前を言えるようにする 10単語を覚える | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Lecon 1 <ul style="list-style-type: none"> 国籍・身分・出身を言う | <ul style="list-style-type: none"> 職業の男性形・女性形 不定冠詞 ☆ 国籍・身分・出身を尋ね合う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストHPで第1課の映像を見る | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第2回授業」の見直し 自分の国籍・職業・出身地を書き、言えるようにする | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Lecon 1 <ul style="list-style-type: none"> 元気がどうか尋ね合う Dialogue Lecon 2 <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる所を言う | <ul style="list-style-type: none"> 主語人称代名詞と動詞 etre 国籍の男性形・女性形 ・数1~10 ・動詞 habiter 住む ・エリズイオン ☆住んでいる所を尋ね合う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストHPで第2課の映像を見る。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第3回授業」の見直し 1～10までを覚え、書けるようにする | 120 | 分 |
| No4 | Lecon 2 ・職業 ・Dialogue Lecon 3 ・ユーロ | ・職業の男性形・女性形 ・不定冠詞 ・自己紹介文 ・リエゾン | | |
| | 予習内容(時間) | 第2課 P11 I～III の文法事項を確認する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第4回授業」の見直し テキストHP音声 Lecon 3 No.31 を聞き、ユーロの発音を練習する | 120 | 分 |
| No5 | Lecon 3 ・カフェで注文する ・数11～20 ・値段を聞き取る | ・不定冠詞 ・飲み物の名称 ・課題 I | | |
| | 予習内容(時間) | 第3課 P.15 I～III の文法事項を確認する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第5回授業」の見直し 数を20まで覚える カフェで注文できるようにする | 120 | 分 |
| No6 | Lecon 3 ・何語を話すか言う | ・規則動詞の活用 parler「話す」 ・言語 ☆何語を話すか言う | | |
| | 予習内容(時間) | テキストHPで第3課の映像を見る | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第6回授業」の見直し 規則動詞の規則を覚える 何語を話すか言えるようにする | 120 | 分 |
| No7 | Lecon 3 ・私は～人ではない ・私は～語を話さない ・それは～でない ・ Dialogue | ・否定形 ・課題 II ☆ 国籍・言語について尋ね合う | | |
| | 予習内容(時間) | 第7課の学習事項を確認する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第7回授業」の見直し 否定形を覚える 話す言語を言えるようにする | 120 | 分 |
| No8 | Lecon 7 ・好みを尋ね合う ・何が好きか尋ね合う | ・定冠詞 ・動詞 aimer 活用 ・好きの度合を表す表現 ☆ 好みについて尋ね合う | | |
| | 予習内容(時間) | HPで第7課の映像を見る | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第8回授業」の見直し 不定冠詞・定冠詞の違いを理解する 好みについて言えるようにする | 120 | 分 |
| No9 | Lecon 7 ・料理・音楽について好みを言う ・ Dialogue ・ Il y a ～がある | ・食べ物・音楽の名称 ・音楽の種類 ・非人称構文 il y a「～がある」 ・名詞＋形容詞：形容詞の性数一致 | | |
| | 予習内容(時間) | 第7課 P.30 III の語彙を確認する 第4課 P.17 I の語彙を確認する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第9回授業」の見直し 音楽の好みについて尋ね合う | 120 | 分 |
| No10 | Lecon 4 ・身の回りの物 ・～を持っているか Lecon 7 ・スポーツについて好みを言う | ・動詞 avoir 活用 「～を持っている」 「兄が一人います」 ・avoir の否定形 否定の de ☆ スポーツの好みについて尋ね合う | | |
| | 予習内容(時間) | HPで第4課の映像を見る | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|--|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第10回授業」の見直し 動詞 avoir の活用を覚える スポーツの好みを言えるようにする | 120 | 分 |
| No11 | Lecon 4 ・兄弟姉妹について言う ・Dialogue | ・様々な動詞 ・課題Ⅲ ☆ 週末何をするのが好きか尋ね合う | | |
| | Lecon 7 ・週末は何をするのが好きか言う | | | |
| | 予習内容(時間) | HPで第4課映像、音声 No.34 を聞く | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第11回授業」の見直し 週末何をするのが好きか、兄弟姉妹について言えるようにする | 120 | 分 |
| No12 | Lecon 4 ・年齢の言い方 ・兄弟姉妹について、年齢、職業、好み等を言う | ・疑問文 Est-ce que 「～ですか」 ・年齢の言い方 ☆ これまでの会話の復習 | | |
| | 予習内容(時間) | 口頭試験の為にこれまでの会話を見直す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コースパワーの授業資料添付「第12回授業」の見直し 年齢の言い方を復習する | 120 | 分 |
| No13 | 口頭試験 | 挨拶・自己紹介・好みを尋ね合う | | |
| | 予習内容(時間) | 本試験の為に、これまでの学習事項を見直す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 口頭試験で指摘された点を見直す 課題Ⅰ～Ⅲの見直し | 120 | 分 |
| No14 | Lecon 1～4, 7 学習事項の復習 | 練習問題 | | |
| | 予習内容(時間) | 試験の為に準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 全ての学習事項の復習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 中国語 I BE-A |
| 講義名(英字) | Chinese I |
| 担当教員 | 井上 良雄 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 日常会話の練習をします。初心者が対象ですから基礎知識は要りません。あまり文法的なことには深入りしないで、授業中はどんどん声を出して体で覚えてもらいます。中国語の学習を通して、中国文化や中国人の生活習慣に親しみ、国際的な視野を広げてほしいと思います。「聞く」授業ではなく、「参加する」授業です。 |
| | 中国語の基本構造と発音の概要を理解する。自分の名前の中国語発音を調べ、発表し、互いに呼び合えるようにする。 |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---------------------|---|---|-----|---|-----|---|
| 【到達目標】 | 学生生活のさまざまな場面での会話を想定して対話練習をする。 1分間程度の自己紹介スピーチを披露する。 | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 中国語に興味と関心があり、積極的に授業に参加できる学生。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 教科書に沿って解説を行い、発音の反復練習をする。一人ひとりの発音を指導・矯正し、発表する。各課に関連深いトピックスを【コラム】で紹介する。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 井上良雄(著)『中国語のチカラ』東京富士大学出版部、2013年 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 自分の名前の中国語発音を調べ、発表する。 | | 20% | 平常点評価70%、自己紹介スピーチ試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。 | | | | |
| | 授業中に指名し、聴解の正確性と積極的な参加意欲を評価。 | | 50% | | | | | |
| | 自己紹介スピーチ試験の完成度、パフォーマンスを評価。 | | 30% | | | | | |
| | 合計 | | 100% | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 座席は指定制です。 | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | 中国語の概観 | 共通語、文字、文の組み立てを解説する。日本語や他の言語との違いを理解し、中国語を学ぶことの意義を理解する。 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 中国語発音の暗唱。 | | | | 120 | 分 |
| | No2 | 発音について(1) | 音節、母音、子音、声調、ピンインについて解説する。中国語の発音システムの基本を理解し、これからの語学学習の土台作りをする。 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 中国語発音の暗唱。 | | | | 120 | 分 |
| | No3 | 発音について(2) | 百までの数、あいさつ言葉、身体の名詞、漢詩、名前、といった実際の単語、言葉の発音練習をする。中国語と日本語が語彙の面では多くの同意性があることを実感する。外国人(日本人を含む)の名前の中国語発音の仕組みを理解する。 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 中国語発音の暗唱。 | | | | 120 | 分 |
| | No4 | 第一課 知人と出会った時のあいさつの方 | 通常のあいさつ、目上の人の場合のあいさつを学習し、敬称について学ぶ。人称代名詞を整理する。「はじめまして」、「しばらくです」の言い方を紹介する。 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | | | | 120 | 分 |
| | No5 | 第二課 名前の聞き方、言い方 | 相手の年代による名前の聞き方の違い、苗字、下の名前、フルネームの聞き方、及び答え方を学ぶ。他の常用あいさつ言葉を練習する。中国と日本の苗字について紹介する。 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | | | | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------------------------|--|-----|---|
| No6 | 自分の名前の中国語発音を発表 | 辞書等で、自分の名前の中国語発音、漢字の意味・用例を調べ、レポートを提出する。一人ひとり板書の上、発表し、クラス全体で発音を共有する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の名前の中国語発音を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の名前(苗字、フルネーム)の言い方の暗唱。 | 120 | 分 |
| No7 | 第三課 家族の人数、家族構成 | 自分の家族の人数や家族構成を表現する。親族呼称・名称を発音練習する。 ”有”の文、数量の尋ね方、人や物を数える単位を学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No8 | 第四課 学生生活 | 科目名、学校名、専門、学年の言い方を学び、学生生活を表現する。”的”の用法、”是”の文を学習する。中国の大学事情を紹介する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No9 | 第五課 誕生日、年齢 | 月、日、曜日、西暦の言い方を学び、誕生日を表現する。世代別の年齢の聞き方、答え方を学習し対話練習をする。中国の少子高齢化について紹介する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No10 | 第六課 場所の尋ね方、 答え方 ～に住んでいる | 場所、国籍、住所地の言い方を学び、自分の現住所(仮設定)を発表する。 指示代名詞、場所や方向を示す言葉、r化を学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No11 | 第七課 ～が出来る、出来ない | スポーツ、語学等が出来るという表現を学習し、一人ひとり発表する。”会”、”可以”、”能”の例文から、日本語と中国語の「～出来る」の表現方法の違いを理解する。「肯定 + 否定」の疑問文を学習する。 「ガンバレ！」の中国語表現を紹介する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No12 | 第八課 自己紹介(前半) | 自己紹介のモデルパターンを学習する。～生まれの～育ち、学んでいる学校名の言い方を練習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No13 | 第八課 自己紹介(後半) | 自己紹介のモデルパターンを学習する。趣味の言い方、自己紹介の決まり文句、締め言葉の練習をする。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No14 | 自己紹介の実践 (試験準備対策) | 各人が作成した自己紹介文を添削し、表現・発音等の個人指導を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介文の作成。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介文の暗唱。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 中国語 I BE-D |
| 講義名(英字) | Chinese I |
| 担当教員 | 賽音吉雅 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 日常会話の練習をします。初心者が対象ですから基礎知識は要りません。あまり文法的なことには深入りしないで、授業中はどんだん声を出して体で覚えてもらいます。中国語の学習を通して、中国文化や中国人の生活習慣に親しみ、国際的な視野を広げてほしいと思います。「聞く」授業ではなく、「参加する」授業です。 |
| | 中国語の基本構造と発音の概要を理解する。自分の名前中国語発音を調べ、発表し、互いに呼び合えるようにする。 |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|----------------------|---|---|-----|---|-----|---|--|
| 【到達目標】 | 学生生活のさまざまな場面での会話を想定して対話練習をする。 1分間程度の自己紹介スピーチを披露する。 | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 中国語に興味と関心があり、積極的に授業に参加できる学生。 | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 教科書に沿って解説を行い、発音の反復練習をする。一人ひとりの発音を指導・矯正し、発表する。各課に関連深いトピックスを【コラム】で紹介する。 | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 井上良雄(著)『中国語のチカラ』東京富士大学出版部、2013年 | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | |
| | 自分の名前の中国語発音を調べ、発表する。 | | 20% | 平常点評価70%、自己紹介スピーチ試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。 | | | | | |
| | 授業中に指名し、聴解の正確性と積極的な参加意欲を評価。 | | 50% | | | | | | |
| | 自己紹介スピーチ試験の完成度、パフォーマンスを評価。 | | 30% | | | | | | |
| | 合計 | | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 座席は指定制です。 | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | |
| | No1 | 中国語の概観 | 共通語、文字、文の組み立てを解説する。日本語や他の言語との違いを理解し、中国語を学ぶことの意義を理解する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 中国語発音の暗唱。 | | | | 120 | 分 | |
| | No2 | 発音について(1) | 音節、母音、子音、声調、ピンインについて解説する。中国語の発音システムの基本を理解し、これからの語学学習の土台作りをする。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 中国語発音の暗唱。 | | | | 120 | 分 | |
| | No3 | 発音について(2) | 百までの数、あいさつ言葉、身体の名詞、漢詩、名前、といった実際の単語、言葉の発音練習をする。中国語と日本語が語彙の面では多くの同意性があることを実感する。外国人(日本人を含む)の名前の中国語発音の仕組みを理解する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 中国語発音の暗唱。 | | | | 120 | 分 | |
| | No4 | 第一課 知人と出会った時のあいさつのし方 | 通常のあいさつ、目上の人の場合のあいさつを学習し、敬称について学ぶ。人称代名詞を整理する。「はじめまして」、「しばらくです」の言い方を紹介する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | | | | 120 | 分 | |
| | No5 | 第二課 名前の聞き方、言い方 | 相手の年代による名前の聞き方の違い、苗字、下の名前、フルネームの聞き方、及び答え方を学ぶ。他の常用あいさつ言葉を練習する。中国と日本の苗字について紹介する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | | | | 120 | 分 | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------------------------|--|-----|---|
| No6 | 自分の名前の中国語発音を発表 | 辞書等で、自分の名前の中国語発音、漢字の意味・用例を調べ、レポートを提出する。一人ひとり板書の上、発表し、クラス全体で発音を共有する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の名前の中国語発音を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の名前(苗字、フルネーム)の言い方の暗唱。 | 120 | 分 |
| No7 | 第三課 家族の人数、家族構成 | 自分の家族の人数や家族構成を表現する。親族呼称・名称を発音練習する。 ”有”の文、数量の尋ね方、人や物を数える単位を学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No8 | 第四課 学生生活 | 科目名、学校名、専門、学年の言い方を学び、学生生活を表現する。”的”の用法、”是”の文を学習する。中国の大学事情を紹介する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No9 | 第五課 誕生日、年齢 | 月、日、曜日、西暦の言い方を学び、誕生日を表現する。世代別の年齢の聞き方、答え方を学習し対話練習をする。中国の少子高齢化について紹介する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No10 | 第六課 場所の尋ね方、 答え方 ～に住んでいる | 場所、国籍、住所地の言い方を学び、自分の現住所(仮設定)を発表する。 指示代名詞、場所や方向を示す言葉、r化を学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No11 | 第七課 ～が出来る、出来ない | スポーツ、語学等が出来るという表現を学習し、一人ひとり発表する。”会”、”可以”、”能”の例文から、日本語と中国語の「～出来る」の表現方法の違いを理解する。「肯定 + 否定」の疑問文を学習する。 「ガンバレ！」の中国語表現を紹介する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No12 | 第八課 自己紹介(前半) | 自己紹介のモデルパターンを学習する。～生まれの～育ち、学んでいる学校名の言い方を練習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No13 | 第八課 自己紹介(後半) | 自己紹介のモデルパターンを学習する。趣味の言い方、自己紹介の決まり文句、締め言葉の練習をする。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 【会話事例】の暗唱。 | 120 | 分 |
| No14 | 自己紹介の実践 (試験準備対策) | 各人が作成した自己紹介文を添削し、表現・発音等の個人指導を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介文の作成。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介文の暗唱。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 韓国語 I BE-A |
| 講義名(英字) | Korean I |
| 担当教員 | 黒澤 愛美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 言語はコミュニケーションの手段です。また、上手くコミュニケーションを取るには、単に言語を知っているだけでは不十分です。この授業は、韓国文化を理解し、韓国の人と上手にコミュニケーションが取れるようになることを目指します。韓国語の文字である「ハングル」の読み書きから始めて、それぞれの場面にふさわしい言葉遣いを身につけていきます。また、韓国の生活や習慣、マナーも同時に学びます。言語をはじめとする文化は、時代によって変わります。リアルな韓国語・韓国文化を楽しく学びましょう。 | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | ハングルの読み書きができる 基礎的な文を理解できる 簡単な自己紹介をすることができる | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | ・この授業は、韓国語を初めて学ぶ人を対象にします。 ・全ての授業に出席するつもりで履修してください。 ・毎回必ずテキストを持参してください。 | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | ・基本的にテキストに沿って進めます。 ・適宜日本語で解説します。 | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 木内明『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』国書刊行会、2013年。 | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td></td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| 自制力 | ○ | 思考力 | | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | |

| 標】 | 協働力 | 主張力 | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----------------------------|---------|------|--|-----|-----------------------|-----|-----------------------------|-----|-----------|------------------|--|--|----------|----------------------------|-----|---|----------|-----------|-----|---|-----|-------|--------------|--|--|----------|-----------|-----|---|----------|--------|-----|---|-----|-------|----------------|--|--|----------|-----------|-----|---|----------|----------|-----|---|-----|-------|-----------|--|--|----------|-----------|-----|---|----------|---------------------|-----|---|-----|------|--------------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|------------|-----|---|-----|------|--------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|------------|-----|---|-----|------|-----------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|------------|-----|---|-----|------|-----------|--|--|----------|----------------|-----|---|----------|----------------|-----|---|-----|------|----------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <tr> <th data-bbox="252 152 879 219">評価項目と割合</th> <th data-bbox="879 152 1546 219">評価方法</th> </tr> <tr> <td data-bbox="252 219 879 297">ほかの人が問題なく読めるハングルを書くことができ、また、ハングルを正しく発音することができる</td> <td data-bbox="879 219 1546 297">25%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 297 879 353">基礎的な文を読んだり聞いたりして理解できる</td> <td data-bbox="879 297 1546 353">50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 353 879 409">通じる発音で、趣味や専攻など、自分のことについて話せる</td> <td data-bbox="879 353 1546 409">25%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 409 879 488">合計</td> <td data-bbox="879 409 1546 488">100%</td> </tr> </table> | | 評価項目と割合 | 評価方法 | ほかの人が問題なく読めるハングルを書くことができ、また、ハングルを正しく発音することができる | 25% | 基礎的な文を読んだり聞いたりして理解できる | 50% | 通じる発音で、趣味や専攻など、自分のことについて話せる | 25% | 合計 | 100% | 3分の2以上の出席を前提として授業参加度25%、宿題25%、期末試験50%で評価します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ほかの人が問題なく読めるハングルを書くことができ、また、ハングルを正しく発音することができる | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基礎的な文を読んだり聞いたりして理解できる | 50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通じる発音で、趣味や専攻など、自分のことについて話せる | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <ul style="list-style-type: none"> ・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・パソコン、携帯電話の使用を禁止します。タブレットは使用方法によって許可する場合があります。 ・決して楽な授業ではありません。覚えることも多いです。それを踏まえて履修してください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業計画】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 638 343 694">週</th> <th data-bbox="343 638 603 694">テーマ</th> <th data-bbox="603 638 1396 694">学習内容</th> <th data-bbox="1396 638 1460 694"></th> <th data-bbox="1460 638 1546 694"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 694 343 862" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="343 694 603 750">イントロダクション</td> <td data-bbox="603 694 1396 750">韓国語／ハングルとは、基本の母音</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 750 603 806">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 750 1396 806">韓国や韓国語について、自分が知っていることを整理する</td> <td data-bbox="1396 750 1460 806">120</td> <td data-bbox="1460 750 1546 806">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 806 603 862">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 806 1396 862">基本の母音を覚える</td> <td data-bbox="1396 806 1460 862">120</td> <td data-bbox="1460 806 1546 862">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 862 343 1030" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="343 862 603 918">文字、発音</td> <td data-bbox="603 862 1396 918">子音、日本の地名の書き方</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 918 603 974">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 918 1396 974">テキストに目を通す</td> <td data-bbox="1396 918 1460 974">120</td> <td data-bbox="1460 918 1546 974">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 974 603 1030">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 974 1396 1030">子音を覚える</td> <td data-bbox="1396 974 1460 1030">120</td> <td data-bbox="1460 974 1546 1030">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1030 343 1198" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="343 1030 603 1086">文字、発音</td> <td data-bbox="603 1030 1396 1086">パッチム、自分の名前の書き方</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1086 603 1142">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1086 1396 1142">テキストに目を通す</td> <td data-bbox="1396 1086 1460 1142">120</td> <td data-bbox="1460 1086 1546 1142">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1142 603 1198">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1142 1396 1198">パッチムを覚える</td> <td data-bbox="1396 1142 1460 1198">120</td> <td data-bbox="1460 1142 1546 1198">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1198 343 1366" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="343 1198 603 1254">文字、発音</td> <td data-bbox="603 1198 1396 1254">複合母音、あいさつ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1254 603 1310">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1254 1396 1310">テキストに目を通す</td> <td data-bbox="1396 1254 1460 1310">120</td> <td data-bbox="1460 1254 1546 1310">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1310 603 1366">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1310 1396 1366">自分の名前をハングルで書けるようにする</td> <td data-bbox="1396 1310 1460 1366">120</td> <td data-bbox="1460 1310 1546 1366">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1366 343 1534" rowspan="3">No5</td> <td data-bbox="343 1366 603 1422">肯定表現</td> <td data-bbox="603 1366 1396 1422">第1課 ～は、～です(韓国の初対面の人との会話)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1422 603 1478">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1422 1396 1478">本文の発音練習をし、わからないところを明確にする</td> <td data-bbox="1396 1422 1460 1478">120</td> <td data-bbox="1460 1422 1546 1478">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1478 603 1534">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1478 1396 1534">練習問題、単語の暗記</td> <td data-bbox="1396 1478 1460 1534">120</td> <td data-bbox="1460 1478 1546 1534">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1534 343 1702" rowspan="3">No6</td> <td data-bbox="343 1534 603 1590">疑問表現</td> <td data-bbox="603 1534 1396 1590">第2課 ～が、～ですか(韓国の地域)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1590 603 1646">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1590 1396 1646">本文の発音練習をし、わからないところを明確にする</td> <td data-bbox="1396 1590 1460 1646">120</td> <td data-bbox="1460 1590 1546 1646">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1646 603 1702">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1646 1396 1702">練習問題、単語の暗記</td> <td data-bbox="1396 1646 1460 1702">120</td> <td data-bbox="1460 1646 1546 1702">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1702 343 1870" rowspan="3">No7</td> <td data-bbox="343 1702 603 1758">否定表現</td> <td data-bbox="603 1702 1396 1758">第3課 ～ではありません(韓国の学生生活)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1758 603 1814">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1758 1396 1814">本文の発音練習をし、わからないところを明確にする</td> <td data-bbox="1396 1758 1460 1814">120</td> <td data-bbox="1460 1758 1546 1814">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1814 603 1870">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1814 1396 1870">練習問題、単語の暗記</td> <td data-bbox="1396 1814 1460 1870">120</td> <td data-bbox="1460 1814 1546 1870">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1870 343 2038" rowspan="3">No8</td> <td data-bbox="343 1870 603 1926">音読練習</td> <td data-bbox="603 1870 1396 1926">第1課～第3課本文</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1926 603 1982">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1926 1396 1982">第1課～第3課本文の音読練習</td> <td data-bbox="1396 1926 1460 1982">120</td> <td data-bbox="1460 1926 1546 1982">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1982 603 2038">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 1982 1396 2038">第1課～第3課本文の音読練習</td> <td data-bbox="1396 1982 1460 2038">120</td> <td data-bbox="1460 1982 1546 2038">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 2038 343 2136" rowspan="2">No9</td> <td data-bbox="343 2038 603 2094">存在表現</td> <td data-bbox="603 2038 1396 2094">第4課 あります、ありません(韓国映画)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 2094 603 2136">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="603 2094 1396 2136">本文の発音練習をし、わからないところを明確にする</td> <td data-bbox="1396 2094 1460 2136">120</td> <td data-bbox="1460 2094 1546 2136">分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | イントロダクション | 韓国語／ハングルとは、基本の母音 | | | 予習内容(時間) | 韓国や韓国語について、自分が知っていることを整理する | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 基本の母音を覚える | 120 | 分 | No2 | 文字、発音 | 子音、日本の地名の書き方 | | | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 子音を覚える | 120 | 分 | No3 | 文字、発音 | パッチム、自分の名前の書き方 | | | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 | 復習内容(時間) | パッチムを覚える | 120 | 分 | No4 | 文字、発音 | 複合母音、あいさつ | | | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 自分の名前をハングルで書けるようにする | 120 | 分 | No5 | 肯定表現 | 第1課 ～は、～です(韓国の初対面の人との会話) | | | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | No6 | 疑問表現 | 第2課 ～が、～ですか(韓国の地域) | | | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | No7 | 否定表現 | 第3課 ～ではありません(韓国の学生生活) | | | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | No8 | 音読練習 | 第1課～第3課本文 | | | 予習内容(時間) | 第1課～第3課本文の音読練習 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 第1課～第3課本文の音読練習 | 120 | 分 | No9 | 存在表現 | 第4課 あります、ありません(韓国映画) | | | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | イントロダクション | 韓国語／ハングルとは、基本の母音 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 韓国や韓国語について、自分が知っていることを整理する | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 基本の母音を覚える | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 文字、発音 | 子音、日本の地名の書き方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 子音を覚える | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 文字、発音 | パッチム、自分の名前の書き方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | パッチムを覚える | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 文字、発音 | 複合母音、あいさつ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 自分の名前をハングルで書けるようにする | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 肯定表現 | 第1課 ～は、～です(韓国の初対面の人との会話) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 疑問表現 | 第2課 ～が、～ですか(韓国の地域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No7 | 否定表現 | 第3課 ～ではありません(韓国の学生生活) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No8 | 音読練習 | 第1課～第3課本文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 第1課～第3課本文の音読練習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第1課～第3課本文の音読練習 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No9 | 存在表現 | 第4課 あります、ありません(韓国映画) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------|----------|---------------------------|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No10 | 動作表現 | 第5課 します、しますか(韓国人の趣味活動) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No11 | 丁寧な語尾の形 | 第6課 あります/しますのヨ体(韓国の社会人生活) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No12 | 丁寧な語尾の形 | 第7課 ~です/ますのムニダ体(韓国の交通手段) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No13 | 丁寧な語尾の形 | 第8課 ~です/ますのヨ体(韓国の食文化) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No14 | 自己紹介 | 趣味や専攻など、自分のことについて話す | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介の練習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介の練習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 健康と運動 I BE-A |
| 講義名(英字) | Health and Sports I |
| 担当教員 | 井上 航人 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | ◇講義では、運動が身体に及ぼす影響や効果をはじめ、生活習慣・栄養・トレーニング・スポーツの持つ意義等々、社会生活に必要な健康安全の知識及び能力について関心と理解を深める。 ◇実技では、バドミントン、バスケットボール等のゲームを中心に、集団生活の体験と、公共心の大切さを会得させ、生涯にわたって楽しく豊かな生活ができるよう、運動実践の能力や態度を育成する。 |
| | ◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を有すること |

| 【到達目標】 | ◇運動の実践を通して、思考力・判断力・表現力およびコミュニケーション能力を身に付けて行動ができる ◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-----|------|---------|------|--|-----------|--|-----|--|----------|-----------------------------------|------|--|----------|------------------------------|----|---|-----|---------------------------|---|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|----------|------------------------------|----|---|-----|--------------|---|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|----------|------------------------------|----|---|-----|--------------|---|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|----------|------------------------------|----|---|-----|--------------|---|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|----------|------------------------------|----|---|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | ◇二上講堂5Fフジアリーナにて、実技の授業を実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて都度配布をする | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的にとることができる</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>講義後、提出されたレポート課題によって評価。 健康の三原則や身体活動の必要性、また、日本全体で取り組んでいる生活習慣病の理解と、その予防についての知識を有すること</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる | 30% | 授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的にとることができる | 30% | 講義後、提出されたレポート課題によって評価。 健康の三原則や身体活動の必要性、また、日本全体で取り組んでいる生活習慣病の理解と、その予防についての知識を有すること | 40% | 合計 | 100% | 70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的にとることができる | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講義後、提出されたレポート課題によって評価。 健康の三原則や身体活動の必要性、また、日本全体で取り組んでいる生活習慣病の理解と、その予防についての知識を有すること | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇学内に個人ロッカー設備がないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること ◇70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業方針・評価について</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて</td> <td>履修学生との関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ボッチャ」を実施する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>実技(ネット型スポーツ)</td> <td>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>実技(ネット型スポーツ)</td> <td>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>実技(ネット型スポーツ)</td> <td>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td>60</td> <td>分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | オリエンテーション | 授業方針・評価について | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No2 | チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて | 履修学生との関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ボッチャ」を実施する | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No3 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)① | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No4 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)② | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No5 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)③ | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | オリエンテーション | 授業方針・評価について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて | 履修学生との関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ボッチャ」を実施する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--------------|---|----|---|
| No6 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン① | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No7 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン② | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No8 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン③ | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No9 | 体力年齢テスト | 自身に年齢相応の体力があるのかを簡単な測定により知り、今後の学修目標の参考にする | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No10 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット① | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No11 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット② | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No12 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット③ バスケットボール① | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No13 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール② | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No14 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール③ | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 健康と運動 I BE-D |
| 講義名(英字) | Health and Sports I |
| 担当教員 | 田島 外志美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 講義では、運動が身体におよぼす基本的な影響と効果の理解を深め、運動の必要性を学ぶ、さらに、近年若者に増加している性感染症などの疾病の理解と、予防するための知識を学ぶ。学んだ内容を論理的に整理し、レポート作成スキルの習得を目指す。実技では体力トレーニングやストレッチの他、生涯にわたって手軽に継続できる運動を中心に実施する。同時に豊かな情操をもち、高度な社会生活に適応できる人間の育成を目指し、協力・コミュニケーションを促す種目を選択し、実践する。実技で身体を動かすだけでなく、講義において運動の必要性の理解を深めることも大切なポイントとしている。 |
| | ◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を習得する |

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------------|---|----|------|--|-----|---|--|--|--|
| 【到達目標】 | ◇運動実践を通して、多様な価値観を共有し、お互いの成長に携わる行動ができる ◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者 | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | ◇グループは固定せず、授業ごとに変更ことを基本とする ◇履修学生の状況に合わせて、ルールや道具を変更し、より多くの学生が運動を楽しめるよう工夫する | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて度配布や配信をする | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | | 評価方法 | | | | | | |
| | 講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること | | | | 40% | 70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価 | | | | | |
| | 実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること | | | | 30% | | | | | | |
| | 実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。 | | | | 30% | | | | | | |
| | 合計 | | | | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇学内に個人ロッカーがないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇新型コロナウイルス等の感染状況、履修人数によって、実技種目を変更する可能性がある | | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | |
| | No1 | オリエンテーション | ・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)健康の三原則(栄養・運動・休養)について 2)性感染症(STD・STI)の現状と予防法について | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。 | 60 | 分 | | | | | | |
| | No2 | チームビルディングとアダプテッド・スポーツ | チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法です。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 スポーツ競技ではなく、色んな方が楽しめるアダプテッド・スポーツの一つである「ボッチャ」を題材に履修者の関係構築を目指す。 | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | アダプテッド・スポーツのボッチャについて事前学習を進めること | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | No3 | ネット型スポーツ① | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)① | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 卓球(ラージボール)の基本的技術に関する学習を進める | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | No4 | ネット型スポーツ② | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)② | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 卓球(ラージボール)のシングルの戦術に関する学習を進める | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | | ネット型スポーツ③ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)③ | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------|----------|---|--|----|---|--|
| 【授業計画】 | No5 | 予習内容(時間) | 卓球(ラージボール)のダブルスの戦術に関する学習を進める | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| | No6 | 小集団のネット型スポーツ④ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン① | | | |
| | | 予習内容(時間) | バドミントンの基本的技術・フットワークに関する学習を進める | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| | No7 | ネット型スポーツ⑤ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン② | | | |
| | | 予習内容(時間) | バドミントン(ダブルス)のルールに関する学習を進める | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| | No8 | ネット型スポーツ⑥ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン③ | | | |
| | | 予習内容(時間) | バドミントン(ダブルス)のルールに関する学習を進める | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| | No9 | 体力年齢テスト | 自身の体力は年齢相応なのだろうか。筋力、瞬発力、敏捷性などの簡単な測定に挑戦します。年齢相応の体力があるかを測り、今後の学修目標の参考にします。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | |
| | No10 | 集団型スポーツ① | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット① | | | |
| | | 予習内容(時間) | アルティメット競技の特徴、基本技術に関する学習を進める | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| | No11 | 集団型スポーツ② | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット② | | | |
| | | 予習内容(時間) | アルティメット競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める | 60 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | |
| No12 | 集団型スポーツ③ | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット③ バスケットボール① | | | | |
| | 予習内容(時間) | アルティメット競技の戦術、バスケットボール競技の特徴、基本技術の学習を進める | 60 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | |
| No13 | 集団型スポーツ④ | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール② | | | | |
| | 予習内容(時間) | バスケットボール競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める | 60 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | |
| No14 | 集団型スポーツ⑤ | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール③ | | | | |
| | 予習内容(時間) | バスケットボール競技の戦術に関する学習を進める | 60 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | |

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 健康と運動Ⅲ BE-A |
| 講義名(英字) | Health and Sports III |
| 担当教員 | 井上 航人 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | ◇講義では、運動が身体に及ぼす影響や効果をはじめ、生活習慣・栄養・トレーニング・スポーツの持つ意義等々、社会生活に必要な健康安全の知識及び能力について関心と理解を深める。 ◇実技では、バドミントン、バスケットボール等のゲームを中心に、集団生活の体験と、公共心の大切さを会得させ、生涯にわたって楽しく豊かな生活ができるよう、運動実践の能力や態度を育成する。 |
| | ◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を有すること |

| 【到達目標】 | ◇運動の実践を通して、思考力・判断力・表現力およびコミュニケーション能力を身に付けて行動ができる ◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-----|---|-----|---------|-----|------|--|-----|--|--|-------------|---|-----|-----|----------|-----------------------------------|----|---|----------|------------------------------|----|---|-----|---------------------------|--|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|--|----------|------------------------------|----|---|-----|--------------|---|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|--|----------|------------------------------|----|---|-----|--------------|---|--|--|----------|-----------------------------------|----|---|--|----------|------------------------------|----|---|--|--------------|---|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | ◇二上講堂5Fフジアリーナにて、実技の授業を実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、必要に応じて都度配布をする | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">評価項目と割合</th> <th style="width:10%;">割合</th> <th style="width:30%;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる</td> <td style="text-align: center;">30%</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価</td> </tr> <tr> <td>授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的にとることができる</td> <td style="text-align: center;">30%</td> </tr> <tr> <td>講義後、提出されたレポート課題によって評価。 スポーツ文化への理解と、スポーツの世界で社会問題となっている事柄についての知識と理解を深め、自身の考えを有すること</td> <td style="text-align: center;">40%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | 実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる | 30% | 70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価 | 授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的にとることができる | 30% | 講義後、提出されたレポート課題によって評価。 スポーツ文化への理解と、スポーツの世界で社会問題となっている事柄についての知識と理解を深め、自身の考えを有すること | 40% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる | 30% | 70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的にとることができる | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講義後、提出されたレポート課題によって評価。 スポーツ文化への理解と、スポーツの世界で社会問題となっている事柄についての知識と理解を深め、自身の考えを有すること | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇学内に個人ロッカー設備がないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること ◇70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">週</th> <th style="width:30%;">テーマ</th> <th style="width:45%;">学習内容</th> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業方針・評価について</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No1</td> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No2</td> <td>チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて</td> <td>履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ポッチャ」を実施する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No3</td> <td>実技(ネット型スポーツ)</td> <td>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No4</td> <td>実技(ネット型スポーツ)</td> <td>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復習内容(時間)</td> <td>日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実技(ネット型スポーツ)</td> <td>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球③</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | オリエンテーション | 授業方針・評価について | | | No1 | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No2 | チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて | 履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ポッチャ」を実施する | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No3 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球① | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | No4 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球② | | | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球③ | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | オリエンテーション | 授業方針・評価について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて | 履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ポッチャ」を実施する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--------------|--|----|---|
| No5 | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No6 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン① | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No7 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン② | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No8 | 実技(ネット型スポーツ) | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン③ | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No9 | 体力年齢テスト | 自身に年齢相応の体力があるのかを簡単な測定により知り、今後の学修目標の参考にする | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No10 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める アルティメット① | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No11 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める アルティメット② | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No12 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める アルティメット③ バスケットボール① | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No13 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める バスケットボール② | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No14 | 実技(集団型スポーツ) | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める バスケットボール③ | | |
| | 予習内容(時間) | 70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと | 60 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 健康と運動Ⅲ BE-C |
| 講義名(英字) | Health and Sports III |
| 担当教員 | 田島 外志美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 1 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 講義では、運動が身体におよぼす基本的な影響と効果の理解を深め、運動の必要性を学ぶ。さらに、スポーツによる傷害(外傷・障害)の現状を理解し、傷害の起こしにくい「からだ作り」、予防するための知識を学ぶ。学んだ内容を論理的に整理し、レポート作成スキルの習得を目指す。実技では体カトレーニングやストレッチの他、生涯にわたって手軽に継続できる運動を中心に実施する。同時に豊かな情操をもち、高度な社会生活に適応できる人間の育成を目指し、協力・コミュニケーションを促す種目を選択し、実践する。実技で身体を動かすだけでなく、講義において運動の必要性の理解を深めることも大切なポイントとしている。 |
| | ◇運動による傷害の対処法を学び、QOLの向上につなげる運動方法について習得する |

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------|--|----|------|--|-----|---|--|--|--|
| 【到達目標】 | <p>◇運動実践を通して、多様な価値観を共有し、お互いの成長に携わる行動ができる</p> <p>◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる</p> | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>◇授業方針・ルール・マナーを守れる者</p> <p>◇室内履き・運動着の準備ができる者</p> | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>◇グループは固定せず、授業ごとに変更ことを基本とする</p> <p>◇履修学生の状況に合わせて、ルールや道具を変更し、より多くの学生が運動を楽しめるよう工夫する</p> | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて配布や配信をする</p> | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | | 評価方法 | | | | | | |
| | 講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること | | | | 40% | 70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価 | | | | | |
| | 実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること | | | | 30% | | | | | | |
| | 実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。 | | | | 30% | | | | | | |
| | 合計 | | | | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>◇学内に個人ロッカーがないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること</p> <p>◇新型コロナウイルス等の感染状況、履修人数によって、実技種目を変更する可能性がある</p> | | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | |
| | No1 | オリエンテーション | <p>・授業方針・評価について</p> <p>・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定</p> <p>・レポート課題に向けての講義</p> <p>1)スポーツ傷害(外傷・障害)の予防法について</p> <p>2)体カトレーニングの必要性について</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。 | 60 | 分 | | | | | | |
| | No2 | チームビルディングとアダプテッド・スポーツ | <p>チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法です。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。</p> <p>スポーツ競技ではなく、色んな方が楽しめるアダプテッド・スポーツの一つである「ポッチャ」を題材に履修者の関係構築を目指す。</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | アダプテッド・スポーツのポッチャの基本技術や重度四肢麻痺者について学習を進める | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | No3 | ネット型スポーツ① | <p>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントン題材に学ぶ</p> <p>また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める</p> <p>卓球①</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 卓球(ラージボール)の基本的技術・戦術に関する学習を進める | 60 | 分 | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 | | | | | | |
| | No4 | ネット型スポーツ② | <p>小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントン題材に学ぶ</p> <p>また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める</p> <p>卓球②</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | ラージボールと硬球の違いに関する学習を進める | 60 | 分 | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------|---|----|---|
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No5 | ネット型スポーツ③ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球③ | | |
| | 予習内容(時間) | レベル差のある履修生同士がともに楽しめるルールの工夫に関する学習を進める | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No6 | ネット型スポーツ④ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン① | | |
| | 予習内容(時間) | 基本的技術・フットワークに関して学習を進め、道具の違いによる効果について調べる | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No7 | ネット型スポーツ⑤ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン② | | |
| | 予習内容(時間) | バドミントンの正式ルールに関する学習を進める | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No8 | ネット型スポーツ⑥ | 小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン③ | | |
| | 予習内容(時間) | バドミントンに近い、クロスミントンについて学習を進める | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No9 | 体力年齢テスト | 自身の体力は年齢相応なのだろうか。筋力、瞬発力、敏捷性などの簡単な測定に挑戦します。年齢相応の体力があるかを測り、今後の学修目標の参考にします。 | | |
| | 予習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること | 60 | 分 |
| No10 | 集団型スポーツ① | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める アルティメット① | | |
| | 予習内容(時間) | アルティメット競技の正式ルール、基本技術に関する学習を進める | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No11 | 集団型スポーツ② | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める アルティメット② | | |
| | 予習内容(時間) | アルティメット競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| No12 | 集団型スポーツ③ | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める アルティメット③ バスケットボール① | | |
| | 予習内容(時間) | アルティメット競技の戦術、バスケットボールと3×3競技の違いについて学習を進める | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 | 分 |
| | 集団型スポーツ④ | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを選択材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める | | |

| | | | | |
|--|------|-----------------|---|------|
| | No13 | バスケットボール(3×3)へ② | | |
| | | 予習内容(時間) | バスケットボール(3×3)競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める | 60 分 |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 分 |
| | No14 | 集団型スポーツ⑤ | 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める | |
| | | 予習内容(時間) | バスケットボール(3×3)競技の戦術に関する学習を進める | 60 分 |
| | | 復習内容(時間) | 体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること | 60 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 社会学 I BE-A |
| 講義名(英字) | Sociology I |
| 担当教員 | 難波 俊樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|-----|--|-----|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。春学期は、ネット社会、コミュニケーション、テクノロジー、個人の権利やプライバシーを中心とします。また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 社会への理解を深める: 自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。 社会を多面的にとらえる: クリティカルシンキングができる。 基礎知識の習得: 社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義: 70% グループワーク: 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|-----------------|------|---|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 定期試験 | 60% | 定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 基本的にはグループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合があります。 | |
| | グループワークへの取り組み状況 | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|----------------------|--|-----|---|
| No1 | 全体ガイダンス: 視点を持つことの重要性 | どのような姿勢、準備でこの講義に取り組んでいただきたいか。 自分の視点を持つことの重要性。 観察することの重要性。 社会学とは何か？ | | |
| | 予習内容(時間) | 「社会学」に対する自分なりの考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No2 | 思考の練習 | 社会学を学ぶにあたって、 ・知識とは何か？ ・事実とは何か？ ・様々な思考法 についてのワークショップを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「社会学」に対する考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No3 | インターネットで社会はどう変化したか？ | Beforeインターネット社会とAfterインターネット社会はどのように変化したのか。ビジネスのありかた、社会のありかた、個人のありかたまで変えてしまった、この変化を考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | SNSのメリットデメリットについて考察しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No4 | テクノロジーと社会 | インターネット以外にも、社会を大きく変えたテクノロジーがある。また、その変化は社会や人間にプラスの変化だけではなく、マイナスの変化ももたらした。 いくつかのその変革を功罪両方の側面から考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 社会を変えたテクノロジーについての下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No5 | 「個」と「公」 | 民主主義の成立からこれまでの経緯を踏まえて現在の民主主義が抱える課題やジレンマを考察し、成熟社会日本のこれからの時代の個人と社会の関係性を考える。 【キーワード】 ・well-being ・ダイバーシティ ・プライバシー | | |
| | 予習内容(時間) | 民主主義と様々な制度についての下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No6 | データから世界を眺める | 私たちが知っている「世界」は果たして真実か。実際のデータをもとに、自分たちの認識が正しかったか、正しくなかったかを検証する。 現在の社会をデータを通じて理解を深める。 【キーワード】 ・南北格差 ・富の集中 ・分断 | | |
| | 予習内容(時間) | 前時に指定した課題に取り組む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No7 | ビッグデータとは何か | ビッグデータについての概説から、実際のビジネスでどのようにビッグデータが活用されているかのケーススタディを行う。 【キーワード】 ・データ倫理 ・データ活用ビジネス ・ポイントカード | | |

| | | | | | |
|----------|----------|-----------------------|---|-----|---|
| 【授業計画】 | | ・人流 | | | |
| | 予習内容(時間) | ビッグデータ活用ビジネスに関する下調べ | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 65 | 分 | |
| | No8 | AIと社会を考える | 急速に発展し、実社会での活用が進む人工知能。これからのビジネスではさらに人工知能を活用することが求められる。本講義では技術的側面とビジネス的側面の双方から人工知能を考える。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 人工知能がビジネスに活用されている事例に関する下調べ | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| | No9 | 情報社会論① | 世界で流れている様々なフェイクニュースを通して以下の事象について考察する。 ・「真実」とは何か？ ・情報の発信には様々な意図があること。 ・人はなぜフェイクニュースを信じるのか？ ・人の認知にあるひずみ。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| | No10 | 情報社会論② | 都市伝説について実例を取り上げ、それらが流布される背景を考察する。 【キーワード】 ・都市化 ・ネットロア | | |
| | | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| | No11 | 情報社会論③ | ウクライナ戦争では当事者国の双方が虚々実々の情報戦争を仕掛けていた。ネット上の様々なフェイク情報の分析を通して、人はなぜフェイクニュースを信じるかを考察する。 【キーワード】 ・情報戦争 ・ディープフェイク ・ファクトチェック | | |
| | | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| | No12 | 情報社会論④ | なぜデマが生まれるのか、そしてそれが広まっていくのか。歴史的な「デマ」事件を取り上げ、心理学・社会学な考察を行う。 【キーワード】 ・デマ ・情報の拡散 ・エセ科学／疑似科学 | | |
| | | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| | No13 | ワークショップ① | これまでの講義内容をふまえて、少人数グループに分かれ、テーマを設定し、発表資料を作成する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | ワークショップのための下調べ(前時に指示します) | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | 発表のための準備 | 120 | 分 | |
| No14 | ワークショップ② | ワークショップ①で作成した資料を発表する。 | | | |
| | 予習内容(時間) | 発表のための準備(前時に指示します) | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 発表の振り返り | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 法学 I (憲法を含む) BE-A |
| 講義名(英字) | Law I |
| 担当教員 | 外山 美砂子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>法を学ぶことは、社会を法というルールを通して見直すことです。法というルールが、この社会の中で果たす役割について見ていくことにより、社会の仕組みやあり方についての理解を深めることができます。これを本授業の目的とします。</p> <p>そこで、法の内容・法源といった法学の基礎を踏まえたうえで、わが国の最高法規である憲法を中心に諸法律を概観します。その際、さまざまな事例に触れることによって、どの法律が適用され、どのように解釈されるのかを考察します。</p> |
| | <p>法に対する関心を持ち、法が私たちの社会生活にどう関わっているかを理解する。</p> |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|--|-------------------------------|-----|--|-----|---|--|
| 【到達目標】 | 憲法を中心とする様々な法を理解することにより、法的なものの考え方を身につける。 世の中で起きている様々な問題に対し、法がどのように対処するか説明できる。 | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | とくになし。 | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 授業は講義形式とします。法律が少しでも身近なものとなり、なおかつ理解が深められるよう、最近起きた関連する事件なども紹介していきます。 | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書 使用せず。 参考書 佐伯仁志ほか編『ポケット六法・令和5年版』有斐閣、2022年 伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門（第4版）』有斐閣、2005年 | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | |
| | 法と社会生活の関わりについてミニレポートで評価 | | 20 | 3分の2以上の出席。授業内のミニレポート20%、試験80% | | | | | |
| | 憲法など様々な法の理解について試験で評価 | | 40 | | | | | | |
| | 世の中の問題への法の対処について本試験で評価 | | 40 | | | | | | |
| | 合計 | | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | とくになし。 | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | |
| | No1 | イントロダクション、法とは何か | この講義で扱う内容、講義の進め方、評価方法について説明する。そして、「法とは何か」、「法学とは何か」というテーマについて講義する。前者は、規範や秩序について考え、後者は、法文をどのように解釈するか考える。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスを読んでおき、法とは何か自分で調べてみる。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 規範という語を用いて、法についての考えをまとめる。 | | | | 120 | 分 | |
| | No2 | 裁判制度 | 裁判所はどのような場合に利用できるか、裁判手続にはどのような種類があるか、裁判制度の担い手にはどのようなものがあるか等について説明し、民事裁判・刑事裁判の概要を講義する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 裁判制度について自分の疑問点をまとめておく。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 民事裁判・刑事裁判の違いを理解し、自分でまとめる。 | | | | 120 | 分 | |
| | No3 | 憲法－日本国憲法とは、天皇制 | 憲法とは何か、憲法が私たちの生活にどのように関係するのか、という問題を考えるために、日本国憲法の基本原理と構造について講義する。そして、日本国憲法に明記されている「象徴」としての天皇についても説明する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 高校までに学んだ憲法の知識についてふりかえる。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 象徴としての天皇について整理し、まとめる。 | | | | 120 | 分 | |
| | No4 | 憲法－人権の制限、信教の自由 | 日本国憲法がどのような場合に国民の人権を制限するのか、事例を挙げながら説明する。さらに、世界では非常に重要な役割を果たしている信教の自由について、政教分離の原則を中心に講義する。 | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 靖国神社の参拝について問題点をまとめておく。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 新教の自由と政教分離の原則についてまとめる。 | | | | 120 | 分 | |
| | | 憲法－表現の自由、学問 | 日本国憲法によって保障されるようになった表現の自由や「知る権利」について講義し、プライバシー権や肖像権について | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------|--|-----|---|
| No5 | の自由 | ても説明する。そして、「学問の自由」として保障されている教育を受ける権利について講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 学問の自由と義務教育について問題点をまとめておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | SNSと表現の自由について自分の考えをまとめる。 | 120 | 分 |
| No6 | 憲法一婚姻の自由と勤労の自由 | 婚姻の自由とその制約について、男女平等に関わる問題(再婚禁止期間など)について講義する。それから、日本国憲法において「働く」行為はどのように捉えられているか、法の下での平等はどのように実現されているか、説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 男女平等の問題について疑問点をまとめておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 「生存権」について今後の課題についてまとめる。 | 120 | 分 |
| No7 | 憲法一立法、行政 | 三権分立にしたがって国家権力を機能させていくわが国の仕組みのうち、「立法」と「行政」について説明する。立法では両院制や国会議員について、行政では内閣のトップに位置する内閣総理大臣を中心に、講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 三権分立について、これまで勉強してきたことを整理する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 内閣総理大臣の役割について自分でまとめる。 | 120 | 分 |
| No8 | 憲法一司法、地方自治 | 三権分立の「司法」について、裁判官の権利と役割を中心に説明する。そして、戦後、日本国憲法に明記された「地方自治」の必要性について講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 裁判員制度について、自分の知っていることを整理しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | わが国の司法(裁判員制度を含む)についてまとめる。 | 120 | 分 |
| No9 | 憲法一憲法9条、憲法改正手続 | 日本は憲法前文に平和主義を謳い、憲法9条に戦争放棄が規定されているが、その持つ意味と自衛隊の位置づけについて講義する。そして、制定以来、一度も憲法が改正されていない状態について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 戦争放棄について、自分の疑問点をまとめておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 憲法9条の問題と今後の憲法改正について考えをまとめる。 | 120 | 分 |
| No10 | 民法一保証の問題 | 数ある民法のテーマから保証の問題を講義する。個人保証人の保護は、2020年施行の改正債権法でも取り上げられた。保証の意義とその種類、個人保証人を保護する理由、個人保証人保護の光と影について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 保証人の保護についてその内容を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 個人保証人を保護することについて自分の考えをまとめる。 | 120 | 分 |
| No11 | 刑事法一刑法と厳罰化の問題 | 刑法は、他の法律と異なり、これに違反すれば制裁として刑罰が科される。日本には死刑制度も存在する。そこで、犯罪と刑罰に関する基礎知識を得て、刑法の特徴を把握できるように講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 日本の刑罰について調べ、疑問点を整理しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 死刑を含め、日本の刑罰は今後どうあるべきかまとめる。 | 120 | 分 |
| No12 | 行政法一感染症対策 | 2019年末から流行している新型コロナウイルス感染症。わが国での感染症対策は様々な法令によってなされており、そのほとんどが行政法に含まれる。感染症対策を通して、行政法の基本的な考え方を説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | わが国の感染症対策について調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 行政法の特徴、役割についてまとめる。 | 120 | 分 |
| No13 | 社会保障法一医療保障 | 医療保障のしくみを通して、社会法の役割と機能を説明する。国家による医療の保障が、日本では保健医療制度によって実現され、この制度のもとで平等な医療が受けられている。ここでは混合診療の問題にも触れる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 日本の医療制度について知っていることを整理しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 医療保障のしくみについて、問題点も含めまとめる。 | 120 | 分 |

| | | | | |
|--|-----------------------|---|-----|---|
| | 知的財産法 －著作権法 の課題 | 知的財産法は、人が作り出したものが生み出され、世の中に送り出され、享受される過程に関係する。なかでも著作権法は、インターネットを利用する私たちに関りが多い。ここでは「ダウンロード違法化」について触れながら、著作権法の課題について説明する。 | | |
| | No14 予習内容(時間) | インターネットでダウンロードする行為の問題点を考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 著作権法を通してダウンロード違法化についてまとめる。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 法学 I (憲法を含む) BE-C |
| 講義名(英字) | Law I |
| 担当教員 | 長岐 郁也 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 初めて法律学を学ぶ学生諸君に法律学に対する興味や関心を持ってもらい、基本的な法原則・法概念、そして法の適用(解釈)などを習得してもらおうことが本講義の目的である。法律学は、初めて勉強する人にとっては取っ付きにくい学問であり、勉強の最初の段階で違和感や苦手意識を感じてしまう学生も多い。そこで本講義では、いくつかの身近で具体的な事例を出発点として法の基礎知識を学ぶとともに、法の解釈とはどのようなものかを学生諸君と考えていくこととしたい。 |
| | 法律学に対する興味・関心を持つこと |

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|-----|---|------|
| 【到達目標】 | 憲法を中心とした法体系を理解すること 法に与えられている役割を理解すること | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特になし。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 教科書だけでなく、適宜レジュメを配布して講義を行う。 | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 生駒正文・高田富男編・ガイドブック法学〔改訂版〕(嵯峨野書院、2022年) | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 定期試験 100% 合計 100% | | 評価方法 定期試験で成績評価を行う。 | | | |
| 【その他の注意事項】 | 講義中の私語は厳禁とする。 | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | |
| | No1 | 法学の基礎知識と日本国憲法(統治機構論) 予習内容(時間) 復習内容(時間) | 法と法律の役割と体系、裁判手続き及び日本国憲法における統治機構のひとつである国会について学習する。 教科書第1章(1～10頁)及び第2章(11～17頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | | | 120分 |
| | No2 | 日本国憲法(統治機構論) 予習内容(時間) 復習内容(時間) | 日本国憲法における統治機構のうち、内閣と裁判所について学習する。 教科書第2章(18～27頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | | | 120分 |
| | No3 | 日本国憲法(選挙と地方自治) 予習内容(時間) 復習内容(時間) | 日本国憲法における統治機構のうち、選挙制度と地方自治について国と地方とを比較しながら学習する。 教科書第2章(28～32頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | | | 120分 |
| | No4 | 日本国憲法(基本的人権) 予習内容(時間) 復習内容(時間) | 日本国憲法における基本的人権のうち、その成り立ちと幸福追求権と法の下での平等について学習する。 教科書第3章(33～43頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | | | 120分 |
| | No5 | 日本国憲法(基本的人権) 予習内容(時間) 復習内容(時間) | 日本国憲法における基本的人権のうち、精神的自由について学習する。 教科書第3章(44～53頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | | | 120分 |
| | No6 | 日本国憲法(基本的人権と平和主義) 予習内容(時間) 復習内容(時間) | 日本国憲法における基本的人権のうち、身体的自由及び経済的自由等並びに平和主義について学習する。 教科書第3章(54～62頁)及び第4章(63～72頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | | | 120分 |

| | | | | | |
|--------|----------|---------------------------------------|---|-----|---|
| 【授業計画】 | | 犯罪と法 | 刑罰の意義と成立要件、構成要件及び刑事手続きについて学習する。 | | |
| | No7 | 予習内容(時間) | 教科書第5章(73～90頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | | 日常生活のおける法(民法総則) | 日常生活の基本を規律する民法の原則的なルールを定める総則について学習する。 | | |
| | No8 | 予習内容(時間) | 教科書第6章(91～110頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | | 日常生活のおける法(物権法) | 日常生活の基本を規律する民法のうち物に対する権利について学習する。 | | |
| | No9 | 予習内容(時間) | 教科書第7章(111～121頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | | 日常生活のおける法(契約法) | 日常生活の基本を規律する民法のうち契約について学習する。 | | |
| | No10 | 予習内容(時間) | 教科書第7章(122～129頁、134～136頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | | 日常生活のおける法(不法行為等) | 日常生活の基本を規律する民法のうち不法行為、事務管理、不当利得及び特定商取引法(割賦販売、訪問販売)について学習する。 | | |
| | No11 | 予習内容(時間) | 教科書第7章(130～133頁)及び第10章(185～196頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | | 日常生活のおける法(親族法) | 日常生活の基本を規律する民法のうち親族について学習する。 | | |
| | No12 | 予習内容(時間) | 教科書第8章(137～155頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | | 日常生活のおける法(相続法) | 日常生活の基本を規律する民法のうち相続について学習する。 | | |
| | No13 | 予習内容(時間) | 教科書第8章(156～166頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 |
| | 労働に関する法律 | 働くことに関する法律の諸制度の概要について学習する。 | | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 教科書第9章(167～184頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 文学 BE-A |
| 講義名(英字) | Literature |
| 担当教員 | 網本 尚子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 現代文学 この授業では、日本の現代文学における何人かの重要な作家の作品を取り上げ、そこからどのような作者の思いが読み取れるかについて考える。それぞれの作者の文章の特徴や、表現の傾向を分析したり、作者の生活した土地や、交友関係、生い立ちなどが作風にどのように影響を与えているかについて考えたりしてみたい。また、お互いに、自分の好きな作家の作品を紹介し合い、各自の読書の世界を広げるような試みも行いたい。 この授業をきっかけに、読書の楽しみ方を学び、読書習慣を身につけてもらいたい。 |
|----------------------------|---|

| 【到達目標】 | <p>1芥川龍之介の作品を読んで、内容や表現の特徴について考える 明治時代以降の日本文学の歴史を把握し、芥川龍之介の位置づけや作品の内容、表現の特徴、芥川の人間性、歩んだ人生などについて理解する。</p> <p>2太宰治の作品を読んで、内容や表現の特徴について考える 太宰治の作品の内容や、表現の特徴、太宰の人間性、歩んだ人生などについて理解する。</p> <p>3村上春樹の作品を読んで、内容や表現の特徴について考える 村上春樹の作品の内容や、表現の特徴、村上の人間性、歩んだ人生などについて理解する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|-----|------|--------------|-----|-------------------------------------|-------|---|-----|------|----------|----------|-----|---|----------|--------------------------------|-----|---|-----|---------|--|--|--|----------|-----------------------|-----|---|----------|-----------------------|-----|---|-----|---------|---|--|--|----------|-----------------------|-----|---|----------|-----------------------|-----|---|-----|---------|---|--|--|----------|-----------------------|-----|---|----------|-----------------------|-----|---|-----|---------|---------------------------------|--|--|----------|--------------------------------|-----|---|----------|-----------------------|-----|---|-----|--------------|------------------------|--|--|----------|------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>1読書が好きで、今は苦手でも読書してみたいと思っている人など、積極的に授業に参加できる学生に履修してもらいたい。</p> <p>2日本語で書かれた文学作品を読むので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 配付された現代文学作品のプリントを読み、作品の内容や作者についての講義を受ける。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | とくになし。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">自制力</td> <td style="width:25%;">思考力</td> <td style="width:10%; text-align:center;">○</td> <td style="width:25%;">突破力</td> <td style="width:15%;">忍耐力</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講態度、授業への参加度</td> <td style="text-align:center;">20%</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価する。</td> </tr> <tr> <td>試験</td> <td style="text-align:center;">80%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align:center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 受講態度、授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価する。 | 試験 | 80% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度、授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験 | 80% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | わからない言葉が出てきたら、積極的に辞書を使って調べること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td colspan="3">授業の進め方や成績評価について説明。 ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本を上げたり、レビューの書き方について学ぶ。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>シラバスの確認。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本について考える。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>近現代文学史1</td> <td colspan="3">近代に入ってから明治時代末期頃までの日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>明治時代の主要な作家と作品について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>近現代文学史2</td> <td colspan="3">明治時代末期から大正時代にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>大正時代の主要な作家と作品について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>近現代文学史3</td> <td colspan="3">大正時代末期から昭和にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>昭和初期の主要な作家と作品について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>近現代文学史4</td> <td colspan="3">戦後の日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>戦後から昭和後半くらいまでの主要な作家と作品について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No6</td> <td>芥川龍之介の生涯と作品1</td> <td colspan="3">芥川龍之介の生涯と代表作品について理解する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>芥川龍之介の主要な作品を調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本を上げたり、レビューの書き方について学ぶ。 | | | 予習内容(時間) | シラバスの確認。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本について考える。 | 120 | 分 | No2 | 近現代文学史1 | 近代に入ってから明治時代末期頃までの日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 明治時代の主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | No3 | 近現代文学史2 | 明治時代末期から大正時代にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 大正時代の主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | No4 | 近現代文学史3 | 大正時代末期から昭和にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 昭和初期の主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | No5 | 近現代文学史4 | 戦後の日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 戦後から昭和後半くらいまでの主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | No6 | 芥川龍之介の生涯と作品1 | 芥川龍之介の生涯と代表作品について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 芥川龍之介の主要な作品を調べる。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本を上げたり、レビューの書き方について学ぶ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスの確認。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本について考える。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 近現代文学史1 | 近代に入ってから明治時代末期頃までの日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 明治時代の主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 近現代文学史2 | 明治時代末期から大正時代にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 大正時代の主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 近現代文学史3 | 大正時代末期から昭和にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 昭和初期の主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 近現代文学史4 | 戦後の日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 戦後から昭和後半くらいまでの主要な作家と作品について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 芥川龍之介の生涯と作品1 | 芥川龍之介の生涯と代表作品について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 芥川龍之介の主要な作品を調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No7 | 芥川龍之介の生涯と作品2 | 芥川龍之介の作品『藪の中』の原作となった『今昔物語集』所収説話を読んで、内容や登場人物について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 『今昔物語集』はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No8 | 芥川龍之介の生涯と作品3 | 短編小説『藪の中』を読み、内容や文章の特徴、登場人物の心情などについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 『藪の中』はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 『藪の中』の登場人物の心情を表現に即して考える。 | 120 | 分 |
| No9 | 芥川龍之介の生涯と作品4 | 『藪の中』と海外の小説との関連性や、後の時代の文学や芸術作品に与えた影響について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 『藪の中』をもととして制作された映画について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No10 | 太宰治の生涯と作品1 | 太宰治の生涯と代表作品について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 太宰治はどのような作家だったか調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No11 | 太宰治の生涯と作品2 | 太宰治の代表作品を読み、文章や題材の特徴について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 太宰治の主要な作品を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No12 | 太宰治の生涯と作品3 | 太宰治の代表作『人間失格』の抜粋を読み、内容や文章の特徴、登場人物の心情などについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 『人間失格』はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No13 | 村上春樹の経歴と作品1 | 村上春樹の経歴や主要作品、ポップカルチャーとの関連性などについて理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 村上春樹の経歴について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |
| No14 | 村上春樹の経歴と作品2 | 村上春樹の主要作品を抜粋で読み、内容や文章の特徴、登場人物の心情などについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 村上春樹の主要な作品を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 文学 BE-B |
| 講義名(英字) | Literature |
| 担当教員 | 網本 尚子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「源氏物語」 『源氏物語』に描かれている女君たちのなかでもとくに印象深い、紫の上、葵の上、六条御息所、藤壺女御、そして光源氏の母である桐壺更衣らを取り上げ、それらの女性がどのように描かれているのかに着目しながら『源氏物語』の本文を読み進めていく。 古語や文語文法の知識を深めるというよりも、私たちと同じ日本人が、1000年前にはどのように生活し、どのような物の考え方をしていたのかを知り、現代日本の根底に横たわる、日本人としての共通認識や常識について理解を深めることを目標とする。 |
| | 1『源氏物語』の作者や物語執筆の背景、『源氏物語』の登場人物などについて理解する。 |

| 【到達目標】 | <p>歴史的な人物について答えられるだけでなく、漢字で正しく書けるようにする。 また、本文に登場する人物について、お互いの関係を理解し、正しく系図にまとめられるようになる。</p> <p>2授業で読むテキスト本文が、現代語訳のどの箇所にあたるかを理解し、指名された時に、正しく音読できるようになる。</p> <p>3本文に描かれている平安時代の風俗や習慣、考え方などについて理解を深める。 授業で説明を受けた語句の意味等を正しく理解するだけでなく、漢字で正しく書けるようになる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----|-----|-----|---------|-----|------|---------------|-----|-----------------------------------|-------|---|----|------|----------|---------|-----|---|----------|--------------------------|-----|---|-----|-----------------|-----------------------------|--|--|----------|----------------------------------|-----|---|----------|---------------------------|-----|---|-----|-----|---|--|--|----------|------------------------------------|-----|---|----------|---------------------------|-----|---|-----|-----|---|--|--|----------|------------------------------------|-----|---|----------|---------------------------|-----|---|--|-----|--|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>1日本語のテキストを音読する能力があること。 2日本の伝統や歴史に興味があること。 3日本の古い言葉で作品を読むので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 『源氏物語』の本文を読み、語句の意味や内容について解説する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 秋山虔他編『源氏物語読本』筑摩書房、1996 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 734 1528 987"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講態度、授業への参加姿勢</td> <td>20%</td> <td rowspan="3">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。</td> </tr> <tr> <td>試験</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 受講態度、授業への参加姿勢 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。 | 試験 | 80% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度、授業への参加姿勢 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験 | 80% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | テキストを持参しない場合は欠席と見なすので、必ずテキストを購入し、毎時間持参すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 1108 1528 2130"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業の進め方などについて解説する。 さまざまな現代の作家が訳している『源氏物語』の現代語訳を読み比べる。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>シラバスの確認</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>『源氏物語』とはどのような物語なのかを確認する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>源氏物語のあらすじ作者について</td> <td>『源氏物語』のあらすじや紫式部の人生について理解する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの解説ページ「紫式部と源氏物語」をあらかじめ読んでおく。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>源氏物語のあらすじや紫式部の人生について確認する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>桐壺1</td> <td>「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>桐壺2</td> <td>「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、後宮やそこに住む女性たちの生活について理解を深める。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>桐壺3</td> <td>「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、中国の</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス | 授業の進め方などについて解説する。 さまざまな現代の作家が訳している『源氏物語』の現代語訳を読み比べる。 | | | 予習内容(時間) | シラバスの確認 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 『源氏物語』とはどのような物語なのかを確認する。 | 120 | 分 | No2 | 源氏物語のあらすじ作者について | 『源氏物語』のあらすじや紫式部の人生について理解する。 | | | 予習内容(時間) | テキストの解説ページ「紫式部と源氏物語」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 源氏物語のあらすじや紫式部の人生について確認する。 | 120 | 分 | No3 | 桐壺1 | 「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。 | | | 予習内容(時間) | テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 | No4 | 桐壺2 | 「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、後宮やそこに住む女性たちの生活について理解を深める。 | | | 予習内容(時間) | テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 | | 桐壺3 | 「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、中国の | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方などについて解説する。 さまざまな現代の作家が訳している『源氏物語』の現代語訳を読み比べる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスの確認 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 『源氏物語』とはどのような物語なのかを確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 源氏物語のあらすじ作者について | 『源氏物語』のあらすじや紫式部の人生について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの解説ページ「紫式部と源氏物語」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 源氏物語のあらすじや紫式部の人生について確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 桐壺1 | 「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 桐壺2 | 「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、後宮やそこに住む女性たちの生活について理解を深める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 桐壺3 | 「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、中国の | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|---|-----|---|
| | | 詩人白居易の詩と源氏物語との関連性について理解を深める。 | | |
| No5 | 予習内容(時間) | テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No6 | 藤壺 | 藤壺女御に関する記述をピックアップして読み、光源氏の生涯に藤壺が与えた影響について考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「五 心の鬼」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No7 | 葵の上 | テキストには記載のない、光源氏と葵の上との出会いや死別の場面を読み、車争いの悲劇の原因について考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No8 | 車争い | 齋院や齋宮について学び、齋院の行事で起こった「車争い」の経緯や原因について理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「六 車争ひ」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No9 | 野宮の一夜 | 車争いの後に六条御息所の身に起こった現象を考察し、平安時代の人々の思想について理解を深める。また、光源氏と六条との別離の場面を読み味わう。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「七 野宮の一夜」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No10 | 紫の上1 | 光源氏と紫の上との出会いの場面を読み、紫の上を造形した作者の紫式部の意図を考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「四 若紫の君」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No11 | 紫の上2 | 光源氏の須磨配流の頃や、その後の栄華の絶頂期について読んで学び、光源氏と紫の上との関係性について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No12 | 紫の上3 | 女三の宮降嫁後の出来事や、光源氏と紫の上との関係性の変化について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「十四 女三の宮の降嫁」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No13 | 女三の宮1 | 女三の宮の立場や光源氏、紫の上との関係性を理解し、女三の宮に起こった悲劇の原因について考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定された箇所をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No14 | 女三の宮2 | 女三の宮が生んだ息子薫に対する光源氏の思いを、中国の詩人白居易の詩と重ね合わせて理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの「十六 罪の子」をあらかじめ読んでおく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。 | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 文学 BE-C |
| 講義名(英字) | Literature |
| 担当教員 | 網本 尚子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「歌舞伎」 江戸時代から演じられ続けている日本の伝統芸能歌舞伎を取り上げ、映像教材を用いながら、歌舞伎の成立や歴史、特徴、他の古典芸能との関連、鑑賞のポイントなどについて講義する。受講者全員で古典芸能を鑑賞に出かけることなどはしないが、個人的に鑑賞の機会を持ってもらえることを期待する。これからの国際化の時代、海外に出る機会もますます増えるだろう。諸外国の人々に、日本の伝統について堂々と説明できるようになってほしい。 |
|----------------------------|--|

| | |
|--------|---|
| 【到達目標】 | 1歌舞伎の歴史について正しい知識を身につける 歌舞伎成立以前の芸能の歴史に始まり、江戸時代から近現代にいたるまでの歌舞伎の歴史を理解する。 |
| | 2歌舞伎の特徴について正しい知識を身につける 歌舞伎が演じられる舞台の構造、歌舞伎の登場人物に見られる特徴、衣装、大道具・小道具、セリフなど、現代演劇と違う特徴を理解する。 |
| | 3歌舞伎の演目について自分の意見や感想を述べる 授業で歌舞伎の映像資料を集中して鑑賞できる。あらすじや内容、鑑賞のポイントを理解し、現代社会に与える影響などを踏まえて、自分の言葉で感想や意見を述べるができる。 |

| | |
|--------------|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1古典芸能や、演劇、ダンス、音楽などに、少しでも興味を持っている学生に履修してもらいたい。 2日本の古い言葉で演じられる芸能を、字幕なしで鑑賞するので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。 |
|--------------|---|

| | |
|--------|--|
| 【教育方法】 | 映像資料を用いながら、歌舞伎の舞台機構、音楽、演技などについて解説し、それに対する感想や質問などを発表する。 |
|--------|--|

| | |
|---------------|--------|
| 【指定教科書・参考資料等】 | とくになし。 |
|---------------|--------|

| | | | | | |
|------------|-----|-----|---|-----|-----|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | |

| | | | | | |
|------------------------------|--------------|------|-----------------------------------|--|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | |
| | 受講態度、授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。 | | |
| | 試験 | 80% | | | |
| | 合計 | 100% | | | |

| | |
|------------|--|
| 【その他の注意事項】 | 映像資料を鑑賞することが多い授業なので、遅刻をすると他の受講生に迷惑をかけることになる。遅刻は厳禁。 |
|------------|--|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|--|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 歌舞伎の経済効果についての解説。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスを確認する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 歌舞伎の現状について確認する。 | 120 | 分 |
| No2 | 新しいタイプの歌舞伎の表現 | 中村勘三郎主演の「野田版研立の討たれ」を鑑賞し、古典的な歌舞伎との違いを理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 十八代目中村勘三郎について調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 歌舞伎の演技や演出について確認する。 | 120 | 分 |
| No3 | 歌舞伎の表現の特徴について | 「野田版研立の討たれ」を題材として、歌舞伎らしい表現とは何かを理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 歌舞伎の舞台構造や音楽について調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 歌舞伎らしさについて整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No4 | 歌舞伎の歴史 | 江戸時代から現代に至る歌舞伎の歴史について学び、理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 歌舞伎の歴史の概略を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No5 | 歌舞伎の役柄 | 歌舞伎の登場人物を役柄によって分類し、それぞれの特徴を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 歌舞伎にはどのような人物が出てくるかを調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| | 歌舞伎の舞台と音楽 | 歌舞伎の舞台の特徴を理解する。 歌舞伎で用いられる楽器や音楽について理解する。 | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|--|-----|---|
| No6 | 予習内容(時間) | 歌舞伎で使われる楽器について調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No7 | 時代物 | 歌舞伎の時代物の特徴や演目、登場人物について理解する。 時代物の代表作「仮名手本忠臣蔵」の基となった赤穂事件について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 時代物とは何か調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No8 | 仮名手本忠臣蔵 | 時代物の名作「仮名手本忠臣蔵」の舞台映像を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「仮名手本忠臣蔵」のあらすじや登場人物を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No9 | 加賀見山旧錦絵 | 時代物の人気作で、「仮名手本忠臣蔵」の女性版と呼ばれる「加賀見山旧錦絵」の舞台映像を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「加賀見山旧錦絵」のあらすじや登場人物を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No10 | 荒事 | 荒事の特徴や演目、登場人物について理解する。 荒事の代表作「毛抜」の舞台映像を鑑賞する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 荒事とは何か調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No11 | 世話物 | 世話物の特徴や演目、登場人物について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 世話物とは何か調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No12 | 四谷怪談 | 世話物の代表作「東海道四谷怪談」の舞台映像を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「東海道四谷怪談」のあらすじや登場人物について調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No13 | 能と歌舞伎1 | 能「石橋」を基にして作られた歌舞伎「連獅子」の舞台映像を鑑賞し、能との違いについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「連獅子」とはどのような作品か調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No14 | 能と歌舞伎2 | 能「安宅」を基にして作られた歌舞伎「勸進帳」の舞台映像を鑑賞し、あらすじや登場人物について、能との違いについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「勸進帳」とはどのような作品か調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 文学 BE-D |
| 講義名(英字) | Literature |
| 担当教員 | 網本 尚子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 「古典文学」 この授業では、現代に生きるわれわれにも少なからず影響を与えている代表的な古典文学作品や、古典文学の影響を受けて書かれた近現代の小説を取り上げ、あらすじを知るとともに、その一部については原文で読み味わう。さらに、そこに描かれる昔の風俗や考え方についての講義を通して、日本人としての常識を身につけ、教養を深めることを目標とする。 |
| | 1和歌の歴史や用語について正しく理解する。 和歌文学の歴史や用語を理解し、代表的な和歌の作品の内容や背景について理解を深める。また、和歌を自分の言葉で現代語訳できるように |

| 【到達目標】 | <p>なる。</p> <p>2『今昔物語集』の特徴や説話の内容について正しく理解する。 説話のあらすじや語句の意味、漢字の読み、説話のおもしろさのポイントなどについて理解する。</p> <p>3『平家物語』のあらすじを正しく理解する。『平家物語』をもとにした芸能の特徴について考察する。江戸時代の劇文学について理解する。 『平家物語』の主な登場人物や事件について理解する。『平家物語』と関連深い芸能である平曲や狂言などの特徴が説明できる。 また、江戸時代の劇文学である『曾根崎心中』の内容や、文楽(人形浄瑠璃)の特徴を説明できる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----|------|--------------|-----|---|------|-------|---|-----|----|------|----------|----------|-----|---|--|----------|--------------|-----|---|--|-----|------|---|--|--|--|----------|---------------------|-----|---|--|----------|------------------------|-----|---|--|-----|----------|---|--|--|--|----------|--------------------------|-----|---|--|----------|-----------------------------------|-----|---|--|-----|----------|---------------------------|--|--|--|----------|--------------|-----|---|--|----------|-----------------------------------|-----|---|--|-----|----------|---|--|--|--|----------|------------------------|-----|---|--|----------|-----------------------------------|-----|---|--|--|--------|-------------|--|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>1高校時代に古典を選択していなかった人も十分受講可能だが、少なくとも文学に興味や関心のある人に履修してもらいたい。 2日本の古い言葉で書かれた文学作品を読むので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>配付された古典文学作品のプリントを読み、その内容について、古語の読み方について、文法についてなどの講義を受ける。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>とくになし。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">自制力</td> <td style="width:25%;">思考力</td> <td style="width:10%; text-align:center;">○</td> <td style="width:25%;">突破力</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:20%;">忍耐力</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">評価項目と割合</th> <th style="width:10%;">割合</th> <th style="width:60%;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講態度や授業への参加度</td> <td style="text-align:center;">20%</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度やレポートの評価、試験の成績を総合的に評価する。</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td style="text-align:center;">30%</td> </tr> <tr> <td>試験</td> <td style="text-align:center;">50%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align:center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | 受講態度や授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度やレポートの評価、試験の成績を総合的に評価する。 | レポート | 30% | 試験 | 50% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度や授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度やレポートの評価、試験の成績を総合的に評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| レポート | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験 | 50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>レポートを一回課すが、何でもインターネットで調べて済ませようとせず、専門書で調べて勉強するようにしてほしい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">週</th> <th style="width:20%;">テーマ</th> <th style="width:65%;">学習内容</th> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:5%;"></th> <th style="width:5%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業の進め方や成績評価について説明。 古典文学作品についてのクイズに答える。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>シラバスの確認。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>クイズの正解を確認する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No2</td> <td>言葉遊び</td> <td>日本に伝わるさまざまな言葉遊びについて学び、日本語の特徴や、日本人の言葉に関する感覚について理解する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>日本語の言葉遊びの種類について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語について整理し、確認する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No3</td> <td>百人一首の恋歌1</td> <td>藤原定家を選んだと言われる小倉百人一首について理解する。 女性歌人である小野小町の代表的な和歌を読み味わう。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>百人一首とは何か調べる。小野小町について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No4</td> <td>百人一首の恋歌2</td> <td>女性歌人である和泉式部の代表的な和歌を読み味わう。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>和泉式部について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No5</td> <td>百人一首の恋歌3</td> <td>式子内親王、藤原敦忠、崇徳院の代表的な和歌を読み味わう。 和歌を題材に作られた漫画や歌など、現代に与える影響について考える。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>式子内親王、藤原敦忠、崇徳院について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>今昔物語集1</td> <td>説話とは何か理解する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 古典文学作品についてのクイズに答える。 | | | | 予習内容(時間) | シラバスの確認。 | 120 | 分 | | 復習内容(時間) | クイズの正解を確認する。 | 120 | 分 | | No2 | 言葉遊び | 日本に伝わるさまざまな言葉遊びについて学び、日本語の特徴や、日本人の言葉に関する感覚について理解する。 | | | | 予習内容(時間) | 日本語の言葉遊びの種類について調べる。 | 120 | 分 | | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | No3 | 百人一首の恋歌1 | 藤原定家を選んだと言われる小倉百人一首について理解する。 女性歌人である小野小町の代表的な和歌を読み味わう。 | | | | 予習内容(時間) | 百人一首とは何か調べる。小野小町について調べる。 | 120 | 分 | | 復習内容(時間) | 授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | No4 | 百人一首の恋歌2 | 女性歌人である和泉式部の代表的な和歌を読み味わう。 | | | | 予習内容(時間) | 和泉式部について調べる。 | 120 | 分 | | 復習内容(時間) | 授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | No5 | 百人一首の恋歌3 | 式子内親王、藤原敦忠、崇徳院の代表的な和歌を読み味わう。 和歌を題材に作られた漫画や歌など、現代に与える影響について考える。 | | | | 予習内容(時間) | 式子内親王、藤原敦忠、崇徳院について調べる。 | 120 | 分 | | 復習内容(時間) | 授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | 今昔物語集1 | 説話とは何か理解する。 | | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 古典文学作品についてのクイズに答える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスの確認。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | クイズの正解を確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 言葉遊び | 日本に伝わるさまざまな言葉遊びについて学び、日本語の特徴や、日本人の言葉に関する感覚について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 日本語の言葉遊びの種類について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 百人一首の恋歌1 | 藤原定家を選んだと言われる小倉百人一首について理解する。 女性歌人である小野小町の代表的な和歌を読み味わう。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 百人一首とは何か調べる。小野小町について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 百人一首の恋歌2 | 女性歌人である和泉式部の代表的な和歌を読み味わう。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 和泉式部について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 百人一首の恋歌3 | 式子内親王、藤原敦忠、崇徳院の代表的な和歌を読み味わう。 和歌を題材に作られた漫画や歌など、現代に与える影響について考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 式子内親王、藤原敦忠、崇徳院について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 今昔物語集1 | 説話とは何か理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|---|-----|---|
| No6 | 予習内容(時間) | 『今昔物語集』所収の説話を読み、現代人との共通点や相違点について考察する。 | | |
| | 復習内容(時間) | 『今昔物語集』とはどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| No7 | 予習内容(時間) | 『今昔物語集』とはどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語や説話の内容について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No8 | 予習内容(時間) | 『今昔物語集2』 『今昔物語集』所収話の中から、小悪党の些細な悪事が描かれた話を読み、平安時代末期の世相について理解を深める。 | | |
| | 復習内容(時間) | 『今昔物語集』の構成について調べる。 | 120 | 分 |
| No9 | 予習内容(時間) | 『今昔物語集3』 芥川龍之介の短編小説『藪の中』の原話となった説話を読み、平安時代末期の世相について理解を深める。 | | |
| | 復習内容(時間) | 平安時代の庶民の暮らしについて調べる。 | 120 | 分 |
| No10 | 予習内容(時間) | 授業で出てきた用語や説話の内容について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 芥川龍之介『藪の中』 『藪の中』を読み味わい、原拠となった説話との違いについて理解する。 | | |
| No11 | 予習内容(時間) | 芥川龍之介について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 『藪の中』の内容や登場人物について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No12 | 予習内容(時間) | 芥川龍之介『藪の中』 『藪の中』で描かれる登場人物の言動について、どのような解釈ができるか考察する。 | | |
| | 復習内容(時間) | 『藪の中』を基にして制作された映画について調べる。 | 120 | 分 |
| No13 | 予習内容(時間) | 『藪の中』の内容や登場人物について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 平家物語1 『平家物語』のあらすじや登場人物の関係を理解する。 | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 『平家物語』がどのような作品なのか調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語や人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No15 | 予習内容(時間) | 『平家物語2』 『平家物語』の中から、有名な那須与一の場面を読み味わう。さらに平家琵琶や那須与一の逸話を基にした狂言を鑑賞する。 | | |
| | 復習内容(時間) | 那須与一の逸話がどのようなものか調べる。 | 120 | 分 |
| No16 | 予習内容(時間) | 授業で出てきた用語や人物関係について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 曾根崎心中1 『曾根崎心中』の作者である近松門左衛門の生涯や作品の特徴について理解する。 | | |
| No17 | 予習内容(時間) | 近松門左衛門について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語や近松の生涯について整理し、確認する。 | 120 | 分 |
| No18 | 予習内容(時間) | 『曾根崎心中2』 『曾根崎心中』の本文を読み味わう。また、文楽(人形浄瑠璃)の映像資料を鑑賞し、文楽の特徴について理解する。 | | |
| | 復習内容(時間) | 『曾根崎心中』はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| No19 | 予習内容(時間) | 『曾根崎心中』はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語や文楽の特徴について整理し、確認する。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 文学 BE-E |
| 講義名(英字) | Literature |
| 担当教員 | 網本 尚子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「能・狂言」 600年以上前から演じられ続けている日本の伝統芸能、能・狂言を取り上げ、映像資料を用いながら、能・狂言の成立や歴史、他の文学作品への影響、鑑賞のポイントなどについて講義する。受講者全員で古典芸能を鑑賞に出かけることなどはしないが、個人的に鑑賞の機会を持つてくれることを期待する。 これからの国際化の時代、海外に出る機会もますます増えるだろう。諸外国の人々に、日本の伝統について堂々と説明できるようになってほしい。 |
|----------------------------|---|

| 【到達目標】 | <p>1能・狂言の歴史について正しい知識を身につける。 能・狂言以前の芸能の歴史に始まり、形成期、大成期、近現代にいたるまでの歴史を理解する。</p> <p>2能・狂言の特徴について正しい知識を身につける。 能・狂言が演じられる能舞台の構造、能・狂言の登場人物に見られる特徴、衣装、大道具・小道具、セリフ、謡、舞など、現代演劇と違う特徴を理解する。</p> <p>3能・狂言の演目について感想や意見を述べる。 映像教を集中して鑑賞できる。 鑑賞した能・狂言の演目について、あらすじや内容、鑑賞のポイントを理解し、自分の言葉で感想や意見を述べるができる。 能・狂言が現代まで演じ続けられていることに対して、その理由や、現代社会に与えている影響などについて、自分の言葉で意見を述べるができる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|-----|------|--------------|-----|-----------------------------------|-------|-----------------------------------|-----|------|----------|----------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|-------|---|--|--|----------|---------------------|-----|---|----------|------------------------------|-----|---|-----|---------|--|--|--|----------|----------------------|-----|---|----------|------------------------------|-----|---|-----|----------------|------------------------------------|--|--|----------|-----------------|-----|---|----------|------------------------------|-----|---|-----|--------|-------------------------------|--|--|----------|----------------------|-----|---|----------|------------------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>1古典芸能や、演劇、ダンス、音楽などに、少しでも興味を持っている学生に履修してもらいたい。 2日本の古い言葉で演じられる芸能を、字幕なしで鑑賞するので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 映像資料を用いながら、能狂言の舞台機構、音楽、演技などについて解説し、それに対する感想や質問などを発表する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | とくになし。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">自制力</td> <td style="width:25%;">思考力</td> <td style="width:10%; text-align:center;">○</td> <td style="width:25%;">突破力</td> <td style="width:15%;">忍耐力</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">評価項目と割合</th> <th style="width:10%;">割合</th> <th style="width:60%;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講態度、授業への参加度</td> <td style="text-align:center;">20%</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度、試験の成績を総合して評価。</td> </tr> <tr> <td>試験</td> <td style="text-align:center;">80%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align:center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | 受講態度、授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度、試験の成績を総合して評価。 | 試験 | 80% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度、授業への参加度 | 20% | 3分の2以上の出席を条件とし、受講態度、試験の成績を総合して評価。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験 | 80% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 映像教材を鑑賞することが多い授業なので、遅刻をすると他の受講生に迷惑をかけることになる。遅刻は厳禁。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">週</th> <th style="width:20%;">テーマ</th> <th style="width:65%;">学習内容</th> <th style="width:5%;"></th> <th style="width:5%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業の進め方や成績評価について説明。 他の古典芸能との比較。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>シラバスの確認。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>能狂言と他の芸能との違いを整理し、確認する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No2</td> <td>狂言「茸」</td> <td>能舞台の構造を理解する。 狂言「茸」を鑑賞し、狂言らしい演技や演出について理解する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>能舞台とはどのような舞台なのか調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No3</td> <td>狂言「千切木」</td> <td>狂言面の種類や特徴を理解する。 狂言「千切木」を鑑賞し、女性の役の演じ方や、立衆の役割などを理解する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>狂言面にはどのようなものがあるか調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No4</td> <td>狂言の登場人物、小道具、演技</td> <td>狂言に出てくる役柄の種類や演じ方の特徴、演出の特徴について理解する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>狂言の登場人物について調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center;">No5</td> <td>狂言「附子」</td> <td>狂言「附子」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>狂言「附子」とはどのような作品か調べる。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 他の古典芸能との比較。 | | | 予習内容(時間) | シラバスの確認。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 能狂言と他の芸能との違いを整理し、確認する。 | 120 | 分 | No2 | 狂言「茸」 | 能舞台の構造を理解する。 狂言「茸」を鑑賞し、狂言らしい演技や演出について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 能舞台とはどのような舞台なのか調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | No3 | 狂言「千切木」 | 狂言面の種類や特徴を理解する。 狂言「千切木」を鑑賞し、女性の役の演じ方や、立衆の役割などを理解する。 | | | 予習内容(時間) | 狂言面にはどのようなものがあるか調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | No4 | 狂言の登場人物、小道具、演技 | 狂言に出てくる役柄の種類や演じ方の特徴、演出の特徴について理解する。 | | | 予習内容(時間) | 狂言の登場人物について調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | No5 | 狂言「附子」 | 狂言「附子」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | | 予習内容(時間) | 狂言「附子」とはどのような作品か調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方や成績評価について説明。 他の古典芸能との比較。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスの確認。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 能狂言と他の芸能との違いを整理し、確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 狂言「茸」 | 能舞台の構造を理解する。 狂言「茸」を鑑賞し、狂言らしい演技や演出について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 能舞台とはどのような舞台なのか調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 狂言「千切木」 | 狂言面の種類や特徴を理解する。 狂言「千切木」を鑑賞し、女性の役の演じ方や、立衆の役割などを理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 狂言面にはどのようなものがあるか調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 狂言の登場人物、小道具、演技 | 狂言に出てくる役柄の種類や演じ方の特徴、演出の特徴について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 狂言の登場人物について調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 狂言「附子」 | 狂言「附子」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 狂言「附子」とはどのような作品か調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|---|-----|---|
| No6 | 能楽の歴史1 | 能・狂言誕生以前の芸能から近現代にいたるまでの能・狂言の歴史を理解する。とくに世阿弥の功績について理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 世阿弥について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No7 | 能楽の歴史2 | 能・狂言誕生以前の芸能から近現代にいたるまでの能・狂言の歴史を理解する。とくに戦国時代以降の能楽の危機と、どのように乗り越えたかについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 能楽の流儀について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No8 | 能「井筒」 | 能「井筒」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 能「井筒」はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No9 | 能の基礎知識 | 映像資料をもとに、能の演技の特徴や衣装について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 能面にはどのようなものがあるか調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No10 | 五番立て | 映像資料をもとに、能の五番立てについて理解する。 能に出てくる役柄の種類や演じ方の特徴について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 五番立てとは何か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No11 | 能「隅田川」 | 能「隅田川」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 能「隅田川」はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No12 | 能と歌舞伎1 | 歌舞伎「連獅子」のもととなった能「石橋」の舞台映像を鑑賞し、能と歌舞伎との違いについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「連獅子」「石橋」はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No13 | 能と歌舞伎2 | 歌舞伎「勧進帳」のもととなった能「安宅」の舞台映像を鑑賞し、能と歌舞伎との違いについて理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「勧進帳」「安宅」はどのような作品か調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |
| No14 | 能楽の伝承 | 映像資料をもとに、芸がどのように親から子へ伝承されるかを理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 野村万作・萬斎親子について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 生命科学 BE-A |
| 講義名(英字) | Life Science |
| 担当教員 | 古田 玲子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 人体の構造と機能、他の生物の共通点と相違点、がん、若者に蔓延しているSexually Transmitted Infection (STI: 性感染症)、人獣共通感染症、有害物質、有害生物、臓器移植、生殖医療および生物の多様性について学び、生命現象を理解し、また健康を維持する為に必要な知識を養うことを目的としています。最先端の研究成果や最近の話題を取り入れながら判りやすく解説していきます。 |
| | 生物学的および医学的な基礎知識を学ぶ 人体の構造と機能、がん、STI、人獣共通感染症、有害物質、有害生物について学び、実現可能な予防策についての知識が習得する。 |

| | | | | | |
|------------------------------|--|----------------|--|-----|------|
| 【到達目標】 | <p>病気の原因、予防について基礎的な知識を学ぶ 生命科学の基礎を正確に理解した上で、臓器移植と生殖医療、生物の多様性について考えることができる。</p> <p>生命科学全般について理解を深め生命倫理、生物多様性についての意義を考える力を養う 生命科学に関する興味のあるテーマを選びレポートすることで、調べる手段とまとめる力を養う。</p> | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 生命科学に興味があり、教養として知識を身につけたい方が望まれる。 | | | | |
| 【教育方法】 | 生命科学関係の最近の話題を取り入れながら講義形式で進め、質疑応答により理解度を確認する。 | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 参考資料や用語集を必要に応じて配布する。 | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ |
| | 評価項目と割合 | | | | 評価方法 |
| | 定期試験 | 80% | | | |
| | レポート | 20% | | | |
| | 合計 | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特になし | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | 生命科学の概要 | 授業内容の説明およびレポートの作成方法について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 生命科学についてどのような分野であるのか検索し予習しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No2 | 人体の構造と機能 | 臓器、組織、細胞、遺伝子について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 人体の構造と機能について調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No3 | ヒトと他生物の共通点と相違点 | ヒト、イヌ、マウスなどの哺乳類間と鳥類、爬虫類、魚類、両生類などの他生物との比較をして、共通点と相違点を理解する | | |
| | | 予習内容(時間) | ヒトおよび他生物について調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No4 | 腫瘍についての基礎的知識 | 腫瘍の発生と遺伝子異常、良性腫瘍と悪性腫瘍(がん)のちがいを、原因と予防、検査法について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 腫瘍がどのような疾病であるのかを調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 専門用語を正しく理解するために授業内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No5 | 早期がんと進行がん | がんの進行度と治療法、予後について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 腫瘍について調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No6 | 各臓器のがんⅠ | 肺がんについて学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 肺がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | | 各臓器のがんⅡ | 胃がん、大腸について学ぶ | | |

| | | | | | |
|--------|--------------------|---|---|-----|---|
| 【授業計画】 | No7 | 予習内容(時間) | 胃がん、大腸がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No8 | 各臓器のがんⅢ | 乳がん、子宮がんについて学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 乳がん、子宮がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | | 各臓器のがんⅣ | 肝臓がん、その他のがんについて学ぶ | | |
| | No9 | 予習内容(時間) | 肝臓がん、その他のがんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No10 | STIについてⅠ | STI (sexually transmitted infections) の概要とHIV感染症・エイズ(後天性免疫不全症候群)について原因、症状、予防および治療について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | HIV感染症・エイズについて調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No11 | STIについてⅡ | HPV (Human papillomavirus) 感染症、梅毒、クラミジアなどの主なSTIの原因、症状、予防および治療について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | STIの原因となる病原体について調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No12 | STIについてⅢ | ヘルペス感染症、淋菌感染症、トリコモナス症、カンジダ 症、B型肝炎などについて学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | STIの原因となる病原体について調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| | No13 | 生物毒と有害物質 | 生物毒と有害生物について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 毒のある生物について調べておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義で解説した内容を復習しておくこと | 120 | 分 |
| No14 | 人獣共通感染症・動物が媒介する感染症 | BSE、狂犬病、インフルエンザ、デング熱、エキノコックスなど、人獣共通感染症・動物が媒介する感染症について学ぶ | | | |
| | 予習内容(時間) | 人獣共通感染症・動物が媒介する感染症について資料を読んで予習しておくこと | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 生命科学で学んできた講義内容を復習しておくこと | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 国際関係論 BE-A |
| 講義名(英字) | International Relations |
| 担当教員 | 黒澤 愛美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>まず、国際関係とは何かというところから始めて、国際関係論の基礎知識を身につけます。そして、その基礎知識を基に、現代の国際社会が抱える諸問題を議論します。現代の国際社会には数多くの問題がありますが、この授業は、日本で活動する国際人として知っておくべき問題を優先して扱います。問題の現状を知ることにとどまらず、経緯や今後の課題まで追究します。また、関連する時事ニュースも積極的に取り上げます。</p> |
| | <p>国際関係論の基礎知識がある</p> |

| | | | | | | |
|------------------------------|---|------------|------------------|---|-----|-----|
| 【到達目標】 | 国際関係史の大きな流れを理解している 国際社会の諸問題について、概要を理解し、議論することができる | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | ・初回に必ず出席してください。 ・毎回CoursePowerを利用できるデバイスを持参してください。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的に講義形式で進めますが、各々が考える時間を適宜取ります。 | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | CoursePowerで資料を配布します。 | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | |
| | 国際関係論の基礎知識について、重要用語を適切に用いながら論理的に記述する | | 10% | 3分の2以上の出席を前提として授業中の課題50%、期末試験50%で評価します。 | | |
| | 国際関係史について、重要事項を押さえながら簡潔に記述する | | 20% | | | |
| | 国際問題について、概要を理解し、自分の主張を論理的かつ説得的に記述する | | 70% | | | |
| | 合計 | | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | ・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・板書等、撮影を一切禁止します。 ・国際情勢に鑑みて、授業計画を変更することがあります。 | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | |
| | No1 | イントロダクション | 授業ガイダンス、国際関係とは何か | | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際関係とは何か考える | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| | No2 | 国際関係論の基礎知識 | 国際関係の主体、グローバル化 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| | No3 | 国際関係史 | 第一次世界大戦、第二次世界大戦 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| | No4 | 国際関係史 | 冷戦期の国際社会 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| | No5 | 国際関係史 | 国共内戦、朝鮮戦争 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| | No6 | 国際関係史 | 冷戦後の国際社会 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |

| | | | | | |
|----------|----------|--------------------|---------------|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 |
| | No7 | 国際問題 | 歴史問題 | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 |
| | No8 | 国際問題 | 日韓歴史問題 | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 |
| | No9 | 国際問題 | 領土問題 | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 |
| | No10 | 国際問題 | 安全保障、軍事 | | |
| | | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 |
| | No11 | 国際問題 | 経済、貿易 | | |
| 予習内容(時間) | | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| 復習内容(時間) | | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| No12 | 国際問題 | 環境、エネルギー | | | |
| | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| No13 | 国際問題 | 人権 | | | |
| | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |
| No14 | 国際問題 | SDGs、今までの授業についての総括 | | | |
| | 予習内容(時間) | 国際ニュースをチェックする | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 授業内容を整理する | 120 | 分 | |

 前画面へ戻る

| | | | |
|------------------------------|-----------------|------|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 定期試験 | 60% | 定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 基本的にはグループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合があります。 |
| | グループワークへの取り組み状況 | 40% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--------------------------------|--|-----|---|
| No1 | 全体ガイダンス: 視点を持つことの重要性+G96:AI273 | どのような姿勢、準備でこの講義に取り組んでいただきたいか。 自分の視点を持つことの重要性。 観察することの重要性。 社会学とは何か？ | | |
| | 予習内容(時間) | 「社会学」に対する自分なりの考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No2 | 思考の練習 | 社会学を学ぶにあたって、 ・知識とは何か？ ・事実とは何か？ ・様々な思考法 についてのワークショップを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「社会学」に対する考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No3 | インターネットで社会はどう変化したか？ | Beforeインターネット社会とAfterインターネット社会はどのように変化したのか。ビジネスのありかた、社会のありかた、個人のありかたまで変えてしまった、この変化を考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | SNSのメリットデメリットについて考察しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No4 | テクノロジーと社会 | インターネット以外にも、社会を大きく変えたテクノロジーがある。また、その変化は社会や人間にプラスの変化だけではなく、マイナスの変化ももたらした。 いくつかのその変革を功罪両方の側面から考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 社会を変えたテクノロジーについての下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No5 | 「個」と「公」 | 民主主義の成立からこれまでの経緯を踏まえて現在の民主主義が抱える課題やジレンマを考察し、成熟社会日本のこれからの時代の個人と社会の関係性を考える。 【キーワード】 ・well-being ・ダイバーシティ ・プライバシー | | |
| | 予習内容(時間) | 民主主義と様々な制度についての下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No6 | データから世界を眺める | 私たちが知っている「世界」は果たして真実か。実際のデータをもとに、自分たちの認識が正しかったか、正しくなかったかを検証する。 現在の社会をデータを通じて理解を深める。 【キーワード】 ・南北格差 ・富の集中 ・分断 | | |
| | 予習内容(時間) | 前時に指定した課題に取り組む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No7 | ビッグデータとは何か | ビッグデータについての概説から、実際のビジネスでどのようにビッグデータが活用されているかのケーススタディを行う。 【キーワード】 ・データ倫理 ・データ活用ビジネス ・ポイントカード ・人流 | | |
| | 予習内容(時間) | ビッグデータ活用ビジネスに関する下調べ | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No8 | AIと社会を考える | 急速に発展し、実社会での活用が進む人工知能。これからのビジネスではさらに人工知能を活用することが求められる。本講義では技術的側面とビジネス的側面の双方から人工知能を考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 人工知能がビジネスに活用されている事例に関する下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No9 | 情報社会論① | 世界で流れている様々なフェイクニュースを通して以下の事象について考察する。 ・「真実」とは何か？ ・情報の発信には様々な意図があること。 ・人はなぜフェイクニュースを信じるのか？ ・人の認知にあるひずみ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No10 | 情報社会論② | 都市伝説について実例を取り上げ、それらが流布される背景を考察する。 【キーワード】 ・都市化 ・ネットロア | | |
| | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No11 | 情報社会論③ | ウクライナ戦争では当事者国の双方が虚々実々の情報戦争を仕掛けていた。ネット上の様々なフェイク情報の分析を通して、人はなぜフェイクニュースを信じるかを考察する。 【キーワード】 ・情報戦争 ・ディープフェイク ・ファクトチェック | | |
| | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No12 | 情報社会論④ | なぜデマが生まれるのか、そしてそれが広まっていくのか。歴史的な「デマ」事件を取り上げ、心理学・社会学な考察を行う。 【キーワード】 ・デマ ・情報の拡散 ・エセ科学／疑似科学 | | |
| | 予習内容(時間) | 指定サイトの閲覧による下調べ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No13 | ワークショップ① | これまでの講義内容をふまえて、少人数グループに分かれ、テーマを設定し、発表資料を作成する。 | | |
| | 予習内容(時間) | ワークショップのための下調べ(前時に指示します) | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 発表のための準備 | 120 | 分 |
| No14 | ワークショップ② | ワークショップ①で作成した資料を発表する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 発表のための準備(前時に指示します) | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 発表の振り返り | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 心理学 I BE-A |
| 講義名(英字) | Psychology I |
| 担当教員 | 伊波 和恵 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 科学の領域で、心理学は「人間の心理と行動」の法則や原理に関する学問として発展してきました。この授業では、人間の心理を理解するうえで必要となる、以下のような基礎的な知識の理解を目標とします：(1)人間の心理社会的発達、(2)心と脳との関係、(3)人の知覚(とくに視覚)のメカニズム、(4)欲求と適応行動、(5)学習行動と記憶のメカニズム。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 生涯発達心理学と社会性に関する基礎知識を理解する 心と脳の関連性、知覚(とくに視覚)に関する知識を理解する 欲求と適応行動、学習・記憶の原理に関する知識を理解する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | とくになし。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 授業は基本的に講義形式で行いますが、ワークなどを行い、適宜、課題の提出を求めます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 【使用教材】テキスト：岡村一成(編)『心理学—行動の科学—』東京教学社。その他、講義中に適宜紹介する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|----------------------------|------|---|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 生涯発達心理学と社会性に関する基礎知識の習得 | 25 | 出席率70%以上。小課題40%・試験30%・レポート課題30%を勘案、総合的に評価 | |
| | 心と脳の関連性、知覚(とくに視覚)に関する知識の習得 | 35 | | |
| | 欲求と適応行動、学習・記憶の原理に関する知識の習得 | 40 | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|---|
| 【その他の注意事項】 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間テストを必ず受験すること。 ・授業に関するあらゆる不正、ゲーム機・スマートフォン等の不適切な使用を禁じます。受講停止等、厳格に対応することもあります。 |
|------------|---|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--------------------|--|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | 授業の進め方・評価方法の説明 行動科学としての心理学 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストを入手し、目次を概観しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No2 | 発達心理学 | 心身の発達のメカニズム・発達モデル・発達段階説 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No3 | 発達心理学 | 乳児期・幼児期・児童期 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No4 | 発達心理学 | 青年期・成人期・老年期 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No5 | 生理心理学 | 神経系の構造と機能・大脳の構造と機能 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No6 | 生理心理学 | 心身相関論 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No7 | 知覚心理学 | 知覚・視覚・錯覚 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No8 | 知覚心理学 | 社会的知覚・美術的表現・仮現運動 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No9 | 中間テスト(予定) 認知心理学 | 前半: 中間テスト実施と解説(予定。変更する場合は事前に告知します) 後半: 欲求と欲求不満・欲求五階層説 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| | 認知心理学 | 欲求五階層説・葛藤 | | |

| | | | | |
|------|----------|-----------------------------|-----|---|
| No10 | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No11 | 認知心理学 | 適応(防衛)機制・適応行動 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No12 | 学習心理学 | 学習のメカニズム・学習のプロセス・学習性無力感 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を提出する。 | 120 | 分 |
| No13 | 学習心理学 | 記憶・忘却のメカニズム・メタ記憶 | | |
| | 予習内容(時間) | 指示された課題を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 試験の準備を進める。 | 120 | 分 |
| No14 | 学習心理学 | 記憶にまつわる心理的問題(記憶障害・記銘障害・認知症) | | |
| | 予習内容(時間) | 試験の準備を進める。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | まとめ課題を行い、試験の準備を進める。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 心理学 I BE-C |
| 講義名(英字) | Psychology I |
| 担当教員 | 浮谷 秀一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|----------------------------|--|---|-----|---|-----|--|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 科学として発展してきた心理学が、今日まで解明してきた人間の心理と行動の特徴についてわかりやすく解説し、身近な学問として正しく理解してもらおうことをねらいとしている。そのねらいの実現のために、人間の心理を理解するために必要な基礎的分野(発達心理・生理心理・認知心理・適応心理)を解説する。主に講義形式で授業を進め、必要に応じて心理検査実習の実習を組み込んでいく。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | 人間の発達について、そのプロセスとその特徴について理解すること 人間がどのようなメカニズムで外界の刺激をとらえているか理解すること 人間が社会に適応するためのメカニズムを理解すること | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 特になし | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的には講義形式で授業を進行し、必要に応じて心理検査実習を組み込む | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 岡村一成編著『心理学－行動の科学－』東京教学社 2006年 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | |

| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|------------------------------|---|------|--------------------|
| | 発達に影響する要因と発達段階の特徴を理解できているかで評価する | 40% | 中間試験40% 終了試験60% |
| | 生理心理のメカニズムおよび認知心理に関連する人間の特徴を理解できているかで評価する | 30% | |
| | 適応するということがどのようなことかを理解できているかで評価する | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

| 【その他の注意事項】 | |
|------------|-------------------|
| | 好奇心をもって積極的に出席すること |

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|------------------|--|-----|---|
| No1 | 授業ガイダンス 心理学とは | 今後の授業内容と望ましい受講の仕方および評価の方法について解説する 心理学の目標をどのように達成しようとしているかの方法について解説する | | |
| | 予習内容(時間) | 心理学に関連した本を読むなどして授業を受ける準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、心理学の目的と方法を理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No2 | 1. 発達心理 | (1)発達とは 発達の定義について解説する (2)発達の特徴 人間が生まれて死ぬまでに誰もが経験する特質を解説する 1)分化・統合性 2)順序性 3)波動性 | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、今後のために発達の定義を自分なりに理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No3 | 1. 発達心理 | (2)発達の特徴 4)個人差 (3)遺伝と環境 人間に対する遺伝と環境の影響について解説する 1)生得説 2)経験説 | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、個人差の重要性を理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No4 | 1. 発達心理 | (3)遺伝と環境 3)両極説 4)環境閾値説 | | |
| | 予習内容(時間) | 遺伝と環境の影響について再確認しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、遺伝と環境の重要性が理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No5 | 1. 発達心理 | * 遺伝と環境の関連して 環境と遺伝に関連する事例を解説する ①狼に育てられた子 ②アヴェロンの野生児 ③地下牢の17年間 | | |
| | 予習内容(時間) | 遺伝と環境の影響について再確認しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、3事例を取り上げた理由が理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No6 | 1. 発達心理 | (4)発達段階の特徴 人間が生まれて死ぬまでの発達過程を特定の基準で段階に分け、 各段階の特徴をキーワードをあげて解説する 1)乳幼児期 2)児童期 | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、授業で取り上げられたキーワードが理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No7 | 1. 発達心理 | (4)発達段階の特徴 3)青年期 4)中高年期 | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、授業で取り上げられたキーワードが理解できているか確認する | 120 | 分 |

| 【授業計画】 | | | | |
|--------|----------|--|-----|---|
| No8 | 2. 生理心理 | (1)生理心理とは なぜ心理学がこの分野を研究するかを解説する (2)神経系について 神経系全般について解説する | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、心理学における生理心理の役割について理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No9 | 2. 生理心理 | (3)自律神経系について 心理学に最も関連する自律神経系について解説する | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、人間にとっての自律神経の重要性について理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No10 | 3. 認知心理 | (1)認知心理とは なぜ心理学がこの分野の研究をするのか解説する (2)感覚器官 人間が外部刺激を取り入れる取り入れ口について解説する 1)視覚 2)聴覚 3)嗅覚 4)味覚 5)皮膚感覚 | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、人間が外部の刺激を取り入れるメカニズムについて理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No11 | 3. 認知心理 | (3)知覚の一般的特徴 人間が外部の刺激を取り入れ時の特徴について解説する 1)選択性 2)恒常性 3)奥行知覚 4)運動知覚 | | |
| | 予習内容(時間) | この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、人間が外部の刺激を取り入れ時の特徴を理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No12 | 4. 適応心理 | (1)欲求とは 欲求が起こるメカニズムについて解説する (2)欲求5階層説 マズローの欲求5階層説を解説する | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当部分を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、欲求が起こるメカニズムについて理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No13 | 4. 適応心理 | (3)葛藤 葛藤とは何かについて解説する (4)欲求不満 欲求不満のメカニズムおよび欲求不満耐性について解説する | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当部分を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、適応するということとはどのようなことかを理解できているか確認する | 120 | 分 |
| No14 | 4. 適応心理 | (5)適応機制 適応の仕方ではなく緊張解消法であるということを解説する 1)攻撃機制 2)防衛機制 3)逃避機制 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当部分を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 記録したノートを読み返し、適応機制を正しく理解できているか確認する | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 統計学 BE-A |
| 講義名(英字) | Statistics |
| 担当教員 | 松本 勇樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 人間が生きていくうえではあらゆる局面で意思決定をしなければならない。経験やカンだけに頼って意思決定を行うと誤った意思決定を行う場合が多い。そこで客観的に測定された数値を用いることによって正しい意思決定を行うことができるようになる。本講義ではビジネスで使用する数字や統計の感覚を養うことを目的とする。概算や四捨五入などの基本から初めて、割合や変化の仕組みを学ぶ。その後、記述統計学と多変量解析の中から、身近なデータを使用して、統計の考え方について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 数字の感覚を養う: 設問に対する回答によって評価する。与えられた問題に対して正しい計算ができるかを評価する。 データを整理する: 与えられた問題に対して、データを正しく分類することができるかを評価する。 統計計算を行う: 与えられた問題に対して、正しい計算を行い、その結果からどのようなことが分かるかを評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 継続して受講しないと理解度は高まらないので、休まず出席すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義の前半で、該当するテーマについての解説を行い、後半で与えられたテーマに基づいて問題演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | Course Power!に解説資料、講義ノートを授業開始までにアップするので、各自ダウンロードして授業に臨むこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|---------|------|---|
| 授業内課題 | 15% | 50%以上の授業内課題の提出を前提として、授業内課題15%、小テスト15%、期末試験70%の合計点で評価する。 |
| 小テスト | 15% | |
| 期末試験 | 70% | |
| 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】

繰り返し解説を行うので、数学や計算に対しての過度な恐怖心や思い込みをしないで講義に参加してほしい。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | 本講義のテーマ、目的・概要、講義方針等を確認する併せて、シラバスに基づく具体的な講義内容を説明するデータとは何かを理解する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No2 | 概算と電卓の操作方法 | 電卓の操作方法を確認するとともに、データを概算で扱う感覚を養う | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No3 | 比率 | 数値を比較するための手法として比率の考え方を習得する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No4 | 変化(1) | 指数と倍率について理解する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No5 | 変化(2) | 変化率について理解する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No6 | 度数分布 | 収集したデータを分類し、度数分布表とヒストグラムを作成する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No7 | 代表値 | 平均とメディアンについて理解する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No8 | 散らばりの代表値(1) | 偏差の概念から、標準偏差について理解する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No9 | 小テスト(1) | 平均とメディアン、標準偏差の演習を行い、最後にここまでの理解度を確認するために小テストを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|----------|--|-----|---|
| No10 | 標準化 | 平均・標準偏差が異なる2つの分布に属するデータを比較するための方法である標準化について学び、Z値と偏差値の計算ができるようにする | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No11 | 散布図 | 1つの対象について、2つの変数がどのような関係があるのか散布図を用いて把握する方法を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No12 | 相関係数 | 2つの変数の関係を1つの数値で表す相関係数の概念と計算方法について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No13 | 小テスト(2) | 標準化、相関係数の復習を行い、最後にここまでの理解度を確認するために小テストを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |
| No14 | 正規分布 | 代表的な分布である正規分布の性質とその利用法について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | Course Powerにアップされる講義資料を読み込む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | コンピュータ・サイエンス BE-A |
| 講義名(英字) | Computer Science |
| 担当教員 | 江崎 和夫 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|-----|--|-----|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>本学においてさまざまな科目を学習していくための基礎としてコンピュータを理解し、操作できることは重要です。そこで本科目は、ビジネス文書や、ビジネスデータの加工などができるコンピュータリテラシーのスキル(技能)を身につけることを目指します。そのために、パソコンの基本ソフト(OS)であるWindowsの基本的な操作の学習、ワープロソフトのMicrosoft Wordを使った日本語文書の作成、プレゼンテーションソフトのMicrosoft Powerpointを使った発表用資料の作成、表計算ソフトのMicrosoft Excelを使った表計算処理やグラフの作成などについて、実践的な演習を行います。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>ワープロソフトでビジネス文書などを作成するスキルを身につけていること。</p> <p>表計算ソフトの基本を理解し関数を活用したデータ処理やグラフの作成ができること。</p> <p>プレゼンテーションソフトを使って効果的な発表資料が作成できること。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>テキストの機能を例題でパソコン演習を通じて学習する。演習課題を作成し提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>技術評論社編集部著「Word & Excel & PowerPoint 2019基本技」技術評論社発行</p> | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | ○ | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|-----------------|------|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
| | 理解度小テスト | 30% | 理解度小テスト、提出課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。 |
| | 課題作成 | 40% | |
| | 実技テストを兼ねた総合課題演習 | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】 遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1(5回)欠席した場合は、単位が認められない。毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------------------------|--|-----|---|
| No1 | ガイダンス。 Windowsの基本 Wordの基本 | 授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 Windowsの操作、ファイルの操作、Wordの基本操作。 第1回課題1のWordの文字入力の実演を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 初回なのでない。 | 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第1回課題2でWordの文字入力の実演を行う。 | 150 | 分 |
| No2 | Word の操作演習1 | さまざまな文字の入力方法、ページ設定、文章の編集の実演。 第2回課題1のWordの文字入力の実演を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第2回課題2でWordの文書入力の実演を行う。 | 120 | 分 |
| No3 | Word の操作演習2 | 書式設定、文字の装飾、表の作成、表の編集の実演。 第3回課題1のWordの文書作成の実演を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第3回課題2でWordの文書入力の実演を行う。 | 120 | 分 |
| No4 | Word の操作演習3 | 画像等を活用したビジュアルな文書の作成、レイアウトの指定の実演。 第4回課題1のWordの文書作成の実演を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第4回課題2でWordの文書入力の実演を行う。 | 120 | 分 |
| No5 | Word の操作演習4 | Wordのビジネス文書を作成する総合演習課題。 第5回課題1のWordのビジネス文書作成の実演を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第5回課題2でWordのビジネス文書作成の実演を行う。 | 150 | 分 |
| No6 | インターネットの活用 | インターネットの使い方と活用方法の実演。 第6回課題1のインターネットの演習課題を作成する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 資料のインターネットの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第6回課題2でインターネットの実演を行う。 | 120 | 分 |
| No7 | Powerpoint の操作演習1 | スライド作成、文字や画像の活用の実演。 第7回課題1のPowerPointの基本操作演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのPowerPointの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第7回課題2のPowerPointの基本操作演習を行う。 | 120 | 分 |
| No8 | Powerpoint の操作演習2 | 図形、Smartartを活用したビジュアル資料作成、PowerPointの総合演習課題の実演。 第8回課題1のPowerPoint総合演習を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのPowerPointの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 第8回総合演習課題2の総合演習課題を作成する。 | 150 | 分 |
| No9 | Excel の操作演習1 | 基本的なワークシート編集、関数の基本の演習。 第9回課題1のExcelの基本演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第9回課題2のExcelの基本操作演習を行う。 | 120 | 分 |
| No10 | Excel の操作演習2 | 表と罫線、グラフの作成の演習。 第10回課題1のExcelの基本演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第10回課題2のExcelの基本操作演習を行う。 | 120 | 分 |
| No11 | Excel の操作演習3 | 関数(IF、RANK等)、文字列操作関数の演習。 第11回課題1の関数等の設定演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第11回課題2のExcelの操作演習を行う。 | 120 | 分 |
| No12 | Excel の操作演習4 | データの抽出、並べ替えの演習。 第12回課題1のExcelの操作演習行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第12回課題2のExcelの操作演習を行う。 | 150 | 分 |
| No13 | Excel の操作演習5 授業の振り返り | 関数(VLOOKUP、COUNTIF等)、フィルタ機能の演習を行う。 第13回課題1のExcelの応用操作演習行う。 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第13総合演習2のExcelの応用操作演習行う。 | 120 | 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 総合演習 | 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。 第14週総合演習1の作成を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 最終回なので対象外 | 0 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | コンピュータ・サイエンス BE-B |
| 講義名(英字) | Computer Science |
| 担当教員 | 黒木 弘司 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|-----|--|-----|--|-----|--|-----|-----|---|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 現代では大企業は言うに及ばず、ほとんどの企業や大学にはコンピュータが取り入れられ、その多くでMicrosoft社のWord、Excel、PowerPointが文書の作成やプレゼンテーション資料に使用されています。本講義では、今後使用する機会が増えるWordやExcel、PowerPointによる文書の作成や表計算、プレゼンテーション資料の作成について、実習を通して基本的な操作方法を習得することを目的とします。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | Wordの基本操作を理解し、分かりやすい文書の作成ができる。 Excelの基本操作を理解し、表の作成やデータの操作、グラフの作成ができる。 PowerPointの基本操作を理解し、プレゼンテーション資料の作成ができる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 履修条件は特にありませんが、ある程度Windowsの使用やタイピングができることが望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | テキストを使った実習を行い、WordやExcel、PowerPointによる文書の作成や表計算、プレゼンテーション資料の作成の基本的な操作方法を学びます。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 富士通エフ・オー・エム株式会社(著)『よくわかる Word 2019 & Excel 2019 & PowerPoint 2019』FOM出版、2019年 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td></td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 自制力 | 思考力 | | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|------|------------------------------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | Wordを使用した基本的な文章や分かりやすい文書の作成 | 30% | 授業内の課題(50%)と確認テストの結果(50%)を基に評価を行う。 | |
| | Excelを使用したデータ入力や表、グラフ、関数の使用 | 40% | | |
| | PowerPointを使用した基本的な発表資料の作成 | 30% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】 前回までの授業の理解が前提となるので、出来るだけ欠席しないこと。
Windows環境でのWord、Excel、PowerPointの2019を前提とします。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|----------------------------|--------------------------------------|-----|---|
| No1 | ガイダンスとWindowsの基本操作 | 授業の進め方、Windowsの基礎 | | |
| | 予習内容(時間) | タイピングの練習とWindowsの操作方法について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Windowsの基本的な操作方法について復習 | 120 | 分 |
| No2 | Word、Excel、PowerPointの基本操作 | Word、Excel、PowerPointの概要、起動/終了、画面の構成 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Word、Excel、PowerPointの基本操作について復習 | 120 | 分 |
| No3 | Wordの操作実習(1) | Wordを使った文書の作成 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とWordを使用した文章の作成について復習 | 120 | 分 |
| No4 | Wordの操作実習(2) | Wordを使ったグラフィック機能の使用 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とWordを使用したグラフィック機能について復習 | 120 | 分 |
| No5 | Wordの操作実習(3) | Wordを使った表のある文書の作成 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とWordを使用した表のある文章の作成について復習 | 120 | 分 |
| No6 | Excelの操作実習(1) | Excelを使ったデータの入力 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とExcelを使用したデータの入力について復習 | 120 | 分 |
| No7 | Excelの操作実習(2) | Excelを使った表の作成 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とExcelを使用した表の作成について復習 | 120 | 分 |
| No8 | Excelの操作実習(3) | Excelを使ったグラフの作成 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とExcelを使用したグラフの作成について復習 | 120 | 分 |
| No9 | Excelの操作実習(4) | Excelを使ったデータの分析 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とExcelを使用したデータの分析について復習 | 120 | 分 |
| No10 | PowerPointの操作実習(1) | PowerPointを使ったプレゼンテーションの作成 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|--------------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とPowerPointを使用したプレゼンテーション作成の復習 | 120 | 分 |
| | PowerPointの操作実習(2) | PowerPointを使ったスライドショーの実行 | | |
| No11 | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とPowerPointを使用したスライドショーの実行について復習 | 120 | 分 |
| | データ共有の操作実習 | Word、Excel、PowerPoint間でのデータ共有 | | |
| No12 | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施とWord、Excel、PowerPoint間でのデータ共有の復習 | 120 | 分 |
| | 総合練習 | 総合問題を使った習熟度の確認 | | |
| No13 | 予習内容(時間) | テキストの該当部分を読んで、理解 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題の実施と総合問題の復習 | 120 | 分 |
| | 総括 | 今までの授業についての総括を行い、理解が不十分と考える項目について復習 | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 授業を振り返り、理解が不十分な点を確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り結果のまとめと試験準備 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | コンピュータ・サイエンス BE-G |
| 講義名(英字) | Computer Science |
| 担当教員 | 高田 真也 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 企業で働くうえで必須のスキルであるWord、Excel、PowerpointなどのMicrosoft Officeの使い方について実践的に学ぶ。講義は、スライドによる解説と演習を通じて行い、評価は毎回の小課題により行う。単純な作業の演習にならないように、読みやすい文章の作成や、グラフやスライドについてデータを加工し、表現するために創意工夫するための基礎を学ぶことができる講義を心掛ける。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | Word、Excel、Powerpointが一通り使えるようになり、必要な文書やグラフ、スライドを作成できるようになる。 わかりやすい文書レイアウトや、見やすいスライドについて自ら工夫できるようになる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 特に前提知識は必要ないが、タイピングはできることが望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | PowerPoint資料を用いて講義を行い、毎回小課題の提出を義務付ける。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 技術評論社他(2022)、「今すぐ使えるWord&Excel&Powerpoint2021」、技術評論社 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|------------------------------|---------|------|--------------------------|
| | 小レポート | 60% | 小レポート、期末レポート、平常点により評価する。 |
| | 期末レポート | 20% | |
| | 平常点 | 20% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|--|
| 【その他の注意事項】 | 特別な理由がある場合を除き、授業回数の3分の1以上の欠席がある場合は、単位を認めない。また授業目的以外でのスマートフォンやタブレットなどの電子機器の使用を禁止する。 |
|------------|--|

| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | |
|----------|----------|--------------------------------------|---|-----|---|--|
| | No1 | ガイダンス | オフィスの基本的な機能やデータリテラシーの基礎を説明し、講義の流れを解説する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | オフィスの基本的な使い方を学習し、慣れておく。教科書の該当範囲(1章)を読む。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | スライドを見返して、復習する。 | 120 | 分 | |
| | No2 | Word:文字列の操作と印刷、保存 | 文章の入力とファイルの保存、印刷などWordの基礎について学ぶ。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(2章)を読み、操作方法を確認する。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | |
| | No3 | Word:段落と編集 | Wordで書いた文章の編集と校正について学ぶ。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(3章)を読み、操作方法を確認する。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | |
| | No4 | Word:図の挿入と編集 | Wordでの図の挿入の仕方と、概念図の作成について学ぶ。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(4章)を読み、操作方法を確認する。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | |
| | No5 | Excel:データ入力と編集、削除、相対参照と絶対参照 | Excelの表の作成方法と、相対参照など入力方法を学ぶ。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(5章)を読み、操作方法を確認する。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | |
| | No6 | Excelの関数 | 平均、分散、合計など、Excelの様々な関数について学ぶ。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(6章)を読み、操作方法を確認する。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | |
| | No7 | Excelの関数続き、表のレイアウト、 | より高度なExcelの関数とレイアウト方法について学ぶ。 | | | |
| 予習内容(時間) | | 教科書の該当範囲(7章)と補助プリントを読み操作方法を確認する。 | 120 | 分 | | |
| 復習内容(時間) | | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | | |
| No8 | グラフ作成 | Excelの表をもとにした様々なグラフの作成方法を学ぶ。 | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(8章)を読み、操作方法を確認する。 | 120 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | スライドを見返し、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | | |
| No9 | 相関分析 | Excelのアドインの使い方と散布図の書き方及び、相関分析について学ぶ。 | | | | |
| | 予習内容(時間) | アドインのインストールをし、使い方に慣れておく。 | 120 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | スライドを見返して、小レポートを作成する。 | 120 | 分 | | |
| | | スライド作成の基礎 | スライド作成の基礎と文字書式の設定について学ぶ。 | | | |

| | | | | |
|------|-----------------|--------------------------------------|-----|---|
| No10 | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(9章・10章)を読む。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | スライドを見返し、復習する。 | 120 | 分 |
| No11 | 図の挿入とレイアウト | スライドに文字以外の情報を挿入する方法について学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(11章)を読む。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | スライドを見返し、復習する。 | 120 | 分 |
| No12 | アニメーションとスライドマスタ | アニメーションとスライドマスタについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(11章)を読む。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | スライドを見返して、復習する。 | 120 | 分 |
| No13 | 効果的なプレゼンテーション | 効果的なプレゼンテーションについて考え、プレゼンのための準備を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の該当範囲(12章)・補助プリントを読む。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | スライドを見返して、復習する。 | 120 | 分 |
| No14 | 総合演習 | これまでの講義のまとめと、最終課題に向けた準備について講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 講義全体を振り返り、操作方法を見直しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義全体を振り返り、操作方法を見直し、期末レポートを作成する。 | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 情報学 BE-A |
| 講義名(英字) | Informatics |
| 担当教員 | 鬼木 一直 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|-----|---|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 企業で業務を遂行するにあたり、Microsoft社の『Excel』、『Word』、『PowerPoint』は必須アイテムともいえるソフトとなっています。これらのソフトを使いこなすためにパソコン一般知識、アプリケーション操作、情報モラル&セキュリティなどを学ぶことが必要です。本授業ではタイピングの練習、文章作成、表計算、グラフ作成などを通じ、日常の企業活動で発生するさまざまなコンピュータ知識、スキルを修得します。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | タイピング速度60文字/分以上 Microsoft Word、Excelの基本的な使用法の修得 コンピュータ用語、ネットワークシステム、情報モラルの理解 | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | Word、Excelの基本的な操作ができること。 | | | | | | |
| 【教育方法】 | PCを1人1台使用し、タイピングやソフトの操作を行いながらパソコンスキルを高めていきます。 | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | P検協会公式テキスト「P検3級テキスト」を貸し出しますので、購入は不要です。 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | |

| | | | | |
|------------------------------|----------------------------|------|--|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | タイピング速度60文字/分以上を目標とする | 20% | PC操作を行い模擬問題を解きます。 コンピュータ知識については講義を行います。 | |
| | Word、Excelを活用し、基本的な操作を行う | 40% | | |
| | コンピュータ用語、ネットワーク、情報モラルを理解する | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|--------------------------------|
| 【その他の注意事項】 | 授業時間内にP検(準2級または3級)の模擬試験を実施します。 |
|------------|--------------------------------|

| | | | | | |
|--------|------|----------------|---------------------------------------|-----|---|
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | 全体概要の説明とワープロ操作 | 講義内容、本試験の内容等についての説明を行い、ワープロの基本操作を修得する | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスの確認、学習内容の概要確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | Wordの基本操作確認 | 120 | 分 |
| | No2 | ワープロ操作 | タイピングの基本を学び、文書の編集などの演習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、ワープロ操作の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 文書の編集作業の確認 | 120 | 分 |
| | No3 | ワープロ操作 | 図の挿入や図形の作成、表の作成や編集などの演習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、ワープロ操作の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | Wordでの図形作成、表編集の確認 | 120 | 分 |
| | No4 | 表計算 | 表計算ソフトの操作を学び、関数を利用した計算などの演習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、表計算操作の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | Excelの基本操作確認 | 120 | 分 |
| | No5 | 表計算 | グラフの編集、表データの並べ替えなどの演習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、グラフ作成操作の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | グラフ編集、表データ操作の確認 | 120 | 分 |
| | No6 | 表計算 | データの集計、シートの編集などの演習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、データ入力方法の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | データの集計、シートの編集の確認 | 120 | 分 |
| | No7 | コンピュータ知識 | コンピュータに関する一般的な技術用語を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、コンピュータ基礎知識の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | コンピュータ用語の確認 | 120 | 分 |
| | No8 | 情報通信ネットワーク | 情報通信システムに関する一般的な技術用語を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、情報通信基礎知識の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 情報通信システム用語の確認 | 120 | 分 |
| | No9 | 情報モラルと情報セキュリティ | インターネットのセキュリティ対策、個人情報やプライバシーの保護について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、セキュリティ知識の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | セキュリティ用語の確認 | 120 | 分 |
| | No10 | ICTを活用した問題解決 | フローチャート、データベースの活用法について学び、演習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、フローチャートの確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | フローチャート、データベースの作成手順の確認 | 120 | 分 |

| | | | | | |
|--|------|----------|------------------------------------|-----|---|
| | No11 | P検模擬試験 | 実際の検定試験と同じCBT方式での模擬試験を体験し、解答方法に慣れる | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、CBT操作の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 模擬試験で間違えた部分のチェック | 120 | 分 |
| | No12 | P検模擬試験 | P検模擬試験3級を行い、苦手分野を確認する | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、模擬試験問題の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 模擬試験で間違えた部分のチェック | 120 | 分 |
| | No13 | P検模擬試験 | P検模擬試験3級を行い、本番試験への対策を立てる | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、模擬試験問題の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 模擬試験で間違えた部分のチェック | 120 | 分 |
| | No14 | P検模擬試験 | 本番試験に備え時間配分などを確認し、苦手項目の学習を行う | | |
| | | 予習内容(時間) | タイピング練習、模擬試験問題の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 模擬試験で間違えた部分のチェック | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 多文化理解 I (韓国文化1) BE-A |
| 講義名(英字) | Multicultural Issues I |
| 担当教員 | 黒澤 愛美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|-----|--|-----|---|-----|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この授業が目指すのは、韓国文化を理解し、韓国の人と上手にコミュニケーションが取れるようになることです。そのために欠かせない韓国語を中心に学びます。韓国語の文字である「ハングル」の読み書きから始めて、それぞれの場面にふさわしい言葉遣いを身につけていきます。また、韓国の生活や習慣、マナーも同時に学びます。言語をはじめとする文化は、時代によって変わります。リアルな韓国文化を楽しく学びましょう。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | ハングルの読み書きができる 基礎的な文を理解できる 簡単な自己紹介をすることができる | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | ・この授業は、韓国語を初めて学ぶ人を対象にします。 ・全ての授業に出席するつもりで履修してください。 ・毎回必ずテキストを持参してください。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | ・基本的にテキストに沿って進めます。 ・適宜日本語で解説します。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 木内明『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』国書刊行会、2013年。 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | |

| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
|------------------------------|--|------|--|--|
| | ほかの人が問題なく読めるハングルを書くことができ、また、ハングルを正しく発音することができる | 25% | 3分の2以上の出席を前提として授業参加度25%、宿題25%、期末試験50%で評価します。 | |
| | 基礎的な文を読んだり聞いたりして理解できる | 50% | | |
| | 通じる発音で、趣味や専攻など、自分のことについて話せる | 25% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| 【その他の注意事項】 | |
|------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・パソコン、携帯電話の使用を禁止します。タブレットは使用方法によって許可する場合があります。 ・決して楽な授業ではありません。覚えることも多いです。それを踏まえて履修してください。 |

| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|----------|----------|--------------------------|----------------------------|-----|---|
| | No1 | イントロダクション | 韓国語／ハングルとは、基本の母音 | | |
| | | 予習内容(時間) | 韓国や韓国語について、自分が知っていることを整理する | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 基本の母音を覚える | 120 | 分 |
| | No2 | 文字、発音 | 子音、日本の地名の書き方 | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 子音を覚える | 120 | 分 |
| | No3 | 文字、発音 | パッチム、自分の名前の書き方 | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | パッチムを覚える | 120 | 分 |
| | No4 | 文字、発音 | 複合母音、あいさつ | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストに目を通す | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 自分の名前をハングルで書けるようにする | 120 | 分 |
| | No5 | 肯定表現 | 第1課 ～は、～です(韓国の初対面の人との会話) | | |
| | | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| | No6 | 疑問表現 | 第2課 ～が、～ですか(韓国の地域) | | |
| | | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| | No7 | 否定表現 | 第3課 ～ではありません(韓国の学生生活) | | |
| 予習内容(時間) | | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | |
| 復習内容(時間) | | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | |
| No8 | 音読練習 | 第1課～第3課本文 | | | |
| | 予習内容(時間) | 第1課～第3課本文の音読練習 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 第1課～第3課本文の音読練習 | 120 | 分 | |
| No9 | 存在表現 | 第4課 あります、ありません(韓国映画) | | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 | |
| | | 動作表現 | 第5課 します、しますか(韓国人の趣味活動) | | |

| | | | | |
|------|----------|---------------------------|-----|---|
| No10 | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No11 | 丁寧な語尾の形 | 第6課 あります/しますのヨ体(韓国の社会人生活) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No12 | 丁寧な語尾の形 | 第7課 ~です/ますのムニダ体(韓国の交通手段) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No13 | 丁寧な語尾の形 | 第8課 ~です/ますのヨ体(韓国の食文化) | | |
| | 予習内容(時間) | 本文の発音練習をし、わからないところを明確にする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 練習問題、単語の暗記 | 120 | 分 |
| No14 | 自己紹介 | 趣味や専攻など、自分のことについて話す | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介の練習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介の練習 | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 多文化理解Ⅴ BE-A |
| 講義名(英字) | Multicultural Issues Ⅴ |
| 担当教員 | 小林 寛典 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|-----|------|-----|--|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 近年、異文化を背景に持つ人々は私たちの周囲に大変多くなっている。しかし、私たちは彼らの存在を認識しているものの、彼らと心の交流をしているとはまだまだ言えない。本講義では、異なった文化・社会・価値観などを持つ人々をどう理解していけばいいのかを異文化コミュニケーションの観点から共に考えていく。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | 異文化を理解すること コミュニケーションについて知ること 自分を知ること | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 履修条件: 学生同士の話し合いに積極的に参加し、自ら発言すること 受講推奨者: 異文化に興味がある好奇心旺盛な方 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講師からの一方的な講義だけでなく、テーマごとに学生自身に考えてもらいその意見を皆で共有していく。 | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 使用しない。 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | | |
| | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |

| | | | |
|------------------------------|----------|------|------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 授業参加度 | 30% | 左記3項目の合計点数で評価する。 |
| | 毎回の確認テスト | 50% | |
| | 期末レポート | 20% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】 学期の3分の1を超えて欠席した場合は、単位を認めない。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | スケジュール、講義の進め方、評価方法の確認 他己紹介 少人数のグループにて各自の異文化体験の紹介、全体発表 確認テストの練習 | | |
| | 予習内容(時間) | 過去の人生を振り返り、自分の異文化体験を発表できるようにする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、疑問点、不明点を明らかにする | 120 | 分 |
| No2 | 異文化を理解する | 日本の異文化交流の歴史 異文化理解の意義 文化とは何か | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No3 | 異文化理解への態度 | 文化とは何か2 常識・非常識 トータルカルチャーとサブカルチャー | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No4 | 文化の特徴 | 文化ダイアグラム 文化の特徴 行動を規定する3つの側面 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No5 | 異文化適応 | 異文化適応 カルチャーショック U字曲線の適応 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No6 | コミュニケーションの概念 | U字曲線の適応2 コミュニケーションの概念 コミュニケーションの定義 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No7 | コミュニケーションスタイル | コミュニケーションモデル コミュニケーションスタイル 民族による違い | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No8 | コミュニケーションの手段 | ノンバーバル・コミュニケーション 身体動作学 距離のとり方 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|------------------|---|-----|---|
| No9 | コミュニケーションストラテジー | コミュニケーション能力の定義 コミュニケーション・ストラテジーの定義 コミュニケーションの成立 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No10 | 異文化の認識 | 固定観念 ファイリング カテゴリー化 ステレオタイプ | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No11 | 差別を考える | 差別の定義 差別の種類 差別が生まれる背景 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No12 | 自分を知る | 自己開示 ジョハリの窓 自分の自己開示度 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No13 | アサーティブ・コミュニケーション | アサーティブ・コミュニケーションとは 自分のスタイルを知る | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No14 | 異文化トレーニング | エポケーとは エポケーの事例 学期末レポートの説明 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I BE-A |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 北田 敬子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|---|-----|---|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | これまでに培ってきた英語の基礎能力を強化して、実際に英語が使えるようになるための知識と技能を身に付けることが、このクラスの目的です。英語が好きだという人も、英語に苦手意識を持っている人も、英語の運用能力は現代社会における必須のスキルだと考えているのではないのでしょうか。それなのに、小学生の頃から学んでいるはずの英語が一向に「話せるようにならない」と思うのは何故でしょうか。おそらく実践の機会が少なかったこと、当たり前のように毎日英語に触れる習慣を持たずに来てしまったことが原因ではないかと思えます。 学生時代に「英語の学び方」の基礎を獲得するのは大切なことです。小・中・高と、与えられたノルマをこなすことだけが勉強だと思っていたとしたら、大学生の今こそ、主体的に学び始めるチャンスです。読む・書く・聴く・話すといういわゆる4技能をバラバラに学修するのではなく、統合的に取り込んでいきましょう。単純なことでも確実に、読めるし、書けるし、聴いて分かるし、自分でも話せるという体験を積んで、自信を持ってほしいものです。 「基礎英語」を通じて、その連携を実感し、教室で取り上げるトピックから身の周りの様々な事象にまで理解と想像力を巡らせることができるようになれば、英語は知れば知るほど面白くなります。楽しく英語を学ぶクラスにいたしましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 英語の文章の基本的な構造を理解し、単純な文章を読んですぐ理解できるようになることを目標にします。 文章の連なる段落(パラグラフ)にはどのような仕組みがあるか理解し、ある程度長い文のまとまりにも対応できるようになることを目標にします。 日常生活に必要な語や語句を聞いて、理解できるようになることを目標にします。 英語による問いかけや、依頼に即応できるようになることを目標にします。 単純明快なメッセージを持つ英語の音声聴いて、直接理解できるようになることを目標にします。 英語による情報のインプットのみならず、自らアウトプットが行えるようになることを目標にします。 不可分のスキルである、書くことと話すことを授業で実践することを目標にします。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | アクティブに英語を学びたいと思っている人の受講を勧めます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 毎週の授業では「対面」のメリットを生かし、教員との質疑応答のみならず、学生同士のインタラクションや簡単なプレゼンテーションを含めた学習を行います。 オンラインにて提出する課題を毎週出します。 学生は自律的な学習を実行していくことを奨励されます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 教科書: Reading Link (Robert Hickling他著 KINSEIDO) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | |

| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|------------------------------|---------------|------|--|
| | 授業内活動への積極的参加 | 20% | 授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す |
| | 毎週のオンライン課題提出 | 20% | |
| | 小テストと学期末試験の成績 | 60% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|---|
| 【その他の注意事項】 | 100分間の授業の中に数分間の休憩・リフレッシュの機会を設けるので、遅刻・居眠りをしないこと！ |
|------------|---|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--|--|-----|---|
| No1 | 導入 使用教科書の概要説明 クラスルール共有 教員・学生相互紹介 | 授業開始に先立って、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 学生のプロフィール作成 英語による自己紹介タイム 教科書使用方法設営 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を閲覧しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 導入授業で出された課題に取り組む | 120 | 分 |
| No2 | Unit 1: Who Is Pepper? (1) Grammar Basics 「動詞の現在形」の用法 | 基本語彙確認 Pepperおよび最新のAI(人工知能)の現状について考える。 Unit 1で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | インターネットを利用してAIの具体例をリサーチする。 Unit 1の概要をつかんでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No3 | Unit 1: Who Is Pepper? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on AI. | 英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 AIについて調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No4 | Unit 2: What's It Like to Be a Self-Sufficient Family? (1) Grammar Basics 「代名詞」の基礎知識 | 基本語彙確認 現代にも存在する「自給自足」生活の実践者たちについて調べる。 Unit 2で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No5 | Unit 2: What's It Like to Be a Self-Sufficient Family? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on Self-Sufficient Family. | 英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 Self-Sufficient Familyについて調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No6 | Unit 3: Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (1) Grammar Basics 「過去形」 | 基本語彙確認 「スターバックスコーヒー」に関する互いの知見を交換し、ウェブサイトを閲覧して企業としての活動・戦略をチェックする。 Unit 3で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No7 | Unit 3: Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on Starbucks Coffee. | 英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 「スターバックスコーヒー」について調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。 | | |
| | | | | |

| | | | | |
|--------|---|--|-----|---|
| 【授業計画】 | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No8 | Unit 5: Do You Want to Travel Back in Time to a Roman Thermae? (1) Grammar Basics 「時と場所の前置詞」 | (Unit 4は季節的な話題につき秋学期に回し、Unit 5へ進む。) 基本語彙確認 古代ローマの公衆大浴場に関する知見を共有し、マンガ版・映画版『テルマエ・ロマエ』の内容を振り返る。 Unit 5で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No9 | Unit 5: Do You Want to Travel Back in Time to a Roman Thermae? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on a Roman Thermae. | 英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 Roman Thermaeについて調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No10 | Unit 6: Are You Going Cashless? (1) Grammar Basics 「進行形」 | 基本語彙確認 支払い方法が変化しつつある。昨今の自分自身の経験を踏まえ、現金以外での支払いについて、意見を交換する。 Unit 6で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No11 | Unit 6: Are You Going Cashless? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on cashless payment. | 英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 Cashless paymentについて体験したこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No12 | Unit 7: Why Are Marathons 42.195 Kilometers Long? (1) Grammar Basics 「疑問文」 | 基本語彙確認 マラソン競技に定められている距離について改めてその由来を考える。インターネット上の記録動画を鑑賞する。 Unit 7で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No13 | Unit 7: Why Are Marathons 42.195 Kilometers Long? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on marathon. | 英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 marathonについての知見、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No14 | The total review of the semester | Reading and writing practice: My best shot in summer, 2023. (読解と作文の総合的復習の一環として、2023年の夏までに自分で撮影したものの中から一枚を選び、「この夏最高のショット」というタイトルで、画像に関する作文を英語で書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I BE-B |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 宍戸 カール |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|------|---|---|-----|---|-----|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | This is an introductory course in English with focus on communication. There will be new vocabularies and expressions introduced as well as grammar. Students will be expected to read out loud, do role plays, and create original sentences. | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>Every lesson will start with a print where simple every day communication English is introduce.</p> <p>New vocabularies and expressions according to the topic of the unit will be introduced.</p> <p>Practice communication skills by reading out loud and doing a lot of role plays.</p> | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | This is a compulsory course for 2nd year student | | | | | | | |
| 【教育方法】 | Classes will be taught using prints and focused on the text book. Students are expected to participate actively. | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Breakthrough Plus, Student's Book 1, Macmillan Education 2nd Edition | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | Midterm and final examination | 60% | Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance | | | | | |
| | Active class participation | 30% | | | | | | |
| | Class attendance | 10% | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |

【その他の注意
事項】

None

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|--|--|-----|---|
| No1 | Unit 1, Introduction and Print | Introducing yourself and what do you do? Print | | |
| | 予習内容(時間) | Introduction and print | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Introduction and print | 120 | 分 |
| No2 | Unit 1, Introduction and Print | Where do you live and part time jobs. Print. | | |
| | 予習内容(時間) | Where do you live and part time jobs. Print. | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Where do you live and part time jobs. Print. | 120 | 分 |
| No3 | Unit 1, Introduction and print | What do you study and like to do? Print. | | |
| | 予習内容(時間) | What do you study and like to do? Print. | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | What do you study and like to do? Print. | 120 | 分 |
| No4 | Unit 2, Daily Routine and print | Daily activities and print. | | |
| | 予習内容(時間) | Daily activities and print. | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Daily activities and print. | 120 | 分 |
| No5 | Unit 2 & 3, Daily Routine and Free time. Print | Daily routine of two students and print | | |
| | 予習内容(時間) | Daily routine of two students and print | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Daily routine of two students and print | 120 | 分 |
| No6 | Unit 3, Free Time and Print | Hobbies and school clubs. Print. | | |
| | 予習内容(時間) | Hobbies and school clubs. Prints. | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Hobbies and school clubs. Prints. | 120 | 分 |
| No7 | Midterm Examination | Midterm Examination | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 1,2, 3 and prints | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Unit 1,2, 3 and prints | 120 | 分 |
| No8 | Unit 4, Places and print | Hometowns and neighborhoods. Print | | |
| | 予習内容(時間) | Hometowns and neighborhoods. Print | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Hometowns and neighborhoods. Print | 120 | 分 |
| No9 | Unit 4, Places and print | Local towns and areas. Print | | |
| | 予習内容(時間) | Local towns and areas. Print | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Local towns and areas. Print | 120 | 分 |
| No10 | Unit 5, Getting Around, and Print | Getting around town and city. Print | | |
| | 予習内容(時間) | Getting around town and city. Print | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Getting around town and city. Print | 120 | 分 |
| No11 | Unit 5, Getting Around, and Print | Directions and how to get there. Print | | |
| | 予習内容(時間) | Directions and how to get there. Print | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Directions and how to get there. Print | 120 | 分 |
| No12 | Unit 6, Shopping and Print | Shopping and checking prices. Print. | | |
| | 予習内容(時間) | Shopping and checking prices. Print. | 120 | 分 |

| | | | | | |
|----------|------|---------------------------------|--------------------------------------|-----|---|
| | | 復習内容(時間) | Shopping and checking prices. Print. | 120 | 分 |
| | No13 | Unit 6, Shopping and Print | Markets and best prices. Print. | | |
| | | 予習内容(時間) | Markets and best prices. Print. | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | Markets and best prices. Print. | 120 | 分 |
| | No14 | Unit 6, Shopping and Print | Markets and best prices. Print. | | |
| | | 予習内容(時間) | Markets and best prices. Print. | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | Markets and best prices. Print. | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I BE-C |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 高畑 一路 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|------------------------------|---|------|-----------------------------|-----|-----|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という4つの観点から、英語をバランスよく総合的に身につけることを目標とする。同時に、英語圏の文化、思想、習慣等を理解するようにしたい。使用する教科書は、語彙、文法、読解、会話のあらゆる角度から工夫されたものであり、総合的な英語力を身につけるのに適している。 | | | | | |
| 【到達目標】 | 英語で簡単な会話をすることができるようになる。 リスニング力を身につける。 基礎文法を身につける。 読解力を身につける。 | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 履修条件はとくにないが、基本的な英語の文法力があることが望ましい。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的には指定教科書に沿って授業を進めていくが、受講者のレベル、興味などにしたがって、プリント教材を追加する場合がある。 | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | English First Basic (著者: Robert Hickling, Misato Usukura) 出版社: 金星堂 | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | リスニング力 | 20% | 授業中に行う演習課題および中間・期末試験によって評価。 | | | |
| | 文法力 | 50% | | | | |
| | 読解力 | 30% | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | |

【その他の注意事項】

授業に必ず辞書を持参すること(電子辞書可)。
指定された教科書を初回の授業までに必ず購入すること。教科書を所有していない学生の受講は許可しない。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------------|---|-----|---|
| No1 | Introduction | 授業についての概要説明 英語での自己紹介 | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介の準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介で使った英語定型表現の確認 | 120 | 分 |
| No2 | Unit1 | Welcom to Japan リスニング 文法:動詞の現在形 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し | 120 | 分 |
| No3 | Unit1 | Welcome to Japan 長文読解 英作文 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 長文再読 英作文書き直し | 120 | 分 |
| No4 | Unit2 | That Sounds Like Fun リスニング 文法:代名詞 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し | 120 | 分 |
| No5 | Unit2 | That Sounds Like Fun 長文読解 英作文 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 長文再読 英作文書き直し | 120 | 分 |
| No6 | Unit3 | We Leave on Friday Morning リスニング 文法:時を表す前置詞 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し | 120 | 分 |
| No7 | Unit3 | We Leave on Friday Morning 長文読解 英作文 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 長文再読 英作文書き直し | 120 | 分 |
| No8 | Midterm Exam Review | 中間試験 前半の総復習 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit1~3の総復習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 中間試験の解き直し | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|----------|--|-----|---|
| No9 | Unit4 | You Know a Lot About Trains リスニング 文法:基本5文型 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し | 120 | 分 |
| No10 | Unit4 | You Know a Lot About Trains 長文読解 英作文 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 長文再読 英作文書き直し | 120 | 分 |
| No11 | Unit5 | I Didn't Want to Leave リスニング 文法:動詞の過去形 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し | 120 | 分 |
| No12 | Unit5 | I Didn't Want to Leave 長文読解 英作文 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 長文再読 英作文書き直し | 120 | 分 |
| No13 | Unit6 | You're Working Late リスニング 文法:進行形 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し | 120 | 分 |
| No14 | Unit6 | You're Working Late 長文読解 英作文 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 長文再読 英作文書き直し | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I BE-G |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 渡邊 きみ代 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | この授業では、「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を育てることを目的とします。短文を読み、文法を学び、リスニングを訓練し、自分の考えを書いたり、話すことができるよう学習します。語彙力をつけるため毎回クイズをします。覚えておくことと便利な表現などを楽しく学びます。伝え合うことのできる英語を身につけましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|-----|---|-----|---------|--|------|-------------|-----|--|--------|-----|----|------|
| 【到達目標】 | 語彙力を上げ、基本的文法を学び、応用できる リスニング能力を向上させる 短文を読み、理解する | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 英語の能力を習得することを希望し、積極的に授業に参加すること | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 学習目標を達成させるために、テキスト、さまざまな副教材、クイズなどを使い、興味を持って授業に参加できるようにする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | English Aid 著者 Robert Hickling / Misato Usukura 金星堂 副教材としてプリントを使用 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語彙、文法の理解と応用</td> <td>60%</td> <td rowspan="3">筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する</td> </tr> <tr> <td>授業参加姿勢</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 語彙、文法の理解と応用 | 60% | 筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する | 授業参加姿勢 | 40% | 合計 | 100% |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | |
| 語彙、文法の理解と応用 | 60% | 筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業参加姿勢 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | |

【その他の注意事項】

特になし

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|---------------------------|--|-----|---|
| No1 | Introduction | 授業の進め方、自己紹介、英語の文章の成り立ちを理解する。語彙をふやすためのクイズ | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書に目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 学んだ語彙が身に着いたか確認 | 120 | 分 |
| No2 | Unit 1 First Day of Class | 語彙を増やすためのクイズ、be動詞について学習し、問題を解く。自己紹介文を書く | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介文を考える | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 語彙が身に着いたか確認。自分をアピールできる自己紹介文であったかを考える | 120 | 分 |
| No3 | Unit 1 First Day of Class | 語彙を増やすためのクイズ、be動詞を使った会話のリスニング、be動詞を使った文章を書く、和文英訳。文章を読んで理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書のbe動詞の文法のページを再度見ておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 語彙が身に着いたか確認。Be動詞をマスターできたか確認 | 120 | 分 |
| No4 | Unit 2 I Love Bread | 語彙を増やすためのクイズ、一般動詞の現在形についての文法と問題。日常生活についての言葉、表現 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit2に目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 一般動詞の現在形についての理解ができたか、語彙がみついたかを確認 | 120 | 分 |
| No5 | Unit 2 I Love Bread | 語彙をふやすためのクイズ、一般動詞を使った会話のリスニング。一般動詞を使って文章を書く、読解。 | | |
| | 予習内容(時間) | 一般動詞の現在形の文法を再確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 一般動詞の現在形についての理解ができたか、語彙がみついたかを確認 | 120 | 分 |
| No6 | Unit 3 Pizza Time | 語彙をふやすためのクイズ、可算名詞、不可算名詞についての文法を学び、問題を解く。 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 3に目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 可算名詞、不可算名詞についての文法、語彙を確認 | 120 | 分 |
| No7 | Unit 3 Pizza Time | 語彙をふやすためのクイズ、可算名詞、不可算名詞を使った会話のリスニング、可算名詞、不可算名詞を使った文章を書く、和文英訳、読解など。 | | |
| | 予習内容(時間) | 可算名詞、不可算名詞についての文法を再確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 可算名詞、不可算名詞についてマスターしたかを確認 | 120 | 分 |
| No8 | 中間試験 | Unit1～Unit3、学習した語、表現、英文などについての確認試験 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit1～Unit3、学習した語、表現、英文などについての確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 試験で解けなかった問題をテキスト、ノートで確認。 | 120 | 分 |
| No9 | Unit 4 Not Just a Baker | 語彙をふやすためのクイズ、代名詞についての文法を学び、問題を解く。 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 4に目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 語彙が身についたか、代名詞についての文法を理解できたかを確認 | 120 | 分 |
| No10 | Unit 4 Not Just a Baker | 語彙をふやすためのクイズ、代名詞を使った会話のリスニング、代名詞を使った文章を書く、和文英訳、読解など。 | | |
| | 予習内容(時間) | 代名詞について再確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 代名詞についてマスターしたか確認 | 120 | 分 |
| No11 | What's Wrong with Hitomi? | 語彙をふやすためのクイズ、一般動詞の過去形についての文法を学び、問題を解く。不規則動詞。 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 5に目を通す | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|---------------------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 語彙、一般動詞の過去形、不規則動詞の確認 | 120 | 分 |
| No12 | What's Wrong with Hitomi? | 語彙をふやすためのクイズ、一般動詞の過去形を使った会話のリスニング、一般動詞の過去形を使った文章を書く、和文英訳、読解。 | | |
| | 予習内容(時間) | 語彙、一般動詞の過去形、不規則動詞の再確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 一般動詞をマスターしたか確認 | 120 | 分 |
| No13 | Unit 6 It Won't Hurt | 語彙をふやすためのクイズ、進行形についての文法を学び、問題を解く。進行形を使った会話のリスニング。進行形を使った文章を書く。 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 6に目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 語彙、進行形をマスターしたか確認 | 120 | 分 |
| No14 | 期末試験 | Unit 4～Unit 6で学習した語、文法、表現などについての確認試験 | | |
| | 予習内容(時間) | Unit4～Unit6で学習した語、英文、表現について確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 試験で解けなかった問題をテキスト、ノートで確認。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I BE-I |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 阿部 牧子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|--|--|------|--|---|-----|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 基礎的な文法と語彙の習得を目的としたテキストを使って学習を進めていきます。英文和訳、和文英訳、部分作文などの問題を通じて文法の復習をします。教科書は15ユニットに渡って、大学生の知的好奇心を刺激する題材を取り上げています。英語が苦手であっても、辞書を使って読み進めていきましょう。語彙力をつけるために、単語や熟語のテストを実施します。通じる英語を目指して、発音指導を行います。 | | | | | |
| 【到達目標】 | 各ユニットに登場する重要な語彙の意味を理解する。 基本的な文法を理解し、文法の知識や英語特有の表現を使って英文を作ることができる。 発音練習を繰り返し、正しい発音を身につける。 | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 一年次に受けたテストによって、習熟度別に編成されたクラスです。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 教員の講義と学生の発言はfifty-fiftyとし、間違いを恐れぬ積極的な発言を促します。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | Reading Link 金星堂 ISBN 978-4-7647-4100-3 | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 筆記試験 | 35% | 筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。 | | | |
| | 課題 | 30% | | | | |
| | 授業での発言など | 35% | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | |

【その他の注意事項】

遅刻に気をつけてください。遅刻2回で欠席1回とします。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|-----------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス 自己紹介など | 授業の進め方や課題について説明する 自己紹介を英語で表現する | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介の準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介文をより正確な英文に修正するなど | 120 | 分 |
| No2 | 助動詞 | 助動詞とは？ can, may, mustなどを効果的に使う Who Can Be a YouTuber? (Unit 11) | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 11本文内容を理解するため、未知語の意味を調べるなど | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解が足りなかったところを復習してください | 120 | 分 |
| No3 | 助動詞(前週の続き) | Unit 11のまとめ プリント教材など | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No4 | 現在完了形 | 現在完了とは？ 過去形との違い What Have Plastics Done to Our Oceans? (Unit 12) | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No5 | 現在完了形の続き | Unit 12のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No6 | 過去形 | 動詞の形を過去形に変える Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (Unit 3) | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No7 | 過去形 | Unit 3のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No8 | 到達度の確認 | 前週までの到達度を確認します | | |
| | 予習内容(時間) | 到達度確認テストの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 到達度確認テストの振り返りをする | 120 | 分 |
| No9 | 従位接続詞 | 従位接続詞とは？ after, because, if など What Would We Do If We Didn't Have Dogs? (Unit 13) | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 13本文を読み、未知語を調べるなど | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解が足りなかったところを復習してください | 120 | 分 |
| No10 | 従位接続詞 | Unit 13のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|---------------------------------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No11 | 進行形 | 現在進行形と過去進行形 Are You Going Cashless? (Unit6) | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No12 | 進行形 | 近い未来の予定を表す現在進行形 進行形で表さない動詞(knowなど) Unit 6のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No13 | 総まとめ | 前週までの復習を中心に授業を行います プリント教材を使う予定です | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の既習事項を確認してください | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解が足りなかったところを復習してください | 120 | 分 |
| No14 | How to use Google翻訳 effectively | 時間に余裕がある場合、機械翻訳を使って演習を行います | | |
| | 予習内容(時間) | 本試験の準備をしてください | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本試験の準備をしてください | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I S-A |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 阿部 牧子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----|---|------|------|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 基礎的な文法と語彙の習得を目的としたテキストを使って学習を進めていきます。英文和訳、和文英訳、部分作文などの問題を通じて文法の復習をします。教科書は15ユニットに渡って、大学生の知的好奇心を刺激する題材を取り上げています。英語が苦手であっても、辞書を使って読み進めていきましょう。語彙力をつけるために、単語や熟語のテストを実施します。通じる英語を目指して、発音指導を行います。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | 各ユニットに登場する重要な語彙の意味を理解する。 基本的な文法を理解し、文法の知識や英語特有の表現を使って英文を作ることができる。 発音練習を繰り返し、正しい発音を身につける。 | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特になし | | | | | | |
| 【教育方法】 | 教員の講義と学生の発言はfifty-fifty | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Reading Link 金星堂 ISBN 978-4-7647-4100-3 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | | | 評価方法 | |
| | 筆記試験 | | | | 35 | | |
| | 課題 | | | | 30 | | |
| | 授業での発言など | | | | 35 | | |
| | 合計 | | | | 100% | | |

【その他の注意事項】

遅刻に気をつけてください。遅刻2回で欠席1回とします。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|-----------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス 自己紹介など | 授業の進め方や課題について説明する 自己紹介を英語で表現する | | |
| | 予習内容(時間) | 自己紹介の準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己紹介文をより正確な英文に修正するなど | 120 | 分 |
| No2 | 助動詞 | 助動詞とは？ can, may, mustなどを効果的に使う Who Can Be a YouTuber? (Unit 11) | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 11本文内容を理解するため、未知語の意味を調べるなど | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解が足りなかったところを復習してください | 120 | 分 |
| No3 | 助動詞(前週の続き) | Unit 11のまとめ プリント教材など | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No4 | 現在完了形 | 現在完了とは？ 過去形との違い What Have Plastics Done to Our Oceans? (Unit 12) | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No5 | 現在完了形の続き | Unit 12のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No6 | 過去形 | 動詞の形を過去形に変える Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (Unit 3) | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No7 | 過去形 | Unit 3のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No8 | 到達度の確認 | 前週までの到達度を確認します | | |
| | 予習内容(時間) | 到達度確認テストの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 到達度確認テストの振り返りをする | 120 | 分 |
| No9 | 従位接続詞 | 接続詞とは？ after, because, if など What Would We Do If We Didn't Have Dogs? (Unit 13) | | |
| | 予習内容(時間) | Unit 13本文を読み、未知語を調べるなど | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解がたりなかったところを復習してください | 120 | 分 |
| No10 | 従位接続詞 | Unit 13のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|---|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No11 | 進行形 | 現在進行形と過去進行形 Are You Going Cashless? (Unit6) | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No12 | 進行形 | 近い未来の予定を表す現在進行形 進行形で表さない動詞(knowなど) Unit 6のまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| No13 | 総まとめ | 前週までの復習を中心に授業を行います プリント教材を使う予定です | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書の既習事項を確認してください | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で理解が足りなかったところを復習してください | 120 | 分 |
| No14 | How to make use of Google翻訳 effectively | 時間に余裕がある場合は、機械翻訳を使って演習を行います | | |
| | 予習内容(時間) | 本試験の準備をしてください | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本試験の準備をしてください | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 基礎英語 I BE-K |
| 講義名(英字) | Basic English I |
| 担当教員 | 木村 直樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|--|---|----------|---|---|-----|---|-----|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この授業では「風と共に去りぬ」「若草物語」「オズの魔法使い」「アラバマ物語」などのアメリカの名作映画を観ながら、アメリカの文化史を学ぶと同時に、映画の登場人物たちによって使われる彩り豊かな英語表現を考察します。洋画を題材とした教材を使うため内容は若干難しめですが、映像と表現をプラグマティック(場面的・実用的)に分析することで、日常生活に密着したバリエーション豊富な英語表現の習得を目指します。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | アメリカの文化史を学び、日本文化との比較を通じて、国際的な幅広い視野を身に付ける。 日常的に使われる英会話表現を身に付けて、それを自分の意見の表明に使えるようになる。 映画に登場する会話を聴き取り、書いて表せるようになる。 | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 英会話 I・II を履修済みか、同時履修中であることが望ましい。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 映画のシーンを見て分析し、テキストの質問に解答する。また、文化史にまつわるテーマについて考察し、調査した結果を発表する。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 石塚 美佳 / 小林 めぐみ / メイス みよ子 / 長崎 睦子 著『American Spirits in Movies: 名作映画で学ぶアメリカの心』成美堂出版 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 学習到達度確認テスト | 70% | 授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。 | | | | | |
| | 授業中のディスカッションやリサーチへの積極性 | 15% | | | | | | |
| | 発表およびレポート | 15% | | | | | | |
| | 合計 | 10 0% | | | | | | |

【その他の注意事項】

授業の特性上、指定期日までにテキストを用意できない学生は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。また、授業内でメディア教材を複数扱うため、PCを用意して受講することが望ましい。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|----------------------------|--|-----|---|
| No1 | Gone with the Wind: Unit 1 | 初回ガイダンス、成績評価方法の説明、レベル判定問題、「風と共に去りぬ」登場人物の確認 | | |
| | 予習内容(時間) | 「風と共に去りぬ」の時代背景調査 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レベル判定問題の設問復習 | 120 | 分 |
| No2 | Gone with the Wind: Unit 1 | Scene1-3の分析、南北戦争について考察、1章レビュー | | |
| | 予習内容(時間) | 南北戦争についてのリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No3 | Gone with the Wind: Unit 2 | Scene1-2の分析、「ヤンキー (Yankee)」という語句が持つ意味について考察 | | |
| | 予習内容(時間) | エピソードのまとめ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No4 | Gone with the Wind: Unit 2 | Scene3の分析、奴隷制度について考察、2章レビュー | | |
| | 予習内容(時間) | アメリカの奴隷制について調査 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No5 | Gone with the Wind: Unit 3 | Scene1-2の分析、アメリカ南部の地理について調査 | | |
| | 予習内容(時間) | アメリカ国旗の成り立ちについて調査 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No6 | Gone with the Wind: Unit 3 | Scene3の分析、アメリカの税金制度について考察、3章レビュー | | |
| | 予習内容(時間) | アメリカの酒税の歴史についてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No7 | Gone with the Wind: Unit 4 | Scene1-2の分析、アメリカ南東部の地理について考察 | | |
| | 予習内容(時間) | アメリカ、ジョージア州についてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No8 | Gone with the Wind: Unit 4 | Scene3の分析、物語の結末考察、4章レビュー | | |
| | 予習内容(時間) | 劇中の「風」という語が表す象徴性について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No9 | Little Women: Unit 5 | Scene1-2の分析、「若草物語」登場人物と背景確認、アメリカ・ニューイングランド地方について考察 | | |
| | 予習内容(時間) | ニューイングランド地方の地理についてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No10 | Little Women: Unit 5 | Scene3の分析、北米におけるクリスマス文化の考察、5章レビュー | | |
| | 予習内容(時間) | 北米でのクリスマスの文化的違いについてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No11 | Little Women: Unit 6 | Scene1-2の分析、アメリカの食文化について考察 | | |
| | 予習内容(時間) | アメリカのお菓子にまつわる慣習リサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| | Little Women: Unit 6 | Scene3の分析、欧米でのパーティーの文化についてリサーチ、6章レビュー | | |

| | | | | |
|------|----------------------|------------------------------------|-----|---|
| No12 | 予習内容(時間) | 「パーティー」の文化についてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No13 | Little Women: Unit 7 | Scene1-2の分析、1860年代の女性の髪形について考察 | | |
| | 予習内容(時間) | 1800年代後半の北米のファッションについてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |
| No14 | Little Women: Unit 7 | Scene3の分析、1860年代の流行病と治療法の考察、7章レビュー | | |
| | 予習内容(時間) | 「ペニシリン」開発の背景についてリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 既出語句の復習 | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 選択科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 文化教養特講 I BE-A |
| 講義名(英字) | Cultural Education Special Lecture I |
| 担当教員 | 小林 寛典 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|------|------------------|---|-----|--|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 近年、異文化を背景に持つ人々は私たちの周囲に大変多くなっている。しかし、私たちは彼らの存在を認識しているものの、彼らと心の交流をしているとはまだまだ言えない。本講義では、異なった文化・社会・価値観を持つ人々をどう理解していけばいいのかを異文化コミュニケーションの観点から共に考えていく。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | 異文化を理解すること コミュニケーションについて知ること 自分を知ること | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 履修条件: 学生同士の話し合いに積極的に参加し、自ら発言すること 受講推奨者: 異文化に興味がある好奇心旺盛な方 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講師からの一方的な講義だけでなく、テーマごとに学生自身に考えてもらいその意見を皆で共有していく。 | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 使用しない。 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | |
| | 授業参加度 | 30% | 左記3項目の合計点数で評価する。 | | | | |
| | 毎回の確認テスト | 50% | | | | | |
| | 期末レポート | 20% | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 学期の3分の1を超えて欠席した場合は、単位を認めない。 | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | スケジュール、講義の進め方、評価方法の確認 他已紹介 少人数のグループにて各自の異文化体験の紹介、全体発表 確認テストの練習 | | |
| | 予習内容(時間) | 過去の人生を振り返り、自分の異文化体験を発表できるようにする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、疑問点、不明点を明らかにする | 120 | 分 |
| No2 | 異文化を理解する | 日本の異文化交流の歴史 異文化理解の意義 文化とは何か | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No3 | 異文化理解への態度 | 文化とは何か2 常識・非常識 トータルカルチャーとサブカルチャー | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No4 | 文化の特徴 | 文化ダイアグラム 文化の特徴 行動を規定する3つの側面 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No5 | 異文化適応 | 異文化適応 カルチャーショック U字曲線の適応 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No6 | コミュニケーションの概念 | U字曲線の適応2 コミュニケーションの概念 コミュニケーションの定義 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No7 | コミュニケーションスタイル | コミュニケーションモデル コミュニケーションスタイル 民族による違い | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No8 | コミュニケーションの手段 | ノンバーバル・コミュニケーション 身体動作学 距離のとり方 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No9 | コミュニケーションストラテジー | コミュニケーション能力の定義 コミュニケーション・ストラテジーの定義 コミュニケーションの成立 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No10 | 異文化の認識 | 固定観念 ファイリング カテゴリー化 ステレオタイプ | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|------------------|----------------------------------|-----|---|
| No11 | 差別を考える | 差別の定義 差別の種類 差別が生まれる背景 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No12 | 自分を知る | 自己開示 ジョハリの窓 自分の自己開示度 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No13 | アサーティブ・コミュニケーション | アサーティブ・コミュニケーションとは 自分のスタイルを知る | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |
| No14 | 異文化トレーニング | エポケーとは エポケーの事例 学期末レポートの説明 | | |
| | 予習内容(時間) | タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 経営組織論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Organization Theory I |
| 担当教員 | 高橋 正泰 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 現在の経営学にはさまざまな研究が展開されており、その中でも、組織社会である現代社会を考えると、経営学の対象となる組織は、重要な研究分野として位置づけられる。しかし、組織の研究は経営学固有のものではなく、多様化する社会現象の解明に欠かせないものとして、学際的な研究領域を形成している。本講義では、これらの組織研究の成果を取り入れながら、企業の組織問題を中心として考察し、組織についての理解を深めることを目的としている。 |
| | 組織とは何かについての理解 |

| 【到達目標】 | 組織を学ぶ意義の理解 組織を理解するための様々な考えや方法についての理解 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------|------|-----|--|-----|-------|-------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|--------|-----------------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|------------------|------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|-----------|-----------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|------------|----------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|-------------|------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|--|--|--------------|-----------------------------|--|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇ とくにありませんが、真摯に勉学に励む方出来れば、経営管理論、心理学、社会学などを学んでいることが望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義とレポート、ならびに必要なに応じてディスカッションにより授業を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇ 大月博司・高橋正泰『経営組織』学文社、2003年。 高橋正泰監修『マクロ組織論』学文社、2019年。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇ 学際的な視点から組織の問題を考え、学ぶ必要があります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>組織の概念</td> <td colspan="3">「組織とは何か」について考察する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>組織学が意義</td> <td colspan="3">「組織がわれわれにとってどのような関係にあるか」について講義する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>社会科学としての組織のパラダイム</td> <td colspan="3">社会科学としての組織理論の位置づけを考える。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>組織のメソドロジー</td> <td colspan="3">社会科学としての組織の理論を学ぶ方法について考察する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>経営組織論の系譜 I</td> <td colspan="3">科学的管理法を中心として基本的な組織理論を講義する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>経営組織論の系譜 II</td> <td colspan="3">人間関係論を中心として講義する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>経営組織論の系譜 III</td> <td colspan="3">近代的組織論の展開とその基本的な考え方について考える。</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | 組織の概念 | 「組織とは何か」について考察する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No2 | 組織学が意義 | 「組織がわれわれにとってどのような関係にあるか」について講義する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No3 | 社会科学としての組織のパラダイム | 社会科学としての組織理論の位置づけを考える。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No4 | 組織のメソドロジー | 社会科学としての組織の理論を学ぶ方法について考察する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No5 | 経営組織論の系譜 I | 科学的管理法を中心として基本的な組織理論を講義する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No6 | 経営組織論の系譜 II | 人間関係論を中心として講義する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | 経営組織論の系譜 III | 近代的組織論の展開とその基本的な考え方について考える。 | | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 組織の概念 | 「組織とは何か」について考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 組織学が意義 | 「組織がわれわれにとってどのような関係にあるか」について講義する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 社会科学としての組織のパラダイム | 社会科学としての組織理論の位置づけを考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 組織のメソドロジー | 社会科学としての組織の理論を学ぶ方法について考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 経営組織論の系譜 I | 科学的管理法を中心として基本的な組織理論を講義する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 経営組織論の系譜 II | 人間関係論を中心として講義する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 経営組織論の系譜 III | 近代的組織論の展開とその基本的な考え方について考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 【授業計画】 | No7 | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | No8 | 経営組織論の系譜Ⅳ | | 組織のコンティンジェンシー理論について講義する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | | | | | | |
| | No9 | 組織の理論モデルⅠ | | 組織の機能主義的組織モデルについて考える。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | | | | | | |
| | No10 | 組織の理論モデルⅡ | | 文化および社会システムとしての組織を講義する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | | | | | | |
| | No11 | 組織の形態と構造 | | 組織の基本的形態と構造について講義する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | | | | | | |
| | No12 | 組織デザイン | | 組織をどのように設計すれば良いかについて考える。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | | | | | | |
| | No13 | 組織と環境 | | 単なる組織の環境適応ではなくエコロジーやSDGsの観点から組織を考察する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | |
| | | | | | | |
| | No14 | 組織と人間 | | 組織を構成する人間について考察する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | |
| 復習内容(時間) | | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | |
| | | | | | | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 経営組織論 I BE-B |
| 講義名(英字) | Organization Theory I |
| 担当教員 | 寺部 優 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>企業を取り巻く環境は、近年大きく変化しています。この環境の変化に対応するために、生産性・柔軟性の高い組織を構築しリテラシーの高い人材を育成することが必要です。すなわち人的資源を有効に管理し発展させることが、企業において求められています。組織行動を理解し有効な人的管理を実践するためには、組織に関連する理論(すなわち経営学で学ぶことのできる知識)と実務(すなわち実際の企業で起きている現象)を結び付けて考察する能力が必要とされます。そこで本授業では「この組織に関連する理論と実務を結び付けて考察する能力を身につけること」を目標とします。</p> |
| | <p>用語と理論: 経営組織に関連する基礎的な用語が、説明できる。また経営学で学ぶことのできる基本的な理論やフレームワークが説明できる。</p> |

| 【到達目標】 | <p>実務:実際のビジネスの現象を、組織論の視点から整理して説明できる。</p> <p>組織に関連する理論と実務を結び付けて考察する能力:授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-----|-----|-----|---------|------|--|-----|--|-----|---|---|----|------|----------|--|-----|---|----------|---|-----|---|-----|--------|--------------------------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|---|-----|---|-----|-----------|---|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|---|-----|---|-----|-----------|-----------------------------------|--|--|----------|--------------------------|-----|---|----------|---|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>秋学期に開講する「経営組織論Ⅱ」の基礎となる科目です。 「経営組織論Ⅱ」の履修を希望する場合は、必ず本科目を履修してください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>講義と参加者とのディスカッション(議論)を中心に行います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>教科書は稲葉祐之・井上達彦・鈴木隆太・山下勝(著)『キャリアで語る経営組織[第2版]—個人の論理と組織の論理—』有斐閣アルマ,2022年 参考書は、使用しません。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 674 1541 1070"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 674 1018 741">評価項目と割合</th> <th data-bbox="1023 674 1541 741">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 741 1018 824">組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。</td> <td data-bbox="1023 741 1541 824">40%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 824 1018 907">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。</td> <td data-bbox="1023 824 1541 907">20%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 907 1018 990">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。</td> <td data-bbox="1023 907 1541 990">40%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 990 1018 1070">合計</td> <td data-bbox="1023 990 1541 1070">100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。</p> | | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。 | 40% | 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。 | 20% | 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。 | 40% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。 | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>とくになし</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 1167 1541 2136"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1167 316 1227">週</th> <th data-bbox="320 1167 555 1227">テーマ</th> <th data-bbox="560 1167 1541 1227">学習内容</th> <th data-bbox="1437 1323 1485 1361">120</th> <th data-bbox="1490 1323 1538 1361">分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1227 316 1451" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="320 1227 555 1323">ガイダンス 個人と会社①</td> <td data-bbox="560 1227 1541 1323">授業の概要と評価方法、学び方、教科書について 個人の欲求と働き方 会社とは何か</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1323 555 1384">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1323 1541 1384">企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録しておく。</td> <td data-bbox="1437 1323 1485 1361">120</td> <td data-bbox="1490 1323 1538 1361">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1384 555 1451">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1384 1541 1451">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 1384 1485 1422">120</td> <td data-bbox="1490 1384 1538 1422">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1451 316 1675" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="320 1451 555 1547">個人と会社②</td> <td data-bbox="560 1451 1541 1547">付加価値を生むプロセス 会社で働くキャリア ディスカッション</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1547 555 1608">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1547 1541 1608">授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。</td> <td data-bbox="1437 1547 1485 1585">120</td> <td data-bbox="1490 1547 1538 1585">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1608 555 1675">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1608 1541 1675">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 1608 1485 1646">120</td> <td data-bbox="1490 1608 1538 1646">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1675 316 1899" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="320 1675 555 1771">社会化と組織文化①</td> <td data-bbox="560 1675 1541 1771">組織社会化と組織社会化プロセス リアリティ・ショックとRJP ディスカッション</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1771 555 1832">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1771 1541 1832">授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。</td> <td data-bbox="1437 1771 1485 1809">120</td> <td data-bbox="1490 1771 1538 1809">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1832 555 1899">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1832 1541 1899">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 1832 1485 1870">120</td> <td data-bbox="1490 1832 1538 1870">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1899 316 2136" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="320 1899 555 1995">社会化と組織文化②</td> <td data-bbox="560 1899 1541 1995">組織文化 同質性の怖さと過剰な社会化 ディスカッション</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1995 555 2056">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 1995 1541 2056">授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。</td> <td data-bbox="1437 1995 1485 2033">120</td> <td data-bbox="1490 1995 1538 2033">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 2056 555 2136">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="560 2056 1541 2136">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 2056 1485 2094">120</td> <td data-bbox="1490 2056 1538 2094">分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | 120 | 分 | No1 | ガイダンス 個人と会社① | 授業の概要と評価方法、学び方、教科書について 個人の欲求と働き方 会社とは何か | | | 予習内容(時間) | 企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | No2 | 個人と会社② | 付加価値を生むプロセス 会社で働くキャリア ディスカッション | | | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | No3 | 社会化と組織文化① | 組織社会化と組織社会化プロセス リアリティ・ショックとRJP ディスカッション | | | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | No4 | 社会化と組織文化② | 組織文化 同質性の怖さと過剰な社会化 ディスカッション | | | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス 個人と会社① | 授業の概要と評価方法、学び方、教科書について 個人の欲求と働き方 会社とは何か | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 個人と会社② | 付加価値を生むプロセス 会社で働くキャリア ディスカッション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 社会化と組織文化① | 組織社会化と組織社会化プロセス リアリティ・ショックとRJP ディスカッション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 社会化と組織文化② | 組織文化 同質性の怖さと過剰な社会化 ディスカッション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------|--|-----|---|
| No5 | モチベーションと規則の関係① | 官僚制 仕事に対する欲求 ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No6 | モチベーションと規則の関係② | 内発的動機付け 会社の中での自立性 ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No7 | 会社の中でのキャリア開発① | 会社の中での人材管理 組織と個人の関係 ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No8 | 会社の中でのキャリア開発② | 個人のキャリア・マネジメント ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No9 | リーダーシップ① | リーダーシップの意義 優れたリーダー行動 ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No10 | リーダーシップ② | 臨機応変のリーダー行動 長期的視点のリーダー行動 ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No11 | 集団のダイナミズム① | 意思決定のプロセス 集団の意思決定はどのようになされるのか ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No12 | 集団のダイナミズム② | 集団の失敗 集団の罫から逃れるためには ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No13 | 個人と組織の学習メカニズム① | 仕事における学び 実践共同体 ディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| | 個人と組織の学習メカニズム② | 個人の学習と組織の学習 学びほぐし | | |

| | | | | | |
|--|------|----------|--|-----|---|
| | No14 | | ディスカッション | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 経営戦略論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Strategic Management I |
| 担当教員 | 寺部 優 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 現代社会はデジタル化、グローバル化が進み、企業を取り巻く環境は、めまぐるしく日々変化しています。この環境の変化に対応して成長するために、企業における経営戦略は、ますます重要な要素となっています。 経営戦略を策定し実行するには、経営戦略に関連する理論(すなわち経営学で学ぶことのできる知識)と実務(すなわち実際のビジネスで起きている現象)を結び付ける能力が必要とされます。そこで本授業では「経営戦略に関連する理論と実務を結び付ける能力を身につけること」を目標とします。 |
| | 用語と理論:経営戦略に関連する基礎的な用語が、説明できる。また経営学で学ぶことのできる基本的な理論やフレームワークが説明できる。 |

| 【到達目標】 | <p>実務:実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できる。</p> <p>経営戦略に関連する理論と実務を結び付ける能力:実際のビジネスの現象を基本的な理論やフレームワークをつかって分析できる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|-----|-----|-----|---------|-----|------|---|----|--|---|--|---|----|----------|---|-----|---|----------|--|-----|---|-----|--------|----------------------------------|--|--|----------|---------------------------|-----|---|----------|--|-----|---|-----|--------|----------------------------------|--|--|----------|---------------------------|-----|---|----------|--|-----|---|-----|-----------|---------------------------|--|--|----------|---------------------------|-----|---|----------|--|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>秋学期に開講する「経営戦略論Ⅱ」の基礎となる科目です。</p> <p>「経営戦略論Ⅱ」の履修を希望する場合は、必ず本科目を履修してください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>講義を中心に行います。また重要なテーマについては、参加者とディスカッション(議論)しながら進めます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>教科書は、使用しません。授業でプリントを配布します。</p> <p>参考書は、マイケル・A・ヒット他著『戦略経営論 改訂新版』センゲージ ラーニング、2014年</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 651 1528 1048"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 651 943 719">評価項目と割合</th> <th data-bbox="948 651 995 719">割合</th> <th data-bbox="1000 651 1528 719">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 725 943 792">経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。</td> <td data-bbox="948 725 995 792">40</td> <td data-bbox="1000 725 1528 1048" rowspan="4">受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 799 943 866">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。</td> <td data-bbox="948 799 995 866">20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 873 943 940">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。</td> <td data-bbox="948 873 995 940">40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 947 943 1048">合計</td> <td data-bbox="948 947 995 1048">100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | 経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。 | 40 | 受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。 | 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。 | 20 | 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。 | 40 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。 | 40 | 受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。 | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>とくになし</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 1144 1528 2136"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1144 316 1189">週</th> <th data-bbox="320 1144 576 1189">テーマ</th> <th data-bbox="580 1144 1528 1189">学習内容</th> <th data-bbox="1437 1323 1485 1368">120</th> <th data-bbox="1490 1323 1528 1368">分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1196 316 1451" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="320 1196 576 1317">ガイダンス</td> <td data-bbox="580 1196 1528 1317">授業の概要と評価方法について 学び方について 教科書・参考書についてなど 授業の概要を説明する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1323 576 1368">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1323 1528 1368">企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。</td> <td data-bbox="1437 1323 1485 1368">120</td> <td data-bbox="1490 1323 1528 1368">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1375 576 1451">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1375 1528 1451">授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 1375 1485 1451">120</td> <td data-bbox="1490 1375 1528 1451">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1458 316 1675" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="320 1458 576 1541">経営戦略とは</td> <td data-bbox="580 1458 1528 1541">戦略とは・経営戦略とは 戦略の定義 経営戦略のまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1547 576 1592">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1547 1528 1592">授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td> <td data-bbox="1437 1547 1485 1592">120</td> <td data-bbox="1490 1547 1528 1592">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1599 576 1675">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1599 1528 1675">授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 1599 1485 1675">120</td> <td data-bbox="1490 1599 1528 1675">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1682 316 1899" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="320 1682 576 1765">企業の方向性</td> <td data-bbox="580 1682 1528 1765">ビジョン・ミッション 企業のドメイン 企業の経営理念</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1771 576 1816">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1771 1528 1816">授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td> <td data-bbox="1437 1771 1485 1816">120</td> <td data-bbox="1490 1771 1528 1816">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1823 576 1899">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1823 1528 1899">授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 1823 1485 1899">120</td> <td data-bbox="1490 1823 1528 1899">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1906 316 2136" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="320 1906 576 1989">企業全体のバランス</td> <td data-bbox="580 1906 1528 1989">事業ポートフォリオ 多角化 PPM分析</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1995 576 2040">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 1995 1528 2040">授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td> <td data-bbox="1437 1995 1485 2040">120</td> <td data-bbox="1490 1995 1528 2040">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 2047 576 2136">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="580 2047 1528 2136">授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td> <td data-bbox="1437 2047 1485 2136">120</td> <td data-bbox="1490 2047 1528 2136">分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | 120 | 分 | No1 | ガイダンス | 授業の概要と評価方法について 学び方について 教科書・参考書についてなど 授業の概要を説明する | | | 予習内容(時間) | 企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | No2 | 経営戦略とは | 戦略とは・経営戦略とは 戦略の定義 経営戦略のまとめ | | | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | No3 | 企業の方向性 | ビジョン・ミッション 企業のドメイン 企業の経営理念 | | | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | No4 | 企業全体のバランス | 事業ポートフォリオ 多角化 PPM分析 | | | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 授業の概要と評価方法について 学び方について 教科書・参考書についてなど 授業の概要を説明する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 経営戦略とは | 戦略とは・経営戦略とは 戦略の定義 経営戦略のまとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 企業の方向性 | ビジョン・ミッション 企業のドメイン 企業の経営理念 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 企業全体のバランス | 事業ポートフォリオ 多角化 PPM分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|------------------|---|-----|---|
| No5 | 企業戦略分析 | SWOT分析 機会・脅威 強み・弱み | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No6 | 企業戦略の事例分析 | SWOTによる事例分析 セブン・イレブンのSWOT分析 分析結果からの方向性 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No7 | 外部環境・競争のメカニズム | 5フォース分析 5つの力 競争優位 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No8 | 外部環境による事例分析 | 東京富士大学の事例 ドコモの事例 まとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No9 | ポジショニング戦略 | ポーターの基本戦略 コストリーダーシップ・差別化・集中 まとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No10 | ポジショニング戦略による事例分析 | ポジショニングによる分析 自動車業界 アパレル業界 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No11 | 経営資源:コア・コンピタンス | コア・コンピタンスとは VRIO VRIOフレームワーク | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No12 | 経営資源による事例分析 | 経営資源による分析 演習①、演習②、演習③ | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| No13 | バリューチェーン | バリューチェーンとは バリューチェーンと成功要因 バリューチェーンと事業変革 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 | 分 |
| | バリューチェーンによる事例分析 | バリューチェーン分析① バリューチェーン分析② | | |

| | | | | |
|--|------|----------|---|-------|
| | No14 | | バリューチェーン分析③ | |
| | | 予習内容(時間) | 授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。 | 120 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 経営戦略論 I BE-B |
| 講義名(英字) | Strategic Management I |
| 担当教員 | 小川 達也 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>経営戦略に関する基礎的理論と実践的知識を修得し、現代企業が戦略を策定・実行する際に直面する諸課題についての洞察力を養います。授業では、時事問題や事例研究を適宜取り入れることで理論と実践のバランスを図り、経営戦略への理解を深められるように工夫します。第1回目の授業は、ガイダンスを行います。この科目の学び方や評価方法、注意事項など重要な内容を説明をしますので、必ず出席してください。</p> <p>刻一刻と変化する企業・産業界の動向に関心を持ち、日頃から経済新聞や経済雑誌をよく読み、時事問題やトレンドの把握に努めましょう。</p> |
| | 用語の定義や概念を把握し、他の用語と混同しないように説明できること |

| 【到達目標】 | <p>経営戦略の基礎的理論の定義や概念、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること</p> <p>経営戦略の実践的知識の概念や背景、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--------------------------------|-----|-----|---|-----|---------|------|---------------------|----|---------------------------|-----|------------------------------|--------------------|----|------|----------|-------------------------|-----|---|----------|-------------------------------|-----|---|-----|---------|--------------|--|--|----------|--------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|----------|------------|--|--|----------|--------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|----------|--------------|--|--|----------|--------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|----------|---------|--|--|----------|--------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|----------|------------|--|--|----------|--------------------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>この科目は、秋学期開講の「経営戦略論Ⅱ」の基礎となる科目です。 「経営戦略論Ⅱ」の履修を希望する場合には、まず「経営戦略論Ⅰ」の単位を修得してください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>授業は、パワーポイントを中心にプリントを併用しながら丁寧に進めます。 また、受講生一人ひとりの疑問や質問に向き合い、創造的でインタラクティブな授業を目指します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>教科書：岸川善光(著)『経営戦略要論』同文館出版、2006年 参考書：大滝精一ほか(著)『経営戦略—論理性・創造性・社会性の追求第3版』有斐閣アルマ、2016年</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 669 1546 983"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 669 790 714">評価項目と割合</th> <th data-bbox="790 669 1546 714">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 714 790 770">受講態度及び授業毎の課題コメントの提出</td> <td data-bbox="790 714 1546 770">40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 770 790 826">専門用語を正しく理解し、事例を用いて説明できること</td> <td data-bbox="790 770 1546 826">20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 826 790 916">経営戦略の理論と知識を広く理解し、応用して説明できること</td> <td data-bbox="790 826 1546 916">40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 916 790 983">合計</td> <td data-bbox="790 916 1546 983">100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績は、受講態度及び課題コメント40%、本試験60%を目安に決定します。</p> | | | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 受講態度及び授業毎の課題コメントの提出 | 40 | 専門用語を正しく理解し、事例を用いて説明できること | 20 | 経営戦略の理論と知識を広く理解し、応用して説明できること | 40 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度及び授業毎の課題コメントの提出 | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門用語を正しく理解し、事例を用いて説明できること | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経営戦略の理論と知識を広く理解し、応用して説明できること | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>授業中にスマートフォンやタブレットなどの電子デバイス類を授業目的外で使用することは、禁止します。 指示に従わない場合には、減点の上、欠席扱いとします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 1128 1546 2136"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1128 327 1173">週</th> <th data-bbox="327 1128 582 1173">テーマ</th> <th data-bbox="582 1128 1412 1173">学習内容</th> <th data-bbox="1412 1128 1476 1173"></th> <th data-bbox="1476 1128 1546 1173"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1173 327 1352" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="327 1173 582 1229">【重要】ガイダンス</td> <td data-bbox="582 1173 1412 1229">授業の概要と評価方法、学び方について</td> <td data-bbox="1412 1173 1476 1229"></td> <td data-bbox="1476 1173 1546 1229"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1229 582 1285">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1229 1412 1285">時事問題やトレンドの把握(経済新聞・経済雑誌)</td> <td data-bbox="1412 1229 1476 1285">120</td> <td data-bbox="1476 1229 1546 1285">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1285 582 1352">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1285 1412 1352">授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握(辞典・辞書)</td> <td data-bbox="1412 1285 1476 1352">120</td> <td data-bbox="1476 1285 1546 1352">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1352 327 1509" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="327 1352 582 1408">経営戦略の意義</td> <td data-bbox="582 1352 1412 1408">なぜ経営戦略が必要なのか</td> <td data-bbox="1412 1352 1476 1408"></td> <td data-bbox="1476 1352 1546 1408"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1408 582 1464">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1408 1412 1464">プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握</td> <td data-bbox="1412 1408 1476 1464">120</td> <td data-bbox="1476 1408 1546 1464">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1464 582 1509">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1464 1412 1509">授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握</td> <td data-bbox="1412 1464 1476 1509">120</td> <td data-bbox="1476 1464 1546 1509">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1509 327 1666" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="327 1509 582 1565">経営戦略の体系①</td> <td data-bbox="582 1509 1412 1565">経営戦略と戦術の役割</td> <td data-bbox="1412 1509 1476 1565"></td> <td data-bbox="1476 1509 1546 1565"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1565 582 1621">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1565 1412 1621">プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握</td> <td data-bbox="1412 1565 1476 1621">120</td> <td data-bbox="1476 1565 1546 1621">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1621 582 1666">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1621 1412 1666">授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握</td> <td data-bbox="1412 1621 1476 1666">120</td> <td data-bbox="1476 1621 1546 1666">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1666 327 1823" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="327 1666 582 1722">経営戦略の体系②</td> <td data-bbox="582 1666 1412 1722">経営理念とビジョンの役割</td> <td data-bbox="1412 1666 1476 1722"></td> <td data-bbox="1476 1666 1546 1722"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1722 582 1778">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1722 1412 1778">プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握</td> <td data-bbox="1412 1722 1476 1778">120</td> <td data-bbox="1476 1722 1546 1778">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1778 582 1823">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1778 1412 1823">授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握</td> <td data-bbox="1412 1778 1476 1823">120</td> <td data-bbox="1476 1778 1546 1823">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1823 327 1980" rowspan="3">No5</td> <td data-bbox="327 1823 582 1879">経営戦略の体系③</td> <td data-bbox="582 1823 1412 1879">経営戦略の類型</td> <td data-bbox="1412 1823 1476 1879"></td> <td data-bbox="1476 1823 1546 1879"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1879 582 1935">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1879 1412 1935">プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握</td> <td data-bbox="1412 1879 1476 1935">120</td> <td data-bbox="1476 1879 1546 1935">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 1935 582 1980">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 1935 1412 1980">授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握</td> <td data-bbox="1412 1935 1476 1980">120</td> <td data-bbox="1476 1935 1546 1980">分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1980 327 2136" rowspan="2">No6</td> <td data-bbox="327 1980 582 2036">経営戦略の体系④</td> <td data-bbox="582 1980 1412 2036">経営戦略の策定と組織</td> <td data-bbox="1412 1980 1476 2036"></td> <td data-bbox="1476 1980 1546 2036"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 2036 582 2136">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="582 2036 1412 2136">プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握</td> <td data-bbox="1412 2036 1476 2136">120</td> <td data-bbox="1476 2036 1546 2136">分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | 【重要】ガイダンス | 授業の概要と評価方法、学び方について | | | 予習内容(時間) | 時事問題やトレンドの把握(経済新聞・経済雑誌) | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握(辞典・辞書) | 120 | 分 | No2 | 経営戦略の意義 | なぜ経営戦略が必要なのか | | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | No3 | 経営戦略の体系① | 経営戦略と戦術の役割 | | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | No4 | 経営戦略の体系② | 経営理念とビジョンの役割 | | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | No5 | 経営戦略の体系③ | 経営戦略の類型 | | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | No6 | 経営戦略の体系④ | 経営戦略の策定と組織 | | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 【重要】ガイダンス | 授業の概要と評価方法、学び方について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 時事問題やトレンドの把握(経済新聞・経済雑誌) | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握(辞典・辞書) | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 経営戦略の意義 | なぜ経営戦略が必要なのか | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 経営戦略の体系① | 経営戦略と戦術の役割 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 経営戦略の体系② | 経営理念とビジョンの役割 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 経営戦略の体系③ | 経営戦略の類型 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 経営戦略の体系④ | 経営戦略の策定と組織 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|--------|----------|--------------------------------|--------------------------------|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No7 | 製品・市場戦略① | アンゾフの成長ベクトル | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No8 | 製品・市場戦略② | 多角化戦略と相乗効果(シナジー) | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No9 | 製品・市場戦略③ | 市場細分化戦略 | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No10 | 製品・市場戦略④ | 新製品開発と新市場開発 | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No11 | 競争戦略の要点① | ポーターの競争戦略の枠組み | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No12 | 競争戦略の要点② | 競争の基本戦略「コストリーダーシップ戦略」 | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 |
| | No13 | 競争戦略の要点③ | 競争の基本戦略「差別化戦略」「集中戦略」 | | |
| | | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | |
| No14 | 競争戦略の要点④ | 価値連鎖(バリューチェーン) | | | |
| | 予習内容(時間) | プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 人的資源管理論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Human Resource Management I |
| 担当教員 | 洪 聖協 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 働く人間というのは生産のための手段であると同時に感情を持つ存在でもあります。人間を「資源」として捉えると、モノ扱いしてしまうように聞こえてしまいます。やはり感情を持つ存在という点を無視してはいけません。感情を持つ資源という認識のもとでいかに管理するのか、この点について講義していきます。講義はレジュメに沿って進めていきます。また、DVDなどの映像資料を活用し、視聴覚的に理解を図ります。 |
| | 人的資源管理の「目的・歴史・制度」について理解し、説明ができるようにする。 |

| 【到達目標】 | <p>「終身雇用・年功序列・企業別労使関係」について理解し、説明ができるようにする。</p> <p>「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」について理解し、説明ができるようにする。労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、説明ができるようにする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------------|----------------------------|-----|-----|---|---------|------|--|----|---|----|--|----|----|------|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 必ず「人的資源管理論Ⅱ」と併せて履修するように。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 本授業は、テーマに沿って、その内容を解説しながら問題に関して討論を行いながら授業を進める。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>教科書：岩出博編著『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社</p> <p>資料等：毎回レジュメを配布。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>確認テストを行う。「人的資源管理の目的・歴史・制度」に関連する について理解し、用語とその意味を答えられること。</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>確認テストを行う。「終身雇用・年功序列・企業別労使」に関連する 」について理解し、用語とその意味を答えられること。</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>確認テストを行う。「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」、労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、用語とその意味を答えられること。</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 確認テストを行う。「人的資源管理の目的・歴史・制度」に関連する について理解し、用語とその意味を答えられること。 | 30 | 確認テストを行う。「終身雇用・年功序列・企業別労使」に関連する 」について理解し、用語とその意味を答えられること。 | 30 | 確認テストを行う。「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」、労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、用語とその意味を答えられること。 | 40 | 合計 | 100% | <p>①平常点15%(授業内課題提出)②中間テスト25% ③期末テスト60%</p> |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 確認テストを行う。「人的資源管理の目的・歴史・制度」に関連する について理解し、用語とその意味を答えられること。 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 確認テストを行う。「終身雇用・年功序列・企業別労使」に関連する 」について理解し、用語とその意味を答えられること。 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 確認テストを行う。「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」、労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、用語とその意味を答えられること。 | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 私語禁止。携帯使用禁止。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | |
| | No1 | ガイダンス | 人的資源管理論とは。講義の概要と評価方法など。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | No2 | 人的資源管理の目的 | 人的資源管理の役割と目的とは何か | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | No3 | 人的資源管理の歴史① | 人的資源管理の歴史的な背景は。労働者とは何か。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | No4 | 人的資源管理の歴史② | 人的資源管理の歴史的発展段階とは。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | No5 | 人的資源管理の制度 | 日本の人的資源管理の制度は。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |
| | No6 | 日本の人的資源管理① | 終身雇用慣行とは何か。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|--------|----------|----------------------------|----------------------------|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No7 | 日本の人的資源管理② | 年功賃金とは何か。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No8 | 日本の人的資源管理③ | 企業別労使関係とは何か | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No9 | ダイバーシティマネジメント | ダイバーシティマネジメントとは何か。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No10 | ワークライフバランス | ワークライフバランスとは何か。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No11 | ハラスメント | ハラスメントとは何か。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No12 | 労働CSR | 労働における企業の社会的責任とは何か。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 |
| | No13 | 人材リスクマネジメント | 人的資源管理におけるリスクマネジメントとは。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | |
| No14 | 総括・テスト | 全体の総まとめ及び確認テスト | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 毎回、授業が終わってから事後学習をすること | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 広告論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Principle of Advertising I |
| 担当教員 | 荒井 誠 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>ブランディングの基礎から、広告による意識変容のメカニズム、広告メディアの変遷／進化、SNS時代の新しい広告手法などを、皆さんにとって身近な話題やイベント、実際の広告やキャンペーン事例を通して学びます。</p> <p>皆さんは実際に広告を2回創作し、キャッチコピーやデザインなど広告創りの楽しさや難しさを体験します。</p> <p>広告に関心のない受講生にとっても、この科目で培われるコミュニケーション力は、将来、広告業界と関らなくとも、社会人になり必ず役に立ちます。</p> <p>長年広告ビジネスに携わっている広告マンならではの話も飛び出す授業です。</p> <p>秋学期の「広告論Ⅱ」はこの科目の応用編となります。</p> |
|--------------------|--|

| 【到達目標】 | <p>広告によって、人々の購買への意識がいかに変容するかを理解する。</p> <p>広告によるブランディングの基礎を理解する。</p> <p>広告創りを通し、自己表現やコミュニケーション力を培う。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|-------|---------|------|------------------------------|-----|------------------------------|--|--------------------------------|---|----------|---|-----|--------------------------|--|----------|---|----------|---|-----|------------------------|---|----------|--|----------|---|-----|-----------------------|--|----------|---|----------|---|--|----------------------------|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 秋学期の「広告論Ⅱ」はこの科目の応用編のため、春学期の「広告論Ⅰ」から履修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 身近な話題や広告を紹介し、毎回提出してもらったレポートの質問やコメントを、翌週の授業で取り上げます。実際に2回創作してもらった皆さんの広告も、授業内で取り上げ受講生とシェアし、コメントを加えます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 授業の際に使用する特定の教材はありません。来館を推奨する施設は「アドミュージアム東京」@汐留です。江戸時代から現代の広告、さらに海外で注目されている広告も閲覧することができます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ 突破力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 696 1530 1043"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 696 743 752">評価項目と割合</th> <th data-bbox="743 696 1530 752">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 752 743 831">出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価</td> <td data-bbox="743 752 1530 831">50</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 831 743 909">2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲/姿勢を評価</td> <td data-bbox="743 831 1530 909">25</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 909 743 987">広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価</td> <td data-bbox="743 909 1530 987">25</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 987 743 1043">合計</td> <td data-bbox="743 987 1530 1043">100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価</p> | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価 | 50 | 2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲/姿勢を評価 | 25 | 広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価 | 25 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲/姿勢を評価 | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価 | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | コースパワーへの出席登録に加え、毎回授業後に提出するレポートより授業への取り組み姿勢を評価しますので、集中した授業への取組と十分な復習とレポート作成が必要です。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 1200 1530 2125"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1200 316 1256">週</th> <th data-bbox="316 1200 507 1256">テーマ</th> <th data-bbox="507 1200 1530 1256">学習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1256 316 1435" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="316 1256 507 1323">広告論Ⅰのイントロダクション</td> <td data-bbox="507 1256 1530 1323">「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、期末のテスト/レポートや成績評価基準を理解する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1323 507 1391">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1323 1530 1391">自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1391 507 1435">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1391 1530 1435">授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1435 316 1637" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="316 1435 507 1536">広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割</td> <td data-bbox="507 1435 1530 1536">「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1536 507 1592">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1536 1530 1592">マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1592 507 1637">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1592 1530 1637">授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1637 316 1839" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="316 1637 507 1738">広告表現における3つの力(言語/視覚/聴覚)</td> <td data-bbox="507 1637 1530 1738">広告表現を構成する3つの要素(言語/視覚/聴覚)について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1738 507 1794">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1738 1530 1794">どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1794 507 1839">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1794 1530 1839">授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1839 316 2040" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="316 1839 507 1939">広告によるターゲットの意識変容のメカニズム</td> <td data-bbox="507 1839 1530 1939">広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA(アイドマ)」「AISAS(アイサス)」といった心理変容の法則を理解する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1939 507 1995">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1939 1530 1995">あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1995 507 2040">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="507 1995 1530 2040">授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 2040 316 2136"></td> <td data-bbox="316 2040 507 2136">ターゲットインサイトの把握のための調査(定量と定性)</td> <td data-bbox="507 2040 1530 2136">広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト(ニーズやウォンツ)の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法(定量と定性)について理解する。</td> </tr> </tbody> </table> | | | 週 | テーマ | 学習内容 | No1 | 広告論Ⅰのイントロダクション | 「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、期末のテスト/レポートや成績評価基準を理解する。 | 予習内容(時間) | 自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。 120 分 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | No2 | 広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割 | 「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。 | 予習内容(時間) | マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。 120 分 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | No3 | 広告表現における3つの力(言語/視覚/聴覚) | 広告表現を構成する3つの要素(言語/視覚/聴覚)について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。 | 予習内容(時間) | どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。 120 分 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | No4 | 広告によるターゲットの意識変容のメカニズム | 広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA(アイドマ)」「AISAS(アイサス)」といった心理変容の法則を理解する。 | 予習内容(時間) | あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。 120 分 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | | ターゲットインサイトの把握のための調査(定量と定性) | 広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト(ニーズやウォンツ)の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法(定量と定性)について理解する。 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 広告論Ⅰのイントロダクション | 「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、期末のテスト/レポートや成績評価基準を理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割 | 「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 広告表現における3つの力(言語/視覚/聴覚) | 広告表現を構成する3つの要素(言語/視覚/聴覚)について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 広告によるターゲットの意識変容のメカニズム | 広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA(アイドマ)」「AISAS(アイサス)」といった心理変容の法則を理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ターゲットインサイトの把握のための調査(定量と定性) | 広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト(ニーズやウォンツ)の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法(定量と定性)について理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--|--|-----|---|
| No5 | 予習内容(時間) | 人の心の奥にある感情や意識をどのように把握したらいいか、考えてみてください。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| No6 | 広告到達指標(リーチとフリークエンシー) | 広告がターゲット層にどのくらい到達しているか(リーチ)、広告が何回到達したか(フリークエンシー)という二つの広告到達指標について理解する。リーチとフリークエンシーの関係も併せ理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | ターゲットに対し、CMを何回見てもらった方がいいか、考えてみてください。 | 120 | 分 |
| No7 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| | 広告業務の基礎 広告主からのオリエンからプレゼンまでの流れ | 広告主が広告会社へ広告制作やキャンペーン構築の依頼の際に提示する「オリエンテーション」と、それを受けて広告会社が「プレゼンテーション」に向けて、どのようなチーム構成と制作プロセスで取り組むかを理解する。 | | |
| No8 | 予習内容(時間) | 広告主と広告会社の広告制作における役割分担を考えてみてください。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| No9 | ブランディング基礎 ① ブランドの定義とブランド構築(=ブランディング)とは | 「ブランド」の定義から、ブランドの構築(ブランディング)の意味するところを理解する。ブランドには、認知度と品質は必要条件であるが、十分条件として「独自性/オリジナリティ」の重要性を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | ブランドとは何か、またブランド構築に必要なものは何か、考えてみてください。 | 120 | 分 |
| No10 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| | ブランディング基礎 ② ブランドプロミス/ブランドアイデンティティ | 企業と顧客の関係性において、企業が顧客に提供する「ブランドプロミス」と企業が顧客に伝えたい自社商品の価値「ブランドアイデンティティ」について理解する。実際のブランド事例を取り上げる。 | | |
| No11 | 予習内容(時間) | ブランディングで成功している企業や商品を調べ、成功の秘訣を考えてみてください。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| No12 | ブランディング基礎 ③ ブランドコミュニケーションの7要素 | ブランド構築の上で、広告など企業から顧客へのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たす7つの要素について理解する。実際の要素事例を取り上げる。 | | |
| | 予習内容(時間) | ブランドを構築する際に、広告上で有効な要素は何か、考えてみてください。 | 120 | 分 |
| No13 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| | 企業コミュニケーション 企業と生活者のコンタクトポイント | 企業は商品やサービスを購入する「消費者」との関係構築を重要視するが、企業と「生活者」との接点は、「消費者」だけではなく投資家や従業員、近隣住人など様々な関係性(コンタクトポイント)において存在することを理解する。 | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 企業と生活者との関係性においてどのような接点があるか、考えられてみてください。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| No15 | 広告メディア 変化する生活者のメディア環境 | 広告を企業から視聴者や読者に届ける上で、その媒介となる媒体(メディア)は不可欠である。生活者にとって、このメディアがどのように変化してきたか、今後進化しようとしているか、を理解する。テレビ局と新聞社の歴史と将来への取組を取り上げる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 印刷や電波媒体(メディア)について、それぞれの特徴を考えてみてください。 | 120 | 分 |
| No16 | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| | インターネット広告とSNSの活用 | 今や日頃の生活に欠かせなくなったインターネットであるが、広告コミュニケーションにおいても不可欠なメディアとなっている。特にSNSの普及により、生活者のメディア環境は大きく変化してきている。この動向について理解する。インターネット広告の進捗状況や種類別の特徴などを理解する。 | | |
| No17 | 予習内容(時間) | SNSを活用した広告の成功事例を調べ、その理由を考えてみてください。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。 | 120 | 分 |
| No18 | 広告表現の留意点 広告に関する法律と自主規制 | 広告表現に関しては、多くの関連法律で規制が定められている。さらに広告を取り扱う広告主、広告会社、媒体社などが推進している日本広告審査機構(JARO)の取組や業界として設けている自主規制について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 広告を創作する上で留意すべき点について考えてみてください。 | 120 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 広告論 I BE-B |
| 講義名(英字) | Principle of Advertising I |
| 担当教員 | 広瀬 盛一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この講義では、私たちの身近にある広告を理論的、実践的に研究することを目的とする。広告を行う企業の立場だけでなく、広告会社に代表される広告業界の動向や広告の受け手である消費者を含めた幅広い視点に立って、広告についての知識を学ぶ。テキストだけでなく、実際に行われた広告活動を取り上げることで、企業活動や社会の仕組みについても考察する。 |
| 【到達目標】 | 広告関連の専門用語を理解し、正しく使えるようになる。 広告と社会やビジネス活動との関係性を理解して、広告の可能性や問題点について議論できる。 |

広告を含むマーケティング・コミュニケーションの役割を理解して、簡単な広告計画立案ができるようになる。

【履修条件・受講推奨者】

マーケティング論、消費者行動論、流通論などの関連領域に興味があること。

【教育方法】

教科書の内容理解を中心として、事例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。

【指定教科書・参考資料等】

嶋村和恵監修『新しい広告』（電通）、その他授業中に指示する。

【実務IQ修得目標】

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|---|-----|---|-----|---|
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】

| 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|---------------|------|-----------------------------|
| 期末試験 | 75 | 期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。 |
| 授業内容についてのレポート | 15 | |
| 授業への参加確認 | 10 | |
| 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方、広告論で学ぶことについて社会的な背景と関連領域との関連性について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No2 | 多様化するコミュニケーション活動と広告の定義と種類 | 広告活動において多様化しているコミュニケーション活動がおよぼす影響と広告の定義や種類について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No3 | マーケティングと広告との関わりについて(1) | マーケティングと広告との関わり、ブランド構築、消費者視点のコミュニケーションについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングと広告との関わりについて(2) | マーケティングと広告との関わり、ブランド構築、消費者視点のコミュニケーションについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No5 | マーケティングと広告活動 | マーケティングと広告活動との関わりについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No6 | 広告に関わる組織(1) | 広告会社、媒体社、広告関連業界団体などについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| | 広告に関わる組織(2) | 広告会社、媒体社、広告関連業界団体などについて説明する。 | | |

| | | | | | | |
|--------|----------|------------------------|---|-----|---|--|
| 【授業計画】 | No7 | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| | No8 | コミュニケーションプロセス | 広告におけるコミュニケーションプロセスの理論的な枠組みと実践について説明する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| | No9 | 広告計画について(1) | 広告目標と予算、目標設定のアプローチについて説明する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| | No10 | 広告計画について(2) | 広告予算の設定と分配について説明する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| | No11 | クリエイティブ戦略 | クリエイティブ戦略の立案から戦略などについて説明する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| | No12 | メディアプランニング | メディアプランニングの目標設定、媒体戦略の立案、予算上の検討事項について説明する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| | No13 | 広告媒体(1) | 広告媒体としてのマスメディアについて説明する。 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | |
| No14 | 広告媒体(2) | マスメディア以外の広告媒体について説明する。 | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 | | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 入門簿記 I BE-A |
| 講義名(英字) | Elementary Bookkeeping I |
| 担当教員 | 北井 不二男 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 簿記は、企業の日常の経済活動を記録し、その結果を整理して報告するための技術であり、今日では必須のビジネススキルの一つとなっている。 本講義は、会計関連科目への入門講座としての性格を有し、簿記の初歩を取り扱う。すなわち、簿記を初めて学ぶ学生を対象とし、簿記の基本的な考え方や技術を習得することを目標としている。取引の記帳から決算手続きまでの簿記一巡の流れが理解できるように、解説および問題演習によって授業を進める。 |
| | 簿記の意義、複式簿記に関連する用語を正しく理解すること。基本的な勘定科目と、貸借対照表・損益計算書の意味を理解すること。 |

| 【到達目標】 | 簿記上の取引の意味を理解すること。取引の8要素と基本的な取引の仕訳、勘定口座記入が行えること。 決算の意味、手続きを理解し、各種試算表の作成方法、6桁精算表の作成ができること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|-----|-----|---|---------|-----|------|---------|-----|--|-------|--------------------------------------|--------|----|----------|----------------|-----|---|----------|-------------|-----|---|-----|------------|---------------------------|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|-----------------|-----|---|-----|------------|-------------------|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|-----------------|-----|---|-----|-----------|----------------|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|-----------------|-----|---|-----|----------|-------------------------|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|-----------------|-----|---|-----|----------|------------|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|-----------------|-----|---|--|---------|--------|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 商業簿記の習得に意欲的な学生。すべての授業に出席すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 授業内容に即したプリント教材を毎回配布、講義を実施し、理解の確認と定着のため演習と解説を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 市販の教材は使用せず、毎時プリントを配布する。A4サイズのポケットファイルを用意すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 600 1546 891"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業中のテスト</td> <td>20%</td> <td rowspan="4">授業中のテストと本試験の合計点数で評価し、良い質問や積極的発言には加点する。</td> </tr> <tr> <td>本試験</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>質問・積極性</td> <td>加点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 授業中のテスト | 20% | 授業中のテストと本試験の合計点数で評価し、良い質問や積極的発言には加点する。 | 本試験 | 80% | 質問・積極性 | 加点 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業中のテスト | 20% | 授業中のテストと本試験の合計点数で評価し、良い質問や積極的発言には加点する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本試験 | 80% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 質問・積極性 | 加点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 計算専用の電卓を必ず用意すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 981 1546 2136"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td>講義の進め方、評価方法、準備物等についての説明 次回授業の資料配布</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>シラバスを熟読しておくこと。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>ガイダンス事項の確認。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>簿記の基礎概念(1)</td> <td>簿記の目的、会計期間、資産・負債・資本と貸借対照表</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>事前配布資料を熟読しておくこと。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>配布演習問題の際確認すること。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>簿記の基礎概念(2)</td> <td>損益の計算、収益・費用と損益計算書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>事前配布資料を熟読しておくこと。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>配布演習問題の際確認すること。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>簿記の基礎概念総括</td> <td>財産法と損益法、計算問題演習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>事前配布資料を熟読しておくこと。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>配布演習問題の際確認すること。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>仕訳と転記(1)</td> <td>簿記上の取引、取引の8要素、仕訳と勘定口座記入</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>事前配布資料を熟読しておくこと。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>配布演習問題の際確認すること。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>仕訳と転記(2)</td> <td>商品取引の記録、出資</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>事前配布資料を熟読しておくこと。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>配布演習問題の際確認すること。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>仕訳と転記演習</td> <td>総合演習問題</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス | 講義の進め方、評価方法、準備物等についての説明 次回授業の資料配布 | | | 予習内容(時間) | シラバスを熟読しておくこと。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | ガイダンス事項の確認。 | 120 | 分 | No2 | 簿記の基礎概念(1) | 簿記の目的、会計期間、資産・負債・資本と貸借対照表 | | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | No3 | 簿記の基礎概念(2) | 損益の計算、収益・費用と損益計算書 | | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | No4 | 簿記の基礎概念総括 | 財産法と損益法、計算問題演習 | | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | No5 | 仕訳と転記(1) | 簿記上の取引、取引の8要素、仕訳と勘定口座記入 | | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | No6 | 仕訳と転記(2) | 商品取引の記録、出資 | | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | 仕訳と転記演習 | 総合演習問題 | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 講義の進め方、評価方法、準備物等についての説明 次回授業の資料配布 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスを熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | ガイダンス事項の確認。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 簿記の基礎概念(1) | 簿記の目的、会計期間、資産・負債・資本と貸借対照表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 簿記の基礎概念(2) | 損益の計算、収益・費用と損益計算書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 簿記の基礎概念総括 | 財産法と損益法、計算問題演習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 仕訳と転記(1) | 簿記上の取引、取引の8要素、仕訳と勘定口座記入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 仕訳と転記(2) | 商品取引の記録、出資 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 仕訳と転記演習 | 総合演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------|----------|------------------|----------------------|-----|---|--|
| 【授業計画】 | No7 | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | |
| | No8 | 決算(1) | 決算の意味、試算表の種類と作成方法 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | |
| | No9 | 決算(2) | 試算表演習問題、6桁精算表の作成方法 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | |
| | No10 | 決算(3) | 帳簿の締切、財務諸表の作成 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | |
| | No11 | 簿記一巡の流れ | 取引発生から財務諸表作成までの手続き確認 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | |
| No12 | 現金取引 | 現金の範囲、現金過不足の処理 | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | |
| No13 | 預金取引 | 預金の種類、小切手と当座預金 | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | |
| No14 | まとめと総復習 | これまでの授業の総括と総合演習 | | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を熟読しておくこと。 | 120 | 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 配布演習問題の際確認すること。 | 120 | 分 | | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 入門簿記 I BE-C |
| 講義名(英字) | Elementary Bookkeeping I |
| 担当教員 | 鶴岡 清司 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 簿記は企業活動を、記録、計算整理するための技術であり、財務諸表を作成するための手段だといわれています。 本講義では、簿記の基礎を学びます。 入門簿記 I では日常の取引を「仕訳」できること(簿記語に変換できること)が中心課題となります。 |
| 【到達目標】 | 個人企業の経営成績を判断する損益計算書・財政状態を判断する貸借対照表の土台となる取引が仕訳できること。 実務的には、所得税の事業所得の計算の基礎となる損益計算書・貸借対照表が作成できる土台となる取引の仕訳ができること。 |

資格取得という観点からは、簿記3級レベルの知識が身につくこと。

【履修条件・受講推奨者】

「やってみよう」という意志と忍耐力が必要です(語学の習得に似ています)。

【教育方法】

講義・演習をテーマごとにおこないます。「わかった」から「できる」というレベルまでひきあげます。

【指定教科書・参考資料等】

指定教科書: 滝澤ななみ著 スッキリわかる日商簿記3級 14版 TAC出版

【実務IQ修得目標】

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|---|-----|--|-----|---|
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|---------|------|--------------------|
| 定期試験 | 80% | 設問に対する解答によって評価します。 |
| 中間試験 | 20% | |
| 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】

指定教科書と電卓は必須道具です。最低でも、3分の2以上の出席が成績認定の基本です。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--------------------|---|-----|---|
| No1 | スタートアップ講義 | 簿記の一連の流れをザックリ講義します。 | | |
| | 予習内容(時間) | じっくり精読してください。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会計処理がどの時点で行われているかを意識して読み直すこと。 | 120 | 分 |
| No2 | 第1章簿記の基礎 | 簿記の基本ルールについてみていきましょう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第1章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 仕訳の基本を理解すること。 | 120 | 分 |
| No3 | 第2章商品売買 ケース3~6 | 商品を買ってきて、そしてそれを売ったときの処理についてみていきましょう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第2章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第2章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| No4 | 第2章商品売買 ケース7~10 | 商品を買ってきて、そしてそれを売ったときの処理についてみていきましょう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第2章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第2章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| No5 | 第3章現金 | 現金で処理するものってどんなものがあるの、過不足が生じた場合の処理についてもみていきましょう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第3章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第3章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| No6 | 第4章預金 | 各預金の処理のほか、当座借越の処理についてもみていきましょう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第4章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第4章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| No7 | 第5章小口現金 | 小口現金係の役割、会計係との関連を通じて、会計処理についてみていきましょう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第5章を精読してくること。 | 120 | 分 |

| | | | | | |
|----------|---------------------------|---|---|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 第5章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| | No8 | 第6章手形と電子記録債権 | 手形と小切手の会計処理の違いを意識してその処理についてみていきましょう。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第6章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 第6章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| | No9 | 第7章貸付金・借入金 | お金を貸し借りしたときの処理についてみていきましょう。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第7章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 第7章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| | No10 | 第8章その他の債権債務 ケース36～44 | 今まで学んだ以外の債権債務の処理についてみていきましょう。 未収金・未払金等 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第8章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 第8章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| | No11 | 第8章その他の債権債務 ケース45～53 | 今まで学んだ以外の債権債務の処理についてみていきましょう。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第8章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 第8章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| | No12 | 第9章その他の費用 | 固定資産税を支払ったなど、その他の費用についてみていきましょう。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第9章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 第9章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 |
| | No13 | 第10章貸倒れと貸倒引当金 ケース59～60 | 得意先が倒産したとき、その債権はどうなるのか、予防のための処理についてもみていきましょう。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第10章を精読してくること。 | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | 第10章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 | |
| No14 | 第10章貸倒れと貸倒引当金 ケース61～62 | 得意先が倒産したとき、その債権はどうなるのか、予防のための処理についてもみていきましょう。 | | | |
| | 予習内容(時間) | 第10章を精読してくること。 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 第10章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。 | 120 | 分 | |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 入門簿記 I BE-D |
| 講義名(英字) | Elementary Bookkeeping I |
| 担当教員 | 福山 倫基 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 簿記は、企業の日常の経済活動を記録し、その結果を整理して報告するための技術であり、今日では必須のビジネススキルの一つとなっている。本講義は、会計関連科目への入門講座としての性格を有し、簿記の初歩を取り扱う。すなわち、簿記をはじめて学ぶ学生を対象とし、財務諸表作成までの簿記一巡の手続きの理解から出発し、その後は基本的な商取引に関する会計処理を一通り習熟する事を最たる目的としている。さらに、仕訳を行う過程には社会人基礎力に求められる批判的思考を育成する手続きが含まれている。単に簿記に関する知識や技能を習得するだけでなく、今後の大学における学習を行う上での必要な学習方法や問題解決能力を育てていく。 |
| | 複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できるようにする。 |

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|------------|--|---|-----|------|-----|---|-----|---|--------------|
| 【到達目標】 | <p>簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得していること。</p> <p>決算の意味、手続きを理解していること。</p> | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。</p> | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。</p> | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>◇教科書：開講時に指示する。</p> <p>◇参考書：開講時に指示する。</p> | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | | | 評価方法 | | | | | |
| | 中間テスト | | | | | 20% | | | | | 左記を合算して評価する。 |
| | 期末試験 | | | | | 70% | | | | | |
| | 会計教育に関するアンケート | | | | | 10% | | | | | |
| | 合計 | | | | | 100% | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <p>他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。</p> | | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | |
| | No1 | ガイダンス | <p>講義の進め方および成績評価方法についての説明、大学における経営科目の学習の意義や会計を学ぶ意義、並びに簿記の目的・意義なども併せて講義する。</p> <p>初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスの確認 | | | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義の振り返り | | | | | | 120 | 分 | |
| | No2 | 簿記の基礎概念(1) | <p>会計期間、貸借対照表とその構成要素(資産・負債・純資産)といった今後簿記講義において仕訳や決算手続きを学習していく上での前提となる基礎知識を講義していく。</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 前回まで実施した内容の振り返り | | | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義中にノートした内容をまとめる | | | | | | 120 | 分 | |
| | No3 | 簿記の基礎概念(2) | <p>損益計算書とその構成要素(収益・費用)、純損益の計算といった今後簿記講義において仕訳や決算手続きを学習していく上での前提となる基礎知識を講義していく。</p> | | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | | | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義中にノートした内容をまとめる | | | | | | 120 | 分 | |

【授業計画】

| | | | | |
|-----|-----------|--|-----|---|
| | 間) | | | |
| No4 | 取引と仕訳 | 簿記上の取引、取引の8要素、仕訳といった特に複式簿記において仕訳を行うことに関する知識を講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義時間中に覚えるべきと強調した部分をまとめる | 120 | 分 |
| No5 | 仕訳と転記(1) | 仕訳、勘定口座および転記に関する手続きを学習する。特に仕訳を行い記録した内容をT字勘定に転記する手法について述べていく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中に行った演習を必ず復習すること | 120 | 分 |
| No6 | 仕訳と転記(2) | 仕訳と仕訳帳の記入、転記と総勘定元帳の記入に関して学習する。特に各勘定科目のT字勘定から総勘定元帳に転記する手続きについて述べていく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中に行った演習を必ず復習すること | 120 | 分 |
| No7 | 中間テスト | これまでに行った入門簿記上の基礎知識をテストする。 | | |
| | 予習内容(時間) | 今までの講義内容の復習 | 300 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 受けたテストの振り返り | 120 | 分 |
| No8 | 商品売買取引(1) | 仕入・売上、返品取引、掛取引に関する講義を行う。これ以降、特に演習では複式簿記を使った仕訳を中心にやっていくため、演習で出された設問には必ず一度自分で解答を行うこと。自分で演習を行ったことを前提に講義は進めていく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No9 | 商品売買取引(2) | 前払・前受取引、諸係に関する取引に関する講義を行う。これらの取引を仕訳する際、覚えておかなければ仕訳できない部分もあるので、覚えるべき部分は必ず覚えること。また、類似の取引も今後出てくるため、類推して正しい仕訳を導出できるよう意識すること。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|---------------------------|--|-----|---|
| No10 | 商品 売 買 取 引(3) | 売上原価と商品有高帳について講義していく。商品有高帳の記録の仕方や売上原価を求める手法は、会計学を学習していくにあたり非常に重要なポイントであるといえる。そのため、演習をきちんと行うこと。 | | |
| | 予 習 内 容(時 間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復 習 内 容(時 間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No11 | 現金・ 預 金(1) | 現金の範囲、現金過不足について学習する。会計が定める現金の範囲は一般的に認識している現金の範囲とは異なるため、会計上の現金の範囲をきちんと押さえること。また、現金過不足の取引は期中の取引だけでなく、決算の手続きにおいても必要となるため、決算上ではどのような手続きが必要になるかも推測できるように意識すること。 | | |
| | 予 習 内 容(時 間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復 習 内 容(時 間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No12 | 現金・ 預 金(2) | 小口現金の処理、現金出納帳・小口現金出納帳の作成、預金に関する手続きについて学習する。特に預金の場合、学生にはなじみがないクレジットに関する手続きを学習する。講義並びに演習を通して一連の手続きに関する理解を進めること。 | | |
| | 予 習 内 容(時 間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復 習 内 容(時 間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No13 | 試算 表(1) | 試算表の意義、試算表の種類、作成手続きについて学習する。試算表単体での作成手続きを講義するので、きちんと各種試算表の作成手順を理解すること。 | | |
| | 予 習 内 容(時 間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復 習 内 容(時 間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No14 | 試算 表(2) | 資格試験的な試算表作成問題の解答手順について学習する。特に簿記に関連する資格試験を目指す受講生は解答のテクニックを理解すること。 | | |
| | 予 習 内 容(時 間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 200 | 分 |
| | 復 習 内 容(時 間) | 当該回の演習の復習 | 200 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 入門簿記 I BE-F |
| 講義名(英字) | Elementary Bookkeeping I |
| 担当教員 | 光澤 美芽 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>今日、企業が公表する財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)がどのように作成されるのか理解することは、財務諸表を理解する上で重要となっている。</p> <p>本講義は、会計関連科目への入門講座としての性格を有し、簿記の初歩を取り扱う。すなわち、簿記を初めて学ぶ学生を対象とし、簿記の基本的な考え方と技術を修得することを目的としている。具体的には、企業の経営活動を貨幣額で把握する仕組み、すなわち複式簿記の基本について学習する。記録の対象となる取引とは何か、記録のルールとは何か、財務諸表がどのようにして作成されるのかといった、取引の記帳から決算手続までの簿記一巡の流れを理解することを目標とする。</p> |
| | 【複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できる】 |

簿記の意義、簿記の種類、簿記に関連する用語を答えられること。また、基本的な勘定科目と貸借対照表、損益計算書の意味を理解し、要素勘定に正確に分類できること。

【到達目標】
【簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得している】
 取引の8要素を理解し、基本的な取引の仕訳、勘定口座への転記が行えること。
【決算の意味、手続きを理解している】
 各種試算表の意味と作成方法、6桁精算表の作成方法を理解し、財務諸表の作成ができること。

【履修条件・受講推奨者】
 簿記は、講義を聴くのみではなく、自らが記帳練習を行い、継続的な努力を基に身につけて修得する学問である。よって、講義のみならず自ら電卓を用い復習を行い真面目に勉強することを望む。
 なお、講義の特性上、欠席が多いとついていけないため、基本的には全講義出席することが望ましい。

【教育方法】
 以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。必要に応じて講義内で演習問題を解いてもらい、解答・解説を行う。
 毎回、授業のテーマごとに教科書の章末問題を課題として出し、次の回に復習および課題の解答・解説を行って、知識の定着を図る。

【指定教科書・参考資料等】
 伊藤龍峰ほか著『基本簿記原理』中央経済社(税込¥2,240)

【実務IQ修得目標】

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|---|-----|--|-----|--|
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| 評価項目と割合 | 評価方法 |
|-----------------------------------|------|
| 複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できる | 30% |
| 簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得している | 40% |
| 決算の意味、手続きを理解している | 30% |
| 合計 | 100% |

授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。

【その他の注意事項】
 他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。
 なお、受講の際には電卓(12桁以上)を準備のこと。算盤でもかまわない。中間テストおよび本試験の際には、携帯電話、電子辞書、PC、その他電子機器に内蔵されている電卓の使用は一切禁止するので気をつけること。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 講義の進め方、成績評価方法等についての説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| No2 | 簿記の基礎概念(1) | 簿記の意義と目的、簿記の前提、貸借対照表の意味と構造、損益計算書の意味と構造について | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| No3 | 簿記の基礎概念(2) | 貸借対照表の作成、資本等式と貸借対照表等式、損益計算書の作成、利益の計算方法一財産法と損益法一について | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| No4 | 取引と仕訳 | 簿記一巡の手続き、会計上の取引、勘定科目と勘定口座、取引の8要素について | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| | 仕訳と転記(1) | 要素分解と仕訳、転記の基本について | | |

| | | | | | |
|--------|-----------|---------------------------------|---------------------------------|-----|---|
| 【授業計画】 | No5 | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| | No6 | 仕訳と転記(2) | 仕訳と仕訳帳の記入および転記と総勘定元帳の記入について | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| | No7 | 決算Ⅰ(1)試算表の作成 | 簿記一巡の手続き、試算表の種類と仕組み、試算表の作成について | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| | No8 | 決算Ⅰ(2)精算表の作成 | 精算表の種類、6桁精算表の構造と作成について | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| | No9 | 決算Ⅰ(3)帳簿の締切りと決算振替仕訳 | 帳簿の締切り、決算振替仕訳、繰越試算表について | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| | No10 | 小テスト | 第1回から第9回までの小括 | | |
| | | 予習内容(時間) | 第1回から第9回までの復習をする。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小テストの内容について質問事項や不明点をまとめる。 | 120 | 分 |
| | No11 | 現金および現金過不足 | 現金の範囲、現金過不足勘定と過不足の処理について | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 |
| No12 | 銀行預金等 | 預金の種類、当座借越とその処理、小口現金 | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 | |
| No13 | 商品売買取引(1) | 分記法と三分法、掛取引と人名勘定、クレジット売掛金について | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。 | 180 | 分 | |
| No14 | 商品売買取引(2) | 得意先元帳と仕入先元帳、売掛金元帳と買掛金元帳について | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 指示された課題を解く。本試験に備えて不明点をなくす。 | 180 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 環境経営学 BE-A |
| 講義名(英字) | Environmental Management |
| 担当教員 | 藤森 大祐 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>環境問題への取り組みは現代の企業において積極的に対応すべき必須の課題となっています。近年話題となっている環境問題としては、地球温暖化やエネルギー問題が挙げられますが、本講義ではそれらの現代的な環境問題よりも以前から起きていた問題にも焦点を当てて講義を展開していきます。具体的には、初期の公害問題として知られている足尾銅山問題や四大公害問題などから考察していくことで、環境問題と企業との関係の本質的問題を把握していきます。そして、それらをベースにして地球環境問題の代表的な問題を考察しながら、現代の企業の課題を考えていきます。また、後半では廃棄物問題への対応、リサイクルの推進、エネルギー問題への企業の取り組みを見ていきます。さらには、現代的な話題であるSDGsへの企業の貢献、ESG投資などについても論じていきます。</p> |
| 【到達目標】 | <p>様々な環境問題の基礎知識を習得する</p> <p>環境問題と企業との関係を理解する</p> <p>環境問題への企業のあり方を理解する</p> |

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|------------------------------|---|-----|-----|---|-----|--|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 「経営学」などの基礎科目を単位取得していることが望ましい。環境問題のみならず、より広範囲な社会問題に対して、企業に何が出来るかを探求したい方に受講してもらいたい。 | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義形式。毎回の講義の際に課題を出します。 | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | とくになし。講義の中で必要に応じて紹介します。 | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | |
| | 様々な環境問題の基礎知識を習得している | 30% | 70%以上の出席を前提とし、学期末の試験を60%、レポート20%、平常点20%の配分で総合的に評価する。平常点は講義内の受講態度や毎回の課題によって評価する。 | | | | | | | |
| | 環境問題と企業との関係を理解している | 30% | | | | | | | | |
| | 環境問題への企業のあり方を理解している | 40% | | | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特になし。 | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | |
| | No1 | ガイダンス | 講義の概要、進め方、評価方法などを周知する。環境経営学の基本的な考え方について論じる。 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 | | | | | |
| | No2 | 足尾銅山問題について | 足尾銅山問題の経緯、およびその問題構造について論じる。 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 | | | | | |
| | No3 | 日立鉱山、別子銅山問題について | 日立鉱山と別子銅山のそれぞれについて、足尾と比較しながら論じる。 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 | | | | | |
| | No4 | 水俣病問題について | 水俣病問題における企業行動とその問題点について論じる。 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 | | | | | |
| | No5 | イタイイタイ病問題、四日市ぜんそく問題について | イタイイタイ病および四日市ぜんそく問題について、企業行動とその問題点について論じる。 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 | | | | | |
| | No6 | 四大公害問題以後の日本経済の動向、および公害輸出について | 四大公害以後、日本経済がどのように変化したのかについて論じる。また、その中で公害輸出について論じる。 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | | | | | |

| | | | | | |
|--------|--------------------|---|---|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No7 | 地球環境問題について① | 地球環境問題とはどういう問題なのかを論じる。その上で、企業とオゾン層破壊の問題について論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No8 | 地球環境問題について② | 地球温暖化の現状について理解するとともに、企業における脱炭素の動きについて論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No9 | 地球環境問題について③ | 企業における脱炭素の取り組みを論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No10 | 廃棄物問題について | 現代社会と廃棄物の問題について理解する。そしてその中での企業行動について論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No11 | 循環型社会と企業について① | リサイクルの現状について論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No12 | 循環型社会と企業について② | 企業における循環型社会に向けた取り組みを事例をあげながら論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 |
| | No13 | 循環型社会と企業について③ | サーキュラーエコノミーと企業活動について論じる。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。 | 120 | 分 | |
| No14 | 企業におけるSDGsへの貢献について | SDGsに対して企業がどのような取り組みをしているかを客観的な視点から論じる。 | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、課題を行うとともに、学期末の試験に準備をする。 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 経営倫理 BE-A |
| 講義名(英字) | Management & Ethics |
| 担当教員 | 高橋 正泰 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 地球環境の劣化や科学技術の進展、経営活動のグローバル化などに伴い、経営体すなわち企業およびその経営者の倫理は今日極めて重要な問題となっている。本講は、経営倫理の諸研究を経営者の倫理、道徳および経営理念、そして企業の不祥事や事故の事例を踏まえながら、問題テンを整理し複雑化、複合化しつつある企業に在り方や経営者を中心として経営倫理問題についての学際的検討をめざすものである。 |
| 【到達目標】 | 倫理とは何かについての理解：講義を通して理解し習得した知識について理解してもらうことを目標とする。 経営倫理を学ぶ意義の理解するとともに経営倫理を理解するための様々な考えや方法についての理解してもらうことを目標とする。 経営倫理を学ぶことにより、何が理解でき、何が可能になるかを実践的な観点から理解するとともに、産業社会にとって経営倫理がどのような役割を果たしているか、日々かかわっている社会について考えてもらうことを目標とする。 |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特にないが、哲学や倫理学、社会学、経営組織論、および企業論を履修していることが望ましい。 |
| 【教育方法】 | 講義とレポートを中心として授業をすすめる。また、必要に応じてディスカッションをおこない経営倫理についての理解を深めることとする。 |

| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>【参考書】 高浦康有・藤野真也共著『企業倫理入門 ー理論とケースで学ぶー』白桃書房, 2022年. スチュアート著『企業倫理』白桃書房, 2001年. 中村瑞穂編『企業倫理と企業統治』文眞堂, 2003年. 高橋正泰監修『マクロ組織論』学文社, 2019年. 高橋正泰監修『ミクロ組織論』学文社, 2019年.</p> <p>以上は、特に教科書として使用しませんが、授業を行ける際の参考書として下さい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|-----|-----|---|---------|-----|------|------|-----|--|--------|-------------------------------|-----|------|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|-----------|--|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|------------|-----------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|------------|--------------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|------------|--------------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|------------|---------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|-----|---------------|-------------------------------|--|--|----------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------------------|-----|---|--|---------|-----------------------|--|--|
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">自制力</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;">思考力</td> <td style="width:20%; text-align:center;">○</td> <td style="width:20%;">突破力</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;">忍耐力</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td>創造力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td style="text-align:center;">50</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td style="text-align:center;">50</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align:center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 定期試験 | 50 | 定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。 | レポート | 50 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定期試験 | 50 | 定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| レポート | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特にありませんが、真摯に勉学に励むこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業計画】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>倫理と諸概念</td> <td colspan="3">「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>経営倫理を学ぶ意義</td> <td colspan="3">「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>経営倫理と経営理念Ⅰ</td> <td colspan="3">経営者の経営理念と経営倫理について考える。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>経営倫理と経営理念Ⅱ</td> <td colspan="3">事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>経営倫理と経営理念Ⅲ</td> <td colspan="3">事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>経営理念と社会的責任</td> <td colspan="3">社会的責任と経営倫理について考察する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No7</td> <td>組織における経営理念の浸透</td> <td colspan="3">企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>経営理念と制度</td> <td colspan="3">組織の制度理論から経営倫理について考える。</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | 倫理と諸概念 | 「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No2 | 経営倫理を学ぶ意義 | 「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No3 | 経営倫理と経営理念Ⅰ | 経営者の経営理念と経営倫理について考える。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No4 | 経営倫理と経営理念Ⅱ | 事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No5 | 経営倫理と経営理念Ⅲ | 事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No6 | 経営理念と社会的責任 | 社会的責任と経営倫理について考察する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | No7 | 組織における経営理念の浸透 | 企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。 | | | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | 経営理念と制度 | 組織の制度理論から経営倫理について考える。 | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 倫理と諸概念 | 「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 経営倫理を学ぶ意義 | 「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 経営倫理と経営理念Ⅰ | 経営者の経営理念と経営倫理について考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 経営倫理と経営理念Ⅱ | 事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 経営倫理と経営理念Ⅲ | 事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 経営理念と社会的責任 | 社会的責任と経営倫理について考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No7 | 組織における経営理念の浸透 | 企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 経営理念と制度 | 組織の制度理論から経営倫理について考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------|---------------|-------------------------------------|-----|---|
| No8 | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 60 | 分 |
| No9 | 経営倫理と組織の意味と価値 | 組織体としての企業を価値と意味の観点から経営倫理を考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 |
| No10 | 経営理念の共有 | いかに経営倫理が共有され、定着していくプロセス組織化の理論から考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 |
| No11 | 社会的構成としての経営倫理 | 社会の価値と企業の経営価値との関係を社会構成主義の立場から講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 |
| No12 | 経営倫理と社会 | ESGを考え、企業と社会との関係を経営倫理から考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 |
| No13 | 経営倫理の課題 I | サステナビリティ(SDGs)と経営倫理について考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること | 120 | 分 |
| No14 | 経営倫理の課題 II | 多様性と経営倫理を考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の内容をノートにまとめ、復習し、この授業の総括を行うこと | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 選択科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 情報処理 I BE-A |
| 講義名(英字) | Information Processing I |
| 担当教員 | 江崎 和夫 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>本科目は、マイクロソフトの検定試験であるオフィススペシャリスト(MOS)の、表計算ソフトのMicrosoft Excelの対策入門講座でもありません。MOSのExcelは、企業の評価も高い世界共通の検定試験です。Excelが企業の実務で活用できるレベルのスキル(技能)に達していることを示します。ビジネスデータの加工などができるスキルを身につけるとともに、検定試験の準備をすることを旨とします。そのために、Excelを使った表計算処理やグラフの作成・テーブルやフィルターの操作などについて、MOSの実践的な演習を通じて学習します。MOSの模擬問題を多く解くことにより実務能力の向上を図ります。</p> |
| 【到達目標】 | <p>シートの編集、関数を適切に活用した表計算、グラフの作成などができる。</p> <p>セル範囲へのデータ挿入、書式設定、条件付き書式の設定ができる。</p> <p>テーブルの作成、フィルターが使用できる。データベース機能の並替え機能が使える。</p> |
| 【履修条件・受】 | <p>コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。</p> |

| 【講推奨者】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|------|---------|-----|------|-----|-------------------------|---|-----|------|----------|----------|-----|---|----------|--------------------------|-----|---|-----|----------------|---|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|--------------------------|-----|---|-----|-------------|---|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|------------|--|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|----------------------|-----|---|-----|-------------|--|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|-------------|--|--|--|----------|-------------------------------|-----|---|----------|-----------------------|-----|---|
| 【教育方法】 | テキストの機能を例題でパソコン演習を通じて学習する。演習課題を作成し提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 土岐順子著「MOS攻略問題集 Excel 365&2019」日経BP社発行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解度小テスト</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>課題作成</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>実技テストを兼ねた総合課題演習</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>理解度小テスト、提出課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。</p> | 評価項目と割合 | 評価方法 | 理解度小テスト | 30% | 課題作成 | 40% | 実技テストを兼ねた総合課題演習 | 30% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理解度小テスト | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題作成 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実技テストを兼ねた総合課題演習 | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1(5回)欠席した場合は、単位が認められない。毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス。 Excelの基本操作の確認</td> <td>授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS(Excel)検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>初回なのでない。</td> <td>0</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>第1回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。</td> <td>150</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>Excelの基本操作確認など</td> <td>さまざまな数式、関数の基本操作。MOSの関数の演習課題の作成。 第2回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>第2回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>ワークシートの管理など</td> <td>ワークシートとブックに関する演習課題の作成。 第3回課題1のエクセルのブックの作成の演習を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>第3回課題2でブックの作成などの演習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>セルとデータ管理など</td> <td>セルやセル範囲へのデータ挿入、書式設定の演習課題の作成。 第4回課題1の書式設定などの演習を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>第4回課題2で書式設定などの演習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>セルの条件付き書式など</td> <td>セルの条件付き書式の設定の演習を行う。条件を満たすセルの色を変える、アイコンを表示するなどの演習を行う。 第5回課題1の条件付き書式の設定の演習を行う。 理解度小テストを行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td> <td>150</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>第5回課題2で条件付き書式の設定演習を行う。</td> <td>150</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>数式や関数を使った集計</td> <td>データ集計を行う関数、小計の演習課題の作成演習を行う。 第6回課題1の関数の設定などの演習課題を作成する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>第6回課題2で関数の設定などの演習を行う。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス。 Excelの基本操作の確認 | 授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS(Excel)検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。 | | | 予習内容(時間) | 初回なのでない。 | 0 | 分 | 復習内容(時間) | 第1回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。 | 150 | 分 | No2 | Excelの基本操作確認など | さまざまな数式、関数の基本操作。MOSの関数の演習課題の作成。 第2回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。 | | | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 第2回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。 | 120 | 分 | No3 | ワークシートの管理など | ワークシートとブックに関する演習課題の作成。 第3回課題1のエクセルのブックの作成の演習を行う。 | | | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 第3回課題2でブックの作成などの演習を行う。 | 120 | 分 | No4 | セルとデータ管理など | セルやセル範囲へのデータ挿入、書式設定の演習課題の作成。 第4回課題1の書式設定などの演習を行う。 | | | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 第4回課題2で書式設定などの演習を行う。 | 120 | 分 | No5 | セルの条件付き書式など | セルの条件付き書式の設定の演習を行う。条件を満たすセルの色を変える、アイコンを表示するなどの演習を行う。 第5回課題1の条件付き書式の設定の演習を行う。 理解度小テストを行う。 | | | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 | 復習内容(時間) | 第5回課題2で条件付き書式の設定演習を行う。 | 150 | 分 | No6 | 数式や関数を使った集計 | データ集計を行う関数、小計の演習課題の作成演習を行う。 第6回課題1の関数の設定などの演習課題を作成する。 | | | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 第6回課題2で関数の設定などの演習を行う。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス。 Excelの基本操作の確認 | 授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS(Excel)検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 初回なのでない。 | 0 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第1回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。 | 150 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Excelの基本操作確認など | さまざまな数式、関数の基本操作。MOSの関数の演習課題の作成。 第2回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第2回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | ワークシートの管理など | ワークシートとブックに関する演習課題の作成。 第3回課題1のエクセルのブックの作成の演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第3回課題2でブックの作成などの演習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | セルとデータ管理など | セルやセル範囲へのデータ挿入、書式設定の演習課題の作成。 第4回課題1の書式設定などの演習を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第4回課題2で書式設定などの演習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | セルの条件付き書式など | セルの条件付き書式の設定の演習を行う。条件を満たすセルの色を変える、アイコンを表示するなどの演習を行う。 第5回課題1の条件付き書式の設定の演習を行う。 理解度小テストを行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第5回課題2で条件付き書式の設定演習を行う。 | 150 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 数式や関数を使った集計 | データ集計を行う関数、小計の演習課題の作成演習を行う。 第6回課題1の関数の設定などの演習課題を作成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 第6回課題2で関数の設定などの演習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--------------------------|---|-----|---|
| No7 | 条件付関数、文字列関数 | 条件付きの計算の関数、文字列の変更の関数の作成演習を行う。 第7回課題1の関数の設定演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第7回課題2の関数の設定演習を行う。 | 120 | 分 |
| No8 | テーブルを使用した演習 | テーブルの作成、フィルターによる抽出の演習を行う。 第8回課題1の総合演習を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第8回総合演習課題2の総合演習課題を作成する。 | 150 | 分 |
| No9 | フィルターの設定 | フィルターによる抽出指定、条件検索の演習課題 第9回課題1のフィルターの設定演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第9回課題2のフィルターの設定演習を行う。 | 120 | 分 |
| No10 | データベース、並べ替え | データベース機能、並べ替えの演習課題を作成する。 第10回課題1のデータベース作成演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第10回課題2のデータベースの作成演習を行う。 | 120 | 分 |
| No11 | グラフの作成と種類 | グラフの作成の基本、用途別のグラフの作成演習を行う。 第11回課題1のグラフの作成演習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第11回課題2のグラフ作成演習を行う。 | 120 | 分 |
| No12 | グラフの書式設定 | グラフの書式設定の演習課題を作成する。 第12回課題1のグラフ作成演習を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第12回課題2のグラフの書式設定演習を行う。 | 150 | 分 |
| No13 | 図形、Smartartなど 授業の振り返り | 図形、Smartart を活用したビジュアル資料の演習課題の作成演習を行う。 第13回課題1のExcelの総合演習課題を作成する。 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を作成する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 第13総合演習2のExcelの総合演習課題を作成する。 | 120 | 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 総合演習 | 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。 第14週総合演習1の作成を行う。 理解度小テストを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。 | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 最終回なので対象外 | 0 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 流通論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Channel Management I |
| 担当教員 | 深澤 琢也 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 現代の小売・流通企業は、国際的運輸・交通手段の発展、情報通信技術の飛躍的発展、消費者ライフスタイルの多様化といった時代的な環境変化、そして市場変化の加速化、競争の多次元化(コスト、品質、スピード)といった競争環境の変化への戦略的対応が要請されている。本講義では、流通に関する基礎的な知識の習得を目指すとともに、上記環境下における小売・流通企業の戦略について最新のケースを用いながら理論的に検討する。 |
| | 社会における流通と商業に関する基本用語を正しく理解し、説明できること。 |

| 【到達目標】 | 日本において発展してきたさまざまな小売業態が起こしたイノベーションについて説明できること。 流通理論に関して正しく理解し説明できること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-------------------------|-----|---|-----|---------|------|-------------------------|-----|----------------------------|-------------------------|----------------------|---------------|----------|---------------|-----|------|---------------|----------|---------------|----------|---------------|-----|--------------|----------------|----------|---------------|----------|---------------|-----|--------------|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|-----|--------------|--------------------|----------|---------------|----------|---------------|-----|----------|---------|----------|---------------|----------|---------------|-----|----------|----------|----------|---------------|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 小売・流通企業に興味・関心を持っていること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義形式で教授する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <参考書> 石原武政・竹村正明編『1からの流通論』碩学舎、2008年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 600 1546 902"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 600 1082 656">評価項目と割合</th> <th data-bbox="1082 600 1546 656">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 656 970 712">流通と商業に関する基本用語を正しく説明できる。</td> <td data-bbox="970 656 1546 712">25%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 712 970 768">小売業態が起こしたイノベーションについて説明できる。</td> <td data-bbox="970 712 1546 768">50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 768 970 824">流通理論に関して正しく理解し説明できる。</td> <td data-bbox="970 768 1546 824">25%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 824 970 880">合計</td> <td data-bbox="970 824 1546 880">100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 流通と商業に関する基本用語を正しく説明できる。 | 25% | 小売業態が起こしたイノベーションについて説明できる。 | 50% | 流通理論に関して正しく理解し説明できる。 | 25% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流通と商業に関する基本用語を正しく説明できる。 | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小売業態が起こしたイノベーションについて説明できる。 | 50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流通理論に関して正しく理解し説明できる。 | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 992 1546 2136"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 992 339 1048">週</th> <th data-bbox="339 992 783 1048">テーマ</th> <th data-bbox="783 992 1546 1048">学習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1048 339 1216" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="339 1048 783 1104">イントロダクション</td> <td data-bbox="783 1048 1546 1104">流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1104 783 1160">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1104 1546 1160">講義資料の予習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1160 783 1216">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1160 1546 1216">講義内容の復習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1216 339 1384" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="339 1216 783 1272">流通とは</td> <td data-bbox="783 1216 1546 1272">現代社会における流通の様相</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1272 783 1328">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1272 1546 1328">講義資料の予習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1328 783 1384">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1328 1546 1384">講義内容の復習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1384 339 1552" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="339 1384 783 1440">各種小売業態の特徴(1)</td> <td data-bbox="783 1384 1546 1440">食品スーパーとCVSについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1440 783 1496">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1440 1546 1496">講義資料の予習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1496 783 1552">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1496 1546 1552">講義内容の復習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1552 339 1720" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="339 1552 783 1608">各種小売業態の特徴(2)</td> <td data-bbox="783 1552 1546 1608">ディスカウント・ストアとSPAについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1608 783 1664">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1608 1546 1664">講義資料の予習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1664 783 1720">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1664 1546 1720">講義内容の復習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1720 339 1888" rowspan="3">No5</td> <td data-bbox="339 1720 783 1776">各種小売業態の特徴(3)</td> <td data-bbox="783 1720 1546 1776">商店街とショッピングセンターについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1776 783 1832">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1776 1546 1832">講義資料の予習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1832 783 1888">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1832 1546 1888">講義内容の復習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1888 339 2056" rowspan="3">No6</td> <td data-bbox="339 1888 783 1944">変化する流通構造</td> <td data-bbox="783 1888 1546 1944">流通構造の分析</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 1944 783 2000">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 1944 1546 2000">講義資料の予習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 2000 783 2056">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 2000 1546 2056">講義内容の復習 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 2056 339 2136" rowspan="2">No7</td> <td data-bbox="339 2056 783 2112">小売業態とは何か</td> <td data-bbox="783 2056 1546 2112">業態理論について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="339 2112 783 2136">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="783 2112 1546 2136">講義資料の予習 120 分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | No1 | イントロダクション | 流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明 | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | No2 | 流通とは | 現代社会における流通の様相 | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | No3 | 各種小売業態の特徴(1) | 食品スーパーとCVSについて | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | No4 | 各種小売業態の特徴(2) | ディスカウント・ストアとSPAについて | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | No5 | 各種小売業態の特徴(3) | 商店街とショッピングセンターについて | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | No6 | 変化する流通構造 | 流通構造の分析 | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | No7 | 小売業態とは何か | 業態理論について | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | イントロダクション | 流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 流通とは | 現代社会における流通の様相 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 各種小売業態の特徴(1) | 食品スーパーとCVSについて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 各種小売業態の特徴(2) | ディスカウント・ストアとSPAについて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 各種小売業態の特徴(3) | 商店街とショッピングセンターについて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 変化する流通構造 | 流通構造の分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No7 | 小売業態とは何か | 業態理論について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|----------|------|---------------|---------------------------|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No8 | 日本型取引慣行 | 日本型取引の特徴(流通系列化, 建値, リベート) | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No9 | ロジスティクス | 現代流通を支える3PL | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No10 | 売買集中の原理と品揃え形成 | 商業の存在意義について | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No11 | 商業の外部性と商業集積 | 商業集積における競争と協調メカニズム | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No12 | 投機的流通から延期的流通へ | 延期投機理論について | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No13 | 生産と流通の分業関係の変化 | 流通系列化から製販連携へ | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No14 | 総括 | 春学期の学習ポイントについての理解を深める | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | 講義内容の復習 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 商品論 BE-A |
| 講義名(英字) | Product Management |
| 担当教員 | 田口 冬樹 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>市場には多くの新しい商品が提供されているが、ヒット商品として支持され、ロングセラーにまで発展できる商品は限られている。この講義では、新製品の開発と提供のプロセスを中心に理解を深めることをねらいとしている。さらに最近の商品動向として所有から利用へ、モノからコトへ、ダウンロードからストリーミングやサブスクリプションといったサービス化のトレンドについてもその変化の意味を考察し、またSDGsを含め商品の安全性確保・環境保護・資源保全の視点からも広く検討を加え、現代に求められる商品論を提案したい。</p> |
| 【到達目標】 | <p>商品とサービスの役割を正しく理解し、説明できるようにする</p> <p>新製品開発と製品ライフサイクルの両プロセスを関連づけて説明できること</p> <p>現代の商品に求められる社会的条件として、SDGsを含め安全性・環境・資源について課題を考察し、理解を深める</p> |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>マーケティング関連科目を履修していることが望ましい。</p> |

| 【教育方法】 | テキストをベースに講義を進める。わかりやすい授業を目指すために、ビジネスにとって重要と思われる商品・サービスの事例や企業の取り組みを積極的に活用した授業展開とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|-----|-----|-----|---------|-----|------|------|-----|---|-----------------|---|--------|-----|----------|-----------------|-----|---|----------|----------------------------------|-----|---|-----|--------|--|--|--|----------|-----------------|-----|---|----------|--------------------------|-----|---|-----|---------|--|--|--|----------|-----------------|-----|---|----------|-------------------------------------|-----|---|-----|-----------|---|--|--|----------|-----------------|-----|---|----------|-------------------------------------|-----|---|
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書：田口冬樹著『マーケティング・マインドとイノベーション』白桃書房 参考書：田口冬樹著『流通イノベーションへの挑戦』白桃書房 他に授業開始時ならびに必要なに応じて紹介、とくに「リテールマーケティング(販売士)」受験の準備・参考資料なども授業時に紹介。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 504 1527 808"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>60%</td> <td rowspan="4">定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。</td> </tr> <tr> <td>授業時の小テストや中間レポート</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>授業への貢献</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 定期試験 | 60% | 定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。 | 授業時の小テストや中間レポート | 30% | 授業への貢献 | 10% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定期試験 | 60% | 定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業時の小テストや中間レポート | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業への貢献 | 10% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 関連する分野について、テキストをよく読んで自分事として関心を高めておくこと。 身近な問題を取り上げるとはいつでも、自分で課題を発見し、よく調べて授業に出席すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 952 1527 2123"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td>講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか・商品論と関連科目について・日常生活やビジネスと商品との関係について・商品論学習の3つの視点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの該当箇所を熟読する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>商品とは何か</td> <td>商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは・商品化の仕組み・ニーズ&ウォンツの関係・なぜSDGs&ESGが強調されるのか</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの該当箇所を熟読する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>商品と顧客満足</td> <td>顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性・WOW(ワオ)ファクターとは</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの該当箇所を熟読する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>消費財とビジネス財</td> <td>同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い・消費財の分類とビジネス財の分類・ミシュランガイドとコストコの事例から学べること・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>テキストの該当箇所を熟読する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス | 講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか・商品論と関連科目について・日常生活やビジネスと商品との関係について・商品論学習の3つの視点 | | | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。 | 120 | 分 | No2 | 商品とは何か | 商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは・商品化の仕組み・ニーズ&ウォンツの関係・なぜSDGs&ESGが強調されるのか | | | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。 | 120 | 分 | No3 | 商品と顧客満足 | 顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性・WOW(ワオ)ファクターとは | | | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。 | 120 | 分 | No4 | 消費財とビジネス財 | 同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い・消費財の分類とビジネス財の分類・ミシュランガイドとコストコの事例から学べること・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは | | | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか・商品論と関連科目について・日常生活やビジネスと商品との関係について・商品論学習の3つの視点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 商品とは何か | 商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは・商品化の仕組み・ニーズ&ウォンツの関係・なぜSDGs&ESGが強調されるのか | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 商品と顧客満足 | 顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性・WOW(ワオ)ファクターとは | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 消費財とビジネス財 | 同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い・消費財の分類とビジネス財の分類・ミシュランガイドとコストコの事例から学べること・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------|--|-----|---|
| No5 | サービスと商品 | われわれの生活の中でサービスに依存する割合が増えている動向を踏まえて、商品とサービスの関係の変化や新しい商品提供の方法を検討する。 ・消費のトレンドとサービスの位置・モノからコトへ、所有から利用への変化・サービス・ドミナント・ロジック・伝統的な定期定額購入とサブスクリプションとの違い | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱ったサービス・ドミナント・ロジックのポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No6 | 新製品と開発主体 | 企業成長には新製品の存在が不可欠である。しかも人口減少と超高齢社会における日本の課題の一つは国内外で必要とされる新製品を創出することで活力を生み出すことが求められている。企業はどのようにして新製品を開発し提供できるかを皆さんとともに考察してみたい。 ・新製品のとらえ方とイノベーションの重要性・NBvsPBとは何か・ユーザー・イノベーションについて・アップルの製品は誰が作っているのか(ブランドとOEM・EMSの関係) | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った新製品のとらえ方のポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No7 | 新製品開発の戦略 | 新製品のアイデアの創出から市場導入までの過程を考察することで、どのようなイノベーション、投資活動、マーケティング、それにリスクマネジメントが求められるのかを検討する。 ・新製品開発のプロセス・提案制度からプレゼン会議までの活用事例・品質が良ければ売れるのか・失敗から生まれた新製品。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った新製品開発のプロセスについてポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No8 | 製品ライフサイクル | 新製品が市場に導入されてから成長・成熟を経て衰退するまでの全体のプロセスをとらえる。その中でも、導入期の段階で多くの新製品は普及せずに撤退を余儀なくされる事例が後を絶たない。なぜ新製品は普及しないのかをキャズムという概念を利用して、普及の障害を検討してみたい。 ・新製品の普及とキャズムの存在・コモディティ化の克服方法・PPMとの関連付け・製品ライフサイクル活用のメリットと課題 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱ったキャズムとイノベーションの普及理論のポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No9 | 市場変化のとらえ方 | 新製品が成功し成長期を実現できたとしても、その後の成長が自動的に保証されるわけではない。市場は顧客ニーズの変化、技術進歩それに新たな競争者などの出現で常に変動しており、商品のアップデートが求められる。どのような時に顧客ターゲットの見直しや競争への対抗が必要となるのかを検討する。 ・市場変化と商品の対応・顧客は誰か(代理購買の意味や購買キーパーソンの変化)・市場細分化と製品差別化の関連性・パーソナライゼーションとアマゾン成長との関係 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った市場細分化と製品差別化の関連性についてポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No10 | 商品と価格戦略 | 顧客は商品を購入する際に、商品への関与の程度、高価であれば所得や資産の程度と密接に結び付けながら価格評価を行う。価格はその商品の価値を表現する働きを持ち、品質のイメージにも影響する。企業にとって価格は費用回収だけでなく、ライバルとの比較で自社の商品が顧客に選ばれる価格設定を探り出す必要がある。 ・新製品の価格決定・フリー/フリーミアムのねらい・キャプティブ価格戦略とは・EDLPとハイロープライシングとの比較・ウォルマートの成長要因 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った商品と価格戦略の対応についてポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No11 | ブランドと商品 | ブランドに対する多くの人々の常識を検討し、ブランドの本質的な働きや人々のブランドに期待する要因を明らかにする。そのことを踏まえてビジネスとブランドの結びつきの重要性を考えてみる。 ・ブランドの役割・人はなぜブランドにこだわるのか・どうすればブランドになるのか・消費者と企業にとってのブランド化の効果・ブランド・エクイティとは何か | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容 | 授業で扱った、消費者にとってブランドとして成立する条件のポイントを整理する。 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|---------------|--|-----|---|
| | 容(時間) | | | |
| No12 | ブランド戦略 | ブランド戦略のデザインには市場環境と企業のねらいによって様々なアプローチが可能である。ここではブランド戦略のタイプを製品や企業レベルでとらえるだけでなく、他社や地域との連携を含めた事例を通して考察する。 ・ブランド戦略とそのタイプ・社名を外したブランドはなぜ利用されるのか・ブランドの先発優位性と後発優位性・成分ブランドの効果 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱ったブランド戦略のタイプについて具体例を調べポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No13 | 商品デザインとブランド創造 | これまでの講義を通して、履修学生の独自の立場から、SDGsといった社会的課題に対する解決を目指した商品デザインやブランド創造への提案を行ってもらう。 ・SDGsを改めて商品論から再検討・新製品と既存製品の評価・ブランドベースの輸出戦略とインバウンド支援商品・地域ブランドのプロデュース | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で扱った自分の提案をプレゼン資料にまとめポイントを整理する。 | 120 | 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 | 今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する。 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストやノートの該当箇所を熟読する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業全体を通して扱ったポイントを整理する。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 経済法 BE-A |
| 講義名(英字) | Economic Law |
| 担当教員 | 隅田 浩司 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この講義は、市場経済を支える経済法(競争法)の法理論と政策を取り扱います。授業では、談合やカルテルを規制する不当な取引制限、独占規制、そして合併や買収が競争に与える影響を分析する企業結合規制、そして不公正な取引方法を取り上げます。この講義を受講することによって、経営に必要な法的知識や法的思考力を習得することができます。またこの講義では、さまざまな業界を取り扱いますので、業界研究に役立つだけでなく、企業の経営戦略やマーケティング戦略についても理解を深めることができます。 |
| 【到達目標】 | 1 経済法の全体的な構造を把握し、独占禁止法を中心とする法体系について理解することができる 2 独占禁止法に関係する重要事件について、その概要、及び判決などの射程範囲について理解し、応用的な事例に対して独占禁止法がどのように適用されるか、その解釈論を理解することができる 3 競争政策に関する最近の論点を理解することができる |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 特に制限なし、全学生に推奨する、特に経済学、経営戦略そしてマーケティングに興味がある受講生取手は、経済現象を法的に捉えるという新しい視点を得ることができるだろう。 |
| 【教育方法】 | 講義形式、ただし、講義中に行うQ&Aスタイルのオンライン投票システム(クリッカー)を使用する。また、対面形式の講義開催の場合は、受講生同士のディスカッションを行う場合がある。 |
| 【指定教科書・ | (教科書)購入すること 岸井 大太郎(著)、大槻 文俊(著)、中川 晶比兒(著)、川島 富士雄(著)、稗貫 俊文(著)『経済法[第9版補訂]: 独占禁止法と競争政策(有斐閣ア |

| 参考資料等】 | ルマ』有斐閣(2022)ISBN-13:978-4641221840 (参考書) 経済法の対象範囲は極めて幅広いため、参考文献も多岐にわたる、そこで、講義中に適宜指摘する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|-----|-----|-----|---------|-----|------|----------------------|-----|--|--|---|---|-----|----------|-----------|----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|-------------|---|--|--|----------|------------|----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|-----------|---|--|--|----------|----------------|----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|-------|---|--|--|----------|--------------|----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|-----------|--|--|--|----------|------------------------|----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|----------------------|--|--|--|----------|--------------|----|---|----------|-------------------------|-----|---|--|---------|--|--|--|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 331 1543 725"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済法の論点を正確に理解しているかどうか</td> <td>60%</td> <td rowspan="4">学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。</td> </tr> <tr> <td>経済法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて理解しているかどうか</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>最近の経済問題について、競争政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 経済法の論点を正確に理解しているかどうか | 60% | 学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。 | 経済法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて理解しているかどうか | 20% | 最近の経済問題について、競争政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか | 20% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済法の論点を正確に理解しているかどうか | 60% | 学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて理解しているかどうか | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最近の経済問題について、競争政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 予習については、教科書の該当する章、節を示す(場合によってはページ数を示すこともある)ので、講義前に読了し、何が論点となっているのかおよび、教科書に記載されている関係条文を調べて上で受講すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 837 1543 2139"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>独占禁止法の目的、基礎概念</td> <td>独占禁止法、競争法の目的について説明し、その歴史的経緯について解説する。基礎概念である事業者の概念について具体的事例を上げて説明する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書1から24頁</td> <td>70</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td> <td>180</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>独占禁止法の理論的背景</td> <td>独占禁止法の理論的な背景となる産業組織論の基本概念を解説するとともに、公正取引委員会の意義と機能について説明する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書25から80頁</td> <td>70</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td> <td>180</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>不当な取引制限総論</td> <td>不当な取引制限におけるカルテル・談合規制について概観し、不当な取引制限における意思の連絡について説明する。なお、東芝ケミカル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書103頁から106頁。</td> <td>70</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td> <td>180</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>意思の連絡</td> <td>不当な取引制限の要件である意思の連絡について、入札談合における基本合意、個別調整の問題について説明するとともに重要判例を説明する。なお、元詰種子カルテル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書106から110頁</td> <td>70</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td> <td>180</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>反競争的効果の測定</td> <td>不当な取引制限における一定の取引分野の考え方、競争の実施的制限及び公共の利益について判例及び公正取引委員会の心血など事例を中心に解説する。また第5回以降の予習に際しては、教科書に記載されている判例については、原則として公正取引委員会のホームページを検索し、事前に関覧しておくこと。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書111から118頁、124から131頁</td> <td>70</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td> <td>180</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>カルテル・談合に対するエンフォースメント</td> <td>カルテル・談合に対する独占禁止法のエンフォースメントについて、公正取引委員会による行政処分、刑事手続そして民事訴訟について解説する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書132から148頁</td> <td>70</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td> <td>180</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>企業結合規制の</td> <td>企業結合規制の規制手法について解説し、過去の重要事例について説明する。受講に際して予習では、企業結合</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | 独占禁止法の目的、基礎概念 | 独占禁止法、競争法の目的について説明し、その歴史的経緯について解説する。基礎概念である事業者の概念について具体的事例を上げて説明する。 | | | 予習内容(時間) | 教科書1から24頁 | 70 | 分 | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | No2 | 独占禁止法の理論的背景 | 独占禁止法の理論的な背景となる産業組織論の基本概念を解説するとともに、公正取引委員会の意義と機能について説明する。 | | | 予習内容(時間) | 教科書25から80頁 | 70 | 分 | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | No3 | 不当な取引制限総論 | 不当な取引制限におけるカルテル・談合規制について概観し、不当な取引制限における意思の連絡について説明する。なお、東芝ケミカル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。 | | | 予習内容(時間) | 教科書103頁から106頁。 | 70 | 分 | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | No4 | 意思の連絡 | 不当な取引制限の要件である意思の連絡について、入札談合における基本合意、個別調整の問題について説明するとともに重要判例を説明する。なお、元詰種子カルテル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。 | | | 予習内容(時間) | 教科書106から110頁 | 70 | 分 | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | No5 | 反競争的効果の測定 | 不当な取引制限における一定の取引分野の考え方、競争の実施的制限及び公共の利益について判例及び公正取引委員会の心血など事例を中心に解説する。また第5回以降の予習に際しては、教科書に記載されている判例については、原則として公正取引委員会のホームページを検索し、事前に関覧しておくこと。 | | | 予習内容(時間) | 教科書111から118頁、124から131頁 | 70 | 分 | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | No6 | カルテル・談合に対するエンフォースメント | カルテル・談合に対する独占禁止法のエンフォースメントについて、公正取引委員会による行政処分、刑事手続そして民事訴訟について解説する。 | | | 予習内容(時間) | 教科書132から148頁 | 70 | 分 | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | 企業結合規制の | 企業結合規制の規制手法について解説し、過去の重要事例について説明する。受講に際して予習では、企業結合 | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 独占禁止法の目的、基礎概念 | 独占禁止法、競争法の目的について説明し、その歴史的経緯について解説する。基礎概念である事業者の概念について具体的事例を上げて説明する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書1から24頁 | 70 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 独占禁止法の理論的背景 | 独占禁止法の理論的な背景となる産業組織論の基本概念を解説するとともに、公正取引委員会の意義と機能について説明する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書25から80頁 | 70 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 不当な取引制限総論 | 不当な取引制限におけるカルテル・談合規制について概観し、不当な取引制限における意思の連絡について説明する。なお、東芝ケミカル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書103頁から106頁。 | 70 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 意思の連絡 | 不当な取引制限の要件である意思の連絡について、入札談合における基本合意、個別調整の問題について説明するとともに重要判例を説明する。なお、元詰種子カルテル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書106から110頁 | 70 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 反競争的効果の測定 | 不当な取引制限における一定の取引分野の考え方、競争の実施的制限及び公共の利益について判例及び公正取引委員会の心血など事例を中心に解説する。また第5回以降の予習に際しては、教科書に記載されている判例については、原則として公正取引委員会のホームページを検索し、事前に関覧しておくこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書111から118頁、124から131頁 | 70 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | カルテル・談合に対するエンフォースメント | カルテル・談合に対する独占禁止法のエンフォースメントについて、公正取引委員会による行政処分、刑事手続そして民事訴訟について解説する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書132から148頁 | 70 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 企業結合規制の | 企業結合規制の規制手法について解説し、過去の重要事例について説明する。受講に際して予習では、企業結合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------------------------|--|-----|---|
| No7 | 概要と水平合併規制 | 審査に関する独占禁止法の運用指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして読んでおくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書149から164頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No8 | 垂直・混合合併規制、企業結合規制の最新の動向 | 垂直・混合合併規制、企業結合規制の最新の動向について、最新の企業結合事例などを取り上げて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書165から202頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No9 | 私的独占規制 | 私的独占規制について説明し、排除型私的独占について解説する。受講に際して予習では、排除型私的独占に係る独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして読んでおくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書81から82頁、86から88頁、96から102頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No10 | 支配型私的独占、排除と支配型の混合事例及びGAFAへの対応 | 支配型私的独占について説明する。また、講義では、独占規制の新しい動向として、GAFA(Google Apple Facebook(Meta),Amazon)など巨大プラットフォームへの対応についても説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書85,88-95頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No11 | 不公正な取引方法総論 | 不当な取引制限について説明する。また不当な差別的取扱いについて具体的事例を上げて説明する。なお予習に際しては、流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書206から220頁,254から265頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No12 | 再販売価格維持行為など | 再販売価格維持行為、不当な拘束条件付取引などについて解説する。なお予習に際しては、流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書221から253頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No13 | 優越的地位の濫用規制 | 優越的地位の濫用、不当廉売、不当な取引妨害などについて解説する。なお予習に際しては、流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針、優越的地位の濫用に関する独占禁止法上の考え方、役務の委託取引における優越的地位の濫用に関する独占禁止法上の指針(すべて公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書266から310頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |
| No14 | 知的財産権と独占禁止法 | 知的財産権と独占禁止法との関係について解説する。なお予習に際しては、知的財産の利用に関する独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書311から366頁 | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査 | 180 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 労働法 BE-A |
| 講義名(英字) | Labor Law |
| 担当教員 | 黒岩 容子 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この講義では、労働法の基本的枠組みや考え方、基礎知識を学びます。現代社会では、人々の多くが雇用されて働き賃金を得て生活し、また、企業は人を雇うことによって営業活動を行っています。人を雇うとき、雇われるときの基本的なワーキングルールやその考え方を知っておくことは、自らが尊厳をもって生きていくためにも、公正な社会を築くうえでも必要不可欠なことです。この授業で、生きた労働法の知識を身につけてください。 |
| 【到達目標】 | 労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。 労働法の基礎的知識を習得する。 事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。 |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | とくに条件はありませんが、「法学Ⅰ」「法学Ⅱ」等の法律科目を履修済み、ないし同時に履修していることが望ましい。 |

| | | | | | |
|------------------------------|--|------------------------|--|-----|-----|
| 【教育方法】 | 講義形式です。また、ほぼ毎回復習として小レポート課題を出します。 | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用しません。授業メモおよび資料を配付します。また、授業のなかで参考文献を紹介します。 | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | |
| | 労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。 | 30% | 小レポートと期末レポート(試験に変更する場合があります)を総合評価する。 | | |
| | 労働法の基礎的知識を習得する。 | 50% | | | |
| | 事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。 | 20% | | | |
| | 合計 | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | 進行状況および受講生の問題関心等によって、スケジュールを変更することがあります。また、授業中は私語厳禁です。 | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | イントロダクション 労働法の歴史と機能 | 労働法の特徴、役割。 労働法の学び方。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| | No2 | 労働契約の締結 | 就職/採用に関する法的ルール。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| | No3 | 労働契約の締結 | 就職/採用に関する法的ルール その2。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 関連参考資料を読む。 | 120 | 分 |
| | No4 | 賃金 | 賃金に関する法的ルール。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| | No5 | 労働時間 | 労働時間に関する法的ルール。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| | No6 | 労働時間 休日・休暇 | 労働時間に関する法的ルール その2。 休日・休暇に関する法的ルール。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| | No7 | 人事異動 | 配転、出向、転籍に関する法的ルール。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| | | 労働者の人格の尊重、平等 | 男女平等に関する法的ルール。 ワーク・ライフ・バランスのための法制度。 | | |

| | | | | |
|------|---------------|---|-----|---|
| No8 | 予習内容(時間) | 事前資料を読む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| No9 | 労働者の人格の尊重、平等 | 障害者の権利、外国人労働者の権利。 様々なハラスメントに対する法的規制。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| No10 | 復習内容(時間) | 小レポート | | 分 |
| | 退職、解雇 | 退職、解雇に関する法的ルール | | |
| No11 | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 小レポート | 120 | 分 |
| No12 | 非正規労働者の権利 | 非正規労働者の権利に関する法的ルール | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| No13 | 復習内容(時間) | 小レポート | | 分 |
| | 労働組合 | 労働組合の役割、活動。労働組合に関する法的ルール。 | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 関連資料を読む。 | 120 | 分 |
| No14 | 働く人々をサポートする制度 | 労災保険、雇用保険、公的医療制度、法的年金制度に関する基礎知識。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布資料を読む。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 消費者行動論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Consumer Behavior I |
| 担当教員 | 花尾 由香里 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この授業では、消費者行動の基本的な考え方について学んだあと、購買行動に影響を及ぼす心理的要因について解説を行う。具体的には、商品を購入する際の意思決定プロセスや欲求との関わり、商品への関与度や態度形成が購買行動に与える影響などについて説明をする |
| 【到達目標】 | 消費者の購買行動に影響を与える要因について理論的に理解し考察できるようになること 消費者行動と企業のマーケティング戦略との関わりについて、理解できるようになること |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--------------|--|---|-----|------|-------------------------------------|---|--|
| | 消費者行動の考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | マーケティングⅠ、マーケティングⅡを履修していることが望ましい | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 対面講義 授業内容に応じて、リアクションペーパーの提出を求められることがある | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用しない。必要に応じて、資料を配布する | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | | | 評価方法 | | | |
| | 購買行動に影響を与える要因を、理論的に理解し考察できる | | | | | 40% | 学期末試験を行う 選択式マークシートによる回答 持込は不可 | | |
| | 消費者行動と企業のマーケティングの関わりを理解できる | | | | | 30% | | | |
| | 消費者行動の考え方と専門用語を正しく理解し、説明できる | | | | | 30% | | | |
| | 合計 | | | | | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | 私語や遅刻については厳重に注意する | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | |
| | No1 | イントロダクション | 消費者行動では、どのようなことを勉強するのか、なぜ消費者行動が近年重要視されているのかを解説する | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスをよく読み、内容を理解する | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | | | | 120 | 分 | |
| | No2 | 問題解決としての購買行動 | 購買行動とは具体的にどのようなものかを解説し、商品を欲しくなる時の心理について学ぶ | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | | | | 120 | 分 | |
| | No3 | 購買意思決定プロセス | 消費者の購買意思決定プロセスについて解説を行う | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | | | | 120 | 分 | |
| | No4 | 消費者の欲求と動機づけ | 欲求とはどのような心理であるかを学び、購買行動に与える影響について解説する | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | | | | 120 | 分 | |
| | No5 | 知覚のプロセスと特徴 | 知覚とは何かを説明し、消費者の購買に与える影響について学ぶ | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | | | | 120 | 分 | |
| | No6 | 記憶の種類と役割 | 消費者の記憶の種類や特徴について学び、購買行動に与える影響を解説する | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | | | | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | | | | 120 | 分 | |
| | No7 | 知識の種類と役割 | 消費者の知識の種類や構造について学び、商品知識が購買行動に与える影響について解説する | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | | | | 120 | 分 | |

| | | | | | |
|--------|----------|-----------------------|--|-----|---|
| 【授業計画】 | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | 知識の高低による違い | 商品知識の高低による消費者の反応の違いや購買行動への影響について解説する | | |
| | No8 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | 製品関与と購買への影響 | 製品関与とは何かを説明し、関与が購買行動に与える影響について学ぶ | | |
| | No9 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | 購買関与と広告関与 | 購買関与や広告関与について学び、購買行動に与える影響について解説する | | |
| | No10 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | 消費者の態度形成 | 消費者の態度とは何かを解説し、購買行動に与える影響について学ぶ | | |
| | No11 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | 態度変容と説得 | 消費者の態度変容について解説し、企業が消費者を説得する際のアプローチ方法などについて言及する | | |
| | No12 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | 価格の心理 | 消費者が価格を判断する際の心理について解説する | | |
| | No13 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 |
| | | まとめと復習 | これまでの講義の総括を行い、理解度をより高める | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解度を高める | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | ビジネス英語 I BE-A |
| 講義名(英字) | Business English Basics I |
| 担当教員 | 北田 敬子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>ビジネスシーンで実際に使える英語を身に付けることを目的とするクラスです。これまでアルバイトの経験はあっても、実際に社会に出て企業や組織の一員として働くこと、また取引先の人々と当たれるよう、下ごしらえをしておきましょう。これまでに培ってきた英語の基礎知識を、ビジネスの場で活用するためにどのようなことが必要か、毎週の授業の中で具体的に確認していきます。学生の皆さんにとっては「まだずっと先のこと」と感じられるでしょうが、日頃からビジネスに関する英語に触れておくことは、将来の学自習のためにも大切です。想像力を働かせ、未来の自分のために今、ビジネス英語に着手しましょう</p> |
| | <p>挨拶や自己紹介、簡単な製品説明、事業内容説明、それぞれの場面での質疑応答などを口頭で行えるようになることを目標とする</p> |

| 【到達目標】 | <p>テキストで基本的なビジネス関連語彙を学び、文書読解、メール対応、電話メモ、会議の準備など、会議での発言方法など、仕事現場で必要とされるスキルを身に付けることを目標とする。</p> <p>ビジネスプレゼンテーションの基礎を学び、シミュレーションを行うことを目標とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----|------|--------------|-----|--|---|---|---------------|-----|----------|------------|-----|---|----------|------------------|-----|---|-----|---------------------------|---|--|--|----------|---------------------|-----|---|----------|---------------------|-----|---|-----|---------------------------|---|--|--|----------|---------------------|-----|---|----------|---------------------|-----|---|-----|-------------------------------------|--|--|--|----------|---------------------|-----|---|----------|---------------------|-----|---|-----|-------------------------------------|------------------------|--|--|----------|---------------------|-----|---|----------|---------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 英語とビジネス全般に関心のある学生。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 読み、書き、聞き、話す、4技能を統合的に学べるようクラス内活動を行い、併せてオンラインによる課題の提出を通じて、ウェブ上でのやり取りもスムーズに行えるよう留意していく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書 Make It in Business (Mayumi Okamoto他著 センゲージラーニング株式会社) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">自制力</td> <td style="width:5%; text-align:center;">○</td> <td style="width:15%;">思考力</td> <td style="width:5%; text-align:center;">○</td> <td style="width:15%;">突破力</td> <td style="width:5%; text-align:center;">○</td> <td style="width:15%;">忍耐力</td> <td style="width:5%; text-align:center;">○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td>主張力</td> <td style="text-align:center;">○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">評価項目と割合</th> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:40%;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業内活動への積極的参加</td> <td style="text-align:center;">20%</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す</td> </tr> <tr> <td>毎週のオンライン課題提出</td> <td style="text-align:center;">20%</td> </tr> <tr> <td>小テストと学期末試験の成績</td> <td style="text-align:center;">60%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align:center;">100%</td> </tr> </tbody> </table> | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 授業内活動への積極的参加 | 20% | 授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す | 毎週のオンライン課題提出 | 20% | 小テストと学期末試験の成績 | 60% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業内活動への積極的参加 | 20% | 授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 毎週のオンライン課題提出 | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小テストと学期末試験の成績 | 60% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 100分間の授業の中に数分間の休憩・リフレッシュの機会を設けるので、遅刻・居眠りをしないこと！ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;">週</th> <th style="width:25%;">テーマ</th> <th style="width:30%;">学習内容</th> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>導入 使用教科書の概要説明 クラスルール共有 教員・学生相互紹介</td> <td>授業開始に先立って、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 学生のプロフィール作成 英語による自己紹介タイム 教科書使用方法設営</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>教科書を閲覧しておく</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>導入授業で出された課題に取り組む</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>Lesson 1: Job Hunting (1)</td> <td>就職活動のための英文履歴書作成、英語面接の基本を学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>オンラインの課題に取り組む、提出する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>前回課題の【解答・解説】で復習を行う。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>Lesson 1: Job Hunting (2)</td> <td>面接例をwebsiteで見て、シミュレーションを行う 実際に自分の履歴書を英語で書く</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>オンラインの課題に取り組む、提出する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>前回課題の【解答・解説】で復習を行う。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>Lesson 2: The First Day of Work (1)</td> <td>初出社の日の自己紹介、挨拶、部署確認などの場面を学ぶ 語彙確認 会話例、Expression Notes学習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>オンラインの課題に取り組む、提出する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>前回課題の【解答・解説】で復習を行う。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>Lesson 2: The First Day of Work (2)</td> <td>新しい同僚との会話、名刺交換、自分の名刺作成</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>オンラインの課題に取り組む、提出する。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>前回課題の【解答・解説】で復習を行う。</td> <td style="text-align:center;">120</td> <td style="text-align:center;">分</td> </tr> </tbody> </table> | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | 導入 使用教科書の概要説明 クラスルール共有 教員・学生相互紹介 | 授業開始に先立って、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 学生のプロフィール作成 英語による自己紹介タイム 教科書使用方法設営 | | | 予習内容(時間) | 教科書を閲覧しておく | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 導入授業で出された課題に取り組む | 120 | 分 | No2 | Lesson 1: Job Hunting (1) | 就職活動のための英文履歴書作成、英語面接の基本を学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | No3 | Lesson 1: Job Hunting (2) | 面接例をwebsiteで見て、シミュレーションを行う 実際に自分の履歴書を英語で書く | | | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | No4 | Lesson 2: The First Day of Work (1) | 初出社の日の自己紹介、挨拶、部署確認などの場面を学ぶ 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | No5 | Lesson 2: The First Day of Work (2) | 新しい同僚との会話、名刺交換、自分の名刺作成 | | | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 導入 使用教科書の概要説明 クラスルール共有 教員・学生相互紹介 | 授業開始に先立って、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 学生のプロフィール作成 英語による自己紹介タイム 教科書使用方法設営 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を閲覧しておく | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 導入授業で出された課題に取り組む | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Lesson 1: Job Hunting (1) | 就職活動のための英文履歴書作成、英語面接の基本を学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Lesson 1: Job Hunting (2) | 面接例をwebsiteで見て、シミュレーションを行う 実際に自分の履歴書を英語で書く | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Lesson 2: The First Day of Work (1) | 初出社の日の自己紹介、挨拶、部署確認などの場面を学ぶ 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Lesson 2: The First Day of Work (2) | 新しい同僚との会話、名刺交換、自分の名刺作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組む、提出する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--|---|-----|---|
| No6 | Lesson 3: Writing Email (1) | 業務上のメール送受信(1) 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No7 | Lesson 3: Writing Email (2) | 業務上のメール送受信(2) フォーマル、セミフォーマル、カジュアルなど、各レベルでのメールの書き方を知る | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No8 | Lesson 4: Greeting a Visitor (1) | 海外から出張で訪れた客をもてなし、会議に臨むという状況で必要な表現を学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No9 | Lesson 4: Greeting a Visitor (2) | 海外からの客とビジネスの枠にとどまらない文化交流が求められた場合、自分なら何を紹介し、提案できるかプランとシナリオを描いて(書いて)みる。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No10 | Lesson 5: Explaining a Corporate Profile (1) | 海外から訪れた取引先との会合。自社の説明、最新の製品などについて英語で語る。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No11 | Lesson 5: Explaining a Corporate Profile (2) | 「会社概要」を英語で書く 「社訓」や会議室に掲げられた額の文字(モットー)などについても英語での説明を求めたらどうするか。スモールトークの実践。 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No12 | Lesson 6: Deciding on a Date for a Meeting (1) | 社内会議の準備(スケジュール調整) 語彙確認 会話例、Expression Notes学習 | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No13 | Lesson 6: Deciding on a Date for a Meeting (2) | スケジュール調整の結果報告メールを書く 別の会議への出欠を知らせるメールを過不足なく書く | | |
| | 予習内容(時間) | オンラインの課題に取り組み、提出する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |
| No14 | The final examination of the Spring Semester. | 春学期末まとめ総合テスト | | |
| | 予習内容(時間) | 春学期末試験に向けて準備を行う。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 前回課題の【解答・解説】で復習を行う。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | ビジネス英語 I BE-B |
| 講義名(英字) | Business English Basics I |
| 担当教員 | 宍戸 カール |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | The introduction of Business English at a very basic level. Students will be introduced to a variety of different business vocabularies and expressions. Also, students will receive information about different countries and their customs since doing business nowadays requires global awareness. |
| | Learn business vocabularies and expressions in English. Also, business idioms will be introduced. |
| 【到達目標】 | Being able to read text materials smoothly with much practice in reading and basic grammar. |

| | Practice communication skills by reading out loud and doing a lot of role plays. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|-----|---|-----|---|-----|---|---------|-----|------|-------------------------------|----|--|--|---|------------------|----|----------|--------------|-----|---|----------|--------------|-----|---|-----|---------------------------|---------------------------|--|--|----------|--------------|-----|---|----------|--------------|-----|---|-----|--|--|--|--|----------|-------------------------|-----|---|----------|-------------------------|-----|---|-----|----------------------------|--|--|--|----------|------------------------|-----|---|----------|------------------------|-----|---|-----|--|---|--|--|----------|-------------------|-----|---|----------|-------------------|-----|---|-----|-------------------------|---|--|--|----------|--------|-----|---|----------|--------|-----|---|-----|---|-----------------------------------|--|--|----------|------------------|-----|---|----------|------------------|-----|---|
| 【履修条件・受講推奨者】 | Second year students | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | Classes will be taught using hand outs and focused on the text book. Students are expected to participate actively. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | Business Plus, Student' Book 1, Cambridge University Press, 2015 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Midterm and final examination</td> <td>60</td> <td rowspan="4">Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance.</td> </tr> <tr> <td>Active class participation</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>Class attendance</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | Midterm and final examination | 60 | Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance. | Active class participation | 30 | Class attendance | 10 | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Midterm and final examination | 60 | Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Active class participation | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Class attendance | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | None | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業計画】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>Introduction and start Unit 1, "Nice to Meet You</td> <td>Basic introduction in business situation.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Introduction</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Introduction</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>Unit 1, "Nice to Meet You</td> <td>Continuation of textbook.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Introduction</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Introduction</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>Unit 1, "Nice to Meet You and Business Idiom 1</td> <td>Business idioms and continuation of introductions.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Idioms and introduction</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Idioms and introduction</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>Unit 1, "Nice to Meet You"</td> <td>People from different countries and regions.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Countries and regions.</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Countries and regions.</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No5</td> <td>Unit 2, "In the Office" and business idioms.</td> <td>Different types of offices and business idioms.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Office and idioms</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Office and idioms</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No6</td> <td>Unit 2, "In the Office"</td> <td>Continuation of different types of offices.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Office</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Office</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No7</td> <td>Unit 2, "In the Office" and business idioms</td> <td>Finish Unit 1 and business idiom.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>Office and idiom</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>Office and idiom</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | Introduction and start Unit 1, "Nice to Meet You | Basic introduction in business situation. | | | 予習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | No2 | Unit 1, "Nice to Meet You | Continuation of textbook. | | | 予習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | No3 | Unit 1, "Nice to Meet You and Business Idiom 1 | Business idioms and continuation of introductions. | | | 予習内容(時間) | Idioms and introduction | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Idioms and introduction | 120 | 分 | No4 | Unit 1, "Nice to Meet You" | People from different countries and regions. | | | 予習内容(時間) | Countries and regions. | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Countries and regions. | 120 | 分 | No5 | Unit 2, "In the Office" and business idioms. | Different types of offices and business idioms. | | | 予習内容(時間) | Office and idioms | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Office and idioms | 120 | 分 | No6 | Unit 2, "In the Office" | Continuation of different types of offices. | | | 予習内容(時間) | Office | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Office | 120 | 分 | No7 | Unit 2, "In the Office" and business idioms | Finish Unit 1 and business idiom. | | | 予習内容(時間) | Office and idiom | 120 | 分 | 復習内容(時間) | Office and idiom | 120 | 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | Introduction and start Unit 1, "Nice to Meet You | Basic introduction in business situation. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | Unit 1, "Nice to Meet You | Continuation of textbook. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Introduction | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | Unit 1, "Nice to Meet You and Business Idiom 1 | Business idioms and continuation of introductions. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Idioms and introduction | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Idioms and introduction | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | Unit 1, "Nice to Meet You" | People from different countries and regions. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Countries and regions. | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Countries and regions. | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | Unit 2, "In the Office" and business idioms. | Different types of offices and business idioms. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Office and idioms | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Office and idioms | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | Unit 2, "In the Office" | Continuation of different types of offices. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Office | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Office | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No7 | Unit 2, "In the Office" and business idioms | Finish Unit 1 and business idiom. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | Office and idiom | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | Office and idiom | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------|--|--|-----|---|
| | Midterm examination | Midterm examination | | |
| No8 | 予習内容(時間) | Unit 1 and 2, business idioms | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Unit 1 and 2, business idioms | 120 | 分 |
| | Unit 3, " On the Phone | On the Phone | | |
| No9 | 予習内容(時間) | On the phone | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | On the phone | 120 | 分 |
| | Unit 3, " On the Phone" and business idiom | Continue On the phone and business idiom | | |
| No10 | 予習内容(時間) | On the phone and business idiom | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | On the phone and business idiom | 120 | 分 |
| | Unit 3, " On the Phone" | Finish "On the Phone" | | |
| No11 | 予習内容(時間) | On the phone | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | On the phone | 120 | 分 |
| | Unit 4, "Buying and Selling"and business idiom | Buying and Selling, Business idiom | | |
| No12 | 予習内容(時間) | Buying and Selling, Business idiom | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Buying and Selling, Business idiom | 120 | 分 |
| | Unit 4, "Buying and Selling" | Finish Unit 4, Buying and Selling | | |
| No13 | 予習内容(時間) | Buying and Selling | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Buying and Selling | 120 | 分 |
| | Unit 4, "Buying and Selling" | Finish Unit 4, Buying and Selling | | |
| No14 | 予習内容(時間) | Buying and Selling | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | Buying and Selling | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | キャリア発達心理学 BE-A |
| 講義名(英字) | Career Development |
| 担当教員 | 伊波 和恵 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 一生を通じて、私たち人間はつねに発達し続ける存在です。この講義では、生涯発達心理学の観点から、胎生期から死に至るまでを範囲とし、とくに成人期に焦点をあて、人の心理社会的な変化のプロセスに関する知識と考え方を学びます。学習を通じて、人間理解の幅を世代的におし広げ、考察を深められるようにします。 |
| 【到達目標】 | 理論の理解：心理社会的発達に関する概念や用語について適切に説明できる 年代固有の特徴の理解：各段階における心理的危機と社会的適応について十分に理解する |

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|----------|--|---|-----|--|-----|--|-----|---|
| | キャリア発達:成人期のキャリア発達に関する基本的な枠組み、意義について理解する | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 「心理学I」「心理学II」を履修済みであること。もしくは同時に履修していることが望ましい。 | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 基本的には講義形式で進める。テーマに応じて、グループディスカッションを入れることがある。理解の定着のため、レポート等の課題提出を求めることがある。 | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書:藤村宣之 編著『発達心理学—周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか(いちばんはじめに読む心理学の本)』ミネルヴァ書房。参考書は講義内で指示 | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | |
| | 生涯発達心理学に関する諸理論、現象の理解 | | 10% | 出席率70%以上。小課題20%・試験(持込不可)60%・中間試験20%を勘案、総合的に評価 | | | | | | |
| | 各年代固有の特徴に関する理解 | | 25% | | | | | | | |
| | キャリア発達、成人期の社会性の発達に関する理解 | | 65% | | | | | | | |
| | 合計 | | 100% | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中のスマートフォン、携帯電話等の電子機器類の使用は原則として認めない。 ・課題提出のため、GoogleClassroomにも登録すること。 ・課題は期日どおりに提出すること。 | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | |
| | No1 | 生涯発達とは? | 生涯発達心理学の考え方、発達段階説 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストを入手し、目次等に目を通し、概観しておく。 | | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内で配布した資料を用いて、生涯発達心理学の理論について比較し、特徴を整理する。指示された課題に回答する。 | | | | | | 120 | 分 |
| | No2 | 胎生期 | 胎生期の発達 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義内で配布した資料を用いて、胎生期の特徴を把握しておく。 | | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内で指示した映像資料を観、ポイントを要約する。自分の意見をミニレポートにまとめる。 | | | | | | 120 | 分 |
| | No3 | 乳幼児期(1) | 心身の発達、愛着関係、社会性/相互作用性の発達 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | キーワードに留意しながら、ポイントを整理しておく。授業で紹介した関連資料を読む。 | | | | | | 120 | 分 |
| | No4 | 乳幼児期(2) | 認知的発達 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | キーワードに留意しながら、ポイントを整理しておく。授業で紹介した関連資料を読む。 | | | | | | 120 | 分 |
| | No5 | 乳幼児期(3) | 情緒的発達 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題をまとめる。 | | | | | | 120 | 分 |
| | No6 | 児童期(1) | 認知的発達 | | | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | | | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題をまとめる。 | | | | | | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|------------------|--|-----|---|
| No7 | 児童期(2) | 社会性の発達 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題をまとめる。 | 120 | 分 |
| No8 | 中間試験(予定)、青年期(1) | 前半: 中間試験と解説を行う(予定。変更する場合は事前に告知する) 後半: 思春期と青年期 | | |
| | 予習内容(時間) | 中間試験対策として、これまでの内容を見直す。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 中間試験結果を見て、理解度を自己点検する。 | 120 | 分 |
| No9 | 青年期(2) | アイデンティティと職業選択、モラトリアム | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題に取り組む。 | 120 | 分 |
| No10 | 青年期(3) 成人期(1) | 青年期の病理、社会的 ひきこもり ワークライフバランス、ワークファミリーコンフリクト | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題に取り組む。 | 120 | 分 |
| No11 | 成人期(2) | 職業的キャリア | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題に取り組む。 | 120 | 分 |
| No12 | 成人期(3) | 働き盛りとメンタルヘルス | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題に取り組む。 | 120 | 分 |
| No13 | 老年期(1) | 老年期の特徴、健康な老い、QOLとADL、認知症 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題に取り組む。試験に向けて準備する。 | 120 | 分 |
| No14 | 老年期(2) まとめ | 老年期の病理、高齢者への心理的ケア、死生学 | | |
| | 予習内容(時間) | テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で指示した課題に取り組む。試験に向けて準備する。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 社会心理学 I BE-A |
| 講義名(英字) | Social Psychology I |
| 担当教員 | 薊 理津子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>他者と自己を比較する、困っている他者を助ける、自分を傷つけた他者に対して怒る、正直な他者に肯定的な印象を持つなど、我々は様々な人間関係の中で生活をしている。社会心理学では、これらの社会的行動を対象とし、社会的行動の背景にある心理的メカニズムを明らかにする。本授業では、社会心理学の様々な研究を紹介し、社会心理学の歴史や研究手法、自己、社会的認知、対人行動を扱う。この授業を受講することで、普段の行動の背景に、どのような心理的メカニズムがあるのかを考える契機としてほしい。</p> |
| | <p>歴史と研究手法を理解する。</p> |

| 【到達目標】 | 自己と社会的認知の仕組みと理論を理解する。 対人行動に関するモデル・理論を理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|-----|-----|-----|---------|-----|------|-------|-----|---|------------------|-----------------------------|----|------|----------|-------------------------|-----|---|----------|----------------------------------|-----|---|-----|---------|---------------|--|--|----------|--------------------|-----|---|----------|--------------------------------|-----|---|-----|-------|------------------|--|--|----------|--|-----|---|----------|--------------------------------|-----|---|-----|-------|-----------|--|--|----------|--|-----|---|--|--|--|--|
| 【履修条件・受講推奨者】 | 「社会心理学Ⅱ」も受講することが望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | パワーポイントを使用した講義である。授業資料はCoursePowerにて事前に公開するので、授業当日までに印刷する、もしくは、パソコン等の電子機器にダウンロードし、手元に資料がある状態で授業に臨むこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用しない。 参考図書は以下2つ。 ①池上知子・遠藤由美(著)『グラフィック社会心理学 第2版』サイエンス社 ②山田一成・結城雅樹・北村英哉(編著)『よくわかる社会心理学』ミネルヴァ書房 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1" data-bbox="252 674 1541 981"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学期末試験</td> <td>60%</td> <td rowspan="3">学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。</td> </tr> <tr> <td>リアクションペーパーによる平常点</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | | 評価方法 | 学期末試験 | 60% | 学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。 | リアクションペーパーによる平常点 | 40% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期末試験 | 60% | 学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リアクションペーパーによる平常点 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 授業中の私語・携帯電話の使用・遅刻については厳禁である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1" data-bbox="252 1099 1541 2136"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>テーマ</th> <th>学習内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No1</td> <td>ガイダンス</td> <td colspan="3">授業の進め方、学習への取り組み方、評価方法に関する説明</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>社会心理学とはどのような心理学なのかを調べる。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業内容を振り返り、学習への取り組み方、評価方法をよく理解する。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No2</td> <td>歴史と研究手法</td> <td colspan="3">社会心理学の歴史と研究手法</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>社会心理学の歴史と研究手法を調べる。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No3</td> <td>自己(1)</td> <td colspan="3">自己とは何か、自己認知、自己評価</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>自己、自己認知、自己評価というワードを調べる。その上で、自分自身が、どのような自己認知、自己評価を抱いているかを考える。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>復習内容(時間)</td> <td>授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">No4</td> <td>自己(2)</td> <td colspan="3">自己にかかわる動機</td> </tr> <tr> <td>予習内容(時間)</td> <td>自己にかかわる動機として、どのような動機があるかを調べる。その上で、自分がどのような動機を持っているかを考える。</td> <td>120</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | | | No1 | ガイダンス | 授業の進め方、学習への取り組み方、評価方法に関する説明 | | | 予習内容(時間) | 社会心理学とはどのような心理学なのかを調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業内容を振り返り、学習への取り組み方、評価方法をよく理解する。 | 120 | 分 | No2 | 歴史と研究手法 | 社会心理学の歴史と研究手法 | | | 予習内容(時間) | 社会心理学の歴史と研究手法を調べる。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 | No3 | 自己(1) | 自己とは何か、自己認知、自己評価 | | | 予習内容(時間) | 自己、自己認知、自己評価というワードを調べる。その上で、自分自身が、どのような自己認知、自己評価を抱いているかを考える。 | 120 | 分 | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 | No4 | 自己(2) | 自己にかかわる動機 | | | 予習内容(時間) | 自己にかかわる動機として、どのような動機があるかを調べる。その上で、自分がどのような動機を持っているかを考える。 | 120 | 分 | | | | |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方、学習への取り組み方、評価方法に関する説明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 社会心理学とはどのような心理学なのかを調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業内容を振り返り、学習への取り組み方、評価方法をよく理解する。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 歴史と研究手法 | 社会心理学の歴史と研究手法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 社会心理学の歴史と研究手法を調べる。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | 自己(1) | 自己とは何か、自己認知、自己評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 自己、自己認知、自己評価というワードを調べる。その上で、自分自身が、どのような自己認知、自己評価を抱いているかを考える。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 自己(2) | 自己にかかわる動機 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 自己にかかわる動機として、どのような動機があるかを調べる。その上で、自分がどのような動機を持っているかを考える。 | 120 | 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No5 | 自己(3) | 自己意識と社会的行動 | | |
| | 予習内容(時間) | 自己意識というワードを調べる。更に、自己意識が我々のどのような行動と関わっているかを調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No6 | 自己(4) | 自己開示と自己呈示 | | |
| | 予習内容(時間) | 自己開示と自己呈示というワードを調べる。その上で、自分が誰にどのような自己開示をするか、また、誰にどのような自己呈示をするかを考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No7 | 社会的認知(1) | スキーマ、ヒューリスティック、原因帰属 | | |
| | 予習内容(時間) | スキーマ、ヒューリスティック、原因帰属というワードを調べる。その上で、スキーマやヒューリスティックが利用されている場面を考え、また、人がどのようなときに、どのような原因帰属をしているかを考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No8 | 社会的認知(2) | 態度 | | |
| | 予習内容(時間) | 態度というワードと態度に関する理論に、どのようなものがあるかを調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No9 | 社会的認知(3) | ステレオタイプと偏見 | | |
| | 予習内容(時間) | ステレオタイプと偏見というワードを調べる。その上で、自分や他者が持っているステレオタイプや偏見について考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No10 | 社会的認知(4) | 感情が認知と行動に及ぼす影響 | | |
| | 予習内容(時間) | 感情が、人の認知と行動にどのような影響を及ぼすかを調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No11 | 対人行動(1) | 説得的コミュニケーション | | |
| | 予習内容(時間) | 説得的コミュニケーションというワードと理論を調べる。その上で、自分もしくは他者がどのようなときに説得されやすいか、もしくは説得されにくいかを考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 |
| No12 | 対人行動(2) | 攻撃行動 | | |
| | 予習内容(時間) | 攻撃行動というワードを調べ、攻撃行動に関連する理論を調べる。その上で、自分も含めて、人はどういうときに攻撃をするかを考える。 | 120 | 分 |

| | | | | | | |
|------|----------|---|--------------------------------|-----|-----|---|
| | | 間) | | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | 120 | 分 | |
| No13 | 対人行動(3) | | 援助行動 | | | |
| | 予習内容(時間) | 援助行動というワードを調べ、援助行動に関連する理論を調べる。その上で、自分も含めて、人はどういときに援助をするかを考える。 | | | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | | | 120 | 分 |
| No14 | 対人行動(4) | | 対人魅力と恋愛 | | | |
| | 予習内容(時間) | 対人魅力というワードを調べ、対人魅力と恋愛に関連する理論を調べる。その上で、どのような人に魅力を感じやすいか、どのような相手をパートナーとして選択しやすいかを考える。 | | | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。 | | | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 社会心理学 I BE-C |
| 講義名(英字) | Social Psychology I |
| 担当教員 | 佐藤 恵美 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 社会心理学は人間がその場の状況や他の人々社会とのかかわりの中で、どのような影響を受けて行動するのかという視点から、実証的な研究を通して人間を研究する学問である。本講義では、社会的な人間の行動を「社会の中の個人」と「個人と集団・組織との関わり」の観点から理解することを目的とする。社会心理学 I では社会の中での個人と対人関係に焦点を当て、社会の中で生活する個人のパーソナリティの認知、他者理解のための対人認知、他者のパーソナリティの認知の観点を解説し、自己や他者のパーソナリティ理解を深めることを目的とする。 |
| | 自己と対人認知: 自己概念、自己評価、自尊心など自己に関するさまざまな側面から「自分とは何か?」を考え、社会の中で生活するパーソナリティの側面に目を向け、他者と関わる自己について理解する。さらに、自分自身が他者を認知し、パーソナリティを推測する対人認知について考える。個人の認知スタイルはその人の原因帰属によって環境の捉え方が異なることを理解し、そこからどのようなコミュニケーションが効果的か |

| <p>【到達目標】</p> | <p>を自分で考え、効果的な人間関係や葛藤処理について考えることができるようにする。</p> <p>態度、攻撃と対人葛藤：人間の態度について理解し、態度を変化させる説得的コミュニケーションの情報処理過程を理解する。さらに人間の攻撃行動や葛藤場面で生じる感情や動機について理解し、企業における効果的な人間関係を行うことができるようにする。</p> <p>対人魅力と対人関係：人から好かれるにはどうしたら良いかについての実験や調査から対人魅力について理解する。さらに対人関係をさらに進展させ、維持するためにはどのようなプロセスが必要かを学び、日常生活や組織における円滑な対人関係が行えるようにする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|------------|----------|------------|----------|------------|------|-----|---------|-------------------|------------------|---|----------|--|-----|----|--------------------------|----------|---|----------|--|-----|---------|-------------------------------|----------|---|----------|--|-----|------|-----------------|----------|---|----------|--|-----|------|--------------|----------|---|----------|-------|-----|-------|------------------------|----------|---|----------|-------|
| <p>【履修条件・受講推奨者】</p> | <p>社会心理学Ⅱも合わせて履修するのが望ましい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【教育方法】</p> | <p>対面による講義授業</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【指定教科書・参考資料等】</p> | <p>社会心理学概説 2018 潮村 公弘, 福島 治 編著 北大路書房(社会心理学Ⅱと同様)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【実務IQ修得目標】</p> | <p>自制力</p> | <p>○</p> | <p>思考力</p> | <p>○</p> | <p>突破力</p> | <p>○</p> | <p>忍耐力</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>協働力</p> | | <p>主張力</p> | <p>○</p> | <p>創造力</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 696 1114 752">評価項目と割合</th> <th data-bbox="1114 696 1546 752">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 752 943 808">定期試験</td> <td data-bbox="943 752 1546 808">70%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 808 943 864">レポート</td> <td data-bbox="943 808 1546 864">20%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 864 943 920">ホームワーク(毎授業の課題提出)</td> <td data-bbox="943 864 1546 920">10%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 920 943 976">合計</td> <td data-bbox="943 920 1546 976">100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | 定期試験 | 70% | レポート | 20% | ホームワーク(毎授業の課題提出) | 10% | 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定期試験 | 70% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| レポート | 20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホームワーク(毎授業の課題提出) | 10% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【その他の注意事項】</p> | <p>教科書は必ず持参すること。レポート等、提出物は必ず提出すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1099 316 1144">週</th> <th data-bbox="316 1099 555 1144">テーマ</th> <th data-bbox="555 1099 1546 1144">学習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1144 316 1312" rowspan="3">No1</td> <td data-bbox="316 1144 555 1200">社会心理学とは</td> <td data-bbox="555 1144 1546 1200">個人内過程における社会的行動の概観</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1200 555 1256">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1200 1546 1256">毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1256 555 1312">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1256 1546 1312">授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1312 316 1480" rowspan="3">No2</td> <td data-bbox="316 1312 555 1368">自己</td> <td data-bbox="555 1312 1546 1368">自己概念とその形成過程、アイデンティティと自尊心</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1368 555 1424">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1368 1546 1424">毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1424 555 1480">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1424 1546 1480">授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1480 316 1648" rowspan="3">No3</td> <td data-bbox="316 1480 555 1536">パーソナリティ</td> <td data-bbox="555 1480 1546 1536">パーソナリティの考え方とその発達を通じた人格の成熟について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1536 555 1592">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1536 1546 1592">毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1592 555 1648">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1592 1546 1648">授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1648 316 1816" rowspan="3">No4</td> <td data-bbox="316 1648 555 1704">対人認知</td> <td data-bbox="555 1648 1546 1704">対人認知の特徴と暗黙の人格理論</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1704 555 1760">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1704 1546 1760">毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1760 555 1816">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1760 1546 1816">授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1816 316 1984" rowspan="3">No5</td> <td data-bbox="316 1816 555 1872">帰属理論</td> <td data-bbox="555 1816 1546 1872">帰属理論、対人認知と感情</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1872 555 1928">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1872 1546 1928">毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 1928 555 1984">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 1928 1546 1984">120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1984 316 2134" rowspan="3">No6</td> <td data-bbox="316 1984 555 2040">社会的認知</td> <td data-bbox="555 1984 1546 2040">ステレオタイプ、偏見と差別の認知的メカニズム</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 2040 555 2096">予習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 2040 1546 2096">毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="316 2096 555 2134">復習内容(時間)</td> <td data-bbox="555 2096 1546 2134">120 分</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 週 | テーマ | 学習内容 | No1 | 社会心理学とは | 個人内過程における社会的行動の概観 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | No2 | 自己 | 自己概念とその形成過程、アイデンティティと自尊心 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | No3 | パーソナリティ | パーソナリティの考え方とその発達を通じた人格の成熟について | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | No4 | 対人認知 | 対人認知の特徴と暗黙の人格理論 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | No5 | 帰属理論 | 帰属理論、対人認知と感情 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | 復習内容(時間) | 120 分 | No6 | 社会的認知 | ステレオタイプ、偏見と差別の認知的メカニズム | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | 復習内容(時間) | 120 分 |
| 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No1 | 社会心理学とは | 個人内過程における社会的行動の概観 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No2 | 自己 | 自己概念とその形成過程、アイデンティティと自尊心 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No3 | パーソナリティ | パーソナリティの考え方とその発達を通じた人格の成熟について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No4 | 対人認知 | 対人認知の特徴と暗黙の人格理論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No5 | 帰属理論 | 帰属理論、対人認知と感情 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| No6 | 社会的認知 | ステレオタイプ、偏見と差別の認知的メカニズム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復習内容(時間) | 120 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|--------|----------|---|---|-------|--|
| 【授業計画】 | 態度 | 態度とその諸属性、認知的均衡と態度変化 | | | |
| | No7 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | | 復習内容(時間) | | 120 分 | |
| | | 態度変化と説得 | 態度を変化させる説得的コミュニケーション、説得の受容と拒否 | | |
| | No8 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | |
| | | 攻撃と社会的勢力 | 人間の攻撃性と社会的勢力 | | |
| | No9 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | |
| | | 援助行動 | 援助行動とその規定要因 | | |
| | No10 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | |
| | | ソーシャルサポート | 社会の中のソーシャルサポート | | |
| | No11 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | |
| | | 魅力と対人関係 | 対人魅力の規定因、対人関係の問題と認知の歪み | | |
| | No12 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | |
| | | 非言語コミュニケーション | コミュニケーション手段としての非言語的コミュニケーション、メディアとコミュニケーション | | |
| | No13 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | |
| | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | | |
| | 対人葛藤と交渉 | 対人葛藤とその解決、葛藤場面と認知・感情・動機について | | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること | 120 分 | | |
| | 復習内容(時間) | 授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること | 120 分 | | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | イベントプロデュース論 I E-A |
| 講義名(英字) | Theory of Event Production I |
| 担当教員 | 大山 利栄 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|------|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>「プロデュース」とは、思いついた SEED(種)を具体的に世に出し、社会化するまでの一連の行為であり、これから社会で活躍する人材を育てる上での重要なキーワードです。</p> <p>とくにイベントは、臨時に組織を組んで行われる特別な行事・催事が多いことから、イベントプロデューサーにはさまざまな資質と能力が要求され、多様な機能と役割が求められます。これまで暗黙知として取り扱われてきたプロデュース行為をプロセスや要素をもとに再現可能なテクノロジーとして形式知化し、新たな人材育成プログラムとして適応させます。</p> | | | | | |
| 【到達目標】 | イベントプロデュースに関する基礎知識を理解する 幅広いプロデュースカテゴリーについて理解する イベントプロデューサーの役割について理解する | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | イベント学 I を履修していること | | | | | |
| 【教育方法】 | 主に講義形式で行うが、必要に応じて実際のイベントの映像を使用する | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 使用せず | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 授業態度 | 20% | | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| | |
|--------|------|
| レポート提出 | 40% |
| 期末テスト | 40% |
| 合計 | 100% |

3/2程度の出席は必須。
それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する

【その他の注意事項】

特になし

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス | イベントにおけるプロデュースとは | | |
| | 予習内容(時間) | これまでに参加したイベントについて整理する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | これまでに参加したイベントについてタイトル、日時、会場、内容についてレポート | 120 | 分 |
| No2 | プロデューステクノロジー | プロデューステクノロジーの構造 | | |
| | 予習内容(時間) | 6W2Hについて調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 好きなコンテンツを上げ、そのコンテンツのプロデューサーについて調べレポートする | 120 | 分 |
| No3 | 驚きと感動の方程式① | 驚き発想 イベントの価値を上げるには | | |
| | 予習内容(時間) | 人間の感情について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 最近驚いたことについてレポート | 120 | 分 |
| No4 | 驚きと感動の方程式② | 感動発想 感動のメカニズム 驚きと感動の方程式 | | |
| | 予習内容(時間) | これまでに満足、感謝したことについて洗い出す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | これまでに感動したことについてレポート | 120 | 分 |
| No5 | イベント脳トレーニング① | イベント発想法 様々な発想法とその使い方 | | |
| | 予習内容(時間) | 考えに詰まった時にやっていることを洗い出す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 新しい組み合わせについてレポート | 120 | 分 |
| No6 | イベント脳トレーニング② | イベント発想法 発想トレーニング(ワークショップ) | | |
| | 予習内容(時間) | マインドマップの作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内で行った発想法の設問についてレポート | 120 | 分 |
| No7 | プロジェクトマネジメント① | プロジェクトの管理とは 「集まり」「グループ」「チーム」 チームワーク | | |
| | 予習内容(時間) | イメージするプロジェクトについて整理する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 過去に所属した「チーム」とその時の最高の思い出についてレポート | 120 | 分 |
| No8 | プロジェクトマネジメント② | プロジェクトの管理法 プロジェクトマネジメント PIMBOK イベント制作の5つのステップと5大管理 | | |
| | 予習内容(時間) | NASAについて調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | PINBOKとイベントのステップ、管理の類似性についてレポート | 120 | 分 |
| No9 | リスクマネジメント① | イベントにおけるリスク管理法 イベント事故事例 トリアージ リスク回避の4つの戦略 | | |
| | 予習内容(時間) | イベントの事故に関する記事を検索しておく | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|-----------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | ヒヤリハット体験についてレポート | 120 | 分 |
| No10 | リスクマネジメント② | イベントにおけるリスク管理法 渋滞学 待ち行列理論 行列のコントロール | | |
| | 予習内容(時間) | 行列に関する記事を検索しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | これまでの行列体験についてレポート | 120 | 分 |
| No11 | プロデューサーとしての考え方① | ロジカルシンキングとラジカルシンキング | | |
| | 予習内容(時間) | 「風が吹いたら桶屋が儲かる」について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ラテラルシンキングについての課題に対するレポート | 120 | 分 |
| No12 | プロデューサーとしての考え方② | 概念化思考 多角的な視点 | | |
| | 予習内容(時間) | これまで「勘違いをしたモノ」について整理する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 見方を変えると変わるものについてレポート | 120 | 分 |
| No13 | プロデューサーとしての考え方③ | ワークショップ(思考トレーニング) | | |
| | 予習内容(時間) | 驚き発想について再度確認しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 解らなかった問題に対して再度取り組む | 120 | 分 |
| No14 | ファンとブーム | ファンの構想と仕掛け ブームの構造と仕掛け | | |
| | 予習内容(時間) | 自分が好きなものと、それを取り巻く状況について調査する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ファン化しブーム化する仕掛けについてレポート | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 応用科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | ユニバーサルイベント E-A |
| 講義名(英字) | Universal Event |
| 担当教員 | 井上 彩音 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>イベントは本来、誰もが困難なく快適に参加でき、心から楽しめる空間であることが望ましく、これまでの施設の設備や導線などへの配慮がされできました。これからはさらに進めて、内容の企画や計画、会場設計から運営すべてにわたり「ユニバーサルイベント」の発想が求められています。この講義では「今まで心が動いたもの」をテーマに対話をし、ユニバーサルイベントを企画する際の工夫を全員で考えていきます。授業内では受講生同士でチームに分かれて相談する場面があります。また、障害者や高齢者、マイノリティーなゲストと共に「誰もが一緒に楽しめることはなにか？」を福祉ではなく、エンターテイメントで演出できる方法を考えます。</p> |
| 【到達目標】 | <p>ユニバーサルイベントに関する基礎知識を理解する</p> <p>イベント運営する際のおもてなしを理解している</p> <p>多くの人の楽しみを知ろうとすることができる</p> |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること</p> <p>◇様々なターゲットの目線に立ち、その人の「楽しむ」は何かを探ることを考えることができる人</p> |
| 【教育方法】 | <p>◇とにかくみんなで楽しみながら話し合います</p> <p>◇授業のルールは「分からない時は分からないと伝える」「誰も取り残さない」「相手を心から応援する」です</p> |

| | | | | | | | |
|------------------------------|-------------------------|-------------|---|-----|-----|---|-----|
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | |
| | ユニバーサルイベントに関する基礎知識を理解する | 30% | 人の楽しみとユニバーサルイベントとは何かを考え、言葉にして伝えることができるか | | | | |
| | 多くの人の楽しみを知ろうとすることができる | 40% | | | | | |
| | 1つのことを様々な角度から観察することができる | 30% | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇とくになし | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | |
| | No1 | イントロダクション | ユニバーサルイベントとは | | | | |
| | | 予習内容(時間) | ユニバーサルイベントと聞いてどのようなイメージがあるかメモにのこす | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。 | 120 | 分 | | |
| | No2 | 楽しむとは？ | 人が楽しんでいるものを多方向からみてる | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 自分の楽しむは何かを考える | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。 | 120 | 分 | | |
| | No3 | 楽しみの発見 | 受講メンバー同士の楽しみを調べる | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 自分が考える「楽しむ」以外の「楽しむ」は何かがあるかを考える | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。 | 120 | 分 | | |
| | No4 | ターゲットを知る | 何かを届けるときに受け取る人の事を先に調べる | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 仮にターゲットを決めリサーチする | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。 | 120 | 分 | | |
| | No5 | ケーススタディ-1 | 誰もが楽しめる場所ができるまで | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 誰もが楽しめるとは何かを考える | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。 | 120 | 分 | | |
| | No6 | ケーススタディ-2 | オープンするまでの準備、研修などについて | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 誰もが楽しめる場所を作るためのスケジュールを考える | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。 | 120 | 分 | | |
| | No7 | エンターテイナーの話① | 視覚障害者キャストが出会ったエピソード | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 目が見えない体験をしてみる(お風呂を暗間にして髪の毛を洗ってみる) | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業後もう一度お風呂を暗間にして髪の毛を洗ってみる | 120 | 分 | | |
| | No8 | エンターテイナーの話② | 聴覚障害者キャストが出会ったエピソード | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 指文字で自分のニックネームが言えるようになる | 120 | 分 | | |
| | | 復習内容(時間) | 自分の好きなことをジェスチャーで伝えられるようになる | 120 | 分 | | |

| | | | | | |
|------|----------|----------------|-----------------------|-----|---|
| | | 誰もが一緒に働ける楽屋とは？ | 様々なキャスト・スタッフが一緒に働くとは？ | | |
| No9 | 予習内容(時間) | | 様々な人とはどのような人かを改めて考える | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 様々な人とはどのような人かを改めて考える | 120 | 分 |
| | | 安心、安全な運営 | お客様が安心して楽しむために必要なこととは | | |
| No10 | 予習内容(時間) | | 安心とは何かを考える | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 誰もが安心できる場所とは？と考える | 120 | 分 |
| | | 安全運営のためのチームワーク | キャスト、スタッフの連携 | | |
| No11 | 予習内容(時間) | | 安全とは何かを考える | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 誰もが安全に過ごせる場所とは？と考える | 120 | 分 |
| | | 企画をしてみよう | ターゲットを決め企画を考える | | |
| No12 | 予習内容(時間) | | 企画を考える | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 企画を練り直す | 120 | 分 |
| | | プレゼンテーション | 受講者同士で発表、ブラッシュアップを考える | | |
| No13 | 予習内容(時間) | | 企画発表練習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 企画発表練習 | 120 | 分 |
| | | ブラッシュアッププレゼン | ブラッシュアップ後のプレゼン | | |
| No14 | 予習内容(時間) | | プレゼン練習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | プレゼン課題に向けて練習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | セールスプロモーションイベント E-A |
| 講義名(英字) | Sales Promotion Event |
| 担当教員 | 佐野 孝行 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>入場料を徴収する音楽コンサートのようなイベントを除けば、その多くは販売促進(セールスプロモーション)を目的に実施されています。流通店舗で行われる商品催事から始まり、昨今ではWEBやアプリを使用したセールスプロモーション事例も多くなってきており、その展開形態は多様性に富んでいます。販売促進の目的も、集客動員や使用体験の創出からイメージ訴求・意識喚起まで幅広く、経済活動の一環として行われているために、社会全般に対する影響力も大きいものです。セールスプロモーション全体の流れを、ゲームビジネスを中心としたエンターテインメント業界の仕組みとともに解説していきます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>【セールスプロモーションの基本を理解する】 セールスプロモーション・販売促進の役割や重要性について答えられる 広報など関連する業務・役割も理解し、その相違点も理解出来る</p> <p>【セールスプロモーションイベントの実施段階での理解を深める】 セールスプロモーションの種類や手法を理解出来る セールスプロモーションイベントに関連する業界や会社・業務を理解出来る</p> <p>【セールスプロモーションイベントの戦略を説明出来る】 セールスプロモーションイベントの企画立案・予算策定のポイントを理解し自ら計画出来る</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | ゲームやアニメ・コミック・音楽など、エンターテインメントビジネスに興味があること | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 実務事例や知見をもとに、各テーマにおけるポイントとなる点を重点的に講義する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 教科書は使用せず、授業時にテキストや資料を使用する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|-----------|------|--------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
| | 授業への意欲 | 40 | 期末レポートの提出は単位取得の必須要件とします。 |
| | 日々の課題への対応 | 20 | |
| | 期末レポート | 40 | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|------|
| 【その他の注意事項】 | 特になし |
|------------|------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|----------------------------|---|-----|---|
| No1 | セールスプロモーションの基礎① | まず始めにセールスプロモーションとは何かを解説。マーケティングとは何かもあわせて解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の好きなコンテンツで良いので情報収集を行うこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること | 120 | 分 |
| No2 | セールスプロモーションの基礎② | セールスプロモーションイベントに必要な、4つの「P」を解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関し自分なりに推測してみる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと | 120 | 分 |
| No3 | セールスプロモーションの基礎③ | 多数あるセールスプロモーションイベントのジャンルや手法を解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関し自分なりに推測してみる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと | 120 | 分 |
| No4 | エンターテインメント業界研究① | ゲーム業界を中心に、エンターテインメント会社の組織や部門の役割などを解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の好きな作品を作ったメーカーのHPなどをあらかじめ確認すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること | 120 | 分 |
| No5 | エンターテインメント業界研究② | 広告宣伝と販売促進の違いやパブリシティと広報の違いなど、セールスプロモーションイベントに関連する業務について解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関し自分なりに推測してみる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること | 120 | 分 |
| No6 | セールスプロモーションイベント解説 | WEBやモバイルを利用したセールスプロモーションイベントを解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関し自分なりに推測してみる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと | 120 | 分 |
| No7 | 商流解説 | 百貨店とショッピングセンターの違いについて、買取と委託形式の違いについてなど、セールスプロモーションイベントを行う際に関係する小売店や流通関係の仕組みについて解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関し自分なりに推測してみる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと | 120 | 分 |
| No8 | セールスプロモーションイベントの予算策定と企画立案① | ゲーム会社での事例を参考に、広告宣伝費や販売促進費の予算の立て方・企画の立て方について解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、自分なりに再度試算などを行うこと | 120 | 分 |
| No9 | セールスプロモーションイベントの予算策定と企画立案② | メーカーと広告代理店やイベント制作会社・CM制作会社などの関係性や仕事の流れについて解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関係する企業のHPなどを確認しておくこと | 120 | 分 |

| | | | |
|------|----------------------|--|------|
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、自分なりに相関図などを作成してみることに120分 | 分 |
| No10 | セールスプロモーションイベントの具体例① | 過去に行った印象的なセールスプロモーションイベントを事例を交えて解説します。 | |
| | 予習内容(時間) | 指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと | 120分 |
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること | 120分 |
| No11 | セールスプロモーションイベントの具体例② | 過去に行った印象的なセールスプロモーションイベントを事例を交えて解説します。 | |
| | 予習内容(時間) | 指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと | 120分 |
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること | 120分 |
| No12 | セールスプロモーションイベントの具体例③ | ソーシャルゲームやeスポーツなど配信型セールスプロモーションイベントについて解説します。 | |
| | 予習内容(時間) | 指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと | 120分 |
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること | 120分 |
| No13 | セールスプロモーションイベントの歴史 | 阪急電鉄と宝塚歌劇団に代表される地域開発とセールスプロモーションイベントの関係や、セールスプロモーションイベントの歴史を解説します。 | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関係する企業のHPなどを確認しておくこと | 120分 |
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること | 120分 |
| No14 | 今後のセールスプロモーションイベント | 今後のセールスプロモーションイベントの変化・進化について展望します。 | |
| | 予習内容(時間) | テーマに関し自分なりに推測してみることに120分 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること | 120分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 経済学 I BE-A |
| 講義名(英字) | Economics I |
| 担当教員 | 清水 良樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>経済はわたしたちの生活に密着しています。経済現象は日常生活にあふれていますが、これに疑問をもったことはありませんか？たとえば、商品には必ず価格がついていますが、そもそもこの価格というのは何でしょうか？あなたならどう答えますか？こうした疑問に答えるためには、経済学を学ばなければいけません。</p> <p>本講義では経済学の基礎理論を学ぶことを通して、わたしたちが生きている社会の仕組み、そして現代の経済問題を分析していきます。経済問題を議論できるエコノミストの視点を身につけましょう。</p> |
| 【到達目標】 | <p>経済学の基礎理論を習得。</p> <p>現代の経済問題に対する経済学的視点を養う。</p> <p>日本経済と国際経済を比較できる視野を持つ。</p> |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>提出物の期限を守ること。</p> <p>他者に迷惑をかける行為(私語など)は慎むこと。</p> |
| 【教育方法】 | <p>講義形式が中心。</p> <p>-googleクラスルームを利用。講義で使用されるレジュメや確認テストなどは-googleクラスルームにアップロードされる。</p> <p>履修者の理解度を測るために、確認テスト(フォーマットは-googleフォーム)を実施。</p> <p>調べ学習や自分の意見を表明できる課題を出す。</p> |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | <p>教科書: 指定しない。</p> <p>参考書: 講義の中で適宜指示する。</p> |

| | | | | | | |
|------------|-----|-----|---|-----|---|-----|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |

| | | | | | | |
|------------------------------|----------------------------|------|---|--|--|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 定期試験 | 40% | 定期試験と各回に予定されている確認テスト(課題)の累積得点により総合的に判断して成績を評価する。正当な理由のない欠席を5回以上した者は単位取得を認めない。 | | | |
| | 確認テスト(および課題)の累積点(100点満点換算) | 60% | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | |

| | |
|------------|--|
| 【その他の注意事項】 | 経済の動向を勘案して授業計画を変更することがある。課題の提出期限等のスケジュール管理を徹底すること。 |
|------------|--|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|----------------|--|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 講義概要、評価方法についての説明。 日本を含む国際経済の現在(いま)を知る。 | | |
| | 予習内容(時間) | ニュースキュレーションアプリをチェック。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No2 | 経済主体と経済活動 | 各経済主体による経済活動を理解する。 経済主体間の連関を理解する。 経済波及効果を理解する。 市場が持つ機能を理解する。 均衡の概念を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | マーケットメカニズムについて調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No3 | 閉じた経済圏 | トークンの仕組みを理解する。 グローバル経済において企業による閉じた経済圏を知る。 一部企業の経済における支配力を知る。 | | |
| | 予習内容(時間) | トークンについて調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 講義で紹介した企業以外の支配力を調べる。 | 120 | 分 |
| No4 | ブロックチェーンが起こす革命 | テクノロジーの進化と社会的価値の変化との関係を理解する。 新たなテクノロジーを知る。 暗号資産への投資を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | ビットコインについて調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No5 | 貨幣の新たな形態 | キャッシュレス化がもたらす経済的影響。 日本をはじめ、各国のデジタル通貨発行への取り組みを知る。 デジタル通貨が持つ役割を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 現金以外の決済方法について調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No6 | GDP | GDPの算出方法を理解する。 "豊かさ"について考える。 所得と幸福の関係について考える。 様々な社会システムについて知る。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「幸福度ランキング」をチェック。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No7 | これからの付加価値の生産 | 商品の価値構成を理解する。 生産性の上昇と剰余価値の関係を理解する。 生産性を上昇させる方法について考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 日本の経済成長率を調べる。 | 120 | 分 |

| 【授業計画】 | | | | | |
|--------|--|-------------|--|-----|---|
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No8 | | 日本のリーディング産業 | 日本の産業構造の変遷を知る。 自動車産業の転換点を理解する。 日本経済の強みを知る。 日本の新たなリーディング産業を模索する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 将来、需要が高まるビジネスについて考える。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No9 | | お金の話 | 借金＝悪 ではない。 借金の意味と役割を理解する。 日本と各国の財政状況を比較する。 財政の役割を理解する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 日本の財政赤字と政府債務残高を調べる。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No10 | | お金の増やし方① | 個人の資産形成の必要性を理解する。 NISAの仕組みを理解する。 株式などの投資対象を理解する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | NISAを調べる。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 ヴァーチャル投資の実践。 | 120 | 分 |
| No11 | | お金の増やし方② | 大学生でもできる投資。 投資信託の仕組みを理解する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 投資に関連するニュースをピックアップ。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 ヴァーチャル投資の実践。 | 120 | 分 |
| No12 | | 制度を知る | NISAやiDeCoなどのお得な制度を紹介。 国や自治体からの様々な支援を知る。 | | |
| | | 予習内容(時間) | ふるさと納税をチェック。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No13 | | 格差がもたらす破壊 | 格差の現状を知る。 格差について考える。 格差がもたらす破壊的影響を理解する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 世界で格差が大きな国を調べる。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |
| No14 | | 社会のセーフティネット | 世界の貧困問題を考える。 社会のセーフティネットの在り方を考える。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 既存のセーフティネットを調べる。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 確認テストの回答もしくは課題の提出。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | 経済学 I BE-C |
| 講義名(英字) | Economics I |
| 担当教員 | 松田 岳 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|-----|---|-----|--|-----|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 日々起っている経済現象は複雑な要因が絡み合っていたり、馴染みのない専門用語で説明されたりしているため、学生諸君からは「理解不能な情報」として放置される傾向にある。しかし、企業経営は経済変動の影響から絶対に逃れることはできない。そのため、諸君がビジネスパーソン(企業人)として活躍したいのであれば、経済に関する基礎知識を身に付けることが不可欠となる。経済現象を理解するためには、必要最低限の専門用語を理解するとともに、経済現象の構造や法則を理解することが肝要である。そこで本科目は国民経済や国際経済の特徴、構造、歴史、課題を理解するのに必要な最低限の経済知識を学生諸君が修得することをその目的とする。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 現代経済の歴史、変遷、特徴、構造について理解し、説明できるようになること。 戦後の日本経済の歴史と抱えてきた課題について理解し、説明できるようになること。 国際経済の仕組み、自由化の動きと課題について理解し、説明できるようになること。 | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 学生として学修態度を有し、授業を妨害する行為を行わないことが履修条件である。 | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 大学設置基準に定められている予習・復習を学生が行うことを前提として、授業を行う。授業は教科書のポイント解説、質問への回答、グループワークから構成されている。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 教科書はマツダタカシ『経済学1講義録R5.1』、同『経済学1講義録R5.2』(Kindle本〔電子書籍〕)。購入方法はコースパワー経由で指示する。 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|-----|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | |
| | 現代経済の特徴と構造を理解し、説明できる。 | 54% | 本試験の正答率で絶対評価を行う予定だが、得点率が低い場合は相対評価を採用する。 | | |
| | 戦後日本経済の歴史と課題を理解し、説明できる。 | 31% | | | |
| | 国際経済の潮流と課題を理解し、説明できる。 | 15% | | | |
| | 合計 | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | 1)大学のメールアドレスとパスワードは授業参加に不可欠なので忘れないこと。2)コースパワーの情報を小まめに確認すること。3)5回以上欠席すると評価対象外になる。 | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | ガイダンス: 本学における経済学の位置付け、経済学の到達目標や教授方法、評価方法を確認する。 | 本学のカリキュラムにおける本科目の位置付け、経済学全体における本科目(経済学1)の位置付け、本科目の全体テーマ、皆さんが目指すべき到達目標について理解していただきます。また、教科書を用いてどのように予習し、講義を受け、復習をし、テスト対策をすればよいのかについて解説します。最後に、本科目の評価対象と2つの評価基準、本科目の出欠確認方法、評価対象外となる基準、欠席を取り消す例外措置などについて説明します。 | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスに目を通し、到達目標、教授方法、評価方法を予め理解しておく。 | 180 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容を振り返り、シラバスが完全に理解できていない場合は質問を提出する。 | 60 | 分 |
| | No2 | 経済社会の変容: 封建制度・絶対王政、資本主義経済の成立、社会主義経済の誕生と変容などを学修する。 | 第一に、資本主義経済について学修します。具体的には資本主義に先立って形成された封建制度や絶対王政の中からいかにして資本主義は生まれたのか、資本主義の発展(産業革命)と挫折(世界恐慌)の歴史を学びます。第二に、社会主義経済について学修します。具体的には社会主義がどのような思想であり、その思想に基づいてどのようにして国家が形成され、社会主義が現代の権威主義的・覇権主義的国家(中国に代表される)にどのように「発展」したのかを学びます。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| | No3 | 経済思想史: 重商主義、古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学、新自由主義経済学の思想を学修する。 | 第一に、重商主義と古典派経済学について学修します。具体的には、トマス・マン、ケネー、スミス、リカード、マルサスなどの学説を学びます。第二に、マルクス経済学と近代経済学について学修します。特に両者の違いを決定づける価値論(何が商品の価値を生み出すのか。労働価値説と限界効用価値説)を中心に学びます。また、現代の政治経済学に大きな影響を及ぼしているケインズ経済学についても学びます。第三に、現代の経済学として新自由主義経済学について学修します。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| | No4 | 経済主体: 経済主体、経済循環、資本循環、景気循環、企業の種類、企業関連の基礎用語などを学修する。 | 第一に経済主体とそれが生み出す諸循環について学修します。具体的には3つの経済主体による経済取引の循環、企業活動をめぐる資本の循環、景気の循環とその要因を学びます。第二に、企業の種類について学修します。具体的には公企業、私企業、合名会社、合資会社、合同会社、株式会社など、企業の多様な姿を学びます。第三に、株式会社の基礎知識を身に付けます。具体的には、株式会社の仕組みや資金調達、その利害関係者や、株式会社が果たすべき責任などを学びます。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| | No5 | 市場: 需要曲線と供給曲線、曲線のシフト、完全競争市場と不完全競争、市場の失敗について学修する。 | 第一に需要曲線と供給曲線について学修します。具体的には曲線の形状が意味するもの、不均衡から均衡への回帰、曲線のシフトを招く要因について学びます。第二に市場の失敗について学修します。完全に効率的な、市場の理想的状態(完全競争市場)とはどのような状態か、理想的な状態を阻害する要因は何かについて学びます。第三に、市場の失敗の一形態である独占・寡占とその弊害、独占・寡占を防止するための法律(独占禁止法)について学修します。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| | No6 | 国民所得と経済成長: 国民所得と国富、国民所得の計算方法と原則、2つの経済成長率について学修する。 | 第一に、国民経済の豊かさについて検討します。豊かさを示す尺度である国富と国民所得の違いと両者の関係について理解を深めます。第二に、国民所得の計算方法と原則について学修します。GDP、GNP、NNP、NIなど複数の計算基準を学んだ後に、GDPは複数の側面から見てその価値が等しくなることを学びます。第三に、経済成長率について学修します。成長率には名目成長率と実質成長率の2つのタイプがあり、その差は「物価」によって生じることを理解します。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--|---|-----|---|
| No7 | 通貨と金融: 貨幣の機能、通貨制度、物価変動、銀行の役割、日銀と金融政策、金融行政などを学修する。 | 第一に、通貨制度の変遷について学修します。具体的には、貨幣と通貨の違い、金本位制度と管理通貨制度の違い、管理通貨制度の下で発生する物価の持続的変化(インフレ、デフレなど)とその要因について学びます。第二に、銀行の役割について学修します。具体的には一般企業の資金調達方法、銀行の三大業務、通貨供給量、その他金融用語について学びます。第三に、日本銀行について学修します。具体的には日本銀行の組織、役割、目的、金融政策について学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No8 | 財政と財政政策: 財政の機能、財政政策、一般会計と特別会計、予算の構成、財政投融资などを学修する。 | 第一に財政の機能と財政政策について学修します。具体的には資源配分機能、所得再分配機能、経済安定化機能と、フィスカル・ポリシーとビルトイン・スタビライザーの違いについて理解を深めます。第二に、国家予算について学修します。具体的には一般会計と特別会計、歳入の内訳とその推移、歳出の内訳とその推移、国債発行の原則などについて理解を深めます。第三に、第二の予算とも呼ばれてきた財政投融资について、その構造と現状について学修します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No9 | 日本経済の歴史: 日本経済を明治期、戦後復興期、高度成長期、低成長期、バブル期などに分けて学修する。 | 第一に、明治期と戦後復興期の日本経済の歴史を概観します。具体的には殖産興業政策、国立銀行条例、産業革命、世界恐慌、戦後の占領政策、経済復興策と日本経済への影響について学びます。第二に、高度経済成長期と低成長期の日本経済の歴史を概観します。具体的には神武・岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気の原動力とオイルショック後の日本経済について学びます。第三に、バブル発生メカニズムと「負の遺産」からの脱却について学修します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No10 | 労働問題: 日米英の労働運動の歴史、労働三法、日本の雇用慣行、労働市場を巡る諸問題について学修する。 | 第一に、日米英の労働運動の歴史について学修します。具体的には英国のラグダイト運動、チャーチスト運動、米国の労働総同盟、ワグナー法、タフト・ハーレー法、AFL-CIOの登場などを学びます。第二に、日本の労働三法について学修します。具体的には労働基準法の概要、労働組合法が定める労働三権等、労働関係調整法と公務員に対する制限を学びます。第三に労働市場を巡る諸問題について学修します。高齢者・外国人雇用、長時間労働などがその内容です。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No11 | 社会保障制度: 社会保障制度の歴史、社会保険、公的扶助、社会福祉、少子高齢化などを学修する。 | 第一に、社会保障制度の歴史について学修します。具体的にはエリザベス救貧法、社会保障法(米)、ベヴァリッジ報告(英)などを学びます。第二に、社会保障制度の概要を学修します。具体的には、社会保険(医療・介護・年金・労働)、公的扶助(生活保護)、社会福祉、公衆衛生などを学びます。第三に、少子高齢化について学修します。具体的には高齢化率の推移と高齢化の原因、高齢者福祉の充実、少子化対策、社会保障と税の一体改革などを学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No12 | 日本経済の諸問題: 中小企業問題、農業問題、消費者問題、公害問題、都市問題などを学修する。 | 第一に、日本の中小企業を巡る問題について学修します。具体的には中小企業の定義、中小企業の割合と大企業との格差、中小企業の種類、中小企業が抱える問題と法規制などを学びます。第二に、消費者に関わる問題について学修します。具体的には有害商品、欠陥商品、誇大広告、悪徳商法、食の安全に関わる問題と消費者を保護するための法規制の整備などを学びます。第三に、公害問題や都市への人口集中とそれに付随して発生する問題について学修します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No13 | 国際経済1: 国際収支表、貿易理論、金本位制、固定相場・変動相場制、GATT、WTOなどを学修する。 | 第一に、国境を超える取引の記録と貿易の基礎理論を学修します。具体的には国際収支表(経常収支・金融収支等)、保護貿易と自由貿易のそれぞれの論理について学びます。第二に、国際通貨体制の変遷について学修します。具体的には戦前の金本位制度、戦後のブレトン・ウッズ体制(固定相場制度)、固定相場制度崩壊の過程などを学びます。第三に自由貿易体制の変遷について学修します。具体的には戦後のGATT体制とその基本原則、自由貿易交渉の概要について学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |
| No14 | 国際経済2: 欧州経済の統合と動揺、地域的経済統合、南北問題、ODA(政府開発援助)などを学修する。 | 第一に欧州経済の統合と動揺について学修します。具体的には欧州連合形成までの歩み、共通通貨ユーロ導入までの歩み、EU拡大に向けた動きなどを学びます。第二に、地域的な経済統合の進展について学修します。具体的には、世界各地で相次いで結ばれている自由貿易協定の概要、WTO枠外での経済統合のメリットとデメリットについて学びます。第三に世界的な経済格差と対立の問題について学修します。具体的には南北問題、ODA、貿易摩擦の問題などを取り上げます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。 | 60 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング I BE-A |
| 講義名(英字) | Marketing I |
| 担当教員 | 上條 典夫 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|-----|---|-----|--|-----|--|-----|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>マーケティングとは、人間や社会のニーズを見極めてそれらに応えることであり、その本質は「顧客を知ること(リサーチ)」と「顧客に知らせること(コミュニケーション)」といえます。本講義では、20世紀から21世紀へのマーケティングの変遷をたどりながら、各時代におけるマーケティングのフレームワークを学び、次に、マーケティング効果を高めるコミュニケーション戦略について解説します。広告会社電通で40年間培った経験で事例を紹介、楽しい授業にします。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>マーケティングの本質・その目的と戦略等に関する理解する。 マーケティングのエッセンスと全体像を把握するとともに、時代や社会とのかかわりについて、事例等を踏まえ理解すること。</p> <p>マーケティング戦略における各種フレームワークの理解 4Pモデル、STPモデル、3iモデル、SIPSモデル、5i理論等について、その目的、特徴、考え方を理解すること。</p> <p>マーケティングコミュニケーションの展開事例を学ぶ マーケティングマインドを醸成するためには、消費者視点から問題意識を持つことが必要。それを事例などから学び理解すること ソーシャル・マーケティングの内容とその重要性を理解するとともに、SDGs視点のマーケティングに関する最新事例と概要を把握する SDGsの概念とソーシャ・マーケティングの本質を理解し、社会課題解決と利益確保の方法論を探求すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 特にありません。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 社会に出て役立つ実践的な学び | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 特になし | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|---------|------|----------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 授業態度 | 30% | 学校の基本方針にのっとり評価 | |
| | レポート・試験 | 70% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】 講義の内容や順番は変更する場合があります

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|--------------------|---|-----|---|
| No1 | イントロダクション | マーケティングとは？その変遷とマーケティング・コミュニケーションについてと私自身の経験紹介 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモのチェック | 120 | 分 |
| No2 | マーケティングの変遷① | マーケティング1.0(1900～1960 製品・価格中心、4Pモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモのチェック | 120 | 分 |
| No3 | マーケティングの変遷② | マーケティング2.0(1970～1980 顧客志向、STPモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの変遷③ | マーケティング3.0(1990～2000 社会的責任、ブランドの3iモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No5 | マーケティングの変遷④ | マーケティング4.0(2010～ SIPSモデル、AISASモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No6 | マーケティング・コミュニケーション① | マーケティング・コミュニケーションとはなにか？ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No7 | マーケティング・コミュニケーション② | 消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する① | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No8 | マーケティング・コミュニケーション③ | 消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する② | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No9 | マーケティング・コミュニケーション④ | 広告展開におけるマーケティング事例① | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No10 | マーケティング・コミュニケーション⑤ | 広告展開におけるマーケティング事例② | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|--------------------|-------------------------------------|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No11 | マーケティング・コミュニケーション⑥ | コミュニケーションミックスと広報・PR | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No12 | マーケティング・コミュニケーション⑦ | スポーツイベント・音楽イベントにおけるマーケティング | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No13 | マーケティング・コミュニケーション⑧ | 競争優位のブランド・マネジメント | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No14 | ポストコロナ時代のマーケティング | ソーシャル・マーケティングとは～SDGsを軸にしたマーケティングの潮流 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング I BE-B |
| 講義名(英字) | Marketing I |
| 担当教員 | 花尾 由香里 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|--------------------|--|---|-----|---|-----|---|------|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | この授業では、マーケティングの基本的な理論と戦略について学習する。企業の経営活動の中で、マーケティングがどのような役割を担っているのかを学んだ後、戦略を立案する際に必要な分析方法や理論を中心に解説を行う。実在の企業や商品の例を取り上げ、マーケティングを現実的なものとして活用できるようになることも目的としている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること マーケティングに関する基本的な分析手法について、正確に理解できるようになること マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるようになること | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 「マーケティング論Ⅱ」も引き続き受講することが望ましい | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 対面授業 授業中に、リアクションペーパーの提出を求めていることがある | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用しない コースパワーに毎回資料を配布する | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| | 評価項目と割合 | | | | | | 評価方法 | |

| | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか | 30% | 学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可 |
| | マーケティングの基本的な分析手法について、正確に理解できているか | 40% | |
| | マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるか | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|-------------------|
| 【その他の注意事項】 | 私語を慎み周囲に迷惑をかけないこと |
|------------|-------------------|

| | | | | | |
|----------|------|---------------------|--|-----|---|
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | マーケティングとは | 授業の内容と進め方について説明した後、基本的なマーケティングの考え方について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスと資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No2 | マーケティング・コンセプト | マーケティングの考え方が時代とともにどのように変化して来たかを学んだあと、将来的な課題やマーケティングの役割について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No3 | マーケティングの範囲 | マーケティングを実行する範囲や企業が取り扱う商品の範囲について解説する | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No4 | マーケティングにおける4P戦略 | マーケティングにおける4Pの概念を学んだあと、マーケティングを実行するプロセスについて解説する | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No5 | 環境分析 | 企業を取り囲む環境とは何かを学んだあと、環境分析の手法について解説する | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No6 | 市場細分化 | 市場細分化の理論について学んだあと、消費者をタイプ分けする手法やターゲット選定について解説する | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No7 | ポジショニング分析 | 製品差別化について解説した後、商品や企業のポジショニング分析の手法を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No8 | 製品ライフサイクル論 | 製品の寿命とライフサイクルについて解説し、ライフサイクルに応じた戦略を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No9 | ポートフォリオ分析 | 企業が抱える複数の商品を分類する手法や、投資の優先順位について解説する | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | No10 | 企業の成長戦略 | アンゾフの製品・市場マトリクスについて解説した後、企業の成長戦略について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 | |

| | | | | |
|--|------|----------|---|-------|
| | | 競争分析 | 競争相手を分析する手法や、企業の地位別戦略について学ぶ | |
| | No11 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 分 |
| | | 製品戦略1 | 製品とは何かを詳しく解説した後、成功している実在の製品を取り上げたケーススタディを行う | |
| | No12 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 分 |
| | | 製品戦略2 | 新製品を成功させる困難さについて解説した後、新製品開発プロセスについて学ぶ | |
| | No13 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 分 |
| | | まとめと復習 | 講義内容の総括を行い、より深く理解を高める | |
| | No14 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング I BE-C |
| 講義名(英字) | Marketing I |
| 担当教員 | 広瀬 盛一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | マーケティングの基礎知識から、マーケティングにおけるマネジメントの考え方、マーケティングの実際までを理解する。マーケティングは、商品やサービスの販売を促進する手段として捉えられがちであるが、企業の戦略や非営利組織の活動とも深く関わっている。製品を開発する企業、製品を消費者に届ける流通業、製品を購入し利用する消費者など、様々な視点からマーケティングを学習する。テキストだけでなく、事例なども用いて理解を深める。 | | | | | |
| 【到達目標】 | マーケティングの設問に対する回答によって評価。マーケティング 基本的な用語につ の定義、コンセプトの変遷、マーケティング・ミ 25% いて理解し、説明 ックス、マーケティングの範囲について答えられること。 市場環境の分析について理解し、説明できること 消費者行動とマー 設問に対する回答によって評価。消費者を購入にケティング戦略に 導く、動機づけやそのフレームワーク、個人的な要因つ いて理解し、説 要因について答えられること。 | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 教科書の内容理解を中心として、実例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 『現代マーケティング論』第2版 実教出版 | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |

| | | | | |
|------------------------------|---------------|------|-----------------------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 期末試験 | 75% | 期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。 | |
| | 授業内容についてのレポート | 15% | | |
| | 授業への参加確認 | 10% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|--------------------|--------------------------------|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方、マーケティングとは何かについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No2 | マーケティングのコンセプトと基本用語 | マーケティング・コンセプトの変遷について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No3 | マーケティング・ミックス | 4Pの概念について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの範囲 | マーケティングの対象について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No5 | 事例研究(1) | ブランドの事例を説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No6 | 市場環境の分析(1) | 企業のミクロ環境、SWOT分析について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No7 | 市場環境の分析(2) | 企業のマクロ環境、人口動態環境などについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No8 | 消費者行動(1) | 消費者の意思決定プロセスについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No9 | 消費者行動(2) | 消費者の意思決定に影響する要因について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No10 | マーケティング戦略の基礎 | 市場細分化、ターゲティング、ポジショニングについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|--------------------------|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No11 | 製品戦略(1) | 製品の捉え方について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No12 | 製品戦略(2) | サービスや組織のマーケティングについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No13 | 事例研究(2) | 製品戦略の事例について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No14 | 製品開発 | 製品開発と製品ライフサイクルについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング I BE-D |
| 講義名(英字) | Marketing I |
| 担当教員 | 深澤 琢也 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|---------|------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | マーケティングとは、顧客に商品やサービスの価値を届ける(顧客に買ってもらう)ための仕組みをすることです。本講義では、マーケティングとはそもそも何なのか、いつから登場した概念なのか、上手にマーケティングをするために企業はどのような分析を行う必要があるのかといったことを中心に学びます。本講義では、多くの企業事例を例示し、マーケティング理論とマーケティングの実際を行き来できる講義展開が期待できると思います。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | マーケティングに関する基本用語を正しく説明できること。 企業のマーケティング戦略について正しく説明できること。 企業の成長戦略と競争戦略について正しく説明できること。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1年生は特にありませんが、2年生以上はマーケティング関連の科目(流通論、広告論、消費者行動論)のいずれかを並行して履修していると理解が深まります。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義形式で教授する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <参考書> 小川孔輔『マーケティング入門』、日本経済新聞社、2009年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>評価項目と割合</td> <td>評価方法</td> </tr> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|----------------------------|------|-----------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。 | 25% | 設問に対する回答によって評価。 |
| | 企業のマーケティング戦略について正しく理解している。 | 50% | |
| | 企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。 | 25% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|-------------------------------|
| 【その他の注意事項】 | 遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。 |
|------------|-------------------------------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|----------------|---------------------------|-----|---|
| No1 | イントロダクション | マーケティングへの招待、講義内容説明、成績評価説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No2 | マーケティングの仕組み(1) | マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No3 | マーケティングの仕組み(2) | マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの発展史 | マーケティングの誕生と発展史を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No5 | マーケティング計画の策定 | 企業のマーケティング計画を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No6 | マクロ環境分析(1) | マーケティング実行に影響する要因を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No7 | マクロ環境分析(2) | マーケティング実行に影響する要因を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No8 | 顧客の分析方法(1) | 多様な顧客の分類方法について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No9 | 顧客の分析方法(2) | 多様な顧客の分類方法について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No10 | 市場戦略(1) | 企業の成長戦略を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |

| | | | | | |
|------|-----------------|-----------------------|------------------|-----|---|
| | No11 | 市場戦略(2) | 企業の競争対応を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No12 | マーケティング・リサーチ(1) | 市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No13 | マーケティング・リサーチ(2) | 市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 | |
| No14 | 総括 | 春学期の学習ポイントについての理解を深める | | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング I BE-E |
| 講義名(英字) | Marketing I |
| 担当教員 | 山川 悟 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|--------------------|---|-----|---|------|---|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | マーケティングとは、企業と顧客との関係を良好なものとし、商品やサービスが売れ続けていくための基盤をつくる活動です。戦略策定やコンセプト開発、商品企画、販売促進、広告、広報、消費者調査、顧客行動分析など、幅広い範囲がここに含まれます。本講義では、マーケティング理論や最新の事例を知るだけでなく、自ら企画立案する体験などを通じ、思考力と創造力の両側面を鍛える場にしていきたいと思ひます。 | | | | | |
| 【到達目標】 | ①商品・店舗・広告・消費行動を、企業側の視点から見られるようになる ②マーケティングの実務内容に触れたうえで、自身の進路について語れるようになる ③フレームワークに基づき、簡単な商品・プロモーション企画を立案できるようになる | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。 | | | | | |
| 【教育方法】 | ・講義中の個人・グループワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。 | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講します。 | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | |

| | | | |
|------------------------------|------------------------------|------|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語ることができる | 30% | およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価 |
| | 自らの進路と関連させてマーケティングの仕事を説明できる | 30% | |
| | 創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる | 40% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|------|
| 【その他の注意事項】 | 特になし |
|------------|------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|---|-----|---|
| No1 | マーケティングの考え方 | まず具体的な商品を想定し、「商品企画」「販売前」「販売後」の3段階において必要なマーケティング施策を考えてみる。次に、マーケティングという言葉が生まれた20世紀前半の米国における考え方と、消費者主導となった近年における考え方がどう異なるかを理解する。さらに今日の経営環境に必要な視点、マーケッターに要請される基礎能力についても学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No2 | 今日のマーケティング課題① | 今日の企業は厳しい競争環境に晒されている。本講義では、差競合との差別化、潜在ニーズ発掘、顧客理解、チャネル開発など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No3 | 今日のマーケティング課題② | 前回に引き続き、決済方法の改革、話題になる売り方、顧客経験価値、社会全体の利益、ブランド価値向上、デジタル対応など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの仕事研究 | マーケティングは特殊な仕事ではなく、どの業種・企業においても不可欠な機能である。ここでは営業・販売との目線の違いや、6種のマーケッター(商品開発、販売促進、広告宣伝、ブランディング、営業企画、広報PR)の実務内容について具体的な事例から学ぶ。マーケティングに関連する資格や資質についても言及する。最後に、現在のビジネス課題から、マーケッターとしてどんな対応をすべきか考案し、議論を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No5 | 商品コンセプト事例研究 | 商品の魅力や特長を端的な言葉で表し、それを伝えていく「コンセプト」の重要性を学ぶ。20の商品事例から、個々のコンセプトがどのような観点から規定されているのかを考える。ここでは、5つのコンセプト策定法があることを理解する。また、採り上げた事例の中でヒットしそうだと思う商品とその理由について考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------|---|-----|---|
| No6 | コンセプトワーク実習 | 今日は意味を消費する社会であり、あらゆるフィールドでコンセプトが明快な商品だけが生き残っている点を理解する。また、コンセプトの伝え方についての事例研究を行う。講義の最後に、創造性開発フレームワークに基づき、消費者ニーズと企業シーズの結節点から、飲料の新商品の企画立案を試みる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No7 | 消費者心理の事例研究 | 商品がヒットした背景には微妙な消費者心理、インサイトが込められている。本講義では、利便性や価格といった表面的な理由からでは説明できないヒット要因を、13の事例から考え、議論していく。また、ありがちな消費者心理をヒントに、新たな商品・サービスの考案を試みる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No8 | 前半総括と講義に関するQ&A | 前半授業についての総括、および学修達成度確認のためのレポート提出を行う。レポート課題は「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 1～7回までの講義資料を見直す | 240 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う | 120 | 分 |
| No9 | リサーチとインサイト発見法 | 目的・状況に応じた適切なマーケティング調査の手法を理解し、アンケートが万能でないことを認識する。また、ライオンやサントリーなどの事例から、消費者心理の深層「インサイト」を発見し、それを商品企画などに反映させていく8つの手法についても学んでいく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No10 | 販売促進の手法と事例研究 | マーケティング4Pの中で、購買への直接的な動機付けとなるセールスプロモーションの位置づけと、サンプリング、景品、値引き、消費者教育、コンテスト、制度型プロモーションからWeb活用販促に至るまでの消費者向け販促の9つの手法を、具体的な事例とともに学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No11 | 今日の販売促進 | 今日の販売促進は、他の手法と結びつくことで複合的な効果を生み出している。ここではブランディングやCSR、PR等とも密接に関わる今日的な販促手法を学ぶ。また、フレームワークに基いた販促企画プランの立案を試みる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No12 | 広告の歴史と機能 | 近代的なマスメディアが存在しなかった江戸期の広告手法と、それらの今日的な共通点を考えることで広告の本質について理解する。また、「大量消費を促す」「メディアの経営を健全化する」「新たな欲求を作り出す」など、現代の広告の10の機能を理解する。さらには意外に知られていない広告と広報の違いについても考える。最後に、広告会社が提案した広告企画案を批判的に分析するディスカッションを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|--------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No13 | 広告媒体とクリエイティブ | 広告効果とメディアミックス、媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、交通・屋外、インターネット)の種類と特性について学ぶ。また、新たな媒体開発の考え方、広告表現のパターン、広告制作の実際など、広告ビジネスの実態についても触れる。最後に、二つのターゲットを想定したメディアミックス案を自ら考えるワークに取り組む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No14 | 流通業のマーケティング | 立地戦略、商品陳列、店頭販促、品揃え、価格戦略、商品開発(プライベートブランド)、物流戦略、ネット活用、業態開発など、流通業特有のマーケティング手法について、具体的な事例から学んでいく。身近な流通業だが、その背景にある課題や考え方をすることで、店舗や商品への見方が変わってくる。最近行った店で、本講義で示した工夫が施されていた事例について議論する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 会計学 I BE-A |
| 講義名(英字) | Accounting I |
| 担当教員 | 石塚 一彌 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 企業活動に直接関係していない学生にとっては、理論としての会計学が実感としてはなじみの薄い学問となっている。このような会計学が“本来は”受講生に身近な領域であることを本講義を通じて感じてもらうことを最大の目標としたい。春学期は、まず、会計へのイメージづくりを眼目とし、会計の考え方(理論)を中心に、講義を進める。 | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 基礎的前提に関する知識の修得の有無 財務会計に関する基礎的な知識の修得の確認 財務会計に関する理解の深度の確認 | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇ とくになし。 | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 担当教員が独自に作成した資料に基づいて講義を進める。かつ、授業中に適宜学生からの質問に対応して、講義中における履修者の理解を得ることを目標とする。 | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇ 毎回レジュメを配付し、それによって講義を行う。 | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td>突破力</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | 突破力 | 忍耐力 | ○ | 協働力 | 主張力 | 創造力 | | |
| 自制力 | 思考力 | 突破力 | 忍耐力 | ○ | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | 創造力 | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|----------------|------|-----------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
| | 授業への積極的な関与の度合い | 30% | 左記の評価項目を総合的に判断して履修者への評価とする。 |
| | 予行試験の結果 | 30% | |
| | 本試験の結果 | 40% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】 ◇毎回テーマの違うレジュメを受講者本人にのみ配付するので、毎回出席することが重要である。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------------|---|-------------|---|
| No1 | オリエンテーション | 会計の意義、特にその必要性について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 会計というものの存在意義をあらかじめ各自考えておく。 | 1 2 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | なぜ会計は人間社会において必要なのかその必然性について理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| No2 | 会計の役割・機能と基礎的前提 | 会計の役割・機能と、会計が成立する基礎的前提を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 会計の果たす役割・機能を各自があらかじめ考えておく。 | 1 2 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会計の基本的な役割・機能と、会計が成立するための「あたりまえ:基礎的前提」について理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| No3 | 会計用語の概念整理と会社の活動 | 会計用語の基本的な用語の整理と会社の具体的な活動の分類について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 会計を学ぶ上で必要な用語について各自があらかじめ無作為に学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会計特有の言い回しと会計の対象とする会社の具体的な活動を理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| No4 | 2つの会計情報 | 会計が会社の利害関係者にもたらす2つの情報(財政状態と経営成績)について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 利害関係者の知りたい2つの情報の意義をあらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会社の利害関係者が欲する、2つの会計情報の意味と関係について理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| No5 | 会計のルール(基準) | 会計が機能するための一定のルール(一般に公正妥当と認められる企業会計の基準)について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 会計慣行上、収斂されてきた7つの一般原則の意義について、各自があらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会計のルールの基本となる7つの一般原則について理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| No6 | 経営成績の内容 | 会計のもたらす2つの情報のうち、「経営成績」の内容についての基本的な理解を得る。 | | |
| | 予習内容(時間) | 会計の基本となる会社の活動を示す経営成績の意義を各自が再考しておく。 | 1 2 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 会計情報としての「経営成績」を把握するための基本的な考え方を理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| | 「収益」の具体的な内容 | 「経営成績」のうち、「収益」の具体的な事例について学ぶ。 | | |

| | | | | | |
|--------|------|-----------|---|-------------|---|
| 【授業計画】 | No7 | 予習内容(時間) | 会計理論上「収益」の基本的考え方を各自があらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 会社の具体的な活動における「収益」のとらえ方(どのように会計情報として把握するか)を学ぶ。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 財政状態の内容 | 会計のもたらす2つの情報のうち、「財政状態」の内容についての基本的な理解を得る。 | | |
| | No8 | 予習内容(時間) | 経営成績との関連において、財政状態の意義を各自が考えておく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 「財政状態」のうち、特に「資産」の内容について学ぶ。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 資産の認識と測定 | 「資産」を構成する2つの資産(事業用資産と金融資産)の認識と測定について理解する。 | | |
| | No9 | 予習内容(時間) | 運用形態としての資産の意義を各自があらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 事業用資産と金融資産で測定内容が異なる理由を理解し、特に事業用資産の費用に関する認識・測定について、具体的な事例にもとづいて理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 負債の認識と測定 | 「財政状態」の内容のうち、「負債」についての基本的な理解を得る。 | | |
| | No10 | 予習内容(時間) | 会社にとっての負債の意義を各自があらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 典型的な「負債」である「買掛金」や「借入金」と会計特有の負債概念としての「引当金」について理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 資本の認識と測定 | 「財政状態」の内容のうち、「資本」についての基本的な理解を得る。 | | |
| | No11 | 予習内容(時間) | 会社にとっての資本の意義を各自があらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 基本的な「資本」概念を理解するとともに、実際の制度において会社の利害関係者への対応上、「資本」がどのように扱われるかを学ぶ。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 経過勘定項目 | 現金主義と発生主義の「橋渡しの機能」を有する4つの経過勘定項目の内容を理解する。 | | |
| | No12 | 予習内容(時間) | 会計理論の原則的考え方である発生主義と現金主義の意義を各自が再考しておく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 4つの経過勘定項目の「見越し」と「繰り延べ」の意味を理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 繰延資産と有価証券 | 会計特有の概念である「繰延資産」の内容を理解する。さらに、「有価証券」の意義と会計上の4分類について理解する。 | | |
| | No13 | 予習内容(時間) | 会計特有の概念である「繰延資産」と、実務上活用される「有価証券」の会計理論的意義、各自があらかじめ学んでおく。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 擬制資産である繰延資産の意味と、有価証券の経済的意味、制度的意味との関係において会計上の4分類を理解する。 | 1 2 0 | 分 |
| | | 春学期のまとめ | 春学期の会計のまとめとしてのチェックテストを実施し、履修者各自の会計への理解を深める。 | | |
| | No14 | 予習内容(時間) | 特になし。 | 0 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | チェックテストにおいて理解の足りなかった箇所の総復習を行う。 | 2 4 0 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 会計学 I BE-B |
| 講義名(英字) | Accounting I |
| 担当教員 | 土井 充 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「会計学Ⅰ」および「会計学Ⅱ」を通じて、経営学科の諸科目を学修するための基礎となる、財務会計および管理会計などに関する入門的な領域を取り上げます。 株主など企業に経済的な利害関係を持っている外部の人たちに情報を提供するため、企業の経済活動を記録・計算・整理し、伝達するシステムを財務会計といいます。企業は、この記録・計算・整理・伝達を「会計基準」などの一定のルールに従って行っています。「会計学Ⅰ」では、この“ルール”とその背後にある基礎的な理論の理解を深めていきます。 | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きができること 財務会計に関する法制度や基準等を理解していること 損益計算・資産評価などが国の会計基準の特徴を理解していること | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 本講義では、(1)宿題、(2)小テスト、(3)定期試験、および(4)出欠の確認を行います。予習・復習ができ、積極的に授業に参加する学生の履修を望みます。 | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 本講義では、配布プリントを用いながら各テーマを説明し、必要に応じて、適宜ケースを用いながら理解を深めていきます。 | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | ・教科書: 使用せず。 ・参考書: 必要に応じて演習中に配付します。 | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | |

| 標】 | 協働力 | 主張力 | 創造力 | |
|------------------------------|----------------------------------|------------------|---|-------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きができること | 30% | 3分の2以上の出席を前提として試験60%、レポートないし小テスト40%で評価する。 | |
| | 財務会計に関する法制度や基準等を理解していること | 30% | | |
| | 損益計算・資産評価などが国の会計基準の特徴を理解していること | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |
| 【その他の注意事項】 | 特になし。 | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | |
| | No1 | 1 ガイダンス | 講義の概要、成績評価の説明、会計の意味 | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスを確認し、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No2 | 会計の種類 | 財務会計の位置づけ | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No3 | 制度会計 | 財務会計への法規制、会計基準等、財務会計の機能 | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No4 | 複式簿記の基本原 理(1) | 仕訳と転記のルール | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No5 | 複式簿記の基本原 理(2) | 貸借対照表と損益計算書の作成 | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No6 | 貸借対照表の読み方 | 貸借対照表の様式 | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No7 | 棚卸資産の会計 | 商品の取得原価、製品の製造原価 | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 分 |
| | No8 | 金融資産の会計 | 金融資産の種類、取得原価、期末評価 | |
| | | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 分 |

| | | | | |
|------|----------------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 | 分 |
| No9 | 有形固定資産の会計 | 有形固定資産の取得原価、減価償却 | | |
| | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 | 分 |
| No10 | 無形固定資産と繰延資産 | 無形固定資産の取得原価と償却、繰延資産の種類と資産性 | | |
| | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 | 分 |
| No11 | 損益計算書の読み方 | 損益計算書ならびに包括利益計算書の様式 | | |
| | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 | 分 |
| No12 | 期間損益計算の基本原則(1) | 伝統的会計における損益計算の仕組み | | |
| | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 | 分 |
| No13 | 期間損益計算の基本原則(2) | 5ステップモデルによる収益認識方法 | | |
| | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。 | 120 | 分 |
| No14 | 財務会計の目的とルール | 投資意思決定に役立つ会計と利害調整に役立つ会計 | | |
| | 予習内容(時間) | 配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の復習をし、課題に取り組む。これまでの講義のまとめを行う。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 会計学 I BE-C |
| 講義名(英字) | Accounting I |
| 担当教員 | 福山 倫基 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 本講義では、会計学の基礎となる考え方やルールおよびその手法を学習します。前期では会計学の学問体系を、ゲームを活用したアクティブラーニングを軸にして学んでもらいます。その中でも、財務会計領域の学習を進めていきます。本講義を通して、財務諸表を読めるようになったり、分析をすることができるようになることの基礎を学んでいただければ幸いです。前期・後期の講義を通して、会計学に対して興味関心を持って頂けるよう講義していこうと思います。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 財務諸表を見てその会社の特徴を大まかに理解できるようになる 財務諸表を作成するために必要なルールを理解する 日本特有の利益計算や資産評価などに関するルールを理解する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | ◇教科書:開講時に指示する。 ◇参考書:開講時に指示する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|---------------|------|--------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
| | 中間テスト | 20 | 左記を合算して評価する。 |
| | 期末試験 | 70 | |
| | 会計教育に関するアンケート | 10 | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の留意事項】 他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|------------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 講義の進め方および成績評価方法についての説明、大学における経営科目の学習の意義や会計を学ぶ意義、並びに簿記の目的・意義なども併せて講義する。初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスを読んでくること | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の講義のノートをまとめる | 120 | 分 |
| No2 | 経営シミュレーション1 | 担当教員が作成した経営シミュレーションゲーム上で生じた儲けの金額を自分のルールで記録する | | |
| | 予習内容(時間) | 前回講義のノートを振り返る | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゲームで得た内容の振り返り | 120 | 分 |
| No3 | 経営シミュレーション2 | 担当教員が作成した経営シミュレーションゲーム上で生じた儲けの金額を複式簿記ないし会計のルールで記録する。このことを通して経営活動を数値から解釈するには会計の知識が必要なことを認識する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回のゲームの振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の講義で得た知見をノートにまとめる | 120 | 分 |
| No4 | 財務諸表の読み方基礎編 | もっとも簡単な財務諸表の読み方を学ぶことで、おおまかな企業の特徴のとらえ方を学習していきます。今回の講義で学習することだけでも社会に出るときに役立つ知識を得ることができるので、演習はしっかり行うこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回までの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義時間中に覚えるべきと強調した部分と演習内容をまとめる | 120 | 分 |
| No5 | 財務諸表を作成するためのルール1 | 財務諸表を作成するための様々な原則を学習していく。この会では、財務会計のルールが法制度をベースに作られている制度会計の側面を学習していく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回講義までに行った内容の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | この回からノートする部分が多いのでノートをまとめる | 120 | 分 |
| No6 | 財務諸表を作成するためのルール2 | 貸借対照表を作成するうえでおおまかなルールを学習する。特に、貸借対照表では資金調達と資金投下の関係を記録することで企業の財政状態を明らかにするものであるため、そのことを記録するための手段と、貸借対照表の読み解き方を学習すること。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回講義までに行った内容の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中に行ったノートをまとめる | 120 | 分 |
| | 財務諸表を作成するためのルール3 | 損益計算書を作成するうえでおおまかなルールを学習する。特に、損益計算書では営業活動における努力とその成果を記録することで企業の経営成績を明らかにするものであるため、そのことを記録するための手段と、損益計算書の読み解き方を学習すること。 | | |

| | | | | | |
|--------|------------------|---|---|-----|---|
| 【授業計画】 | No7 | 予習内容(時間) | 今までの講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義中に行ったノートをまとめる | 120 | 分 |
| | No8 | 中間試験 | これまで行った講義内容の試験を実施. | | |
| | | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 200 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 中間試験内容の振り返り | 120 | 分 |
| | No9 | 貸借対照表に関する特別なルール1 | 棚卸資産・金融資産・有形固定資産・無形固定資産と繰延資産に関して学習する. 特に棚卸資産部分における原価配分は、今後会計を学習していくなかで複数回似た考えが出てくるため特に力を入れる. | | |
| | | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義ノートの作成 | 120 | 分 |
| | No10 | 貸借対照表に関する特別なルール2 | 引き続き棚卸資産・金融資産・有形固定資産・無形固定資産と繰延資産に関して学習する. 今回は固定資産の中の減損会計における事例を中心に説明をしていく. このことを通して大学講義における事例研究の仕方でも学習すること. | | |
| | | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義ノートの作成 | 120 | 分 |
| | No11 | 損益計算書に関する特別なルール1 | 収益・費用認識について、特に費用の認識基準といった、経営活動の流れの中でどのタイミングで費用を計上すればいいかを学習する. | | |
| | | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義ノートの作成 | 120 | 分 |
| No12 | 損益計算書に関する特別なルール2 | 収益・費用認識について、特に収益の認識基準について講義する. 収益の認識基準は費用の認識の例外事項が多いため、ケースに応じた認識基準を設定できるように学習を進めること. | | | |
| | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義ノートの作成 | 120 | 分 | |
| No13 | 財務諸表を分析する | 前期最後の内容として財務諸表分析について講義する. どのような観点で財務諸表は分析すべきか、また、分析を行うためのツールにどのようなものがあるか、その使い方はどうすればよいか述べていく. | | | |
| | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 講義ノートの作成 | 120 | 分 | |
| No14 | 前期総括 | 前期の総括と、前期講義を受けた受けてで会计学、特に財務会計に興味を持った場合、次年度以降にどのような学習の計画を立てればよいかも述べていく. | | | |
| | 予習内容(時間) | これまでの講義の振り返り | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 前期内容の復習 | 300 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 会計学 I BE-D |
| 講義名(英字) | Accounting I |
| 担当教員 | 光澤 美芽 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>本講義は、会計学の全般的な知識を習得するため、財務会計、管理会計、財務分析、財務諸表監査等の各分野に関する基礎概念について取り扱う。春(前)期の「会計学Ⅰ」と秋(後)期の「会計学Ⅱ」は連続講義である。</p> <p>具体的には、まず「会計学Ⅰ」では、会計学の基礎となる複式簿記の基本ルールを学習し、会計の意義や種類、機能、役割について学ぶ。そのうえで、財務諸表が提供している会計情報の意味を理解することを第一の目標とする。すなわち財務会計分野が中心となる。また、国際的に統一された会計基準であるIFRSの概要についても触れる。</p> <p>さらに「会計学Ⅱ」では、提供された会計情報は、立場の異なる利用者によりどのように活用されるのかといった、財務諸表の読み方などについて学習する。連結会計や税務会計なども含め、発展的な内容を学習する。</p> |
| 【到達目標】 | <p>【簿記・会計に関する専門用語を正しく理解し、説明できる】 会計の意義、会計の種類、会計に関する基礎的な用語や概念を理解し、会計の役割や機能を説明できること。</p> <p>【複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きと財務諸表の関係を理解する】 仕訳のルール、損益計算書や貸借対照表の意義および構造を理解し、説明ができること。</p> <p>【財務3票の意義と役割を理解し、説明できる】 財務会計分野で作成・利用される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の3つの財務諸表が提供している情報の意義と、その役割について理解し、説明できること。また、それらの作成に係る具体的な会計手続きや、その背景にある会計理論について理解していること。加えてIFRSの意義を理解し、説明できること。</p> |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 本講義は「会計学Ⅰ」と「会計学Ⅱ」を連続して履修することを条件とする。 |
| 【教育方法】 | 以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。 |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 中尾篤史著『会計の基本教科書』日本能率協会マネジメントセンター(¥2,200) |

| | | | | | |
|------------|-----|-----|---|-----|-----|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | |

| 評価項目と割合 | 評価方法 |
|---|------|
| 簿記・会計に関する専門用語を正しく理解し、説明できる | 20% |
| 複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きと財務諸表の関係を理解する | 20% |
| 財務3表の意義と役割について理解し、説明できる | 60% |
| 合計 | 100% |

授業内に行う確認テスト(小テスト)65%、本試験35%により総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる条件となる。

【その他の注意事項】 他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|---------------|---|--|-----|---|
| No1 | ガイダンスおよびイントロダクション | 授業内容、講義の進め方、成績評価などについて。企業会計の仕組みと役立ち、会計学の諸領域について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No2 | 会計の意義と役割(1) | 企業会計の流れと財務諸表の関係、会計の基礎構造について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No3 | 会計の意義と役割(2) | 企業会計に対する法規制とその目的、会計の概念、国際財務報告基準について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No4 | 財務諸表監査 | 監査とは、監査の種類と目的、監査報告書と監査意見について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No5 | 複式簿記の基礎原理(1) | 複式簿記の原理、貸借平均の原理、損益計算の仕組み、簿記一巡の手続きについて。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No6 | 複式簿記の基礎原理(2) | 仕訳帳と元帳、試算表と精算表、決算整理、費用・収益の見越し・繰延べについて。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No7 | 財務会計の損益計算書(1) | 財務3表、損益計算書等式、発生主義と3つの原則、収入と収益、売り上げの認識時点について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No8 | 財務会計の損益計算書(2) | 支出と費用、売上原価の認識と計上、原価配分、税効果会計の基本について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| 財務会計の貸借対照表(1) | 貸借対照表の意義と構成要素、資産・負債の区分と基準、有価証券の分類と期末評価、棚卸資産の評 | | | |

| | | | | |
|------|-------------------|--|-----|---|
| | | 価について。 | | |
| No9 | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No10 | 財務会計の貸借対照表(2) | 経過勘定、有形固定資産の意義、減価償却、減損、無形固定資産の意義、知的財産、のれん、ソフトウェア、繰延資産について。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| No11 | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| | 財務会計の貸借対照表(3) | 負債の概念と意義、引当金、純資産の概念、利益剰余金の処理、自己株式の扱い、株主資本等変動計算について。 | | |
| No12 | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No13 | 財務会計のキャッシュ・フロー計算書 | キャッシュ・フローとは、キャッシュ・フロー計算書の意義、キャッシュ・フロー計算書の表示区分、フリー・キャッシュ・フローについて。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| No14 | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| | 国際財務報告基準(1) | IFRSとは、IFRSの意義、IFRSの特徴について。 | | |
| No13 | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |
| No14 | 国際財務報告基準(2) | IFRS導入の影響について。 および春(前)期の総復習。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。 | 60 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。 | 180 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 発展科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 会社法 I BE-A |
| 講義名(英字) | Corporate Law I |
| 担当教員 | 隅田 浩司 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>皆さんが就職をするにせよ、起業をするにせよ、会社法の知識は不可欠です。この講義では、会社法に関するさまざまな事件を取り上げて、会社法とは何か、そして会社法を使いこなしてビジネスをするにはどうしたらよいか、について学びます。会社法をきちんと理解しておく、ビジネスのあらゆる場面で役に立ちます。株式会社の『株式』とは何か、株主になるとどんなメリットとリスクがあるのか、もし会社の取締役になるとどんな責任を問われるのかといった経営において大切な知識が身につきます。</p> |
| 【到達目標】 | <p>会社法の全体構造を把握した上で、株式会社の基本的な仕組み、組織体制と会社法の関係について理解することができる</p> <p>コーポレート・ガバナンス(企業統治)について、会社法の重要論点の内容を理解することができる</p> <p>会社法のうち、コーポレート・ガバナンスについて、新しい論点に対して、どのように考え、課題を解決すべきかについて、会社法の解釈・方法論に基づく課題解決ができる</p> |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 特になし。会社法は、ビジネスの基本となる法律なので、全学生の履修を推奨する。 |
| 【教育方法】 | 講義形式、ただし、講義中に行うQ&Aスタイルのオンライン投票システム(クリッカー)を使用する。また、対面形式の講義開催の場合は、受講生同士のディスカッションを行う場合がある。 |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | <p>1 指定教科書(購入すること)</p> <p>中東 正文(著)、白井 正和(著)、北川 徹(著)、福島 洋尚(著)『会社法[第2版](有斐閣ストウディア)』有斐閣; 第2版(2021/4/1) 978-4641150843</p> <p>2 参考書</p> <p>田中亘『会社法 第2版』東京大学出版会 2021 978-4130323895</p> <p>神作 裕之(編集)、藤田 友敬(編集)、加藤 貴仁(編集)『会社法判例百選[第4版](別冊ジュリスト)』有斐閣; 第4版(2021/9/15) 978-4641115545</p> |

| | | | | | | | | |
|------------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |

| | | | | |
|------------------------------|---|------|--|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 会社法の論点を正確に理解しているかどうか | 60% | 学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。 | |
| | 会社法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているかについて理解しているかどうか | 20% | | |
| | 何らかの会社法に関連する問題を見つけたとき、それが会社法のどの領域の問題なのか、自ら発見することができるか | 20% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|---|
| 【その他の注意事項】 | 予習については、教科書の該当ページを示すので、講義前に読了し、何が論点となっているのかおよび、教科書に記載されている関係条文を調べて上で受講すること。 |
|------------|---|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------|--|-----|---|
| No1 | 会社法への招待 | 会社法とは何か、その全体構造を掴み、会社法がビジネスに果たしている役割について講義する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書1から6頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 120 | 分 |
| No2 | 会社法の存在意義 | 会社法は、なぜ必要なのか、その存在意義について、株式会社の誕生の経緯、会社におけるリスク分散、資金の集約と投資のメカニズムについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書8から14頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 120 | 分 |
| No3 | 株主の存在意義 | 株式とは、会社を所有しているのか、株主は株式会社の命運、全てを管理しているのか、株主有限責任とは何か、所有と経営の分離とはどのような意味があるのか、など株主に関する基礎理論を説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書15頁から20頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No4 | 株式会社の機関設計 | 株式会社のコーポレート・ガバナンス(企業統治)について、現在、会社法が設定する期間設計について、その基礎理論を学び、各機関がどのような役割を期待されているのか、そのメカニズムについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書21頁から26頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No5 | 株主総会:招集 | 株主総会の招集手続きについて、その基礎的な内容を学び、さらに、招集に際して実際に裁判などで問題となった事件、事例を取り上げ、その中で争点となった論点について解説する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書27から37頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No6 | 株主総会:議決権 | 株主総会の議決権行使について、その基礎的な内容を学び、さらに、議決権行使に際して実際に裁判などで問題となった事件、事例を取り上げ、その中で争点となった論点について解説する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書38から50頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------|---|-----|---|
| No7 | 株主総会:決議の瑕疵 | 株主総会における決議について、その基礎的な内容を学び、さらに、決議の瑕疵に際して実際に裁判などで問題となった事件、事例を取り上げ、その中で争点となった論点について解説する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書51から61頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No8 | 株主総会のまとめ | 株主総会に関する総括的な講義を行う、さらに、最新の株主総会の実務の動向や論点について解説する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書1から61頁を再度、読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No9 | 取締役・取締役会の基礎 | 取締役、取締役会の意義と機能について解説する。取締役の日常の業務内容など、取締役と従業員の相違点について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書62頁から77頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No10 | 代表取締役 | 代表取締役について説明する、その基本的な役割、業務執行に関する会社法の論点を整理する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書78頁から100頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No11 | 監査役・監査法人 | 監査役・監査法人についてその基礎的な内容を説明した上で、監査役・監査法人の意義、その機能について論点を整理する。なおくわえて、機関設計における相互のチェックアンドバランスそして、ガバナンスにおける監査、監督の意義について検討する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書101から110頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No12 | 役員の責任 | 役員の責任についてその基本的な内容そして、総論に関する法的論点、過去に問題になった事例などを解説する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書121から133頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No13 | 役員の第三者に対する責任など | 取締役ら、役員が会社のみならず、第三者に損害を与える場合もある。このような役員に対する責任追及、そして責任追及とD&O保険の存在意義について解説する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書134から138頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |
| No14 | 株式の基礎理論 | 株式会社において、不可欠となる株式について、その基礎的な内容について解説する。株式に関して、特にコーポレート・ガバナンス上、重要となる論点を取り上げる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書140から148頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと | 70 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと | 180 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 民法 I BE-A |
| 講義名(英字) | Civil Law I |
| 担当教員 | 長岐 郁也 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|-----|---|-----|---|-----|--|-----|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>民法典は、私人間の権利関係や身分関係について規定する法律である。また、私人間で生じたトラブルを解決するための規範でもある。この科目では、民法における財産法(総則・物権・債権)について具体的事例を挙げて説明し、権利の調整がどのように行われているかを理解することを意図している。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>民法に定められる諸制度の基礎的理解を図る</p> <p>法的思考を身に付けること</p> <p>自らの考えを論理的に構成できる</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>法学 I 及び II を受講していることが望ましい。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>私法の一般法である民法は日常生活に関わる法律上のルールを多く担っており、身近に感じることのできるルールもあれば、理解が難しいルールも存在する。こうしたルールについて、判例や学説などを用いて学習を進めていくこととなるが、民法の対象範囲は広範に及ぶため、まずはルールの概要を抑えることができるためにレジュメを作成し、教科書と併せて学習に利用することで理解の促進に役立てるものとする。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | <p>教科書：松久三四彦・遠山純宏弘・林誠司『オリエンテーション民法』[第2版](有斐閣、2022年)</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|---------|------|---------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
| | 定期試験 | 100% | 定期試験の成績をもってすべて評価する。 |
| | | | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|-----------|
| 【その他の注意事項】 | 私語は厳禁とする。 |
|------------|-----------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|-----------------|--|-----|---|
| No1 | 民法及び財産法について | 民法全体と財産法の役割について学習します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第1部(p.1~32)、第1章(p.33~46)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No2 | 能力制度及び法人について | 民法に定められる能力制度と人について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第2章(p.47~84)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No3 | 契約の成立について | 契約の成立と消費者の保護について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第3章(p.85~122)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No4 | 契約の効力と債権の消滅について | 契約の分類と債権の消滅について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第4章(p.123~156)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No5 | 債務不履行について | 債務不履行の種類とその救済について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第5章(p.157~180)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No6 | 契約不適合について | 契約不適合責任と債務不履行の関わる制度について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第5章(p.181~196)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No7 | 債権回収について | 責任財産保全のための債権者代位権と詐害行為取消権について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第6章(p.197~205)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No8 | 担保制度について | 人的担保について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第6章(p.206~216)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No9 | 担保制度について | 物的担保について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第6章(p.217~234)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No10 | 物権総論について | 物権の概括と物権的請求権について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第7章(p.235~246)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------|----------------------------------|-----|---|
| No11 | 物権変動について | 物権変動と即時取得について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第7章(p.247～269)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No12 | 時効制度について | 取得時効と相隣関係について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第7章(p.269～274)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No13 | 一般的不法行為について | 一般的不法行為の成立要件と効果及び消滅時効について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第8章(p.275～298)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |
| No14 | 特殊の不法行為について | 特殊の不法行為について学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 第8章(p.299～314)を読み、分からない用語を調べておく。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義の内容を振り返って確認すること。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 管理会計論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Management Accounting I |
| 担当教員 | 福山 倫基 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 管理会計とは、組織管理・経営企画等に不可欠な経営情報を提供する理論と技術であると言えます。したがって、管理会計の学習にあたっては、単に数値情報を算出するだけでなく、組織実践との関係で、経営管理とは何であるか、数値情報をどのように経営管理に用いるかについて理解する必要があります。その中で春学期は、企業がどのような数的根拠を用いて、利益最大化を常に達成し続けるための業績評価を行っているかといった、業績評価に関するテーマを学習します。 講義は、解説→演習の流れで行い、講義毎のテーマが講義中に理解できるよう進めていきます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 管理会計が企業の存続に貢献する目的である、「利益の最大化」に対してどのような貢献を果たすか理解すること 標準原価計算をベースにした原価管理について理解すること 直接原価計算を用いた経営計画の手法を理解すること | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 第1回目ガイダンスの説明に記載の履修要件を必ず確認すること。ここには書ききれない | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | |
| 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|---------------|------|--------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 中間試験 | 20% | 左記を合算して評価する。 | |
| | 期末試験 | 70% | | |
| | 会計教育に関するアンケート | 10% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】 他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-------------|--|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 講義の進め方および成績評価方法についての説明、管理会計は、工業簿記で関連の経営情報を作成することを応用したものであるといえる。そのため、同時に工業簿記を履修するか、工業簿記が履修済みの学生の履修を望む。該当しない場合は自分で工業簿記に関する学習をしておくこと。 | | |
| | 予習内容(時間) | 工業簿記を通して学習した内容の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ガイダンス聴講後、特に管理会計と関連のある部分の見返し | 120 | 分 |
| No2 | 管理会計概論 | 今まで学習してきた財務会計と管理会計の違いや、工業簿記で学習した原価情報などが管理会計でどのように使われることで利益の最大化につながるのかといった、管理会計に関する基礎知識を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 前回までの振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中にノートした内容をまとめる | 120 | 分 |
| No3 | 管理会計の発達史 | 現行の管理会計はいきなり出てきたものではなく、経営活動の高度化に伴い形を変えてきたといえる。そこで、管理会計が歴史的にどのように発達してきたか講義していく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中にノートした内容をまとめる | 120 | 分 |
| No4 | 組織と管理会計 | 経営を管理するうえで、企業がどのような組織形態を持っているのかなど、経営組織について学ぶ。この回の講義を受けて経営組織に対する興味を持った場合、経営組織論の受講もお勧めする。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 演習で行った内容を中心に復習する | 120 | 分 |
| No5 | 組織と経営計画 | 一般に、企業の経営理念やビジョンは抽象的なものであるが、それが具体的なアクションプランである短期の経営計画にどのように落とし込まれていくのか、経営組織を利益最大化目的に沿って行動させるための経営計画について講義していく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中に行った演習を必ず復習すること | 120 | 分 |
| No6 | 管理会計と経営戦略 | SWAT分析などの、経営戦略立案のための、管理会計の中で用いられる経営戦略の手法などを事例を交えて学習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回まで実施した演習の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義中に行った演習を必ず復習すること | 120 | 分 |
| No7 | 利益計画と直接原価計算 | 原価計算の手続きを用いてどのように具体的な利益計画が作られるか学ぶ。特に、ExcelとPythonを用いてコンピューティングを用いた経営計画におけるシミュレーションを講義していく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 今までの講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | 復習内 | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|---------------|---|-----|---|
| | 容(時間) | 講義中に行った演習を必ず復習すること | 120 | 分 |
| No8 | プロダクトミックス | より複雑な利益計画を線形計画法を用いて学ぶ。この回でも、ExcelとPythonを用いてコンピューティングを用いた経営計画におけるシミュレーションを講義していく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No9 | 中間テスト | これまでの講義をテストする | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | テストの振り返り | 120 | 分 |
| No10 | 責任会計と業績評価 | 標準原価計算の適用範囲を広げることにより行われる責任会計の概説と具体的な数値の作成、解釈の仕方を講義していく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No11 | 業績評価と標準原価計算 | 工業簿記で学んだ範囲よりさらに踏み込んだ計画値と実際値を用いた業績評価の技法を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No12 | 業績評価と活動基準原価計算 | 製造間接費の実態に沿った活用方法であるABCについて学習する。また、ABCを用いた事例を元に、ABCの経営管理における有用性を述べる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No13 | 業績評価会計まとめ | 中間試験以降学習した業績評価会計のまとめと、最新事例の紹介。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 120 | 分 |
| No14 | 総論 | 今まで講義してきた内容のまとめ、この講義を受講したのちにチャレンジしてほしいことなどを皆さんにお伝えします。 | | |
| | 予習内容(時間) | 必要であればこれまでの講義の振り返り | 200 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該回の演習の復習 | 300 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-大山 |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 大山 利栄 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|---|-----|------|-----|---|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 主な研究テーマは、企業が行うさまざまなプロモーションイベント、PRイベントを中心としたイベントプロデュースです。2年次より現場実習もスタートし、座学で学んだことが実体験として大切な学びの場として機能し、専門演習への入り口と位置づけられます。演習を通じて、全員が自ら動くリーダーシップを身につけてゆくことの喜びや充実感を得てください。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | イベント発想・企画力を身につける プレゼンテーション力を身につける リーダーシップを身につける | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | イベント実習を履修している事 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 主にテーマに対して「考える」「まとめる」「プレゼンテーションする」事を行い、テーマに応じて「討論」「議論」する事が加わります。 | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 使用せず | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |
| | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |
| | 企画アイデア提出 | | | 30% | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| | |
|--------------------|------|
| 企画発表プレゼンテーション | 30% |
| 学園祭、ゼミ合宿等の役割に対する行動 | 40% |
| 合計 | 100% |

評価項目に加え、演習態度、演習への貢献度などを総合的に評価し、判断する

【その他の注意事項】

伝達事項やグループワークが多いため遅刻・欠席は厳禁

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|------------------|---------------------------------------|-----|---|
| No1 | ゼミ運営ガイダンス | ゼミの基本方針 3分自己紹介 | | |
| | 予習内容(時間) | ゼミ紹介動画の見直し | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | マンダラシートの活用法についてレポート | 120 | 分 |
| No2 | 研究テーマガイダンス | ガイダンスに基づき、ゼミで扱う研究テーマについてディスカッションを行う | | |
| | 予習内容(時間) | 企業イベントについてのリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 研究テーマについてのリサーチ | 120 | 分 |
| No3 | 研究テーマ発表 | 研究テーマに基づき、春学期の課題を決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマに基づいた課題の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 研究テーマに基づいた資料の収集 | 120 | 分 |
| No4 | イベント課題ディスカッション① | 架空の課題を設定するためのディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 課題に関する情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ディスカッションの内容整理 | 120 | 分 |
| No5 | イベント課題解決ワークショップ① | 架空の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランの構築 | | |
| | 予習内容(時間) | プランに相応しいイベント形態の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プランに不足する部分のフォローアップ | 120 | 分 |
| No6 | プレゼンテーション① | 架空の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランを発表 | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション振り返り | 120 | 分 |
| No7 | イベント課題ディスカッション② | 実際の課題を設定するためのディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 課題に関する情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ディスカッションの内容整理 | 120 | 分 |
| No8 | イベント課題解決ワークショップ② | 実際の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランの構築 | | |
| | 予習内容(時間) | プランに相応しいイベント形態の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プランに不足する部分のフォローアップ | 120 | 分 |
| No9 | プレゼンテーション② | 実際の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランを発表 | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画のブラッシュアップ | 120 | 分 |
| No10 | 企業へのプレゼンテーション | 実際に課題を持つ企業担当者に対してプレゼンテーションを行う | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |

| | 復習内容(時間) | 講評に対する振り返り | 120 | 分 |
|------|--------------------|---|-----|---|
| No11 | イベント企画グループワーク ① | 実際の課題についてのイベントプロモーションプランに対して、グループワークとしてイベントを実施する前提で企画書を制作 | | |
| | 予習内容(時間) | イベント実施を想定したイベントの形態を想定しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 途中経過での企画書の見直しと修正 | 120 | 分 |
| No12 | イベント企画グループワーク ② | 実際の課題についてのイベントプロモーションプランに対して、グループワークとしてイベントを実施する前提で企画書を制作 | | |
| | 予習内容(時間) | 未完成の企画書について内容を想定しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画に足りない部分のフォローアップ | 120 | 分 |
| No13 | イベント企画プレゼンテーション | 実際の課題についてのイベント企画をグループごとにプレゼンテーション | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション振り返り | 120 | 分 |
| No14 | 春学期イベント実習レポート | 春学期に参加した実習についてまとめ、レポートを整理する | | |
| | 予習内容(時間) | 実習時間の整理 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートのブラッシュアップ | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-笠原 |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 笠原 幸一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|---|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 研究テーマ: イベントで地域を生き活きと輝かせよう! 日本全国には約1,700もの市町村があります。東京一極集中や人口減少による地方の過疎化など、それぞれの地域には課題が山積しています。一方で対策を取り効果を上げている地方・地域も数多く存在しており、ゼミでは地方創生の様々な事例を研究します。特定の地域を選び、課題の現状把握から魅力の再発見、本質的な解決策までを研究し、具体的な地域活性化イベントを企画します。また、地域活性化に積極的に取り組む組織と連携し、産学官の場で実際の地域のイベントを可能な限り体験します。社会課題の解決に向けてフレッシュな視点で企画を考えます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 地域活性化のユニークで優れたイベント企画を制作しプレゼンテーションできる チームワークとリーダーシップを身につけ、組織を引っ張る積極性が発揮できる 読解力とプレゼンテーション能力を高め、クオリティの高いアウトプットができる | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 無断遅刻・欠席は厳禁です。サブゼミを月曜5限に実施しますので必ず参加してください | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | プロデューサーはリーダーシップ、チームワーク、発想力、コミュニケーション、信頼されることが特に重要です。ゼミはその基礎能力を身につけるトレーニングの場となります | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用しません。参考文献等は、授業中に随時紹介します | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|---------------------------------------|------|--|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 地域活性化の優れたイベント企画を制作しプレゼンできる | 30% | 演習態度(積極性、リーダーシップ、チームワーク)、貢献度、発表、レポート等で総合的に判断 | |
| | チームワークとリーダーシップで組織を引っ張る積極性が発揮できる | 40% | | |
| | 読解力とプレゼンテーション能力を高め、クオリティの高いアウトプットができる | 30% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】 幅広くイベントや地域活性化に興味を持ち、積極的に社会課題に取り組む姿勢をみせてください。また、できるだけ多くのイベントを見に行く・参加すること

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------------|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | 授業の進め方、課題レポート、評価等の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマやその方向性をまとめておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No2 | 研究テーマ企画制作に向けて全体の内容確定とスケジュール案作成 | 研究テーマ企画制作に向けて全体の内容確定と年間スケジュール案を作成する | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマ企画制作の内容確定と年間スケジュール案を準備する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No3 | 研究テーマの課題分析 | 研究テーマの課題分析を議論する | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマの課題分析を準備する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No4 | 研究テーマの課題分析 | 研究テーマの課題分析を議論する | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマの課題分析を準備する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No5 | 研究テーマの課題分析 | 研究テーマの課題分析をまとめる | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマの課題分析をまとめる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No6 | 企画制作ワークショップ | 研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | 企画制作ワークショップの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No7 | 企画制作ワークショップ | 研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | 企画制作ワークショップの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントをまとめる。課題を提出する | 120 | 分 |
| No8 | 企画制作ワークショップ | 研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | 企画制作ワークショップの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントを修正する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No9 | 企画制作ワークショップ | 研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | 企画制作ワークショップの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントを修正する。課題を提出する | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|--------------------|----------------------------------|-----|---|
| | イベント企画制作 | 具体的なイベント企画をプレゼンテーション資料にまとめる | | |
| No10 | 予習内容(時間) | イベント企画制作の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントを修正する。課題を提出する | 120 | 分 |
| | イベント企画制作 | 具体的なイベント企画をプレゼンテーション資料にまとめる | | |
| No11 | 予習内容(時間) | イベント企画制作の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントを修正する。課題を提出する | 120 | 分 |
| | イベント企画のプレゼンテーション準備 | イベント企画のプレゼンテーションの準備をする | | |
| No12 | 予習内容(時間) | イベント企画プレゼンテーションの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 議論したポイントを修正する。課題を提出する | 120 | 分 |
| | イベント企画のプレゼンテーション | イベント企画のプレゼンテーションを実施する。講評と振り返りの実施 | | |
| No13 | 予習内容(時間) | イベント企画プレゼンテーションの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーションの講評と振り返りをまとめ提出する | 120 | 分 |
| | 全体の振り返りと総括 | 全体の振り返りと総括を実施する | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 全体の振り返りと総括をまとめる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 全体の振り返りと総括をまとめ提出する | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-上條 |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 上條 典夫 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 「プロフェッショナルセミナー I」ではイベントに関する研究テーマを設定した後、課題を抽出し、数回のワークショップなどを通じて課題の解決を図り、イベント企画書として成立、プレゼンテーションします。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | イベント研究実践 基本を学び直し、具体的提案を実践計画に沿って立て、調査分析、まとめができる。 チームワーク チーム活動によって評価 具体的な課題への作業を通し、役割分担やサポートの大切さを知る。 提案力とプレゼンテーション力の強化 課題解決の過程で、トラブルを乗り越え、いいプレゼンテーションができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 積極的に参加する人 チームワークを大切にできる人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | イベント学知識から、実際のイベント現場に生かす知恵を創造していくことを目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 特になし | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|------------------------------|-----------|-----------|--|-----|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | |
| | 参加態度 | 50% | 演習態度(出席・積極性・勤勉さ)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。 | | |
| | 提案試験 | 20% | | | |
| | プレゼンテーション | 30% | | | |
| | 合計 | 100% | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特になし | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | イントロダクション | 全員で問題意識と方向性の確認 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義メモのチェック | 120 | 分 |
| | No2 | テーマガイダンス | 前期のテーマの発表と進め方 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義メモのチェック | 120 | 分 |
| | No3 | 課題発表 | 課題のディスカッション① | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 課題の復讐 | 120 | 分 |
| | No4 | 課題解決 | 課題のディスカッション② | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 課題提案の作成 | 120 | 分 |
| | No5 | 課題発表 | グループごとの課題解決プレゼンテーション | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 発表の反省 | 120 | 分 |
| | No6 | 課題発表 | グループごとの課題解決プレゼンテーション | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 発表の反省 | 120 | 分 |
| | No7 | 発表の反省 | グループごとの課題解決プレゼンテーション | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 発表の反省 | 120 | 分 |
| | No8 | 課題発表 | 二段目の課題発表とチーム作業 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 課題の復讐 | 120 | 分 |
| | No9 | 課題解決 | チームによる作業 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 課題のチェック | 120 | 分 |
| | No10 | 課題解決 | チームによる作業 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|-----------|-----------------------------|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 課題作業 | 120 | 分 |
| No11 | プレゼンテーション | | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼン準備 | 120 | 分 |
| No12 | プレゼンテーション | チーム発表 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼン準備 | 120 | 分 |
| No13 | プレゼンテーション | チーム発表 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今日の復讐 | 120 | 分 |
| No14 | 春期の整理 | 春期の課題の整理と今後に向けての展望のディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 春期全体のメモチェック | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-北原 |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 北原 隆 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|--------------------|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>研究テーマ: イベントのエンターテインメント性と施設のインフラについて学びます。</p> <p>1. イベントはその全てがエンターテインメントでなくてはなりません。どんなに堅いイベントにもエンターテインメント性は必要です。そしてイベントそのものだけでなく、企画、設計、現場、運営もまたエンターテインメントであるべきだと考えます。エンタメイベントの手法を分析し、他のイベントに応用することを研究します。</p> <p>2. ある施設でイベントを行うためには、そのイベントを行うためのインフラが必要です。その視点が欠けているために、本来の形ではイベントが行えない施設は沢山あります。そしてその不便を何らかの対応策で補ってなんとかイベントを開催しているのが現状です。イベントを行うために何が必要か分析し、現状を調査し、改善を提案します。</p> |
| 【到達目標】 | <p>イベント研究力 研究テーマを立て、それに沿った、調査分析、まとめができる。</p> <p>チームワークとリーダーシップ 具体的な課題への機嫌ある作業を通し、役割分担やサポートの大切さを知る。課題解決の過程で、トラブルを乗り越え、チームをまとめるための積極性を身につける。</p> <p>プレゼンテーション力の強化 発表内容に合わせて最も効果的な表現手法を選び、簡素でわかりやすい、エンターテインメント性を備えたプレゼンテーションができる。</p> |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること</p> <p>◇チームワークが重要なので、遅刻欠席は厳禁。</p> <p>◇過去に北原が担当したイベント実習で未連絡でのドタキャンをしていないこと</p> |
| 【教育方法】 | <p>学生の自習性を重視し、出てきたアイデアを実際に形にするためのアドバイスをこなう。実際にイベントを企画運営することにより、グループワークとソロワークの特性と重要性を体験学習し身につけさせる。同時に複数のプロジェクトを行ない、マルチタスクの特性と重要性を体験学習し身につけさせる。イベントを行なう中でイベントを実現するために必要なインフラについて体験学習し身につけさせる。自分のアイデアや考えを相手に効果的に伝えるための手法を知りスキルを磨かせる。</p> |
| 【指定教科書・ | ◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|----------------|---------------------------|---|---|-----|-----|-----|---|
| 【参考資料等】 | ◇巻尺および三角スケール | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | イベント研究成果 | 30% | 演習態度(出席・積極性・勤勉さ)、演習への貢献度、レポート内容などで総合的に評価します | | | | | |
| | チームワークとリーダーシップ | 40% | | | | | | |
| | プレゼンテーション力 | 30% | | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇特になし | | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | ゼミ運営ガイダンス 学園祭と研究テーマ課題について | 春休み中に進めていた打ち合わせを元に学園祭でやることを決定 役割分担を決める 研究するテーマ課題について説明を行ない検討に入る | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No2 | 研究テーマ課題案のプレゼン | 学園祭での役割に応じた準備行動 各自で考えた研究テーマ課題を発表 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No3 | 研究テーマ課題の決定と分担 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題を決定し担当を決める | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No4 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No5 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No6 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No7 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 |
| | No8 | テーマ課題の調査活動の中間発表 | 学園祭での役割に応じた準備行動 テーマ課題の中間発表 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | | | | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | ゼミ内容の振り返りと資料作り | | | | 120 | 分 | |

| | | | | |
|------|--------------------|--|-----|---|
| No9 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | 120 | 分 |
| No10 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | 120 | 分 |
| No11 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | 120 | 分 |
| No12 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | 120 | 分 |
| No13 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | 120 | 分 |
| No14 | 研究テーマ課題の調査活動の報告と分析 | 学園祭での役割に応じた準備行動 研究テーマ課題の担当別の活動の報告と次回までの作業の決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゼミ内容の振り返りと資料作り | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-佐藤(潤) |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 佐藤 潤 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|---------|------|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | テーマ:スポーツイベントのビジネスの現状と課題、今後の在り方について研究する。 現在スポーツイベントは教育、文化、国際関係、社会に大きな影響を与える存在となってきている。 その中でも特に経済的影響、企業との関わり等に焦点を当てて研究していく。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 情報収集と分析力の向上: 正確に情報収集しまとめる手法を身に着ける プレゼンテーション力の向上: 自分の考えを正確に相手に伝える手法を身に着ける グループディスカッション力の向上: 相手の考えを理解し対応できる能力を身に着ける | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | スポーツイベントビジネスに興味・関心がある積極性のある学生 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 事前にスポーツビジネストピックスを小レポートにまとめて提出し、授業時に発表。全員で内容について議論。授業後、感想を授業レポートとして提出することを毎週行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 特にないが必要に応じて都度紹介する。、参考図書として池上彰著「伝える力」、阿川佐和子「聞く力」を事前に読んでおいて下さい。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>評価項目と割合</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|---------------------------|------|--------------------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 情報収集と分析力 | 40% | 事前小レポートと授業後レポートの提出状況と授業でのコミュニケーション力。 |
| | プレゼンテーション力 | 30% | |
| | グループディスカッション力(コミュニケーション力) | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】 他者へのリスペクトと他者とのコミュニケーション力が大事です。楽しみながら授業に参加していきましょう。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|----------|--|-----|---|
| No1 | 情報を探す① | ネットメディアを検索し関心のある情報をピックアップする | | |
| | 予習内容(時間) | ネットによるリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 指定されたサイトのリサーチ | 120 | 分 |
| No2 | 情報を探す② | 新聞、雑誌などのマスメディア情報及び一般図書などより関心のある情報をピックアップする | | |
| | 予習内容(時間) | 興味あるテーマに沿った一般図書検索 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 興味あるテーマに沿った一般図書検索 | 120 | 分 |
| No3 | 情報を探す③ | 情報に沿った論文や専門書を探す(探し方を学ぶ) | | |
| | 予習内容(時間) | J-STAGEやCiNiiなどのデータベースについて検索する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | J-STAGEやCiNiiなどのデータベースについて検索する | 120 | 分 |
| No4 | 情報を読み込む① | 集めた情報を読み込む。読み込むポイントについて考える | | |
| | 予習内容(時間) | 興味あるテーマの小論文や抄録などを読む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 興味あるテーマの小論文や抄録などを読む | 120 | 分 |
| No5 | 情報を読み込む② | 集めた論文、専門書の内、特に興味のあるパートを読み込む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 興味あるテーマの論文などを読む | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 興味あるテーマの論文などを読む | 120 | 分 |
| No6 | 情報を整理する① | インプットした情報を自分の考えに沿って整理する 必要なデータ、ファクトの収集をする | | |
| | 予習内容(時間) | 自分がまとめたテーマに必要なデータ、ファクトの収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分がまとめたテーマの確認 | 120 | 分 |
| No7 | 情報を整理する② | 事実、課題、意見、論点などを整理する | | |
| | 予習内容(時間) | 整理作業 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 漏れがないかチェック | 120 | 分 |
| No8 | 情報をまとめる① | レポートや小論文に書式に従ってまとめる方法を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 参考になる先行レポートの確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 参考になる先行レポートの確認 | 120 | 分 |
| No9 | 情報をまとめる② | 書式に従ってまとめる | | |
| | 予習内容(時間) | 構成方法の確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | まとめたレポートをチェック | 120 | 分 |
| No10 | 情報を発表する① | 効果的なプレゼンテーション資料の作成について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 発表用資料のまとめ方の確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 発表用資料の作成 | 120 | 分 |

| | | | | | |
|------|----------|---------------------|--------------------------|-----|---|
| | No11 | 情報を発表する② | 効果的なプレゼンテーションの発表方法について学ぶ | | |
| | | 予習内容(時間) | 発表手法について調べる | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 発表手法を確認 | 120 | 分 |
| | No12 | 情報を聞く① | 発表者の考えのポイントを正確に聞き取る | | |
| | | 予習内容(時間) | 正確に理解する方法について調べる | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 正確に理解する方法を学ぶ | 120 | 分 |
| No13 | 発表を批評する① | 発表に対する客観的事実と意見をまとめる | | | |
| | 予習内容(時間) | 批評に際してのポイントを調べる | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 批評方法の確認 | 120 | 分 | |
| No14 | 発表を批評する② | 発表に対して自分の批評を披露し議論する | | | |
| | 予習内容(時間) | ディスカッションの手法について調べる | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | ディスカッション方法の確認 | 120 | 分 | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 演習科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-佐藤(友) |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 佐藤 友紀子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | テーマ:「イベントのいろは」 概要: イベントと一言で言っても、その内容は様々です。音楽イベントやスポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、講師自身が業界に携わってきた経験に基づいてイベントを紐解きながら、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。 |
| 【到達目標】 | 【チームワークの重要性を知る】 具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 【想像力・発想力を育む】 イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができる。 【PC作業力・企画力・プレゼンテーション力を高める】 座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | ◇創造性を発揮して、積極的に演習に取り組むこと。 ◇大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨むこと。 |
| 【教育方法】 | ・スライドを使用し、イベントごとの形態やアイデア発想について学びます。 ・その後、学んだことを活かしてグループワーク・資料作成・プレゼンテーションを行いながら様々な課題に臨み、到達目標を目指します。 |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布します。 ◇PC(PowerPoint、Word、Excel) |

| | | | | | | | | |
|------------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |

| 評価項目と割合 | 評価方法 | |
|--|------|---|
| 【チームワークの重要性を知る】 課題・研究・イベント制作など、役割と納期がある作業への取り組みにより評価する。 | 35% | 演習態度(出席・積極性・勤勉さなど)、演習への貢献度、制作物(作成資料、提案書)などで総合的に判断します。 |
| 【想像力・発想力を育む】 アイデア出しなど各種演習で行うアウトプットにより評価する。 | 35% | |
| 【PC作業力・企画力・プレゼンテーション力を高める】 作成資料・企画発表により評価する。 | 30% | |
| 合計 | 100% | |

| | |
|------------|---|
| 【その他の注意事項】 | <p>◇イベント企画・制作にはチームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。</p> <p>◇演習中、学習と関係のないスマホや私語を禁止します。</p> <p>◇報連相(報告・連絡・相談)を徹底してください。</p> |
|------------|---|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--|---|-----|---|
| No1 | 基本的なPC操作、イベント構造などの基礎について学んだのち、アイデア発想、企画、資料作成、プレゼンテーションに臨みます。 | <p>主な内容は以下の通り。これを適宜課題・理解度に合わせて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●イベントの種類、実施運営のポイント学習 ●アイデア発想練習(インプット・アウトプット) ●イベント課題ディスカッション〜グループワーク ●イベント課題解決に用いる資料作成 ●イベント企画プレゼンテーション ●実施内容(ワーク・発表・作成資料等)に対する振り返り ●PowerPoint、Excelの使い方 | | |
| | 予習内容(時間) | ・次回講義に向けた自身の役割確認、作業準備 ・イベント、プロモーション情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 各回講義内容について | 120 | 分 |
| No2 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No3 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No4 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No5 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No6 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| | 上記参照 | 上記参照 | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------|------------|-----|---|
| No7 | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No8 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No9 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No10 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No11 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No12 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No13 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No14 | 上記参照 | 上記参照 | | |
| | 予習内容(時間) | 同上 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-志塚 |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 志塚 昌紀 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|-----|--|---|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>今や、日本の若者文化の中核をなすと言っても過言ではないのがマンガ、アニメ、コスプレ等のいわゆるポップカルチャーである。近年は少子高齢化の問題もあり、若者が地域に定着せず、衰退の一途を辿っている地域も少なくない中、こうしたポップカルチャーに目を付けたアニメやマンガによる地域興しなども年々、増加しつつある。こうした背景を踏まえ、本演習では、ポップカルチャーによる地域ブランドや地域活性の取り組みなどを知り、イベントに実践に繋げることを目的とする。</p> <p>特に、プロフェッショナルセミナー I では、①研究テーマに関するグループワーク(ゼミ生同士のディスカッション、ゲストスピーカーによる講話、現場のまちあるきなど)②企画プレゼンワーク(テーマに関する調査と企画づくり、PowerPointを使った資料作成、発表・審査)などを予定している。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>「ポップカルチャー」や「地域課題」について情報収集を行い、その背景や原因などを分析することができる。</p> <p>各種グループワークを積極的に取り組み、ゼミ生と協働して課題をやり遂げることができる。</p> <p>グループワークの成果を説得力のあるプレゼンテーションとして発表することができる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 各回で行われるグループワーク、個人ワークに積極的に参加できること。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | アクティブ・ラーニングおよびPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)手法を重視した、ワークショップやフィールドワークが中心となる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 特に無し。使用教材については、適宜配付する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | ○ | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | ○ | | | | | | | | | | | |

| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
|------------------------------|----------------------------|------|---------------------------------------|--|
| | 講義やグループワーク、個人ワークへの積極的な参加態度 | 40% | 演習態度(積極性・勤勉さなど)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断 | |
| | 授業で実施するワークシートおよび課題レポート内容 | 30% | | |
| | プレゼンテーションの発表態度や企画内容 | 30% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|------|
| 【その他の注意事項】 | 特に無し |
|------------|------|

| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | |
|--------|-------------|----------------------------|--------------|---|
| | No1 | オリエンテーション | ・授業内容、進め方の説明 | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容や趣旨の確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| No2 | テーマガイダンス① | ・研究テーマの発表、成果イメージの共有 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業内容や趣旨の確認 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| No3 | テーマガイダンス② | ・研究テーマに関する知識、情報の提供 | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマに関する情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| No4 | テーマガイダンス③ | ・ゲストスピーカー | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマに関する情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゲストスピーカーに対する感想シートに取り組む | 120 | 分 |
| No5 | 課題ディスカッション① | ・グループディスカッション準備。研究テーマ分析、考察 | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマの分析や考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| No6 | 課題ディスカッション② | ・テーマに関するグループディスカッション | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマの分析や考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | グループワーク相互評価 | 120 | 分 |
| No7 | 課題ディスカッション③ | ・グループディスカッションの成果発表 | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマの分析や考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | グループワーク相互評価 | 120 | 分 |
| No8 | 課題ディスカッション④ | ・グループディスカッションのふりかえり、講評 | | |
| | 予習内容(時間) | グループワークの分析や考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | グループワーク相互評価 | 120 | 分 |
| No9 | イベント企画発表準備① | ・プレゼンテーション構成などの検討 | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーションに向けた情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | スライド資料および台本資料の作成 | 120 | 分 |
| No10 | イベント企画発表準備② | ・スライド資料準備・発表台本準備 | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーションに向けた情報収集 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|------------------|--------------------|-----|---|
| | 復習内容(時間) | スライド資料および台本資料の作成 | 120 | 分 |
| No11 | イベント企画発表準備③ | ・発表リハーサル、内容修正 | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーションに向けた情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | スライド資料および台本資料の作成 | 120 | 分 |
| No12 | イベント企画プレゼンテーション① | ・グループのプレゼンテーション | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーションに向けた情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション相互評価 | 120 | 分 |
| No13 | イベント企画プレゼンテーション② | ・プレゼンテーションの講評。相互評価 | | |
| | 予習内容(時間) | グループワークの分析や考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | グループワーク相互評価 | 120 | 分 |
| No14 | まとめ | ・授業内容のふりかえり | | |
| | 予習内容(時間) | 授業の成果の考察、分析 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の成果まとめ | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 演習科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナー I E-賽音 |
| 講義名(英字) | Professional Seminar I |
| 担当教員 | 賽音吉雅 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>本ゼミテーマは、エンターテインメントイベント、エンターテインメントイベントを開催するとひとことに言っても、その企画から開催までには数多くのステップがあります。イベントを形にするためには、その段階ごとにアイデアを選出し束ね上げる作業が必要となります。賽音吉雅ゼミでは、イベントを構築して中でのいった事象や問題の発生が想定され、またそれらをどのように解決していくのかを、実際のエンターテインメントイベントを体験しながら考察を深めていきます。</p> <p>同時に、エンターテインメントイベントが、イベントという枠組みにとどまらず既存の文化に影響を与え、新たな文化が形成されていくといった、社会に与える影響力についても学びます。</p> <p>ゼミ生ひとりひとりが、興味のあるテーマを自由に設定し、ゼミ発表やディスカッションを通じながらエンターテインメントイベントを多角的に研究し考察を深めていきます。</p> |
| 【到達目標】 | <p>イベント研究実践 プロフェッショナルの概要について理解する。その中でも、特に、芸術、エンタメ、ミュージックに関して学修する。</p> <p>チームワーク チーム活動 プロの多様性を理解するための基本的な知識と教養を学修する。</p> <p>プレゼンテーション力の強化 さまざまなイベントを比較し考察する。その考察は、社会におけるプロの役割を理解する</p> |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>イベント企画・制作にはチームワークが大変重要となるため、遅刻・ 欠席などは禁止です。</p> |
| 【教育方法】 | <p>イベント学知識から、実際のイベント現場に生かす知恵を創造していくことを目指します。</p> |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | <p>基本的に会話式でパワーポイントと資料やDVDにより進める。 最新のイベントに関する情報やニュースなどを分析して、その都度、授業中に紹介する。</p> |

| | | | | | | | | |
|------------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |

| | | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|------|-------------------------------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 企画アイデア提出により独創的・斬新なイベント発想を評価する。 | 30% | 評価項目に加え、演習態度、演習への貢献度などを総合的に評価し、判断する | |
| | イベント企画・運営制作により役割分担とチームワークを評価する。 | 30% | | |
| | イベント企画発表によりプレゼンテーションのわかりやすのを評価する。 | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|---------------------------|
| 【その他の注意事項】 | 伝達事項やグループワークが多いため遅刻・欠席は厳禁 |
|------------|---------------------------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|------------------|---------------------------|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 授業全体のオリエンテーション ゼミの基本方針 | | |
| | 予習内容(時間) | ゼミ紹介 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートについて | 120 | 分 |
| No2 | イベントの概念 | 様々なイベントの事例を紹介 | | |
| | 予習内容(時間) | 企業イベントについてのリサーチ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 研究テーマについてのリサーチ | 120 | 分 |
| No3 | イベントの企画 | 課題として提出する企画について説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 企画に基づいた課題の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画に基づいた資料の収集 | 120 | 分 |
| No4 | イベント関連業界 | 関係性や業務内容について | | |
| | 予習内容(時間) | 課題に関する情報収集 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 業界の内容整理 | 120 | 分 |
| No5 | イベント研究テーマ発表 | 研究テーマに基づき、春学期の課題を決定 | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマに基づいた課題の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 研究テーマに基づいた資料の収集 | 120 | 分 |
| No6 | イベント課題解決ワークショップ① | イベントの中心的内容となるコンテンツについて | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマに基づいた課題の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 研究テーマに基づいた資料の収集 | 120 | 分 |
| No7 | イベント課題解決ワークショップ② | イベントに関わる人に対する運営について | | |
| | 予習内容(時間) | 研究テーマに基づいた課題の抽出 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 研究テーマに基づいた資料の収集 | 120 | 分 |
| No8 | イベント課題ディスカッション① | 各自のテーマを決めた企画について | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション振り返り | 120 | 分 |
| | イベント課題ディスカッション② | 各自のテーマを決めた企画について | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|------------------|-----------------------------|-----|---|
| No9 | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション振り返り | 120 | 分 |
| No10 | イベント課題ディスカッション③ | 各自のテーマを決めた企画について | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション振り返り | 120 | 分 |
| | イベント企画発表リハーサル | プレゼンテーションの準備 | | |
| No11 | 予習内容(時間) | イベント実施を想定したイベントの形態を想定しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 途中経過での企画書の見直しと修正 | 120 | 分 |
| No12 | イベント企画プレゼンテーション① | 各自のイベントの企画を発表 | | |
| | 予習内容(時間) | 未完成の企画書について内容を想定しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画に足りない部分のフォローアップ | 120 | 分 |
| No13 | イベント企画プレゼンテーション② | 実際の課題についてのイベント企画をプレゼンテーション | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーション振り返り | 120 | 分 |
| No14 | 春学期イベント実習レポート | 春学期に参加した実習についてまとめ、レポートを整理する | | |
| | 予習内容(時間) | 実習時間の整理 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートのブラッシュアップ | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-A |
| 講義名(英字) | Professional Seminar III |
| 担当教員 | 石渡 正人 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|-----|---|-----|--|-----|--|-----|-----|--|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 講義テーマ: 地域ブランドの立案 Web2.0により販売マーケットは広がり、都市と地方の格差は薄れました。コロナも終息し、再び海外からの訪問者は増加し、インバウンド需要も回復します。 地域を核にした市場は今後確実に成長し、地域にある産業・伝統・文化などの資産を活用して地域ブランドを創造することは、地域経済を潤し、地域活性に繋がります。 企業にとっても地域ブランド商品やサービスの開発、観光やイベントなど沢山のビジネスチャンスに溢れています。 本講義では、地域ビジネスの様々な事例を学び、地域ブランドの手法を学び、現在のビジネスマーケットと照らし合わせ、受講者個々が地域ブランドを企画・構築します。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 地域の問題点や、地域ブランドについて理解する。 地域ブランドを構築するための手法を理解する。 地域ブランドを自分なりに考え、企画書としてまとめる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 好奇心旺盛で企画立案に興味があること。ブランドやマーケティングを学びたい人。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 実務IQの観点から、前半は様々なビジネス事例を検証し、手法について学びます。後半は前半で学んだことを活かし、地域ブランドの企画書を作成しプレゼンします。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 使用せず、PPT資料を配布。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td></td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------|--------------------------------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 講義内容の理解と、講義中の質疑や討論へ積極的な参加。 | 20% | 受講態度20%、中間テスト40%、本試験(指定フォーマット企画書)40% | |
| | 地域ブランドの開発手法の理解について中間テストで評価。 | 40% | | |
| | 地域を対象にした自分なりのビジネスプランを本試験で評価。 | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|--|
| 【その他の注意事項】 | 講義中にインターネットで調べる時間があります。受講時にPCまたはタブレットかスマホの持ち込みをお願いします。 |
|------------|--|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|--------|----------------------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション及び地方を取り巻く状況について解説 | 自己紹介と講義の進め方について説明。基礎知識として、人口減少社会、高齢化、産業空洞化、地域コミュニティの分断など現状の問題点を解説。また、インバウンド需要やweb3などこれからのビジネスチャンスも紹介。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで地方を取り巻く状況について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | webでインバウンドまたはweb3について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| No2 | 地域活性化について社会的アプローチ | 地域コミュニティとソーシャルキャピタルについて学び、地域の人と人の繋がりについて考える。また、地域SNSや地域の個性、差別化などについても学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで地域コミュニティについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域コミュニティのあり方について考える。 | 120 | 分 |
| No3 | 地域活性化について経済学的アプローチ | 地域経済活性化にとって有効的な地域ブランドについて、その考え方や手法などを学ぶ。また、身近な事例として地域商業(商店街)活性化などを考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで地域ブランドについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域ブランドのあり方について考える。 | 120 | 分 |
| No4 | 地域ブランド開発① | 地域ブランドの一つの分類として、地域ブランド商品、食文化、伝統工芸など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで伝統工芸や地域食文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある地域ブランド商品について考える。 | 120 | 分 |
| No5 | 地域ブランド開発② | 地域ブランドの一つの分類として、文化・環境を活用したブランドとして、テーマ型集客施設、道の駅など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで地域における文化、集客施設について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある文化・環境ブランドについて考える。 | 120 | 分 |
| No6 | 地域ブランド開発③ | 地域ブランドの一つの分類として、観光ブランドを取り上げ、コンテンツツーリズム、インバウンドなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで観光ブランドやツーリズムについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、高田馬場の観光名所について考える。 | 120 | 分 |
| No7 | 地域ブランド開発④ | 地域のコミュニケーションやPRに有効的な、キャラクター住民、ゆるキャラ、ご当地ヒーローなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webでキャラクター文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、キャラクターを使用して地域活性する方法について考える。 | 120 | 分 |
| No8 | 中間試験 | 1～7回までの学習達成度確認のための試験 | | |
| | 予習内容(時間) | 中間試験のための学習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 中間試験の振り返り | 120 | 分 |
| 【授業計画】 | 中間試験の結果及び解説。後半の授業の進め方説明。 | 中間テスト内容について解説することで、1～7回の講義内容を振り返り、地域ブランドの開発方法とその効果を再度把握する。後半の授業の進め方、学びのポイントについて説明。 | | |

| | | | | |
|------|----------------------|---|-----|---|
| No9 | 予習内容(時間) | 試験の問題について資料と照らし合わせて確認。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 戻された中間試験の解答から、自分ができていない内容について振り返り学習。 | 120 | 分 |
| No10 | 高田馬場の地域ブランドを考える① | 前半の講義で学んだことを基に、後半の講義では受講者一人一人に、高田馬場の地域ブランドを考えてもらう。まず初めに地域の問題点の洗い出しと、強みになる点についてwebでの調査を行い、各自から発表。 | | |
| | 予習内容(時間) | 高田馬場の地域の強み、弱みの特性についてwebで調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 他の生徒の発表を受けて、自分で気が付かなかった点についてweb検索して学習する。 | 120 | 分 |
| No11 | 高田馬場の地域ブランドを考える②事例紹介 | 高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、そのヒントとして高田馬場発祥、日本で一番発行額の多い地域通貨「アトム通貨」について学ぶ。地域の人と人の繋がりがや街を活性化するためのイベント、外部へのPR方法も学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webでアトム通貨について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、アトム通貨を使用して地域活性する方法について考える。 | 120 | 分 |
| No12 | 高田馬場の地域ブランドを考える③事例紹介 | 高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、現存する地域ブランドである、江戸伝統野菜「内藤とうがらし」再興プロジェクトと、まちイベント「バル辛フェスタ」に見る地域ネットワークについて、「内藤とうがらし」プロジェクトの主催者である成田氏をゲストに招き、その内容について学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webで内藤とうがらしについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、内藤とうがらしを使用して地域活性する方法について考える。 | 120 | 分 |
| No13 | 高田馬場の地域ブランドを考える④ | メタバースによるバーチャル秋葉原構想を推進する、アキバ観光協議会の事務局長加賀氏をゲストに招き、web3の活用方法や、世界から観光客を呼び寄せる手法、今後の展望などから、webを活用した地域ブランドづくりについて学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | webでバーチャル秋葉原について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で使用した配布資料を読み直し、web3を使用して地域活性する方法について考える。 | 120 | 分 |
| No14 | 高田馬場の地域ブランドを考える⑤ | これまでの講義内容を反映させ、高田馬場の地域ブランドについての企画書を指定フォーマットにより作成。各自の考えている概要を発表し、他の受講者から意見を聞く。 | | |
| | 予習内容(時間) | 高田馬場の地域ブランドについて企画書にまとめる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 他の受講者の意見を参考に、作成した企画書をブラッシュアップする。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-B |
| 講義名(英字) | Professional Seminar III |
| 担当教員 | 原 晶子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|-----|------|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | コミュニケーション囲碁 囲碁を用いてコミュニケーションを活性化していきます。囲碁は世界共通のルールで楽しんでいるゲームです。多様な人々がフラットに関わるツールとしても有効です。囲碁のスキルを学びながら、受講生、ゲストと関わり、自己実現を目指していきます。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | 授業に出席、体験する。 受講生同士、ゲストと積極的に関わり、気づき、思ったことをアウトプットする。 自己実現について考え、アウトプットする。 | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 全学年 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 体験型授業。囲碁スキルは、プロ棋士の王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段と日本視覚障害者囲碁協会代表理事 柿島光晴さんにご指導いただく。様々な立場のゲストに講演、参加いただき、視野を広げコミュニケーションを活性化していく。 | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | テキスト1500円(囲碁セット、書籍「囲碁とふれあい囲碁」万葉社) | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |
| | 出席 | 80% | | | | | |

価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)

| | | |
|-----------|------|-------------------|
| レポート提出 発表 | 20% | 出席、受講態度、レポート提出、発表 |
| 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】

ゲストの都合により、日程の入れ替えがあるかもしれません。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------------|--|-----|---|
| No1 | 囲碁をプロから学ぶ① | ゲスト講師:王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段 囲碁のシンプルで簡単なルールを学び、受講生同士で対局する。 | | |
| | 予習内容(時間) | | 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 0 | 分 |
| No2 | コミュニケーション 囲碁の意図 | コミュニケーション囲碁のルーツについて、映像を使い解説。30秒のルール説明で保育園でも囲碁大会をする。たくさんの人とつながる囲碁を受講生同士で体験。 | | |
| | 予習内容(時間) | | 0 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 囲碁の基本ルールを復習する。 | 120 | 分 |
| No3 | コミュニケーション 囲碁 | ペア碁から2チームに分かれての連碁まで、囲碁を楽しむ | | |
| | 予習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| No4 | 囲碁をプロから学ぶ② | ゲスト講師:王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段 囲碁のシンプルで簡単なルールを学び、受講生同士で対局する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 120 | 分 |
| No5 | 違いを認める | ゲスト講師:野村忠司氏「超コミュニケーション」講演 株式会社TNP 代表取締役社長 自分を知る。人との違いを認める。受講生参加型で理解を深める、 | | |
| | 予習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| No6 | ブラインド碁 | ゲスト講師:柿島光晴氏 一般社団法人視覚障害者囲碁協会 代表理事 自分史、現在の活動を語っていただく。視覚障害者用碁盤を使いグループを組んでの囲碁大会を開催。 | | |
| | 予習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| No7 | CACOMO(カコモ) | 囲碁が初めての人でもプロ棋士に勝てるかもしれない!?! 夢のある囲碁ゲーム。プロ棋士 新海洋子(しんかいひろこ)先生開発の囲碁ゲーム CACOMO(カコモ)で大会開催。 | | |
| | 予習内容(時間) | 囲碁の基本ルールを予習する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 2分の自己紹介について考える。 | 120 | 分 |
| No8 | 夢大会 | それぞれの夢を語る。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分の夢について考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で共有後、あらためて自分の夢について考える。 | 120 | 分 |
| No9 | 囲碁をプロから学ぶ③ | ゲスト講師:王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段 囲碁の楽しさを深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。 | 120 | 分 |
| | コミュニケーション 囲碁 | グループワーク | | |

| | | | | |
|------|-----------------|----------------------------------|-----|---|
| No10 | 予習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 120 | 分 |
| No11 | ふるさと自慢 | 自分のふるさと ルーツを語る ゲスト:地域活性化センター | | |
| | 予習内容(時間) | ふるさについて考える。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分の発表 友達の発表について考える。 | 120 | 分 |
| No12 | コミュニケーション 囲碁 | グループワーク | | |
| | 予習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 180 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 180 | 分 |
| No13 | 発表 | 課題の発表 | | |
| | 予習内容(時間) | 授業を通して気づきの発表を作成。 | 240 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 240 | 分 |
| No14 | まとめ | 授業を通してのまとめ | | |
| | 予習内容(時間) | 囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。 | 240 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 0 | 分 |

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-C |
| 講義名(英字) | Professional Seminar III |
| 担当教員 | 三好 陽介 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>ビジネスを進める際には、さまざまな場面で適切な意思決定が求められます。この授業は、企業経営の現場において適切な意思決定を行うための基礎知識の習得と理解を目的としています。</p> <p>具体的には、意思決定の根幹である「判断」について、論理の側面から1)情報の収集と選別 2)リスクと現在価値 3)推定を、また心理の側面から1)合理的決定と感情 2)期待とバイアス 3)信頼、等のテーマを取り上げます。講義のほか実際のビジネスシーンをもとにしたゲーム形式の簡単な演習を行い、意思決定の実践方法を学ぶことができます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>合理的判断のための情報処理と、メリットとデメリットの比較についての方法論を理解する</p> <p>判断に対する感情(ヒューリスティクス)の影響について理解する</p> <p>具体的なケースについて、適切な方法により意思決定を行い、その過程を他者に伝えられるようになる</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>履修条件: とくに基礎知識はなくてもよい</p> <p>受講推奨者: 意思決定について興味のある人、将来的にビジネス上の意思決定に直接あるいは間接的に関わることを志向する人</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>講義ののち、当日の講義内容に即した演習を行う</p> <p>「リスクマネジメントを踏まえた意思決定」のトレーニングとして、仮想ケースを用いた模擬交渉(ロールシミュレーション)を実施する</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>教科書は特に使用せず</p> <p>参考資料等については授業内で適宜紹介する</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|---|------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
| | 合理的判断のための情報処理と、メリットとデメリットの比較についての方法論の理解 | 50% | ・授業への出席: 3分の2(10回)以上出席すること。 ・上記を満たしたうえ本試験にて60%以上得点すること 積極的な発言など授業への貢献による加点あり |
| | 判断に対する感情(ヒューリスティクス)の影響についての理解 | 20% | |
| | 具体的なケースにおける意思決定の実践(演習) | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】
遅刻は授業開始30分まで、やむを得ない理由のある場合に認める
授業内で実施する演習レポートの提出により出席とする
授業中の私語やスマホゲーム等について退出を命ずる場合があります(欠席扱いまたは履修停止)
学事休業日との調整により一部スケジュールが変更(演習と講義の入れ替え等)となる場合があります

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|--------------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | 講座の概要説明と意思決定を学ぶことの意義について学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「意思決定」について自身がこれまでどのように捉えていたか、またこの講座に対して自身が期待することについて整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No2 | 情報の収集と選択(1) | 思い込みで判断するのではなく事実・情報をもとに合理的な意思決定を行うためには、まず適切な情報収集と取捨選択が必要であることと、その具体的な方法論を学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | なにかを決めるときにどのような情報を集めるかについて、自分なりに整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No3 | 情報の収集と選択(2) | すべての情報が得られない中で判断する必要のある時に、どのようにして推定をはたらかせるのか、またその判断を「仮説」として徐々に検証し、精度を高めていくためにはどのようにすればよいのかについて学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「仮説と検証」について、自分なりに整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No4 | 演習(1) 模擬交渉準備 | フリーマーケットでの買い物についての仮想ケースを題材に、売り手・買い手いずれかの立場から「どんな情報を予め調べておくか」「相手からどんな情報を聴きだすか」「自分のどんな情報を相手に伝えるか」について考察します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「交渉」について、自分なりに整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No5 | 演習(2) 模擬交渉 | 前回の準備をもとに実際に模擬交渉を行い、相手から必要な情報を得られたか、自分の情報を伝えられたかを考察します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回の準備について振り返っておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No6 | メリットとデメリットの比較 | 合理的意思決定の基本である「メリットとデメリットの比較」について学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 身の周りで「メリット」と「デメリット」を比較した経験がないか、自分なりに整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No7 | リスクとその対策 | リスクとは何か、どう対策すればよいかについて学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | リスク対策について自分なりに調べ、整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No8 | メリットの最大化とデメリットの最小化 | 前回学んだメリットとデメリットの比較について、メリットをより大きくするための施策やデメリット(リスク)を小さくするための対策を行うことでより良い判断ができることを学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回学んだリスクについて、自分なりに整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------------|---|-----|---|
| No9 | 演習(3)合理的 意思決定のまとめ | これまで学んだ内容をもとに、仮想ケースについて実際に情報収集、取捨選択、メリットとデメリットの比較検討を行い、報告します。 | | |
| | 予習内容(時間) | これまで学んだ内容について自分なりに整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No10 | 合理的意思決定 と感情 | 意思決定に対する感情や認知バイアスの影響について学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「認知バイアス」について、自分なりに調べ、整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No11 | アンカリングとフ レーミング | 代表的な認知バイアスであるアンカリングとフレーミングについて、その性質と対処法を学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 前回学んだ「認知バイアス」のうち、とくにアンカリングとフレーミングについて自分なりに調べ、整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No12 | 演習(3) 模擬交 渉準備 | フリーマーケットでの買い物についての仮想ケースを題材に、演習(1)と同様の内容に加え、どのようにして、またいくらで売る/買うのかを考えます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 演習(1)で自分がどのように考えたかを読み返し、またその後学んだことをもとにバージョンアップしておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No13 | 演習(4) 模擬交 渉 | 前回の準備をもとに実際に模擬交渉を行い、相手から必要な情報を得られたか、自分の情報を伝えられたか、またそれらのコミュニケーションをもとに、適切な意思決定ができたか等を考察します。 | | |
| | 予習内容(時間) | これまでの学習内容について自分なりに整理し、交渉にどのようにそれらを活かすかを考えておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |
| No14 | 講座のまとめ | これまでの授業内容を振り返り、重要な概念について再度解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | これまでの授業内容を、自分なりに振り返り整理しておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| 分野系列 | 演習科目 |
|------------|--|
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-D |
| 講義名(英字) | Professional Seminar III |
| 担当教員 | 佐藤 友紀子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | |
|--------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | <p>派手なイメージを抱かれがちな「イベント」の中で、「展示会」と聞くと、『地味そう』と感じるかもしれませんが、この「展示会」も数多く行われており、システムがかなり確立されているおもしろいイベントです。この講義では、そのシステムや展示会場の仕組み、出展要綱や展示会独特のルールを知ることで展示会というイベントを理解します。さらに、その出展目的と出展位置に合わせた効果的なブース作りを提案し、最適な運営を行なえる知識とスキルを身につけていきます。また、外に向けたものとしての会議やセミナー、企業が内に向けて行う表彰イベントなどの特徴についても学んでいきます。</p> | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>【展示会・会議イベントに関する基礎知識を理解する】 技術や手法を基礎を知り、理解し説明することが出来る。</p> <p>【展示会・会議イベントの構成要素を知り理解する】 出展要綱を読むことができ、理解し、クライアントに対し必要な条件を説明し、提出書類を選ぶことができる。</p> <p>【自らの展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる。</p> | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | <p>◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「展示会・会議イベント」の仕組みを知りたいと考えていること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。</p> | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>講義ではスライドを使用し、展示会・会議イベントの基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちで展示会イベントのポイントを押さえていきます。</p> | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <p>◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。</p> | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | |

| | | | | | | |
|------------|-----|---|-----|---|-----|---|
| 【実務IQ修得目標】 | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ |
|------------|-----|---|-----|---|-----|---|

| 評価項目と割合 | 評価方法 |
|--|------|
| 【展示会・会議イベントに関する基礎知識を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。 | 30% |
| 【展示会・会議イベントの構成要素を知り理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。 | 35% |
| 【自ら展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。 | 35% |
| 合計 | 100% |

70%以上の出席を前提として、授業態度30%、提出物10%、期末試験60%
講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。

【その他の注意事項】
 ◇講義中、他者に迷惑となる行為(私語等)厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)もご遠慮ください。
 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|----------------|---------------------------|-----|---|
| No1 | イントロダクション | 本講義についてのガイダンス | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が想像する展示会について考察する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No2 | 展示会・会議系イベントの基礎 | 展示会とは/会議系イベントとは | | |
| | 予習内容(時間) | 展示会主催者にはどのような人がいるか考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No3 | 展示会場の仕組み | 展示会主催側の動き | | |
| | 予習内容(時間) | 想像する展示会のルールについて考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No4 | 出展要綱について-1 | 展示会ならではのルール | | |
| | 予習内容(時間) | 展示会制作時に必要となりそうな提出書類について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No5 | 出展要綱について-2 | 提出書類の意味/レンタル品 | | |
| | 予習内容(時間) | 出展要綱とは何かについて考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No6 | 出展要綱について-3 | 出展要綱読み解き~実践 | | |
| | 予習内容(時間) | さまざまな展示会のブースの特徴について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No7 | 展示会のブース作り | 展示会における施工の特徴 | | |
| | 予習内容(時間) | 展示会に限らず見たことのある商品展示について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| | 展示方法について | 業界別に見る展示手法 | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|------------|-------------------------------|-----|---|
| No8 | 予習内容(時間) | 展示会の運営とはどういうものかについて考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No9 | 展示会の運営 | 展示会における運営計画(導線・ポストとシフトなど) | | |
| | 予習内容(時間) | 印象に残っているブースについて、その理由を考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No10 | 効果的なブース作り | 施工、導線、サイン、展示方法 | | |
| | 予習内容(時間) | 想像する「会議イベント」について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No11 | 外部向け会議イベント | カンファレンス/コンベンション/カンファレンスなどの作り方 | | |
| | 予習内容(時間) | 会議イベントで重要と思われる運営について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No12 | 会議イベントの運営 | 会議イベントの運営ポイント | | |
| | 予習内容(時間) | さまざまな授業で学んだ運営について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No13 | 会議イベントを考える | 運営計画実践 | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が体験、もしくは見聞きした表彰式について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No14 | 番外編:表彰式 | 表彰式の作り方 | | |
| | 予習内容(時間) | 学んだことをを頭に入れながら開催されている展示会に足を運ぶ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容と、これまでの講義について | 120 | 分 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-E |
| 講義名(英字) | Professional Seminar III |
| 担当教員 | 賽音吉雅 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|---------|------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | プロフェッショナル・セミナーとは何か。 首都圏に集まる若年層(大学・短大・専門学校生、社会人)がどのような考えで、どのようなプロへの志向性を持っているかについて解析する。そして、若者にとって魅力ある学習環境や共感を呼ぶフィールドスタディーのあり方を提案する。フィールドスタディーで実践の根底にあるパラダイム(概念的枠組)や、関連する学習環境の課題についても多角的に考察する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | キャリアデザインを楽しむ自由かつ闊達な思考を醸成する 文芸(概論)と実習を連携するイベントを企画・実施する 芸術性(アーティスティック)を課題としたイベントを企画し、実施する能力に目標する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇ 芸術・音楽・演奏を楽しみ、好きな課題を見つけられる人。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 担当教員は、来日以来20年間のプロ演奏活動とフィールドスタディーのデータをもとに講義を行う。現場を経験したからこそ、学生にとっての学びに有益な情報を選択して、豊富な指導経験や具体的事例に基づき、授業づくりの面白さや課題を丁寧に解説する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇教材は文献資料、DVD、写真、パワーポイントなどを利用する。参考文献等は、その都度、授業中に紹介する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>○</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>評価項目と割合</td> <td>評価方法</td> </tr> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------------------|---|------|-----------------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 芸術、エンタメ、ミュージックなど企画・実施(キャリアデザイン)し、その内容を評価する。 | 30 | 授業への参加率・レポートの出来映えなどから授業への積極性を評価する |
| | プロとは何か、について基本的な知見と方法を学び、さらに個性(オリジナリティー)を評価する。 | 30 | |
| | 芸術性(アーティスティック)を課題としたイベントを企画し、実施する能力を評価する。 | 40 | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】

◇この授業(スタディー)をプロフェッショナルへの入口にするという意欲を高めること。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|-------------|--------------------|-----|---|
| No1 | 授業概要 | オリエンテーション(自己紹介を含む) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No2 | デザイン論 | 美術・芸術とキャリアデザインとは何か | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No3 | 文化交流論① | 東西文化交流の方法 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No4 | 文化交流論② | アジア文化交流の特色 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No5 | 文化交流論③ | 日本モンゴル文化交流の意義 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No6 | エンタメについて分析 | エンタメイベントプロデュースの課題 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No7 | エンタメ論① | 映画企画、制作の課題 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No8 | エンタメ論② | テレビ・ラジオ制作の課題 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | | 分 |
| No9 | エンタメ論③ | インターネット動画制作の方法 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No10 | 音楽のジャンルについて | クラシック～民族音楽の楽しみ方 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------|----------------------------------|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | | 分 |
| No11 | 伝統音楽① | 馬頭琴の多文化性A(和楽器との共演) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No12 | 伝統音楽② | 馬頭琴の多文化性B(日本の歌との共演) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No13 | 伝統音楽③ | 馬頭琴の多文化性C(朗読との共演) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義のメモにて復習 | 120 | 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 | 今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 全体の復習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-A |
| 講義名(英字) | AI・Data Science |
| 担当教員 | 福田 宏幸 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|------|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 近年、AIやデータサイエンスは、あらゆる業種・分野で活用されており、生活やビジネスにおいて必要不可欠なものになっています。その為、これらの基礎知識や概念を習得する事は、AIエンジニアやデータサイエンティストを志す学生だけでなく、すべての学生にとって大変重要です。この講義では、AI・データサイエンスの理解に必要な知識を、初学者向けに、具体的事例を通じて分かりやすく伝えます。(特に、数学やプログラミングの知識は必要としません。)また、演習を通して、実際にどのような仕組みで動いているのかを体験します。実務で得られた経験やエピソードもお伝えします。 | | | | | |
| 【到達目標】 | AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。 AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。 AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。 | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 数学やプログラミングの知識は不要ですが、AI・データサイエンスへの興味がある事。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義および、演習・グループディスカッションを中心とします。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | オリジナルスライドを使用する為、教科書は使用しません。 | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| | 評価項目と割合 | | | | | 評価方法 |

| | | | |
|------------------------------|--|------|------------------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。 | 40% | 最終試験70% ミニレポート30% 出席(3分の2以上) |
| | AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。 | 40% | |
| | AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。 | 20% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|-------|
| 【その他の注意事項】 | とくになし |
|------------|-------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------------|--|-----|---|
| No1 | なぜ、AI・データサイエンスが必要か？ | Society 5.0等の社会的背景を踏まえながら、AI・データサイエンスの必要性について理解します。また、自分が何の為にAI・データサイエンスを学ぶのかを考え、講義全体の目標を立てます。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスの精読 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:本講義に期待すること | 120 | 分 |
| No2 | データの重要性と種類 | AIもデータサイエンスも、データが無ければ成立しません。“Data is the new oil.”と言われる様な、データの重要性について述べます。そして、構造化・非構造化等、様々なデータの種類についても説明します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 世の中で使われているデータを調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:データの重要性について | 120 | 分 |
| No3 | データサイエンスとは？ | 具体的な事例を通じて、データサイエンスとは何かを示します。クラスタリングや回帰分析等、実務で良く使われる様々なデータサイエンスの手法についても説明します。 | | |
| | 予習内容(時間) | データサイエンスの活用事例を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:データサイエンスの手法について | 120 | 分 |
| No4 | 統計の基礎 | 平均や分散、相関、仮説検定等、データ分析に必要な統計の基礎知識について説明します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 統計について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:身近なデータの統計量を求める | 120 | 分 |
| No5 | マーケティングデータ | データサイエンスの活用事例として、マーケティングにおける顧客データ分析等の事例を紹介します。 | | |
| | 予習内容(時間) | マーケティングにおけるデータサイエンス事例を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:マーケティングデータ分析について | 120 | 分 |
| No6 | データサイエンス演習 | 実際に自分で手を動かしながら、Excelでデータ分析を行い、データサイエンスについて理解を深めます。 | | |
| | 予習内容(時間) | Excelの使い方について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:データサイエンス演習について | 120 | 分 |
| No7 | AI・データサイエンスの現場 | 実際にAI・データサイエンスの現場で活躍するゲストを招き、最新のリアルな事例を紹介します。 | | |
| | 予習内容(時間) | データサイエンスの実務について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:これまでの講義に対する感想 | 120 | 分 |
| No8 | AIとは？ | 具体的な事例を通じて、AIとは何かを示します。画像、テキスト、音声等、様々なAIの種類についても説明します。 | | |
| | 予習内容(時間) | AIの活用事例を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:AIの手法について | 120 | 分 |
| No9 | 画像AI | 最もポピュラーなAIである画像認識の仕組みと活用事例を説明します。StableDiffusion等の最近の画像生成AIについても紹介します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 画像AIの事例を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:画像AIについて | 120 | 分 |
| | テキストAI | 自然言語処理等、テキストに関するAIの仕組みと活用事例を説明します。ChatGPT等の最近のテキスト生成AIに | | |

| | | | | |
|------|----------------|--|-----|---|
| | | についても紹介します。 | | |
| No10 | 予習内容(時間) | テキストAIの事例を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:テキストAIについて | 120 | 分 |
| No11 | Pythonプログラミング | 実体としては、AIは、プログラムの一種にすぎません。その事を理解する為に、AIの開発で一般的に使われているプログラミング言語「Python」について解説します。 | | |
| | 予習内容(時間) | Pythonについて調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:Pythonプログラミングについて | 120 | 分 |
| No12 | AI演習 | 実際にAIの画像認識プログラムを動かしてみる事で、AIに対する理解を深めます。 | | |
| | 予習内容(時間) | ディープラーニングについて調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:AI演習について | 120 | 分 |
| No13 | 法律・倫理・プライバシー | 新しく浮上した課題として、法律・倫理・プライバシーの問題について考えます。 | | |
| | 予習内容(時間) | AIの著作権について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:AI・データサイエンスが持つ課題について | 120 | 分 |
| No14 | AI・データサイエンスと未来 | AI・データサイエンスによって生活やビジネスがどう変革するか。過去の事例を見ながら、未来について議論します。 | | |
| | 予習内容(時間) | AI・データサイエンスのイノベーション事例について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポート:AI・データサイエンスの未来について | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-B |
| 講義名(英字) | Professional Seminar IV |
| 担当教員 | 難波 俊樹 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>イベントはもちろんのこと、社会に出て行われる「仕事」は「プロジェクト」と呼ばれる活動の連続です。この講義では、イベントの立案、実行力を身につけるだけでなく、社会人として必要な、様々な問題解決力、分析力、発想力を身につけるよう行います。特に難しい概念的な事項については、コンサートや映画、ゲームなど身近な事例を通じて実践的知識を獲得できるように配慮しています。また、時間中は講義だけでなく、実際にイベントの実施を行うためのグループワークを実施します。(イベントの実施時期によって、各項目の実施時期がシラバスと異なることがあります)</p> | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>基本的な問題解決の枠組みの習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的に活用できる様々な問題解決力、分析力、発想力が身についたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 <p>プロジェクトをマネジメントする能力の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトをマネジメントするための様々な技法や考え方が身に付いたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 <p>プランの発想・立案力の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランを発想し、それを他人に分かりやすく説明する能力は身についたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>また、将来イベントの仕事に就きたい方に特にお勧めします。イベント以外にもさまざまな業種の仕事に直接役立つ内容ですので、さまざまな業種の志望者にも役立ちます。</p> | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義とワークショップを組み合わせで行います。 | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 特になし | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | |

| | | | | | | | |
|------------|-----|---|-----|--|-----|--|--|
| 【実務IQ修得目標】 | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | | |
|------------|-----|---|-----|--|-----|--|--|

| | | | | | | | |
|------------------------------|---------------|------|---------------------------------|--|--|--|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | |
| | 定期試験 | 50% | 定期試験、グループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 | | | | |
| | 課題への取り組み状況 | 30% | | | | | |
| | グループワークへの参加状況 | 20% | | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | | |

| | |
|------------|-------------------------------|
| 【その他の注意事項】 | イベントの立案・調査で学外に実地調査に出る場合があります。 |
|------------|-------------------------------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|------------|---|-----|---|
| No1 | 講義のガイダンス | 本講義の目的と概要の説明 プロジェクトとは何か 社会の中のプロジェクト | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No2 | 基本的な思考スキル① | 問題解決思考の基本 目的と目標 アウトプットとアウトカム 問題解決思考の流れ | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No3 | 基本的な思考スキル② | 問題解決思考の基本 問題解決のためには。まず課題の把握と、分析が必要となる。そのための基本として次のテーマでワークを行う。 具体と抽象／一般と特殊 分析・問題解決の様々なフレームワーク | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No4 | 基本的な思考スキル③ | 問題解決思考の基本 様々な分析ツールの使い方を学び、それを用いて、課題分析についてのワークショップを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No5 | プロジェクトの基本① | プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 スコープ スケジュールリング リソース(人的資源、物的資源、金銭的資源、時間的資源) | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No6 | プロジェクトの基本② | プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 プロジェクトの「ヒット」 リーダーシップ、責任と権限、ステークホルダー | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No7 | プロジェクトの基本③ | プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 PDCAサイクルとは何か？ スケジュールと進捗管理 クリティカルパス | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------------|--|-----|---|
| No8 | プロジェクトの実践① | 前時までに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトとリスクはつきもの。事前にリスクの分析と対策の知識を学び、リスク対策のワークを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No9 | プロジェクトに関するケーススタディ | 様々なプロジェクトのケーススタディ コンサート、ゲーム開発、イベント、メディア制作などから実例をあげて行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No10 | プロジェクトの実践② | これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトのコミュニケーションについて コミュニケーション計画、会議、SNS 議論の方法など | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No11 | プロジェクトの実践③ | これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 複数の要素から判断すべき課題について意思決定するためのツールとして、「戦略的意思決定」を学び、実際の意思決定を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No12 | イベント企画立案ワークショップ | これまで学んできた、プロジェクトマネジメントの知識を生かし、実際にイベントを立案するワークショップを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布テキストを用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No13 | 失敗の科学① | 失敗を恐れては、成長も成功もありえない。失敗を自分のエネルギーに変えるための様々な考え方について学ぶ。また、失敗の原因分析の方法論についても学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料を用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |
| No14 | 失敗の科学② | ・発生した失敗のリカバリー法を様々なケースについて学び、失敗への対応力を向上させる。 ・メンタル面での、失敗からの立ち直り方について学び、レジリエンスを向上させる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料を用いての予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 本時講義の復習、関連事項の確認 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 3年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅤ BE-A |
| 講義名(英字) | Professional Seminar Ⅴ |
| 担当教員 | 緒方 義人 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | |
|----------------------------|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>テーマ: 戦略営業論</p> <p>大卒(文系)の7割以上が営業職に就くと言われていて、本講座を通じ企業活動にとって最も重要で本質的な営業の仕事とはどういったものなのか、どのようなスキルが求められているかを理解し、その上で「企業の現状」を把握する上で有効なフレームワークやクライアントが抱える「問題解決」のプロセス・方法を学びます。また、営業に求められる重要なコミュニケーションスキルのひとつに交渉力が挙げられます。「交渉術」といった場当たり的なものではなく体系的に「交渉学」の理論を学び、演習(模擬交渉)を通じそのスキル学びます。受講生はペアワーク・グループワークに積極的に参加することで、傾聴することの大切さ、自分の意見をわかりやすく伝えながらメンバーを巻き込み協働するプロセスを学びます。</p> <p>2019年度に開講した本講座では、東京信用金庫様と連携で授業を行ってまいりました。授業後半では、「信金の営業の立場から顧客の経営課題を解決する」というテーマで、受講生たちは信金の方からご指導を受けながら議論や調査を重ね、同金庫のお客様の抱える課題解決に取り組みます。プレゼンテーションではお客様にも同席いただき、本番さながらの環境で実践的能力を磨きます。</p> |
| 【到達目標】 | <p>基礎知識を習得する</p> <p>他者と協力しながら、主体的に取り組む</p> <p>問題解決のプロセスを理解し、実践する</p> |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>必須とする条件はありませんが、以下のいずれかに関心のある学生を歓迎いたします。</p> <p>◇営業の仕事に興味・関心があるが、実態がよくわからないので、授業を通じ「営業」について学びたい学生。</p> <p>◇グループワーク、ペアワーク、プレゼンテーションなどを通じコミュニケーション能力を磨き、就職活動に備えたいと考えている学生。</p> <p>◇新たな「気づき」や「学び」を得ようと、授業に積極的に参加できる学生。◇金融業界に関心がある学生</p> |
| 【教育方法】 | <p>講義はアクティブラーニングの手法を取り入れながら、講義と演習の双方で構成されます。</p> <p>受講生は教員の話に傾聴するだけでなく、グループワーク・ペアワークに積極的に参加し、自らの頭で考え、その考えを発表したり、他の受講生の考えを聞き、意見を交わしながら学びを深めます。</p> <p>授業終了後には、必ずその回の授業の振り返り(リフレクション)を行い、学びを定着させます。</p> |
| 【指定教科書・ | ◇教科書: 使用せず。 |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-------------------------------------|---|---|-----|-----|-----|---|
| 参考資料等】 | ◇講義資料は、授業で毎回配布します。 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | | |
| | 営業に関する基本的な概念や用語、企業研究を行うためのフレーム、交渉学の理論を理解しているか | 30% | この授業は演習が主となるので、知識の習得のみならずセミナーへの積極的な参加を求めます。そして他の受講生と協力しグループで課題に取り組む姿勢を重視します。評価の配分はテスト20%、授業中の取り組み姿勢40%、アウトプット物(ワークシート、企画書、振り返りシート、アンケート)40%です | | | | | |
| | グループでの役割を意識し目標達成に向け主体的に取り組んでいるか、交渉学の理論・知識を活用して演習を実践しているか | 40% | | | | | | |
| | 問題解決のプロセスを理解し、その知識を活用してロールプレイや演習を通じ実践しているか | 30% | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ◇特になし。 | | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | オリエンテーション | 概要(授業内容、評価方法)説明、アンケート | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスを読み、受講に当たっての抱負・目標をまとめる | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | | | | 120 | 分 |
| | No2 | 営業の仕事を知る① | 映像を元に、営業の仕事を理解する | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 映像を視聴する | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | | | | 120 | 分 |
| | No3 | 営業の仕事を知る② | 記事を元に、営業の仕事を理解する | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | インタビュー記事を読む | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | | | | 120 | 分 |
| | No4 | 問題解決について学ぶ | 問題解決のプロセスを学び、演習を通じ理解する | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 授業で取り扱う題材(ケース)を読み、「問題」と「解決策」を考え、ワークシートにまとめる | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | | | | 120 | 分 |
| | No5 | 営業視点で企業を研究する① | 企業の現状を把握する上で有効な3つのフレームワークを学び、演習を通じて理解する(3C分析・PEST分析) | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | ワークシートを使い企業分析に挑戦する | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で学んだフレームを活用し、実在する企業で企業分析を行う | | | | 120 | 分 |
| | No6 | 営業視点で企業を研究する② | 企業の現状を把握する上で有効な3つのフレームワークを学び、演習を通じて理解する(SWOT分析) | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | ワークシートを使い、企業分析に挑戦する | | | | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業で学んだフレームを活用し、実在する企業で企業分析を行う | | | | 120 | 分 |
| No7 | 営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ① | 交渉学における理論を学ぶ | | | | | | |
| | 予習内容(時間) | 日常生活の中の身近な「交渉」についてまとめる | | | | 120 | 分 | |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | | | | 120 | 分 | |

| | | | | |
|------|------------------------|--|-----|---|
| | 営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ② | 交渉について演習を通じて理解する | | |
| No8 | 予習内容(時間) | 演習の事前準備を行う | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |
| | 信用金庫の仕事とは何かを学ぶ | 東京信用金庫様をお招きし、信用金庫の仕事について学ぶ | | |
| No9 | 予習内容(時間) | 映像を通じ、信用金庫の仕事について学ぶ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |
| | 営業の仕事を体験する① | オリエンテーション(東京信用金庫様のクライアントを招き、現状抱える課題について説明を受ける) | | |
| No10 | 予習内容(時間) | 授業で学んだ3つのフレームを活用し、東京信用金庫様の企業分析を行う | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |
| | 営業の仕事を体験する② | メンバーと自分の考え(クライアントの現状と課題)を共有し、チームで解決策を考える | | |
| No11 | 予習内容(時間) | クライアントの現状と課題についてワークシートにまとめる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |
| | 営業の仕事を体験する③ | グループで解決策をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する | | |
| No12 | 予習内容(時間) | プレゼンテーション資料の作成準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |
| | 営業の仕事を体験する④ | グループで考えた解決策を、クライアントに発表する | | |
| No13 | 予習内容(時間) | プレゼンテーション資料の完成・プレゼンテーションの準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |
| | 振り返り | 今までの授業についての総括/振り返りとアンケート | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 授業で配布した資料をもとに、学びを総点検する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 3年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅤ BE-B |
| 講義名(英字) | Professional Seminar Ⅴ |
| 担当教員 | 濱松 敏廣 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|---|-----|---|-----|---|--|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>ボランティアの経験を就職面接で学生に問う企業が増えています。なぜでしょうか？ 大きな責任を伴う企業では、責任感がなく根性がない人の採用は、よほどのコネでもない限りしません。 そこで彼らには対価性が低いボランティア活動のなかで、与えられた仕事を継続し責任の伴う役割を果たすことができたのか、書類や面接で引き出そうとするのです。 当論では社会貢献団体におけるイベント運営や歴史、企画書の書き方、スポンサー獲得への営業体験などを提供し、社会の即戦力として期待される学生を育成します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>社会課題の種類を知り、なぜその問題に興味を持つのか、自分の気持ちを確認すること。 企画書の作成を通じて、他者からの評価および他者への評価づけを体験すること。 既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>◇ 履修条件:とくになし。 ◇ 就活などに追われ、自分の価値について再考したい方には特にお勧めします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>系統学習に加えて、一部課題解決型学習を取り入れます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | <p>指定図書は使用しません。各テーマごと、必要に応じて用意します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td>○</td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |

| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 |
|------------------------------|---------------------------------------|------|---|
| | 既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。 | 30% | 評価項目と割合に準拠しつつ、授業態度および体験イベントへの参加を加味した上で、試験にて評価を行う。 |
| | 6W2HおよびSWOT分析についての理解を深めることができたか。 | 40% | |
| | 課題提出の提出。 | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】
 ◇他校の学生や社会人と連絡をとることがあるため、対外的に使えるメールアドレスをご用意ください。
 ◇予習や復習はあくまでも学問としての理解を深めるための目安であり、当授業にとって必ずしも必要ではありません。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|----------------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション&イントロダクション | 非営利イベントの意義とブランディングについて。物事の「価値」を考えよう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分が興味を持つ、または問題意識を感じている社会課題について、調べておこう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分を取り巻く社会課題について考えることで、大学での学びをより充実させてみよう。 | 120 | 分 |
| No2 | 非営利イベントを行う目的と企画立案の仕方 | 企画の立案・分析・予算・広報(内部/外部)・スタッフ・スケジュールについて学びます。非営利団体と営利企業の運営における違いとは？ | | |
| | 予習内容(時間) | 営利企業におけるイベントについて、知っている人は思考を整理しておこう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 非営利団体と営利企業の運営の違いをについて、思考整理しておこう。 | 120 | 分 |
| No3 | スポンサー獲得方法と協賛の種類 | NPO法人維新隊ユネスコクラブでの事例紹介。自立のできる非営利組織と自立のできない組織における「違い」とはなにか、考えよう。 | | |
| | 予習内容(時間) | 社会貢献団体における自立の方法について、考えてみよう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 身近な活動事例を知り、補助金に頼る団体と頼らない団体の違いは何か、考えをまとめよう。 | 120 | 分 |
| No4 | 要素分析とデザイン | スポンサー獲得のできる企画書と、できない企画書の違いとは何でしょうか。デザインの重要性和、6W2Hについて学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 「スポンサーの獲得できる企画書」について自分なりの考察を予習することにより、学習深度を深めることが可能となります。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 予習で得た自分の考察とサンプル事例を比較することにより、企画書の重要性を学びます。 | 120 | 分 |
| No5 | 思考の整理術 | 6W2Hの復習とPDCAの重要性について、理解度を深めます。 | | |
| | 予習内容(時間) | PDCAの使い方および事例について、調べてみよう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 思考の整理術にはどのような方法があるか、復習しよう。 | 120 | 分 |
| No6 | 企画書を書く前に ~SWOT分析①~ | マーケティング手法「SWOT」の具体的な分析方法を学ぼう。Ex)自分SWOT | | |
| | 予習内容(時間) | マーケティング分析について、自主的に調べてみよう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | SWOT分析における外的要因と内的要因とは何か？理解しよう。 | 120 | 分 |
| No7 | 企画書を書く前に ~SWOT分析② | 自分SWOTを使って自分を商品に見立てた上で、相互プレゼンテーションを体験してみよう。 | | |
| | 予習内容(時間) | SWOT分析とはなにか？さまざまな文献を調べ、理解を深めよう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 相互プレゼンテーションで「評価をする者」と「評価をされる者」の両方を体験し、その時感じた自分の気持ちを再確認しよう。 | 120 | 分 |
| No8 | 企業CSRの実例紹介 | 企業CSR担当者をお招きし、企業におけるCSRの意義やイベント等の実情を聞き、営利企業にとっての社会貢献とはなにか、理解を深める。 | | |
| | 予習内容(時間) | ゲスト企業について、調べておこう。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ゲスト企業にスポンサーをお願いできる社会貢献テーマは何か、読み解こう。 | 120 | 分 |
| | テーマ別チーム結成・簡易企 | テーマ別にチーム分けを行い、スポンサー企業を意識した企画書作りを実施。 | | |

| 画書の作成 | | | |
|-------|------------------|--|-------|
| No9 | 予習内容(時間) | チームビルディングの方法について、調べてみよう。 | 120 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画書の作り方に必要なポイントは何か？再確認しよう。 | 120 分 |
| No10 | 企画書の相互チェック・俯瞰 | プレゼンテーションへの準備。足りないポイントは何か？チームメンバーと共に考える。 | |
| | 予習内容(時間) | 優れたプレゼンに必要な要素とはなにか、調べておこう。 | 120 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画書の内容について、人の心を打つことができる内容か、再確認しておこう。 | 120 分 |
| No11 | チーム対抗プレゼンテーション | チーム対抗プレゼンテーションの実施。優秀チームの選定および評価を相互に行おう。 | |
| | 予習内容(時間) | 発表者を決め、発表の予行練習をしておこう。 | 120 分 |
| | 復習内容(時間) | 優勝チームと自分たちのチーム発表について、違いを考えてみよう。 | 120 分 |
| No12 | 企画書のブラッシュアップ | 優秀チームの企画書を、より良くするための意見交換をしよう。 | |
| | 予習内容(時間) | 優勝チームの企画書について、良い点と悪い点を認識しておこう。 | 120 分 |
| | 復習内容(時間) | 意見交換をもとに、デザインに独自性を持たせてみよう。 | 120 分 |
| No13 | 企業CSRの実例紹介資料の見直し | 春期授業で使われた資料の再確認を行い、自身が企画書を書けるようになってから資料を見るとどのような変化を感じたか意見交換を行おう。 | |
| | 予習内容(時間) | 企業CSR担当者が提供してくれた資料を見ながら、6W2Hに当てはまるキーワードを抜き出そう。 | 120 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業時に聞くことのできた他者の意見と自身の感じ方の違いについて、思い返してみよう。 | 120 分 |
| No14 | 総括・達成度の確認 | 今までの授業についての総括および学習達成度の確認しよう。テスト範囲について、要点整理を行います。 | |
| | 予習内容(時間) | No1～13までの資料を再度読み直してください。 | 120 分 |
| | 復習内容(時間) | 要点整理をしますので、重要ポイントを復讐してください。 | 120 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 3年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅦ BE-A |
| 講義名(英字) | Professional Seminar VII |
| 担当教員 | 野沢 牧子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|---------|------|------|----|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められるようになってきました。本講義では、自立を目的として「話す・聴く・書く」というコミュニケーション力と対人関係構築力を、グループワークやディスカッションを通じ体感的に学びます。自信を持って就職活動に臨めるよう、進路決定にあたってしておくべき自己分析や業界理解、企業理解を進めていきます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 3年生で民間企業等への就職を考えている学生 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義及び個人、グループワーク | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 講義資料およびワークシートは随時配布する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>評価項目と割合</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>受講態度</td> <td>70</td> </tr> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | 受講態度 | 70 | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度 | 70 | | | | | | | | | | | | | | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| | |
|---------------|------|
| 課題提出物による授業理解度 | 30 |
| 合計 | 100% |

職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価(取り組み姿勢・参加態度含む)70%、レポートおよび提出物評価30%。

【その他の注意事項】

本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いいたします。講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の現状理解、全体スケジュールと準備事項 ・大学3年生の過ごし方 ~納得いくキャリア形成のために今すべきこと | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No2 | 社会人基礎力の理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の紹介 ・適性テスト受験 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No3 | 社会人基礎力の理解 | 社会人基礎力の紹介 ~社会で求められるコンピテンシーを理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No4 | 自己理解~入門編 | 社会人基礎力から強みを考える | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No5 | 自己理解~入門編 | 自己PRの書き方理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No6 | 自己理解~入門編 | 自己PRの作成 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ワークシート作成 | 120 | 分 |
| No7 | 仕事理解~入門編 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No8 | 仕事理解~入門編 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No9 | 仕事理解~入門編 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|--------------|-----------------------|-----|---|
| No10 | 適性テスト受験結果解説会 | 適性テスト受験結果解説会 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返り | 120 | 分 |
| No11 | インターンシップ参加準備 | インターンシップ参加企業の研究 | | |
| | 予習内容(時間) | 参加企業事前調査 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ワークシート作成 | 120 | 分 |
| No12 | インターンシップ参加準備 | インターンシップ参加企業の志望動機作成 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ワークシート作成 | 120 | 分 |
| No13 | キャリア情報交流会 | OBOGの話から仕事のやりがいや職業を知る | | |
| | 予習内容(時間) | キャリア情報交流会事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 振り返り | 120 | 分 |
| No14 | インターンシップ参加準備 | セルフプレゼンテーション | | |
| | 予習内容(時間) | 課題事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 3年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅦ BE-C |
| 講義名(英字) | Professional Seminar VII |
| 担当教員 | 宮地 由夏 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|---------|------|------|----|-----|--|-----|--|-----|---|-----|---|-----|--|--|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められるようになってきました。本講義では、自立を目的として「話す・聴く・書く」というコミュニケーション力と対人関係構築力を、グループワークやディスカッションを通じ体感的に学びます。自信を持って就職活動に臨めるよう、進路決定にあたってしておくべき自己分析や業界理解、企業理解を進めていきます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 3年生で民間企業等への就職を考えている学生 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義及び個人、グループワーク | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 講義資料およびワークシートは随時配布する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>評価項目と割合</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>受講態度</td> <td>70</td> </tr> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | 受講態度 | 70 | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受講態度 | 70 | | | | | | | | | | | | | | | | |

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

| | |
|---------------|------|
| 課題提出物による授業理解度 | 30 |
| 合計 | 100% |

職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価(取り組み姿勢・参加態度含む)70%、レポートおよび提出物評価30%。

【その他の注意事項】

本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いいたします。講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の現状理解、全体スケジュールと準備事項 ・大学3年生の過ごし方 ~納得いくキャリア形成のために今すべきこと | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No2 | 社会人基礎力の理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の紹介 ・適性テスト受験 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No3 | 社会人基礎力の理解 | 社会人基礎力の紹介 ~社会で求められるコンピテンシーを理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No4 | 自己理解~入門編 | 社会人基礎力から強みを考える | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No5 | 自己理解~入門編 | 自己PRの書き方理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No6 | 自己理解~入門編 | 自己PRの作成 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ワークシート作成 | 120 | 分 |
| No7 | 仕事理解~入門編 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No8 | 仕事理解~入門編 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| No9 | 仕事理解~入門編 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題作成 | 120 | 分 |

| | | | | | |
|------|----------|--------------|-----------------------|-----|---|
| | | 適性テスト受験結果解説会 | 適性テスト受験結果解説会 | | |
| No10 | 予習内容(時間) | | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 振り返り | 120 | 分 |
| | | インターンシップ参加準備 | インターンシップ参加企業の研究 | | |
| No11 | 予習内容(時間) | | 参加企業事前調査 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | ワークシート作成 | 120 | 分 |
| | | インターンシップ参加準備 | インターンシップ参加企業の志望動機作成 | | |
| No12 | 予習内容(時間) | | 課題作成 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | ワークシート作成 | 120 | 分 |
| | | キャリア情報交流会 | OBOGの話から仕事のやりがいや職業を知る | | |
| No13 | 予習内容(時間) | | キャリア情報交流会事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 振り返り | 120 | 分 |
| | | インターンシップ参加準備 | セルフプレゼンテーション | | |
| No14 | 予習内容(時間) | | 課題事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | | 課題作成 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 演習科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 3年 |
| 講義名 | プロフェッショナル・セミナーⅦ BE-E |
| 講義名(英字) | Professional Seminar VII |
| 担当教員 | 塩谷 由美子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|---|------|-----|-----|-----|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 日本では外国人就労者の活躍が期待されるようになり、同時に、大学卒業後に日本で働きたい外国人留学生も増えています。企業が外国人材に求めるのは、高い日本語力ですから、就活までに日本語力を高めておくことは重要です。また、就職活動は、業界企業を研究した上で、留学生が自分自身について自己分析し、日本語で効果的に自己アピールできるということも重要です。この授業は、このような日本の就職活動に必要な日本語能力を高めることを目的とした授業です。 | | | | | |
| 【到達目標】 | 日本語で仕事をするのに必要な文章力を身につける 日本語で仕事をするのに必要な口頭表現力を身につける 就職活動に必要な情報を自分で入手する力をつける | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 日本の企業に就職したい外国人留学生対象の授業です。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 授業で解説した内容に沿って、各自が自分のキャリアパスを考えながら、必要な準備を進める。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 教科書は指定しない。参考書は必要に応じて授業内で紹介する。 | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | 突破力 | ○ | 忍耐力 | |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | | |
| | 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | |

| | | | |
|------------------------------|----------------------|------|------------------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 仕事に必要な日本語文章力がある | 40% | 3分の2以上の出席を条件に、課題70%、最終到達度試験30%で評価。 |
| | 仕事に必要な日本語の口頭表現力がある | 40% | |
| | 就職活動に必要な情報の入手の仕方がわかる | 20% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】 授業予定は、学内のキャリア支援関連行事の影響などで変更することがある。秋学期の就職特講(留学生)をととも履修することが望ましい。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|---------------|--|-----|---|
| No1 | 日本語で仕事をする準備とは | 就職準備状況調査アンケートに回答しながら、日本での就職活動の過程で、どのような準備が必要かを学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバス熟読。就職準備状況調査アンケートに回答する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 就職活動に必要な準備事項をリストアップする。 | 120 | 分 |
| No2 | 自己分析の方法 | PROGテスト受検 | | |
| | 予習内容(時間) | 過去に受検したPROG結果を振り返る。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | PROGテストの活用の仕方を学ぶ。 | 120 | 分 |
| No3 | 自己PR1 | 人の特性を語る表現を学習する。自分史を作成し、自分の特性を表現できるように練習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自分史シートを作成する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自分史シートを完成する。 | 120 | 分 |
| No4 | 自己PR2 | 日本に対して抱いているイメージや、過去の日本との出会いを振り返ることで、日本で(あるいは母国の日本関連企業で)働く意味を考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 自己振り返りシートを作成する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己振り返りシートを完成する。 | 120 | 分 |
| No5 | 自己PR3 | 自分が今できること、これからやりたいこと、将来どうありたいかを明確にすることで自己分析をする。 | | |
| | 予習内容(時間) | できること・やりたいことシートを作成する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | できること・やりたいことシートを修正して完成する。 | 120 | 分 |
| No6 | 自己分析2 | PROGテスト結果について解説を聞き、自己分析の方法を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | PROGテストについて調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | PROGテストの結果詳細を読む。 | 120 | 分 |
| No7 | 自己PR | 自己分析をもとに、自己PRの文章を作成する。口頭で表現する練習をする。 | | |
| | 予習内容(時間) | これまでの自己分析をまとめる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 自己PR文章を作成する。口頭練習をする。 | 120 | 分 |
| No8 | ガクチカ1 | 学生時代に力を入れたことを文章で作成する。口頭表現を練習する。今後の学生生活で達成すべき活動を計画する。 | | |
| | 予習内容(時間) | ガクチカの作成要領を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ガクチカ文章を作成する。 | 120 | 分 |
| No9 | ガクチカ2 | 学生時代に力を入れたことについて文章をクラスでシェアし、推敲する。口頭表現を面接形式で練習する。 | | |
| | 予習内容(時間) | ガクチカに使う内容をリストアップする。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | ガクチカ文章を完成する。 | 120 | 分 |
| No10 | 就職試験について | 日本の就職活動における就職試験の実態について学び、対策を考える。SPIのeラーニングプログラムの使い方を学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 就職試験について調べる。 | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|----------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | eラーニングで就職試験の学習をする。 | 120 | 分 |
| No11 | 面接1 | 面接のスタイルと準備事項を調べる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 面接の種類とよくある質問を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 面接の質問に対する回答を作成する。eラーニング。 | 120 | 分 |
| No12 | 面接2 | 面接の流れを調べる。質問を予測して回答を作成し、口頭練習をする。面接官側の視点に立った評価についても学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 面接官の視点から、評価軸を作成する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 面接を振り返り修正できるポイントを考える。eラーニング。 | 120 | 分 |
| No13 | 面接3 | 実際の面接の流れに沿ってロールプレイをして面接の練習をする。 | | |
| | 予習内容(時間) | 面接ロールプレイができるよう回答を練習する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 面接を振り返り修正ポイントを考える。eラーニング。 | 120 | 分 |
| No14 | 経験者から学ぶ | OBOGから卒業後の仕事の様子を聞き、今後進むキャリアパスについて、考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | OBOGの就職先企業を調べる。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | OBOGの話の振り返りをまとめる。eラーニング。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 中小企業論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Theory of Small Business I |
| 担当教員 | 前田 勝則 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>普段の生活のなかで、何気なく利用している飲食店や美容院の多くは中小企業である。本講座では、わが国経済において多様な役割を果たしている中小企業について、産業や社会における位置づけや地域経済における役割など、多様な側面から学んでいく。また、中小企業の特性や課題を理解したうえで、中小企業政策の考え方や特徴など、中小企業支援の視点からも理解を深めていく。</p> | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>わが国における中小企業の社会・経済的な役割や課題を理解する</p> <p>中小企業の特性や課題を理解する</p> <p>中小企業政策の考え方や特徴を理解する</p> | | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 特になし | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | <p>中小企業の支援現場で働く実務経験を活かし、中小企業の持つ多様性や多面性をできるだけ具体的にイメージできるよう、企業の事例などを紹介して講義を進めていく。</p> | | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | <p>参考書： ・青山和正著『精解中小企業論』同友館 ・中小企業白書、その他</p> | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|------------------|---|------|-----------------------------------|---|--|--|
| 【標】 | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | | |
| | 試験(定期試験) ※授業回数の2/3の出席を満たすことが前提 | | | 100% | 試験(定期試験) ※授業回数の2/3の出席を満たすことが前提 | | | |
| | | | | | | | | |
| | 合計 | | | 100% | | | | |
| 【その他の注意事項】 | ・特になし | | | | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |
| | No1 | ガイダンス | ・本講座のねらい、授業の進め方 ・中小企業とは何か | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 中小企業の定義と範囲等 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No2 | 中小企業の歴史的変遷 | ・日本における中小企業の歴史的変遷 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 戦後の中小企業発展の軌跡と中小企業問題等 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No3 | 中小企業の産業構造における役割① | ・産業構造・組織に見る中小企業の存立条件 ・中小企業の開廃業が産業や社会構造に与える影響 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 中小企業の存立条件と役割、存立条件の理論 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No4 | 中小企業の産業構造における役割② | ・産業構造・組織に見る中小企業の存立条件 ・中小企業の開廃業が産業や社会構造に与える影響 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 開廃業の動向と課題 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No5 | 中小企業の存立形態① | ・存立形態の定義と区分・種類 ・下請制の定義・動向 ・中小企業の様々な形態の動向と課題 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 中小企業の存立形態、下請制 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No6 | 中小企業の存立形態② | ・存立形態の定義と区分・種類 ・下請制の定義・動向 ・中小企業の様々な形態の動向と課題 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | ベンチャー企業、ソーシャルビジネスの動向 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No7 | 中小企業の人材育成 | ・経営資源としてのヒトの重要性 ・最近の人材育成の動向 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 中小企業の人材育成の動向 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | No8 | 中小企業の資金調達 | ・政策金融の累型と対応機関 ・最近の資金調達の動向 | | | | | |
| | | 予習内容(時間) | 中小企業の資金調達 | 120 | 分 | | | |
| | | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 | | | |
| | | 地域と中小企業① | ・産業集積における中小企業 | | | | | |

| | | | | |
|------|---------------|---|-----|---|
| No9 | 予習内容(時間) | 産業集積の役割、動向 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 |
| No10 | 地域と中小企業② | ・商業集積における中小企業 ・商業集積の動向と課題 | | |
| | 予習内容(時間) | 商店街やショッピングセンターの動向 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 |
| No11 | 中小企業のグローバル化 | ・中小企業のグローバル化の動向と課題 ・中小企業の海外展開 | | |
| | 予習内容(時間) | 中小企業の海外展開の動向 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 |
| No12 | 中小企業のIT化 | ・中小企業のIT化の動向と課題 ・IT化による生産性向上等 | | |
| | 予習内容(時間) | 中小企業のIT化、DX化の動向 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 |
| No13 | 中小企業のライフサイクル | ・ライフサイクルから見た中小企業(起業、成長、承継、再生、廃業) ・事業承継の動向と課題 | | |
| | 予習内容(時間) | 中小企業の事業承継 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 |
| No14 | 中小企業政策・中小企業白書 | ・中小企業政策の考え方と体系 ・中小企業政策の変遷 | | |
| | 予習内容(時間) | 中小企業政策、中小企業施策 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業で使用する講義資料の内容 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 中小企業論 I BE-B |
| 講義名(英字) | Theory of Small Business I |
| 担当教員 | 山川 悟 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱 うテーマ】 | 中小企業における大きな課題のひとつである「ブランド」の問題を考察します。 ブランドとはネーミング・ロゴマーク等の表示体系に限らず、企業理念やビジョン、事業定義、社内コミュニケーションとも深く関わるため、経営者 自らが主導して構築すべきものです。 前半はブランド戦略のフレームワークと諸要素(ブランドマネジメント)について、後半は具体的な事例からブランド構築(ブランディング)の方法論 について検討していきます。 | | | | | |
| 【到達目標】 | ①「ブランド」を経営戦略の視点から説明できるようになる ②ブランド管理とブランディングの手法を説明できるようになる ③企業のブランド課題を抽出し、改善提案を示すことができるようになる | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | マーケティング I IIを受講している、あるいはそれと同等の知識ベースを持っていること | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 講義回によっては、遠隔(ライブ・オンデマンド・反転)授業を採り入れる可能性もあります。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講する | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |

| | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|------|---|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 「ブランド」を経営戦略の視点から説明できる | 30% | およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価 | |
| | ブランド管理とブランディングの手法を説明できる | 30% | | |
| | 企業のブランド課題を抽出し、改善提案を示すことができる | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |

【その他の注意事項】 講義資料の内容だけでなく、自分なりに事例を調べるなど、能動的な受講態度が望まれる。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|---|-----|---|
| No1 | ブランドの定義と機能 | 「ブランド」とは、顧客が価値を感じる記号のことであり、商品・企業名、技術名、素材名、人名…など幅広い対象を指します。まず、中世に「製品の出所」であったブランドが、今日では多様な意味合いを持ってきたことを歴史の変遷から理解します。また、ブランドの①安定・プレミアム価格を実現する機能、②固有の無形財産をつくる機能、③消費者の商品選択を助成する機能について学んでいきます。最後に、中小企業の経営課題解決に向けてのブランド戦略を考察します。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No2 | ブランド戦略の考え方 | ブランド戦略の基本であるブランド強化、リポジショニング、ブランド変更、ブランド開発について、アサヒビールの事例から学びます。次に、ブランド管理の13の手法として①ブランドの階層化②企業ブランドと商品ブランド③ファミリーブランド④マスターブランド⑤ダブルブランド⑥マルチブランド⑦コアブランド⑧エンドーサーブランド⑨技術ブランド⑩アウト・オブブランド⑪提携ブランド⑫ナショナルブランドとプライベートブランド⑬地域ブランドについて理解します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No3 | ブランディングについて | ブランドは作成すれば終わりではなく、価値を高めていくブランディング施策が不可欠です。本講義では、ブランディングの手法として、①名称やロゴマークの変更、②ブランド表現要素の見直し、③ブランドエピソードの発掘、④ブランドシンボルの開発、⑤トップ広報、⑥ブランド広告、⑦ブランド体験施設、⑧顧客参加について理解します。シンボリックなマネジメントの重要性と、今日の状況においては顧客とともにブランドを創造・発展させていく姿勢の重要性を学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No4 | ネーミングと商標 | ブランド名称の開発と管理、その浸透策について考察します。まず、さまざまな企業名の由来を3つの観点から考えます。次にブランド管理の視点から、名称体系、ネーミング機会、名称開発のプロセス、決定のチェックポイントなどを、さらにブランディングの視点から、音の響き型、機能性優先型、クロスカルチャー・メジャーメント(異文化測定)、ネーミングライツ、ブランド名の動詞化などの事例を学びます。最後に商標登録と商標管理についてのポイントを理解します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No5 | ロゴタイプとシンボルマーク | ロゴマークは無形固定資産の一種であり、視覚的な視覚的な統合戦略と管理(ビジュアル・アイデンティティ=VI)が不可欠です。一方、ロゴマークのデザインには企業の思いやビジョン、哲学が込められており、メッセージ性が求められます。講義の後半では、経営戦略とロゴマークについて、花王、キリン、ユニリーバ、ZARAなどの事例から考えていきます。また最近のロゴマークの傾向として、6つのトレンドを見ていきます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------------|--|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No6 | 企業理念とブランドステートメント | 企業理念と、それを顧客向けに示すブランドステートメント(スローガン)の重要性について学びます。まず、双日グループ、カゴメ、小林製菓などの事例研究を通じ、企業理念の体系は一般的に「存在意義」「事業領域」「行動規範」で定義されることを理解します。次に、他社とは大きく異なるユニークな理念を標榜する6つの企業(主として海外)事例について考えます。さらに、独特の理念表明の方法として、赤城乳業、日本生命、資生堂などの事例を見ていきます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No7 | ブランドとデザイン | ブランドの書体やマーク、カラー、形状など、視覚的な表現要素を統一化することで、望ましいイメージづくりを図る方法について学びます。加えて、プロダクト、パッケージ、オフィス空間、広告・販促物、車両・ユニフォーム、UX(顧客体験)などのデザインに比重を置く具体的な事例を見ていながら、ブランドデザイン戦略について総合的に考えていきます。最後に、デザイン管理の手法として「異文化対応」「商標登録」「デザインのリニューアル」を見ていきます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No8 | 前半総括と講義に関するQ&A | 前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行います。レポート課題は、単に知識を問うのではなく、受講者ならではの「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとします。また優良レポートは他の受講者にフィードバックさせていただき、それをもとに見直しや復習を行うことを奨励します。 | | |
| | 予習内容(時間) | 1～7回までの講義資料を見直す | 240 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う | 120 | 分 |
| No9 | インターナル(内部)ブランディング | ブランディングというと顧客や社会に向けてのアピールを考えがちですが、実は企業理念やビジョンを社員が実感し、体質化するための仕組みづくりが最優先課題なのです。インターナル(内部)ブランディングの方法論として、本講義では、①経営者によるリーダーシップ、②シンボル商品・店舗づくり、③シンボル社員の紹介、④シンボリックな執務空間づくり、⑤シンボリックな社内制度の導入、⑥共通体験による一体感形成、⑦ブランディング研修などの手法を学びます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No10 | 地域ブランディングと中小企業 | 地域ブランド化とは、名産品づくりだけでなく、地域イメージのブランド化によって地域外の資金・人材を呼び込み、持続的な地域経済の活性化を図ることを指します。地域ブランド化には、後継者や移住者の増加などを含め、9つの大きな効果が想定されています。本講義では、地域ブランドの事例研究や「地方発動画」「地域イベント」「ご当地〇〇」など10の手法を学び、地域社会や経済の活性化に向けて中小企業の果たす役割についても考えていきます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No11 | 物語(ナラティブ)ブランディング | 顧客の想像力を刺激する仕掛けとして「物語」はブランディングにおいても重要なキーワードです。本講義では、現代のビジネスと物語との関わりを「社内活性化」「物語調の企画書」「物語広告・広報」「地域活性化」「商品開発」「物語分析法」などの視点から見ていきます。また、物語の持つ①文脈理解、②潜在欲求の具現化、③能動性の喚起、④語り直しという4つの効果を意識し、情報過多とSNS全盛時代における企業コミュニケーションのあり方を考えていきます。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|------------|--|-----|---|
| | 間) | | | |
| | 技術ブランディング | 技術のブランド化とは、例えばシャープの「プラズマクラスター」など、自社で開発した技術に独自の名前をつけ、それをブランド(標識化・マーク化)としてクローズアップする戦略が代表的です。加えて本講義では、「技術の聖地化」「技術者のブランド化」「技術シンボルの設定」「新概念の提唱」「ライセンス先とのコラボレーション」などを展開している事例を研究し、単なる「ものづくり」ではなく、語り継がれ、世の中に愛されるものづくりの在り方を検討していきます。 | | |
| No12 | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| | 五感ブランディング | 視覚刺激に限らず、ASMR(自律感覚絶頂反応)など消費者の五感体験の中に「ブランドらしさ」を組み込ませる戦略は有効です。日本でも音も商標登録の対象となりましたが、海外では香りや手触りが登録できる国もあります。本講義では、香り、触覚、味覚、総体験によるブランディングの事例を検討し、「触覚」×「聴覚」、「視覚」×「味覚」、「聴覚」×「味覚」、「触覚」×「味覚」、「視覚」×「触覚」など、感覚様相の組合せによる新ビジネスを考えていきます。 | | |
| No13 | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| | プライベートブランド | プライベートブランド(PB)とは、流通業が独自に開発・販売する商品群を指します。日本型PBの特徴として、中小スーパーの協業、NBのエンドーサ化などが挙げられます。ここでは総合スーパー、CVS、ドラッグストア、ホームセンター・バラエティショップ・雑貨、100円ショップ、ディスカウントストア、百貨店、アパレル、家電量販店などの動向を眺めるとともに、1980年代に登場して衝撃を与えた「無印良品」のケースを検討し、今後のPBIについて考えます。 | | |
| No14 | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | イベント学 I E-A |
| 講義名(英字) | Eventology I |
| 担当教員 | 北原 隆 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|---|-----|------|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | イベント学の入門編。まずはイベントとは何かを知る。 イベントの定義・形態・意義・機能・役割等について理解する。さらに日本におけるイベント業界の構造と仕事の流れについて知り、そしてその上でイベントが持つ社会や地域や産業における存在について検証する。 続いて、イベントの持つ非日常性・世界観・体験性などにスポットライトをあてて新たなイベントを創造していくための方法を探り、イベントイノベーションへと考察を進めていく。 | | | | | |
| 【到達目標】 | イベントに関する基礎的知識を理解する イベントとは何かイベントとは何か、イベントに必要な要素について答えられる イベントが起こす波及効果と果たすべき目的について説明できる 幅広いイベントカテゴリーを説明できる イベントには多くの分野が存在する その分野ごとに成立する機能と役割について、基本的な構造を答えられる イベント人として日常生活を送る術と心構えを身につける イベント人として生きる意義と、目指す目標について自分の言葉で表現できる | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | ◇幅広いイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること | | | | | |
| 【教育方法】 | 実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。 「15分間プランニング」という発想のためのワークを毎回行なうことで、柔軟な発想ができる力を身につける訓練を行なう。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | イベントに関する基礎的知識を理解する | | 40% | | | |

| | | | |
|--------------------|----------------------------|------|----------------------------------|
| 項(試験方法、 単位修得要件) | 幅広いイベントカテゴリーを説明できる | 30% | 日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。 |
| | イベント人として日常生活を送る術と心構えを身につける | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|-------|
| 【その他の注意事項】 | ◇特になし |
|------------|-------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------------|---|-----|---|
| No1 | 遊びが仕事で仕事遊び | 北原のこれまでの仕事について 講義の構成について ポイント制について 15分間プランニングについて やり方と提出方法について イベントレポートについて 書き方と提出方法について 15分間プランニング例題にチャレンジ | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No2 | 大学でイベントを学ぶということ | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 大学での学び方はどう違うのか イベントを学ぶということはどういうことなのか | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No3 | イベントに関わる人々 | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 仕事の流れとそれに関わる仕事のジャンルと会社&関わる人々について プロデューサーとディレクターの違い | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No4 | プロとアマの違い | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 初めて出くわすこと 「どうしよう」ではなくて 正解のない問いに答えを出すということ 自転車に乗れる感じ 足のつくプールで溺れている感じとは | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No5 | 専門用語 | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 仕事別知っておきたい専門用語 現場別服装の違い | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No6 | イベントツアー | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 ツアーの成り立ちの違いについて 大きなセットを組んでバラしてまた組んで トランポとは | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No7 | くす玉事件とワンチャンス | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 様々な失敗例 起こりがちな失敗例の宝庫-くす玉 参加者が素人であることが多いイベントの例 カウントダウンなどその一瞬が重要なイベント | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------------|---|-----|---|
| No8 | フェスを作る | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 日本で一番遠い東京都「小笠原」について 小笠原でやる音楽フェスとは フェスを作るということとその楽しさ | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No9 | マルチタスク | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 同時にいくつものイベントを抱えているのがあたりまえ 同時並行でどう優先順位をつけて取り組むのか | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No10 | 日々オーデション | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 日々オーデション 色々な意味でのデビューの仕方 良い事務所と悪い事務所飲み分け方 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No11 | 企画書とは | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 エンターテインメント系の企画種は楽しさ命 企画書の作り方の基礎 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No12 | 運営マニュアルとは | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 運営マニュアルとは何か その重要性和構成 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No13 | 進行台本とは | 15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 進行台本とは何か その重要性和構成 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No14 | イベントは大勢で決めるものじゃない | 15分間プランニング先週の振り返り 学生の委員会や学園祭がうまくいかない理由 プロジェクトチームについて プロメンバーの集まり=責任者の集まり | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 基礎科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 1年 |
| 講義名 | サービス産業論 I E-A |
| 講義名(英字) | Service Industry Theory I |
| 担当教員 | 笠原 幸一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----|------|------------------------------|---|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 現代社会において、第三次産業であるサービス産業は、就業人口やGDPに占める割合はますます拡大する傾向にありその重要性は高まっています。他産業においてもサービス産業的な仕事の割合が増加し、「サービス経済化」が進んでいます。サービスは無形であり在庫できないこと等、工業製品のような財(モノ)とは異なる特性を有しサービス産業特有の経営課題があり、製造業等と比較して生産性の低さが指摘されています。サービス産業の実態を学びながら、サービス財の特徴やその課題、顧客満足度を高めるためのマネジメントについて考察します。また、ケーススタディ等からサービス産業の企業経営や本質的な課題を探求し実践力を養います | | | | | | |
| 【到達目標】 | サービス産業の基礎知識を理解し、構造や特徴、サービス経済化の背景等を説明できる サービス産業の経営課題・実態をケーススタディ等から理解し説明することができる マネジメント視点でサービス産業の価値づくりを理解しニュースの読解力等を高める | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | サービス産業全般に興味を持って、自らが積極的に学ぶことが一番重要だと考えます | | | | | | |
| 【教育方法】 | 事例を多用し分かりやすい授業にします。履修生自らが考え発表する機会を多く作ります | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 参考書： 神原理(編著)『サービス・マーケティング概論』ミネルヴァ書房、2019年 近藤隆雄(著)『サービス・マーケティング(第2版)』生産性出版、2018年 ※授業内で読んでほしい参考文献等を紹介いたします | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |
| | サービス産業の基礎知識を理解し、その背景等を説明できる。 | | | 35% | 授業時の小テスト、レポート、発表等60%、期末試験40% | | |
| | サービス産業の経営課題・実態を理解し、説明できる。 | | | 35% | | | |

| | |
|----------------------------|------|
| サービス産業の価値づくりを理解し、読解力等を高める。 | 30% |
| 合計 | 100% |

【その他の注意事項】

サービス産業のニュースや新聞記事(日経新聞、日経MJ等)を読む習慣をつけてください。グループワーク、発表が多く、授業への貢献度や授業態度は重視します

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-------------------|--|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | サービス産業論を学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価等を説明する | | |
| | 予習内容(時間) | サービス産業論を学ぶ意義をあらかじめ考え発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | サービス産業論を学ぶ意義、目標・ゴールイメージをまとめ提出する | 120 | 分 |
| No2 | サービス産業の全体像(1) | サービスとは何か。サービスの定義を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | サービスの定義を調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No3 | サービス産業の全体像(2) | サービス産業の発展とその背景を知る(1) 日本/世界で起きていること、第4次産業革命、産業構造の変化、GDP、国家予算等を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | サービス産業の全体像を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No4 | サービス産業の全体像(3) | サービス産業の発展とその背景を知る(2) 日本経済発展史(戦後～現在) 戦後の経済復興、高度成長期、低成長時代、失われた30年、日本の大きな課題、地方の過疎化と都市問題、少子高齢化等を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 日本経済発展史を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No5 | サービス産業の分類(1) | 日本標準産業分類におけるサービス業(1)の解説 | | |
| | 予習内容(時間) | 日本標準産業分類のサービス業について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No6 | サービス産業の分類(2) | 日本標準産業分類におけるサービス業(2)の解説 | | |
| | 予習内容(時間) | 日本標準産業分類のサービス業について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No7 | サービス経済の特性 | サービス経済化とその背景を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | サービス経済化について調べ発表する準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No8 | サービスの概念 | モノとサービス、サービスの本質的要素を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | モノとサービス、サービスの本質的要素を予習し発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No9 | サービス・マーケティング | サービス・マーケティング マーケティングの4P、7P、STP等を理解する サービス・マーケティングの研究アプローチ、 サービス・デザインの概念とコンセプトを理解する | | |
| | 予習内容(時間) | サービス・マーケティングについて予習し発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| | サービス・クオリティ・マネジメント | サービス・クオリティ・マネジメント(品質管理)(1) 自社が提供するサービス・クオリティ(品質)のレベルを調査・把握し、顧客満足に向けて問題点を修正していく | | |

| | | | | |
|------|----------------------------|---|-----|---|
| No10 | (品質管理)(1) | ロセス。CS(CUSTOMER SATISFACTION) 顧客満足度を上げる手法等を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | サービス・クオリティ・マネジメント(品質管理)について予習し発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No11 | サービス・クオリティ・マネジメント(品質管理)(2) | サービス・クオリティ・マネジメント(品質管理)(2) 自社が提供するサービス・クオリティ(品質)のレベルを調査・把握し、顧客満足に向けて問題点を修正していくプロセス。CS(CUSTOMER SATISFACTION) 顧客満足度を上げる手法等を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | サービス・クオリティ・マネジメント(品質管理)について予習し発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No12 | サービス・リカバリー(苦情対応) | 顧客の苦情行動とサービス・リカバリーの手法と実践を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 顧客の苦情行動とサービス・リカバリーの手法と実践を予習し発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No13 | ヒューマンサービスにおける感情労働 | ヒューマンサービスにおける感情労働、ハラスメントについて理解する | | |
| | 予習内容(時間) | ヒューマンサービスにおける感情労働、ハラスメントについて予習し発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No14 | サービス産業論 I 総括 | 春学期の総括 | | |
| | 予習内容(時間) | 春学期の授業の総括をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。本試験の準備をする | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | イベントマネジメント E-A |
| 講義名(英字) | Event Management |
| 担当教員 | 磯野 通敏 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | 今や日本が世界に誇るマンガ・アニメ・ゲーム・シティーポップといったJ-カルチャーは、「コミケ」のように大きなイベントも開催され、「鬼滅の刃」などのアニメ映画が観客動員数、興行売上の上位にあることでポテンシャルの高い日本の文化資産として認知され、世界各国でアニメコンベンションが開催されている。 このように身近なJ-カルチャー(JapaneseカルチャーとJ-カルチャーの違い)を理解し、国境を越えて世界で開催されているアニメイベントの成功例(北米最大のアニメイベントAXを主に研究)を研究することで、様々なマネジメントの施策を学び、自ら企画することでイベントのマネジメント感覚を養う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|---------|------|--------------------------|-----|----------|-----|-----|--|-----|---|-----|---|-----|---|--|--|
| 【到達目標】 | イベントマネジメントの基本を理解する。 世界のJ-Cultureイベントの事例をイベントマネジメントの視点から研究する。 自分独自のJ-Cultureイベントをマネジメントの手法を生かして企画立案する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | J-カルチャーが好きで世界のアニメイベントに関心がある PPTが使える | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 世界のアニメイベントの事例研究 J-カルチャーの本質を学習 AX(米国最大のアニメイベン)を題材にマネジメントの見地から構造を学習 自らイベントを企画する | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 講師が参加した過去のAXの参考資料などを基に作ったスライドで講義 世界の有識者(ハワイ大学:ジェイソン博士、AXの初代CEO:マイク タツガワ)のリモート講義 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td></td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>○</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | |
| 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | | | | |
| 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、 | <table border="1"> <tr> <th>評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> <tr> <td>課題によって評価 イベントの基本を理解する</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>課題によって評価</td> <td>25%</td> </tr> </table> | 評価項目と割合 | 評価方法 | 課題によって評価 イベントの基本を理解する | 25% | 課題によって評価 | 25% | | | | | | | | | | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題によって評価 イベントの基本を理解する | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題によって評価 | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---------|---------------------------|------|----------------------------------|--|
| 単位修得要件】 | 事例を研究発表する | | 課題(50点/10問5点)と最終課題(50点)の合計で査定する。 | |
| | 最終課題での評価 自分のアニメイベントを創る | 50% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|-------|
| 【その他の注意事項】 | 特になし。 |
|------------|-------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---|--|-----|---|
| No1 | イントロダクション イベントマネジメントの目的 | 講義のテーマとAgendaの確認 課題①の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | イベントマネジメントとは？ | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | イベントマネジメントの留意点を理解する | 120 | 分 |
| No2 | 事例研究-1 失敗できないイベントとは？ | イベントマネジメントの重要性を理解する 成功するイベントのポイント 課題①の発表 課題②の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題①の作成「失敗できないイベント？」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 事例の仕分けと、問題点を深堀する | 120 | 分 |
| No3 | 事例研究-2 成功するイベントとは？ | イベントマネジメントの重要性を理解する 失敗するイベントのポイント 課題②の発表 課題③の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題③の作成「成功するイベントと理由？」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 事例の仕分けと、問題点を深堀する | 120 | 分 |
| No4 | 事例研究-3 アニメイベントの構造 (海外のアニメイベントのルーツAXを知る) | 米国最大のAX(アニメエキスポ)とは何か？ 戦略と戦術を過去の資料を基に説明 課題③の発表 課題④の説明 欧州、アジア、中東、北米の4エリアにチーム分けし、アニメイベントの事例を調べる | | |
| | 予習内容(時間) | 課題④の作成「世界のアニメイベント？」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | AXの構造を深堀する | 120 | 分 |
| No5 | 事例研究-4 世界に広がるアニメイベントの実態 | AXをルーツに世界に広がりを見せるアニメイベントの事例を研究する 課題④を欧州、アジア、中東、北米の4グループに分けそれぞれ発表 発表は6W2Hに簡潔にまとめるものとする 課題⑤の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題⑤の作成「失敗したイベント？」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 世界のアニメイベントを深堀する | 120 | 分 |
| No6 | 事例研究-5 失敗するイベントとは？ | 失敗事例をもとに失敗するイベントのポイントを解説する 課題⑤の発表 課題⑥の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題⑥の作成「特別講義①の質問を考える」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 陥りやすい失敗するイベントのポイントを深堀する | 120 | 分 |
| | | ハワイ大学ウエストオアフ校 歴史学博士 ジェイソン博士特別講義 ハワイトリモートで本校とを繋ぎ、J-Cultureとは何か？日本のアニメや世界でブームとなっているCity Popなどの例を挙げてわかりやすく講義する | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|---|--|-----|---|
| No7 | 特別講義-① ジェyson博士特別講義 | 1 講師紹介 5分 2 ジェyson教授 特別講義 60分 Chat逐次通訳※要約 3 質疑応答 20分 逐次通訳※要約 4. 総評 5分 協賛MAT 課題⑤の発表 課題⑥の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題⑥の作成「ジェyson博士の講義の感想」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | J-カルチャーを深堀する | 120 | 分 |
| No8 | 事例研究-6 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策① | 特別講義の解説 リアルイベントを補完する実写型VR Corona-19禍でリアルイベントが中止または延期、無観客実施となって大きなダメージとなった中、リアルイベントを補完する様々な施策が生まれた。施策①として、実写型VR(THETAとMATTERPORT)について具体事例をもとに講義する 課題⑦の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題⑦の作成「リアルイベントを補完する施策の実施例」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 実写型VRの深堀する | 120 | 分 |
| No9 | 事例研究-7 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策② | リアルイベントを補完する様々な施策 課題⑦の発表 課題⑧の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題⑧の作成「特別講義②の質問を考える」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | リアルイベントを補完する施策の深堀 | 120 | 分 |
| No10 | 特別講義-② AX創始者マイク・タツガワ特別講義 | テクノロジーコンサルタント SPJA/アニメエキスポ創設者元CEO パンフィックメディアエキスポ創設者CEO ロスとリモートで本校とを繋ぎ、AXの設立秘話と北米最大としてどのように大きく育てたか？を講義する 1. 講師紹介 5分 2. マイク・タツガワ氏特別講義 60分 逐次通訳※要約 3. 質疑応答 20分 逐次通訳※要約 4. 総評 5分 協賛MAT 課題⑧の発表 課題⑨の説明 | | |
| | 予習内容(時間) | 課題⑨の作成「マイク・タツガワの講義の感想」 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | AXを深堀する | 120 | 分 |
| No11 | 企画書制作-1 テーマとタイトルを決定する | 最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ①タイトル ②企画趣旨 ※+HIについて | | |
| | 予習内容(時間) | イベントのタイトルテーマを考えておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画書制作-1の見直し | 120 | 分 |
| No12 | 企画書制作-2 イベント概要(6W2H)、展開案の作成 | 最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ③開催概要 6W2H ④内容 展開案 | | |
| | 予習内容(時間) | 開催概要と展開を考えておく | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画書制作-2の見直し | 120 | 分 |
| | 企画書制作-3 広報、運営、収支の作成 | 最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ⑥広報計画 ⑦Agenda 制作工程 | | |

| | | | | | |
|--|------|------------------------|--|-----|---|
| | No13 | | ⑧収支計画 | | |
| | | 予習内容(時間) | 広報、収支について考えておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 企画書制作-3の見直し | 120 | 分 |
| | No14 | 企画書制作-4 | 最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する | | |
| | | 企画書の完成・提出 総括・達成度の確認 | ⑨成功要因 ⑩失敗要因 最終課題提出 | | |
| | | 予習内容(時間) | 成功要因、失敗要因について考えておく | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | イベントマネジメント統括の確認 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | イベント企画・演出 E-A |
| 講義名(英字) | Designing & Producing Events |
| 担当教員 | 清宮 浩一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|---------------------------------------|--|-----|---------------------------------------|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | イベントは、人々の日常の中に起きる(あるいは訪れる)非日常の瞬間です。そのイベントを仕掛ける・仕込む側に立った時にどのような視点からプランニングして、大切な人や多くの参加者に喜びや感動を与えることが出来るのか、「企画」「演出」「運営」という3大要素の重要性を具体的な事例を通じて学び、事業が成立するまでの世界観を理解してもらいます。 また、企画・演出・運営で必要とされる実践的なプランニング手法や、地域の経済活性や地方創生に役立つイベント事業の価値創造の手法等も修得してもらいます。 | | | | | |
| 【到達目標】 | イベントの概念や種類・役割、事業化の経緯・過程などを簡素に説明できる。 イベント事業の三大要素(企画・演出・運営)の役割や内容を簡素に説明できる。 企画書作成の構成要素や基本的な流れ、事業の価値化について簡素に説明できる | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | ◇イベントについて興味・関心を持ち、将来、事業に携わりたいと思っていること。 ◇イベントに関するプランニング能力を幅広く習得したいと考えていること。 | | | | | |
| 【教育方法】 | ロジカルシンキング(論理的思考)に基づくイベントプロデュースの重要性や、各種事例を通じてイベント事業の概念を理解し、学生自身に「自分で考える力」を養ってもらう。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 特になし | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 授業態度 | 45% | 授業態度:45% | | | |
| | 中間レポート | 25% | → 出席回数+授業レポートの提出回数と内容評価 中間レポート:25% | | | |

| | | | |
|-----|------|------|---------------------------------|
| 件)) | 期末試験 | 30% | → 提出の有無 + 内容評価 |
| | 合計 | 100% | 期末試験: 30% → 設問(選択) + 小論文内容評価 |

【その他の注意事項】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-----------------|--|-----|---|
| No1 | プロローグ | 「概説」 イベントの定義(=日常に起きる非日常の瞬間)や広義のイベントの種類や世界観を理解するとともに、各種事例などを通じてイベントの価値を再認識する。また、イベント事業に携わるプレイヤーの構成(営業、プロデューサー、プランナー、リサーチャー、音響・照明・演出デザイン、施工、運営管理等)や役割を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | イベントを広義に捉え、その種類、概念などを整理してみる。 | 120 | 分 |
| No2 | イベントの魅力とは | 「イベントの魅力・インパクト」 イベントはどのようなタイプの事業に分類されるのか、また、イベントを事業として成立させるためにどのような事業者・組織・団体が関与するのかを理解するとともに、各タイプで異なるイベント事業の目的、協力体制等(共催・協力・後援等)の基本要素を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | イベント事業の主催、共催、協力、後援の違いを理解する。 | 120 | 分 |
| No3 | イベント事業を構成する3大要素 | 「企画力・演出力・運営力」 イベント事業を構成する三つの要素(企画力、演出力、運営力)の重要性について理解するとともに、三つの要素がどのようにイベントの価値を規定するのかを知る。また、事業を実施するまでの業務の工程(依頼→基本構想→基本計画→実施計画→施工→実施)に関する一般的概念を理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画力、演出力、運営力の概要を理解する。 | 120 | 分 |
| No4 | 企画のイロハ① | 「クライアントを説得するための企画書の作成手法、基本的要素」 イベント事業を検討する際に、最初の取り組みとなる企画書。その企画書はどのような項目から構成され完成するのか、企画書作成に必要なとされる考え方や、クライアントを説得するために欠かせないシナリオの作り方を、具体的な事例を通じて学び理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画書作成の意味や価値を自分なりに整理する。 | 120 | 分 |
| No5 | 企画のイロハ② | 「事業が発注されるまでの流れ」 公的な組織がイベント事業を発注する際の、公示の仕組みや種類(一般競争入札、指名競争入札、随意契約等)、採択されるための評価手法などを具体的な事例から知るとともに、仮想のプロジェクトを題材にして、チーム編成の手法やシナリオプランニングのイロハを理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画を立案するための必要人材(=チーム編成)について理解する。 | 120 | 分 |
| No6 | 演出の考え方 | 「人に感動を与える環境づくり、演出手法」 結婚式や民間のイベント事業などを題材に、来場者・参加者に喜びや感動を与えるための演出手法や導入技術(VR/AR、プロジェクションマッピング等)等の一般的な活用手法を、チームラボなどが取り組む具体的な事例を通じて知るとともに、リアルなイベント空間とバーチャルなイベント空間で、今後、演出手法がどのように変化していく可能性があるのか、最近関心を集めているメタバースの世界観から共に考える。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-------------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | リアルイベントとバーチャルイベントの違い・意味等を理解する。 | 120 | 分 |
| No7 | 運営の考え方 | 「広報計画・動員計画の考え方」 広報、広告、PRに関する基礎的な役割を理解するとともに、イベント事業に多くの参加者を集めるため、メディア接触形態の変容を理解し、適切なコミュニケーション戦略を打ち出すことの重要性を知る。また、イベント事業の価値を高めるための運営手法のあり方やイベント空間の価値を最大化するための最新のトレンドなどを知る。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | コミュニケーション戦略や運営手法の概要を理解する。 | 120 | 分 |
| No8 | プランニング力の養成① | 「プランニングスキルを高めるイロハ」 企画を検討する際の「現状把握」→「課題抽出」→「将来展望」→「具体策の検討」というプランニング手法のイロハを知るとともに、T型思考(テーマ領域を広げる力、テーマを掘り下げる力)で物事を幅広く捉えシナリオの内容を充実させる意味を理解する。また、情報分析、状況分析に適した図解の作り方、解釈の仕方などのイロハを知る。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | T型思考で物事を捉えることの重要性を理解する。 | 120 | 分 |
| No9 | プランニング力の養成② | 「客観的要素を積み上げたロジカルシンキング」 様々な事象をロジカルシンキング(論理的思考)で整理する方法論(=様々な関係性を図解で表現)や、図解をベースに因果関係の作り方(=シナリオ)が作れることを理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 物事の関係性を客観的に整理することの重要性を理解する。 | 120 | 分 |
| No10 | プランニング力の養成③ | 「特定テーマから考える現状・課題の整理手法」 物事を客観的に捉え整理するための具体的な手法を、特定テーマを設定しながらグループ単位で実際に学習していく。例えば、「生産者」「流通事業者」「消費者」の三つの立場で、農業を取り巻く社会情勢等をグループ討議し、その世界観を整理しながら、これからの農業や食文化などで必要とされる論点などを導く。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 情報整理の基本的な手法や役割・意味を理解する。 | 120 | 分 |
| No11 | プレゼンテーション技法 | 「効果的なプレゼンを行うための準備と対策」 相手を説得するために必要とされるプレゼン資料の作り方やデータを用いた資料づくりに関わる基礎的要素を理解する。特に、データをグラフ等でわかりやすく可視化しシナリオの正当性を訴える手法や、各種データを組み合わせながらテーマや課題を洗い出す手法などを学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | データを用いたプレゼン手法の重要性を理解する。 | 120 | 分 |
| No12 | イベントの価値創造① | 「二つの価値(事業的価値と社会的価値)創造の重要性」 規模が大きいイベント事業では様々な投資を必要とする。イベント事業を成立させるために、例えばJリーグやオリンピックほどのような手法を用いて事業を発展させてきたのか、投資してもらった関係者が納得するイベント事業の価値の作り方、シナリオの描き方を理解するとともに、イベント事業の価値を可視化するための事業的価値、社会的価値の考え方や重要性について理解する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 事業的価値と社会的価値の意味を自分なりに整理する。 | 120 | 分 |
| | イベントの価値 | 「地域や暮らしをデザインするイベント事業の効用」 大規模イベントの開催が、都市の魅力づくりやブランド戦略、地域経済の活性化にどのように寄与するのか、その仕組みを各種事例(2012年ロンドンオリンピックのカルチュラルオリンピアード事業やオリンピックパークの整備、東京2020における江戸川区 | | |

| | | | | | |
|--|------|----------|--|-----|---|
| | No13 | 創造② | の取り組み等)を通じて理解する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 大規模イベントとまちづくりとの関係を理解する | 120 | 分 |
| | No14 | これまでの総括 | 「これまでの講義内容の再整理」 イベント企画・演出の重要性を過去の講義内容のポイントを振り返りながら理解するとともに、イベント事業を円滑に推進するために企画力、演出力、運営力が不可欠であることを再認識する。 | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容で重要だと感じるポイントを自分なりに整理する。 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | イベント実施運営 E-A |
| 講義名(英字) | Practical Event Operation |
| 担当教員 | 佐藤 友紀子 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|-----|------|-----|---|-----|--|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | イベントの企画は6W2Hに基づいて考えられています。しかし、6W2Hに沿った素晴らしい企画があるから現場を回せるかという点、そうではありません。その企画が実現した現場を「回す＝運営」するには、多くの運営項目について細かく考えておかなければならないのです。そして、入念に準備をして本番を迎えたとしても当日にもさまざまな課題が生まれ、すべてが予定通りに進むことの方が少ないことを実感します。このイベント実施運営では、現場をスムーズに運営するために必要な問題を解決する知恵と行動力、細部に気付く力、想像力を育むと共に、運営のポイントや必要な資料作りについて学んでいきます。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>【イベント全体像を想像・把握・理解できる】 与えられたお題や条件からイベント全体像を想像し、解決すべき運営項目があげられる。</p> <p>【イベント実施運営において必要となる対応が考えられる】 様々な運営項目・トラブルに対し、どうすればスムーズな運営ができるか・問題解決できるか対応策が考えられる。</p> <p>【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 イベントを企画する上で基本となる構成要素に基づいて、アイデア発想したり最適な会場・手法の提案ができる。</p> | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | <p>◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「運営」の仕組みを知りたいと考えていること。</p> <p>◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。</p> | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義ではスライドを使用し、イベント実施運営の基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちでイベント運営のポイントを押さえていきます。 | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | ◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。 | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | | |
| | 【イベント全体像を想像・把握・理解できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に 対する回答によって評価。 | | | 35% | | | | |

| | | | |
|------------------------------|---|------|---|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 【イベント実施運営において必要となる対応が考えられる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。 | 35% | 70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。 |
| | 【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。 | 30% | |
| | 合計 | 100% | |

【その他の注意事項】
 ◇講義中、他者に迷惑となる行為(私語等)厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)もご遠慮ください。
 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|-------------|---|-----|---|
| No1 | ガイダンス | イベントにおける実施運営の大切さ | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベントについて考察する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No2 | 6W2Hの考え方① | イベントの基本構造 | | |
| | 予習内容(時間) | 5W1Hについて | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No3 | 6W2Hの考え方② | イベントの基本構造～企画の考え方 | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベントを6W2Hに当てはめ、なぜそう組み立てられたか理由を考察する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No4 | 企画を実現するために① | 不可能を可能にするために～企画の実現に向けて考えること | | |
| | 予習内容(時間) | 考えた企画を実現するためには何を解決しなくてはならないかを考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No5 | 企画を実現するために② | 不可能を可能にするために～事前のトラブル回避 | | |
| | 予習内容(時間) | イベントにおいて考えられるトラブルを考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No6 | イベント会場の選定 | イベント会場の種類と考え方 | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベントの「会場」について、なぜその会場だったのかを考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No7 | 受付の考え方 | スムーズな受付業務とは | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が体験した「受付」について、受付方法やスムーズさなど受付業務の流れを考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No8 | 客席の考え方 | スクール、シアター、着席、ビュッフェの違いと目的 | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベントの「席の作り」について、なぜその形だったのかについて考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No9 | イベント現場のスタッフ | イベントに関わるスタッフの種類と違い | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベントで見かけた・接したスタッフの業務について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| | キャスティング | イベントゲストの選定と交渉 | | |

| | | | | |
|------|----------|--|-----|---|
| No10 | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベントや観た番組などに有名人が出演した経緯・交渉について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No11 | 実施計画① | 実施計画の考え方～企画書の内容を現実にして考えてみる | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベント等で、ストレスを感じた様々な事象について思い返し、考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No12 | 実施計画② | 実施計画の考え方～企画の実現に向けて必要な資料 | | |
| | 予習内容(時間) | 自身が参加したイベント等で見かけた、スタッフが配置されている箇所について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No13 | 運営マニュアル① | 運営マニュアル制作～なぜ運営マニュアルが必要なのか | | |
| | 予習内容(時間) | 運営マニュアルがある理由について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容について | 120 | 分 |
| No14 | 運営マニュアル② | 運営マニュアル制作～運営マニュアルの内容 | | |
| | 予習内容(時間) | 自身のバイト先などにある教育マニュアルを思い返し、項目・内容について考察 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 当該講義内容、これまでの講義内容について | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | イベントデザイン E-A |
| 講義名(英字) | Designing Events |
| 担当教員 | 北原 隆 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|----------------------------|--|------|---|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | <p>イベントデザインの世界に進むための基礎知識+その応用を学びます。 イベントには多種多様な形があり、会場も様々です。その空間ボリュームを掴み正しい比率でイメージを共有することは大切です。 会場図などを理解し、現調をして図面化することを学び、空間認知能力を高め、簡単な図面やスケッチを描いてイベントの現場での正しい意思疎通を助ける表現技術を身につけます。 そのうえでイベントをデザインするということが及びイベントを行なう空間に何が必要かについても学びます。さらにイベントを行なうためのインフラで、何が必要なのかを学びます。 イベントを行なうためには電気や水道、展示システムや、搬入口や楽屋などイベント表面には出て来ないさまざまなものが必要になります。このイベントインフラを学ぶことにより、イベント会場の選別やイベント会場作りが行なえる知識とスキルを身につけます。</p> | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>イベントデザインに関する基礎知識を理解する イベントの現場での意思疎通を助ける表現技術についての手法を知り、使いこなし、説明できる</p> <p>イベントデザインに必要な表現力を身につける 会場図などを理解し、簡単な図面やスケッチを描く最低限のスキルを身につけ、表現できる オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、そのイメージを伝えることができる</p> <p>イベント施設インフラに関する基礎知識を身につける イベントを行なうために必要なインフラを理解し、屋内屋外の別およびイベントの種類別の会場条件を説明できる イベントを行なうための会場の選別と計画が行なえるスキルを身につける</p> | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | ◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること | | | | | |
| 【教育方法】 | 実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | ◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する ◇巻尺 三角スケール(もしくは定規) (講義内で説明しますのでそれからの購入で構いません) ◇太芯シャープペン 消しゴム 定規 三角定規 (講義内で説明しますのでそれからの購入で構いません) | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |
| | 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | |

| | | | |
|------------------------------|--------------------|------|----------------------------------|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | イベントデザインに関する基礎知識 | 30% | 日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。 |
| | イベントデザインに必要な表現力 | 30% | |
| | イベント施設インフラに関する基礎知識 | 40% | |
| | 合計 | 100% | |

| | |
|------------|-------|
| 【その他の注意事項】 | ◇特になし |
|------------|-------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|--------|--------------------------|--|-----|---|
| No1 | イントロダクション ～ラフと適当は全く違う | 講義の進め方および必要な道具の説明 具体的な例を見ながらイベントデザインに関わるさまざまな表現手段について知る 手描き表現の重要性を知る ～その場で描くことのスピード感とイメージ共有の大切さを知る | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No2 | 寸法&サイズを知る | 紙のサイズについて知る 教室のサイズを測ってみる ～自分にとっての広さの物差しを持つことの重要性を知る 人体寸法について知る ～自分の目線の高さなどを知ることでイベントデザインにどう役立つのかを知る 簡単な立体を描いてみる | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No3 | 伝わる資料の作り方 | フォーマットの統一と四角い文章からの脱却 企画書の作り方を知る ～相手の見方を考えて効果的な表現を知る プレゼン資料の作り方を知る ～企画書作りとの違いは何なのか知る トンマナについて知る | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No4 | 手描き企画書の作成 | 与えられた課題で時間で手描き企画書を作ってみる フォーマットの重要性を学ぶ 文字の勝ち負けを理解する わかりやすい表現とは何かを具体的に知る | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No5 | 三次元レイアウトを考える | イベントは空間で行われるので平面で考えてはいけいない ウィンドウディスプレイを例にとり、空間を意識したデザイン構成を学ぶ ウィンドウディスプレイは舞台デザインの考え方に近い | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No6 | ロゴの話 | CIとは何か ロゴ使用規定の実例を見ながら、ロゴの規則を知りロゴの意味を考える | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No7 | 図面のルール | 図面の規則を知る ～設計者やデザイナーでなくてもイベントを企画する人間として最低限の図面のルールを知り、図面が読めることは必要となる | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| 【授業計画】 | 図面を立体にする アイソメとアクソメ | 平面図を読んで立体をイメージする 絵心がなくても描ける立体表現について学ぶ 描いた絵を立体的に見せるための簡単な線の入れ方と影の入れ方を学ぶ | | |

| | | | | |
|------|----------------------|--|-----|---|
| No8 | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No9 | イベント計画学とは | イベントを行なえる空間と行えない空間 なぜその空間は使えないのか どうすれば(何があれば)使えるようになるのか 実例資料を見ながら考える イベントインフラの重要性を知る | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No10 | 搬入作業について | イベントは搬入に始まり搬出で終わる しかしこの作業がスムーズに行えないイベント施設は多い 搬入車両について学ぶ イベント会場別イベントジャンル別に搬入機材や部材を知りそれを運ぶ車両の基礎知識を身につける | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No11 | 搬入口と搬入経路について | イベント会場別の搬入口の問題点を資料を見ながら学んでいく イベント搬入口からイベント会場までに待ち受ける様々な問題について資料を見ながら学んでいく | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No12 | イベント施設計画 屋内編 | イベントを行なえる空間と行えない空間 なぜその空間は使えないのか どうすれば(何があれば)使えるようになるのか 実例資料を見ながら考える イベントインフラの重要性を知る | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No13 | イベント施設計画 屋外編 | イベントを行なえる空間と行えない空間 なぜその空間は使えないのか どうすれば(何があれば)使えるようになるのか 実例資料を見ながら考える イベントインフラの重要性を知る | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |
| No14 | その他のイベントインフラに ついて | 楽屋とその構成について オペレーター室とその構成 ストレージとその構成 | | |
| | 予習内容(時間) | 日常的イベントデザイン情報収集とイベントへの積極的な参加 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の振り返り | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 観光イベント E-A |
| 講義名(英字) | Events in Tourism |
| 担当教員 | 笠原 幸一 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|--|--|---|-----|------|--|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | 「観光イベント」とは、観光事業を促進するための催し物等の活動の総称であり、政府や地方自治体、観光関連のサービスを提供する民間企業、地域住民など多様な主体によって実施されます。観光の全体像および観光イベントに関する基礎的な知識について、事例を交えながら講義とグループ演習を行います。また、適宜実務に携わるゲストスピーカーを招いて観光イベントの取り組みについて説明していただきます | | | | | | |
| 【到達目標】 | 観光の全体像および観光資源の基礎知識を理解し、構造や特徴、その背景等を説明できる 観光イベントのプロデュース事例を通してプロデューサーの役割を理解する 企画案を制作・プレゼンテーションして、ユニークで話題になる企画が制作できる | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 観光全般に興味を持って、自らが積極的に学ぶことが一番重要だと考えます | | | | | | |
| 【教育方法】 | 事例を多用し双方向の分かりやすい授業にします。履修生自らが考え発表する機会を多く作ります | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 参考書： JTB 総合研究所(編著、発行)『観光概論』JTB 総合研究所、2019年 立教大学観光学部旅行産業研究会(編著)『旅行産業論』公益財団法人日本交通公社、2019年 ※その他、授業中に随時紹介します | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | | 評価方法 | | | |
| | 観光の全体像および観光資源の基礎知識を理解し、構造や特徴、その背景等を説明できる | | | 50% | 授業時の小テスト、レポート、企画案プレゼンテーション等70%、期末試験30% | | |
| | 観光イベントのプロデュース事例を通してプロデューサーの役割を理解し説明できる | | | 20% | | | |
| | 観光イベント企画を制作しユニークで話題になる企画をプレゼンテーションする | | | 30% | | | |

合計

10
0%【その他の注意
事項】

観光イベントのニュースや新聞記事に関心を持ち積極的に接する習慣をつけてください。グループワーク、発表が多いため、授業での貢献度や授業態度は重視します

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|---|-----|---|
| No1 | オリエンテーション | 観光イベントを学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価等を説明する | | |
| | 予習内容(時間) | 観光イベントを学ぶ意義をあらかじめ考え発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 観光イベントを学ぶ意義、目標・ゴールイメージをまとめ提出する | 120 | 分 |
| No2 | 観光の全体像(1) | 観光の概況統計、観光の経済規模、インバウンド等を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 観光の概況を調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No3 | 観光の全体像(2) | 日本の観光の歴史を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 日本の観光の歴史を調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No4 | 観光の全体像(3) | 観光関連産業を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 観光関連産業を調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No5 | 観光の全体像(4) | 観光政策と行政、地方創生について理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 観光政策と行政、地方創生について調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No6 | 観光の全体像(5) | 観光振興、観光マネジメント、観光イベントが地域に与える影響等を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 観光振興、観光マネジメント、観光イベントが地域に与える影響等について調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No7 | 観光イベントの企画(1) | 観光イベントのプランナー/プロデューサーとして「観光イベント」を企画する(1) オリエンテーションを実施し企画する地域選定をする | | |
| | 予習内容(時間) | ある特定の地域の観光担当(クライアント)になり、地域の現状、魅力、課題、観光イベントの方向性等をまとめ提出する。発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No8 | 観光イベント事例研究(1) | 地域振興のために実際に開催された観光イベントをケーススタディで学び様々な観光イベントを理解する(1) | | |
| | 予習内容(時間) | 話題になった観光イベントについて調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|---------------|---|-----|---|
| No9 | 観光イベント事例研究(2) | 地域振興のために実際に開催された観光イベントをケーススタディで学び様々な観光イベントを理解する(2) | | |
| | 予習内容(時間) | 話題になった観光イベントについて調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No10 | 観光イベントの企画(2) | 観光イベントのプランナー/プロデューサーとして「観光イベント」を企画する(2) グループ・ワークセッション実施し企画案を制作する | | |
| | 予習内容(時間) | 企画案を制作する | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 企画案を制作する | 120 | 分 |
| No11 | 観光イベントの企画(3) | 観光イベントのプランナー/プロデューサーとして「観光イベント」を企画する(3) プレゼンテーションを実施し、講評を受ける | | |
| | 予習内容(時間) | プレゼンテーションの準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | プレゼンテーションの振り返りをしレポートを提出する | 120 | 分 |
| No12 | 観光資源を知る(1) | 観光資源の概要、様々な自然・歴史・文化等観光資源、世界遺産等を理解する(1) | | |
| | 予習内容(時間) | 観光資源について調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No13 | 観光資源を知る(2) | 観光資源の概要、様々な自然・歴史・文化等観光資源、世界遺産等を理解する(2) | | |
| | 予習内容(時間) | 観光資源について調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。課題を提出する | 120 | 分 |
| No14 | 観光資源を知る(3) | 観光地、リゾート、スキー場とスノーリゾート、海浜リゾート、テーマパーク、アミューズメントパーク、お祭り、芸能・興行、アニメ・ドラマの聖地巡礼、コンベンション、エコツーリズム等様々なタイプの旅行を理解する | | |
| | 予習内容(時間) | 観光資源について調べ発表の準備をする | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容をまとめ復習する。本試験の準備をする | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | スポーツイベント E-A |
| 講義名(英字) | Sporting Events |
| 担当教員 | 佐藤 潤 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前期) |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | |
|--|---|------|--|-----|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | イベント領域で大きな位置を占めるスポーツイベントについての現状についていろいろな視点を通して知る | | | | |
| 【到達目標】 | スポーツの歴史、成り立ちと現代におけるスポーツの価値について知る スポーツイベントならではの企画、準備、実施について知る スポーツイベントの課題とこれからの可能性について知る | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | スポーツが好きの人、スポーツイベント・ビジネスに興味がある人 | | | | |
| 【教育方法】 | 教員が準備したオリジナル資料をベースに講義形式で行う。必要に応じて課題を出しインタラクティブに授業を進めていく。 | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 特になし。推薦図書については授業の中で紹介する。 | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | |
| | 毎授業後のリアクションペーパー | 45 | リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。 | | |
| | 中間試験 | 25 | | | |
| | 期末試験 | 30 | | | |
| | 合計 | 100% | | | |
| 【その他の注意】 | | | | | |

事項】 授業にはリスペクトを持って、受け身でなく積極的な態度で臨むこと。

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|--------------------------------|--|-----|---|
| No1 | 「スポーツイベント」の概略を知る | イベントにおけるスポーツの位置づけ、スポーツイベント業界について知る | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No2 | スポーツの歴史を学ぶ | スポーツは人類の歴史のなかでどのように発展してきたかを学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No3 | スポーツビジネスの歴史を学ぶ | いかにしてスポーツはビジネスとなってきたのか、その生成過程を知る | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No4 | スポーツの現状を様々な数字から読み解く | 現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「みる」、「する」の視点から知る | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No5 | スポーツビジネスの構造を学ぶ | スポーツの持っている・生み出す価値はなにか。その価値をいかにビジネスに変換していくのかについて学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No6 | スポーツイベントの企画・運営とリスクについて学ぶ | スポーツイベントを実施担当者としての視点でどのように進めていけばよいか、リスクにはどのようなものがあり防ぐにはどうすればよいかを学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No7 | スポーツイベントのマーケティングと知的財産権について知る | 知的財産権について基本的な知識を身に付け、それを活用したマーケティングについて学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No8 | スポーツイベントのスポンサーシップについて学ぶ | マーケティング視点で企業のスポーツのスポンサーシップについて学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No9 | 前半を振り返る 確認のための中間テストを行う | これまでの授業を改めて復習し確認のためのテストを行う | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No10 | メガスportイベントⅠ:オリンピックについて学ぶ | 世界の三大メガスportイベントをビジネス・マーケティングの視点で学ぶ まずはオリンピック | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No11 | メガスportイベントⅡ:FIFAワールドカップについて学ぶ | 世界の三大メガスportイベントをビジネス・マーケティングの視点で学ぶ 続いてサッカーのFIFAワールドカップ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |

| | | | | |
|------|-------------------------------|---|-----|---|
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No12 | メガスポーツイベントⅢ:ラグビーワールドカップについて学ぶ | 世界の三大メガスポーツイベントをビジネス・マーケティングの視点で学ぶ 最後はラグビーワールドカップ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |
| No13 | スポーツとメディアについて学ぶ | スポーツの発展にメディアはどのような役割を果たしてきたか メディアの歴史を知り、現在の状況と今後の変化について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す | 120 | 分 |
| No14 | スポーツツーリズムについて学ぶ | 今後のスポーツに対する期待として注目の集まっているスポーツツーリズムについて学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前の質問について調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 応用科目 |
| カリキュラム | 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | アミューズメント E-A |
| 講義名(英字) | Amusement |
| 担当教員 | 志塚 昌紀 |
| 必修/選択 | なし |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | |
|--|---|-----|--|---|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | アミューズメントの訳語は「娯楽」である。21世紀は、娯楽を含めた「余暇の時代」と言われることもあるように、生活のなかにゆとりや癒しを求める機運が高まっており、その傾向はますます強まると考える。本講義では、余暇の概念と理論を学び、さらに代表的なアミューズメントである遊園地・テーマパークなどの娯楽の世界を探索するなかで、アミューズメントの価値や意義を理解していく。本授業は講義での学びを生かして、①Webアプリケーションなどを活用し、ゲームや物語を創作する。②グループでアミューズメント空間のプロトタイピングを作る、などの実践的な学びも行っていく。その為、ワークへの積極的な参加態度が求められる。 | | | | | | |
| 【到達目標】 | 「娯楽」や「余暇」の学術的理論や背景を課題を理解することができる。 アミューズメント施設の事例を通じて、その経営戦略や事業展開の違いについて分析することができる。 各種ワークを積極的に取り組むとともに、説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。 | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 各回で行われるグループワーク、個人ワークに積極的に参加できること。 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 通常講義の他、Webアプリケーションやワークショップ手法なども活用した双方向型の授業となる。 | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 特に無し。使用教材については、適宜配付する。 | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | ○ | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | | |
| | 講義やグループワーク、個人ワークへの積極的な参加態度 | 40% | 授業態度や提示した課題内容、試験結果で総合的に評価を行う。尚、グループワークや個人ワークが中心となるため、欠席・遅刻・早退については厳しく評価する。 | | | | |
| | 授業毎で実施するワークシートおよび課題内容 | 30% | | | | | |
| | 期末試験 | 30% | | | | | |
| | | 10 | | | | | |

| | | | | | |
|------------|------|------------------------------|--|-----|---|
| | 合計 | 0% | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特に無し | | | | |
| 【授業計画】 | 週 | テーマ | 学習内容 | | |
| | No1 | オリエンテーション | 授業内容、進め方の説明 | | |
| | | 予習内容(時間) | シラバスの読み込みと授業内容や趣旨の確認 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| | No2 | アミューズメントの概念と歴史① | 余暇や娯楽の概念と余暇学の立場 | | |
| | | 予習内容(時間) | 余暇や娯楽について自分なりの考えを考察 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| | No3 | アミューズメントの概念と歴史② | ・レジャー・アミューズメントの歴史とレジャー産業の現状 ・統合型リゾートについて | | |
| | | 予習内容(時間) | レジャー・アミューズメント産業に関する情報収集 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| | No4 | コンテンツの創作① | Webアプリケーションを使ったゲーム制作① | | |
| | | 予習内容(時間) | Webアプリケーションを使ったゲーム制作とプレゼン準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | プレゼンテーション評価票を作成 | 120 | 分 |
| | No5 | コンテンツの創作① | Webアプリケーションを使ったゲーム制作② | | |
| | | 予習内容(時間) | Webアプリケーションを使ったゲーム制作とプレゼン準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | プレゼンテーション評価票を作成 | 120 | 分 |
| | No6 | 施設事例①～遊園地とテーマパーク | ・遊園地とテーマパークの定義と現状分析 ・成功例と失敗例 | | |
| | | 予習内容(時間) | 遊園地およびテーマパークの「成功例」、「失敗例」について情報収集と考察 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| | No7 | 施設事例②～東京ディズニーリゾート | ・ディズニーの思想とテーマパークビジネス ・ディズニーの戦略とホスピタリティ | | |
| | | 予習内容(時間) | 「東京ディズニーリゾート」の魅力の考察 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| | No8 | 施設事例③～ユニバーサルスタジオジャパンとハウステンボス | ・テーマパークとしてのユニバーサルスタジオジャパンとハウステンボスの立場 ・それぞれの施設の戦略と戦術 | | |
| | | 予習内容(時間) | 「ユニバーサルスタジオジャパン」と「ハウステンボス」の魅力の考察 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 授業内容に関するレスポンスシートに取り組む | 120 | 分 |
| | No9 | 施設事例④～ゲストスピーカー | テーマパークやレジャービジネスに関わるゲストの講話 | | |
| | | 予習内容(時間) | 各種アミューズメント施設の戦略の違いについて考察 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | ゲストの話題を振り返り、ミニレポートを作成 | 120 | 分 |
| | No10 | コンテンツの創作③ | Webアプリケーションを使った物語の創作① | | |
| | | 予習内容(時間) | Webアプリケーションを使った物語制作とプレゼン準備 | 120 | 分 |
| 復習内容(時間) | | プレゼンテーション評価票を作成 | 120 | 分 | |
| | | コンテンツの創作④ | Webアプリケーションを使った物語の創作② | | |

| | | | | | |
|--|------|-----------------|----------------------------|-----|---|
| | No11 | 予習内容(時間) | Webアプリケーションを使った物語制作とプレゼン準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | プレゼンテーション評価票を作成 | 120 | 分 |
| | | 分析と提案①～グループワーク | テーマ課題の分析と提案 | | |
| | No12 | 予習内容(時間) | テーマ課題について情報収集 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | テーマ課題について分析と提案資料をグループで作成 | 120 | 分 |
| | | 分析と提案②～成果報告と講評① | グループのプレゼンテーションおよび他グループの講評 | | |
| | No13 | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | プレゼンテーション評価票を作成 | 120 | 分 |
| | | 分析と提案③～成果報告と講評② | グループのプレゼンテーションおよび他グループの講評 | | |
| | No14 | 予習内容(時間) | プレゼンテーション準備 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | プレゼンテーション評価票を作成 | 120 | 分 |
| | | | | | |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | 企業論 BE-A |
| 講義名(英字) | Modern Corporation |
| 担当教員 | 清水 太陽 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----|-----|---|-----|--|-----|-----|-----|---|-----|---|--|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | この授業では、複雑かつ多面的な現代企業の全体像と課題を理解し、それに関する関心と問題意識を醸成できるようになることを目標とする。具体的には、現代企業の諸形態や役割について、とくに株式会社に注目し、主に大企業の構造について学ぶ。また、いわゆる「日本的経営」や現代企業の役割に関しても、考えてみたい。必要に応じて、映像資料等も活用し、それぞれの時代の息吹を感じて欲しい。 | | | | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | 重要な用語を理解すること 理論の内容を理解すること 制度の内容や時代背景を理解すること | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | ◇ 経営学をすでに受講済みまたは同時に履修することが望ましい。また、経営史を受講すると、理解の助けになるであろう。その他、現代企業のあり方に関心がある人に幅広く受講してもらいたい。 | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義での知識を修得し、レポートを作成することで、現代企業について関心を深め、現代企業が直面する課題について自分自身で考える力を涵養する。 | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | ◇ 教科書：三戸浩・池内秀己・勝部伸夫(著)『企業論(第4版)』有斐閣アルマ、2018年 ◇ 参考文献：授業で随時紹介する | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | <table border="1"> <tr> <td>自制力</td> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>突破力</td> <td></td> <td>忍耐力</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td>主張力</td> <td>○</td> <td>創造力</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |
| 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | | | | | | | | |
| 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------------|-----------------|------|-----------------------------------|--|
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | |
| | 用語の理解、時代背景の理解 | 30% | 期末テスト60% 数回のレポート30% 受講態度10% | |
| | 理論の内容理解、制度の内容理解 | 30% | | |
| | 知識の応用 | 40% | | |
| | 合計 | 100% | | |

| | |
|------------|---------|
| 【その他の注意事項】 | ◇ とくになし |
|------------|---------|

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|----------------------------------|--|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 企業論を学ぶ意義と内容に関する説明など | | |
| | 予習内容(時間) | シラバス、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| No2 | 現代企業を見る視点－6つの企業観－ | 6つの企業観－概要－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |
| No3 | 「財・サービスの提供機関」としての企業－豊かな社会と企業の成長－ | 経済発展と生活の変化－豊かな社会の出現－、大企業の実態－大規模化の優位性－、企業の長期戦略－企業の多角化と製品戦略－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| No4 | 「財・サービスの提供機関」としての企業－豊かな社会と企業の成長－ | 企業の広告活動－企業と消費者を結ぶもの－、企業の国際化－市場は国家を超えて－、むすび－欲望と消費生活－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |
| No5 | 「株式会社」としての企業－株式会社制度の理論と現実－ | 株式会社の機能と構造－資本集中機構としての株式会社制度－、株式会社の現実－株式会社に於ける制度と実態の乖離－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |
| No6 | 「大企業」としての企業－企業の変容と新しい企業観の登場 | 大企業とは何か－現代社会を動かす企業の経済力－、大企業の支配構造－大企業を支配するのは誰か－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| No7 | 「大企業」としての企業－企業の変容と新しい企業観の登場 | 日本の大企業の経営者－経営者支配の実態－、大企業のコーポレート・ガバナンス－企業は誰がどのように統治すべきか－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |
| No8 | 「組織」としての企業－組織と管理－ | 企業と官僚制－現代企業組織の基本的構造－、企業組織の諸形態－環境変化への適応としての組織形態の変革－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| | 「組織」としての企業－組織と管理－ | 企業の組織と管理論の展開－アメリカ管理論の展開を中心に－、管理の革命－随伴的結果論－ | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------------------------|---|-----|---|
| No9 | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |
| No10 | 「家」としての日本企業－日本的経営の原理と構造－ | 日本企業と従業員－運命共同体としての企業と日本型人事システム－、日本型株式会社制度の構造と実態－日本の会社の性格と目標－、日本型企業結合様式の独自性－企業集団と企業系列－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| No11 | 「家」としての日本企業－日本的経営の原理と構造－ | 日本企業をみる視点－「家」としての日本企業、揺らぐ日本的経営－家の論理のゆくえ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |
| No12 | 「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－ | 企業の社会的責任論－企業と社会の緊張－、企業市民－企業と地域社会－、日本企業の社会的貢献活動－社会の一員としての企業－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| No13 | 「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－ | 近年のCSR活動とCSR指標・CSRランキング－CSRの定着とその評価・計測－、企業統治・企業倫理－企業は誰のために？望ましいあり方を求めて－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 今回の授業で学んだ内容を復習する | 120 | 分 |
| No14 | 「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－ | 社会のための企業－その目的と役割－、個人・社会・自然と調和した企業－21世紀の企業像－ | | |
| | 予習内容(時間) | テキスト、スライド、レジュメに目を通す | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | レポートを作成する | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング論 I BE-A |
| 講義名(英字) | Marketing Theory I |
| 担当教員 | 上條 典夫 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|------------------------------|---|------|----------------|---|-----|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | マーケティングとは、人間や社会のニーズを見極めてそれらに応えることであり、その本質は「顧客を知ること(リサーチ)」と「顧客に知らせること(コミュニケーション)」とすることができます。本講義では、20世紀から21世紀へのマーケティングの変遷をたどりながら、各時代におけるマーケティングのフレームワークを学び、次に、マーケティング効果を高めるコミュニケーション戦略について解説します。広告会社電通で40年間培った経験で事例を紹介、楽しい授業にします。 | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>マーケティングの本質・その目的と戦略等に関する理解する。 マーケティングのエッセンスと全体像を把握するとともに、時代や社会とのかかわりについて、事例等を踏まえ理解すること。</p> <p>マーケティング戦略における各種フレームワークの理解 4Pモデル、STPモデル、3iモデル、SIPSモデル、5i理論等について、その目的、特徴、考え方を理解すること。</p> <p>マーケティングコミュニケーションの展開事例を学ぶ マーケティングマインドを醸成するためには、消費者視点から問題意識を持つことが必要。それを事例などから学び理解すること ソーシャル・マーケティングの内容とその重要性を理解するとともに、SDGs視点のマーケティングに関する最新事例と概要を把握する SDGsの概念とソーシャ・マーケティングの本質を理解し、社会課題解決と利益確保の方法論を探求すること。</p> | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特にありません。 | | | | | |
| 【教育方法】 | 社会に出て役立つ実践的な学び | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 特になし | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | | 思考力 | ○ | 突破力 | 忍耐力 |
| | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 授業態度 | 30% | 学校の基本方針にのっとり評価 | | | |
| | レポート・試験 | 70% | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 講義の内容や順番は変更する場合があります | | | | | |

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|--------------------|---|-----|---|
| No1 | イントロダクション | マーケティングとは？その変遷とマーケティング・コミュニケーションについてと私自身の経験紹介 | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモのチェック | 120 | 分 |
| No2 | マーケティングの変遷① | マーケティング1.0(1900～1960 製品・価格中心、4Pモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモのチェック | 120 | 分 |
| No3 | マーケティングの変遷② | マーケティング2.0(1970～1980 顧客志向、STPモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの変遷③ | マーケティング3.0(1990～2000 社会的責任、ブランドの3iモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No5 | マーケティングの変遷④ | マーケティング4.0(2010～ SIPSモデル、AISASモデル など) | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No6 | マーケティング・コミュニケーション① | マーケティング・コミュニケーションとはなにか？ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No7 | マーケティング・コミュニケーション② | 消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する① | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No8 | マーケティング・コミュニケーション③ | 消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する② | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No9 | マーケティング・コミュニケーション④ | 広告展開におけるマーケティング事例① | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No10 | マーケティング・コミュニケーション⑤ | 広告展開におけるマーケティング事例② | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No11 | マーケティング・コミュニケーション⑥ | コミュニケーションミックスと広報・PR | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| No12 | マーケティング・コミュニケーション⑦ | スポーツイベント・音楽イベントにおけるマーケティング | | |
| | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 |
| | マーケティング・コミュニケーション⑧ | 競争優位のブランド・マネジメント | | |

| | | | | | | |
|--|------|------------------|-------------------------------------|-----|---|--|
| | No13 | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 | |
| | No14 | ポストコロナ時代のマーケティング | ソーシャル・マーケティングとは～SDGsを軸にしたマーケティングの潮流 | | | |
| | | 予習内容(時間) | 事前準備 | 120 | 分 | |
| | | 復習内容(時間) | 講義メモチェック | 120 | 分 | |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング論 I BE-B |
| 講義名(英字) | Marketing Theory I |
| 担当教員 | 花尾 由香里 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | | | |
|--|--|-----|------|---|------|--|-----|---|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | この授業では、マーケティングの基本的な理論と戦略について学習する。企業の経営活動の中で、マーケティングがどのような役割を担っているのかを学んだ後、戦略を立案する際に必要な分析方法や理論を中心に解説を行う。実在の企業や商品の例を取り上げ、マーケティングを現実的なものとして活用できるようになることも目的としている。 | | | | | | | |
| 【到達目標】 | マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること マーケティングに関する基本的な分析手法について、正確に理解できるようになること マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるようになること | | | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | 「マーケティング論Ⅱ」も引き続き受講することが望ましい | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 対面授業 授業中に、リアクションペーパーの提出を求めることがある | | | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 教科書は使用しない コースパワーに毎回資料を配布する | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 | ○ |
| | 協働力 | | 主張力 | | 創造力 | ○ | | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | | | | 評価方法 | | |
| | マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか | | | | 30% | 学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可 | | |
| | マーケティングの基本的な分析手法について、正確に理解できているか | | | | 40% | | | |
| | マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるか | | | | 30% | | | |
| | 合計 | | | | 100% | | | |
| 【その他の注意 事項】 | 私語を慎み周囲に迷惑をかけないこと | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------------|--|-----|---|
| | マーケティングとは | 授業の内容と進め方について説明した後、基本的なマーケティングの考え方について学ぶ | | |
| No1 | 予習内容(時間) | シラバスと資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| No2 | マーケティング・コンセプト | マーケティングの考え方が時代とともにどのように変化して来たかを学んだあと、将来的な課題やマーケティングの役割について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| No3 | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | マーケティングの範囲 | マーケティングを実行する範囲や企業が取り扱う商品の範囲について解説する | | |
| No4 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| No5 | マーケティングにおける4P戦略 | マーケティングにおける4Pの概念を学んだあと、マーケティングを実行するプロセスについて解説する | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| No6 | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | 環境分析 | 企業を取り囲む環境とは何かを学んだあと、環境分析の手法について解説する | | |
| No7 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| No8 | 市場細分化 | 市場細分化の理論について学んだあと、消費者をタイプ分けする手法やターゲット選定について解説する | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| No9 | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | ポジショニング分析 | 製品差別化について解説した後、商品や企業のポジショニング分析の手法を学ぶ | | |
| No10 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| No11 | 製品ライフサイクル論 | 製品の寿命とライフサイクルについて解説し、ライフサイクルに応じた戦略を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| No12 | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | ポートフォリオ分析 | 企業が抱える複数の商品を分類する手法や、投資の優先順位について解説する | | |
| No13 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| No14 | 企業の成長戦略 | アンゾフの製品・市場マトリクスについて解説した後、企業の成長戦略について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| No15 | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | 競争分析 | 競争相手を分析する手法や、企業の地位別戦略について学ぶ | | |
| No16 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| No17 | 製品戦略1 | 製品とは何かを詳しく解説した後、成功している実在の製品を取り上げたケーススタディを行う | | |
| | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| No18 | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | 製品戦略2 | 新製品を成功させる困難さについて解説した後、新製品開発プロセスについて学ぶ | | |

| | | | | | |
|--|------|----------|-------------------------|-----|---|
| | No13 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |
| | | まとめと復習 | 講義内容の総括を行い、より深く理解を高める | | |
| | No14 | 予習内容(時間) | 事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容を振り返り、理解力を高めること | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング論 I BE-C |
| 講義名(英字) | Marketing Theory I |
| 担当教員 | 広瀬 盛一 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|--|---|------|-----------------------------|-----|---|-----|
| 【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】 | マーケティングの基礎知識から、マーケティングにおけるマネジメントの考え方、マーケティングの実際までを理解する。マーケティングは、商品やサービスの販売を促進する手段として捉えられがちであるが、企業の戦略や非営利組織の活動とも深く関わっている。製品を開発する企業、製品を消費者に届ける流通業、製品を購入し利用する消費者など、様々な視点からマーケティングを学習する。テキストだけでなく、事例なども用いて理解を深める。 | | | | | |
| 【到達目標】 | <p>マーケティングの設問に対する回答によって評価。マーケティング基本的な用語についての定義、コンセプトの変遷、マーケティング・ミ 25% いて理解し、説明 ツクス、マーケティングの範囲について答えられること。</p> <p>市場環境の分析について理解し、説明できること</p> <p>消費者行動とマー 設問に対する回答によって評価。消費者を購入にケティング戦略に 導く、動機づけやそのフレームワーク、個人的な要因について理解し、説 要因について答えられること。</p> | | | | | |
| 【履修条件・受 講推奨者】 | | | | | | |
| 【教育方法】 | 教科書の内容理解を中心として、事例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。 | | | | | |
| 【指定教科書・ 参考資料等】 | 『現代マーケティング論』第2版 実教出版 | | | | | |
| 【実務IQ修得目 標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 期末試験 | 75 | 期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。 | | | |
| | 授業内容についてのレポート | 15 | | | | |
| | 授業への参加確認 | 10 | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | |
| 【その他の注意 事項】 | | | | | | |

【授業計画】

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|------|--------------------|--------------------------------|-----|---|
| No1 | ガイダンス | 授業の進め方、マーケティングとは何かについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No2 | マーケティングのコンセプトと基本用語 | マーケティング・コンセプトの変遷について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No3 | マーケティング・ミックス | 4Pの概念について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの範囲 | マーケティングの対象について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No5 | 事例研究(1) | ブランドの事例を説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No6 | 市場環境の分析(1) | 企業のミクロ環境、SWOT分析について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No7 | 市場環境の分析(2) | 企業のマクロ環境、人口動態環境などについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No8 | 消費者行動(1) | 消費者の意思決定プロセスについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No9 | 消費者行動(2) | 消費者の意思決定に影響する要因について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No10 | マーケティング戦略の基礎 | 市場細分化、ターゲティング、ポジショニングについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No11 | 製品戦略(1) | 製品の捉え方について説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No12 | 製品戦略(2) | サービスや組織のマーケティングについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| | 事例研究(2) | 製品戦略の事例について説明する。 | | |

| | | | | |
|------|----------|-------------------------|-----|---|
| No13 | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |
| No14 | 製品開発 | 製品開発と製品ライフサイクルについて説明する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 教科書などの予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 授業の振り返り | 120 | 分 |

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング論 I BE-D |
| 講義名(英字) | Marketing Theory I |
| 担当教員 | 深澤 琢也 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | マーケティングとは、顧客に商品やサービスの価値を届ける(顧客に買ってもらう)ための仕組みを作ることです。本講義では、マーケティングとはそもそも何なのか、いつから登場した概念なのか、上手にマーケティングをするために企業はどのような分析を行う必要があるのかといったことを中心に学びます。本講義では、多くの企業事例を例示し、マーケティング理論とマーケティングの実際を行き来できる講義展開が期待できると思います。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----|------|---|-----|---------|------|----------------------------|-----|----------------------------|-----|----------------------------|-----|----|------|-----------------|--|
| 【到達目標】 | <p>マーケティングに関する基本用語を正しく説明できること。</p> <p>企業のマーケティング戦略について正しく説明できること。</p> <p>企業の成長戦略と競争戦略について正しく説明できること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 1年生は特にありませんが、2年生以上はマーケティング関連の科目(流通論、広告論、消費者行動論)のいずれかを並行して履修していると理解が深まります。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【教育方法】 | 講義形式で教授する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | <参考書> 小川孔輔『マーケティング入門』、日本経済新聞社、2009年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | ○ | 思考力 | ○ | 突破力 | ○ | 忍耐力 | ○ | | | | | | | | | |
| | 協働力 | | 主張力 | ○ | 創造力 | ○ | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目と割合</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>企業のマーケティング戦略について正しく理解している。</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 評価項目と割合 | 評価方法 | マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。 | 25% | 企業のマーケティング戦略について正しく理解している。 | 50% | 企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。 | 25% | 合計 | 100% | 設問に対する回答によって評価。 | |
| 評価項目と割合 | 評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。 | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企業のマーケティング戦略について正しく理解している。 | 50% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。 | 25% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 週 | テーマ | 学習内容 | | | | | | | | | | | | | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|-----------------|---------------------------|-----|---|
| | イントロダクション | マーケティングへの招待、講義内容説明、成績評価説明 | | |
| No1 | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No2 | マーケティングの仕組み(1) | マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No3 | マーケティングの仕組み(2) | マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの発展史 | マーケティングの誕生と発展史を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No5 | マーケティング計画の策定 | 企業のマーケティング計画を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No6 | マクロ環境分析(1) | マーケティング実行に影響する要因を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No7 | マクロ環境分析(2) | マーケティング実行に影響する要因を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No8 | 顧客の分析方法(1) | 多様な顧客の分類方法について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No9 | 顧客の分析方法(2) | 多様な顧客の分類方法について学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No10 | 市場戦略(1) | 企業の成長戦略を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No11 | 市場戦略(2) | 企業の競争対応を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No12 | マーケティング・リサーチ(1) | 市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| No13 | マーケティング・リサーチ(2) | 市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ | | |
| | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |

| | | | | | |
|--|------|----------|-----------------------|-----|---|
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |
| | No14 | 総括 | 春学期の学習ポイントについての理解を深める | | |
| | | 予習内容(時間) | 講義資料の予習 | 120 | 分 |
| | | 復習内容(時間) | 講義内容の復習 | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

| | |
|------------|--|
| 分野系列 | 発展科目 |
| カリキュラム | 経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) |
| 配当学年(履修対象) | 2年 |
| 講義名 | マーケティング論 I BE-E |
| 講義名(英字) | Marketing Theory I |
| 担当教員 | 山川 悟 |
| 必修/選択 | 選択必修 |
| 開講期 | 春(前)期 |
| 単位数 | 2 |

| | | | | | | |
|------------------------------|---|------|---|-----|---|-----|
| 【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 | マーケティングとは、企業と顧客との関係を良好なものとし、商品やサービスが売れ続けていくための基盤をつくる活動です。戦略策定やコンセプト開発、商品企画、販売促進、広告、広報、消費者調査、顧客行動分析など、幅広い範囲がここに含まれます。本講義では、マーケティング理論や最新の事例を知るだけでなく、自ら企画立案する体験などを通じ、思考力と創造力の両側面を鍛える場にしていきたいと思ひます。 | | | | | |
| 【到達目標】 | ①商品・店舗・広告・消費行動を、企業側の視点から見られるようになる ②マーケティングの実務内容に触れたうえで、自身の進路について語れるようになる ③フレームワークに基づき、簡単な商品・プロモーション企画を立案できるようになる | | | | | |
| 【履修条件・受講推奨者】 | 特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。 | | | | | |
| 【教育方法】 | ・講義中の個人・グループワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。 | | | | | |
| 【指定教科書・参考資料等】 | 教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講します。 | | | | | |
| 【実務IQ修得目標】 | 自制力 | 思考力 | ○ | 突破力 | | 忍耐力 |
| | 協働力 | 主張力 | | 創造力 | ○ | |
| 【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】 | 評価項目と割合 | | 評価方法 | | | |
| | 企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語ることができる | 30% | およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価 | | | |
| | 自らの進路と関連させてマーケティングの仕事の説明ができる | 30% | | | | |
| | 創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる | 40% | | | | |
| | 合計 | 100% | | | | |
| 【その他の注意事項】 | 特になし | | | | | |

| 週 | テーマ | 学習内容 | | |
|-----|---------------|---|-----|---|
| No1 | マーケティングの考え方 | まず具体的な商品を想定し、「商品企画」「販売前」「販売後」の3段階において必要なマーケティング施策を考えてみる。次に、マーケティングという言葉が生まれた20世紀前半の米国における考え方と、消費者主導となった近年における考え方がどう異なるかを理解する。さらに今日の経営環境に必要な視点、マーケッターに要請される基礎能力についても学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する | 150 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No2 | 今日のマーケティング課題① | 今日の企業は厳しい競争環境に晒されている。本講義では、差競合との差別化、潜在ニーズ発掘、顧客理解、チャネル開発など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No3 | 今日のマーケティング課題② | 前回に引き続き、決済方法の改革、話題になる売り方、顧客経験価値、社会全体の利益、ブランド価値向上、デジタル対応など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No4 | マーケティングの仕事研究 | マーケティングは特殊な仕事ではなく、どの業種・企業においても不可欠な機能である。ここでは営業・販売との目線の違いや、6種のマーケッター(商品開発、販売促進、広告宣伝、ブランディング、営業企画、広報PR)の実務内容について具体的な事例から学ぶ。マーケティングに関連する資格や資質についても言及する。最後に、現在のビジネス課題から、マーケッターとしてどんな対応をすべきか考案し、議論を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No5 | 商品コンセプト事例研究 | 商品の魅力や特長を端的な言葉で表し、それを伝えていく「コンセプト」の重要性を学ぶ。20の商品事例から、個々のコンセプトがどのような観点から規定されているのかを考える。ここでは、5つのコンセプト策定法があることを理解する。また、採り上げた事例の中でヒットしそうだと思う商品とその理由について考察する。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No6 | コンセプトワーク実習 | 今日は意味を消費する社会であり、あらゆるフィールドでコンセプトが明快な商品だけが生き残っている点を理解する。また、コンセプトの伝え方についての事例研究を行う。講義の最後に、創造性開発フレームワークに基づき、消費者ニーズと企業シーズの結節点から、飲料の新商品の企画立案を試みる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| | 消費者心理の事例研究 | 商品がヒットした背景には微妙な消費者心理、インサイトが込められている。本講義では、利便性や価格といった表面的な理由からでは説明できないヒット要因を、13の事例から考え、議論していく。また、ありがちな消費者心理をヒントに、新たな商品・サービスの考案を試みる。 | | |

【授業計画】

| | | | | |
|------|----------------|---|-----|---|
| No7 | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No8 | 前半総括と講義に関するQ&A | 前半授業についての総括、および学修達成度確認のためのレポート提出を行う。レポート課題は「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 1～7回までの講義資料を見直す | 240 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う | 120 | 分 |
| No9 | リサーチとインサイト発見法 | 目的・状況に応じた適切なマーケティング調査の手法を理解し、アンケートが万能でないことを認識する。また、ライオンやサントリーなどの事例から、消費者心理の深層「インサイト」を発見し、それを商品企画などに反映させていく8つの手法についても学んでいく。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No10 | 販売促進の手法と事例研究 | マーケティング4Pの中で、購買への直接的な動機付けとなるセールスプロモーションの位置づけと、サンプリング、景品、値引き、消費者教育、コンテスト、制度型プロモーションからWeb活用販促に至るまでの消費者向け販促の9つの手法を、具体的な事例とともに学ぶ。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No11 | 今日の販売促進 | 今日の販売促進は、他の手法と結びつくことで複合的な効果を生み出している。ここではブランディングやCSR、PR等とも密接に関わる今日的な販促手法を学ぶ。また、フレームワークに基いた販促企画プランの立案を試みる。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |
| No12 | 広告の歴史と機能 | 近代的なマスメディアが存在しなかった江戸期の広告手法と、それらの今日的な共通点を考えることで広告の本質について理解する。また、「大量消費を促す」「メディアの経営を健全化する」「新たな欲求を作り出す」など、現代の広告の10の機能を理解する。さらには意外に知られていない広告と広報の違いについても考える。最後に、広告会社が提案した広告企画案を批判的に分析するディスカッションを行う。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| No13 | 広告媒体とクリエイティブ | 広告効果とメディアミックス、媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、交通・屋外、インターネット)の種類と特性について学ぶ。また、新たな媒体開発の考え方、広告表現のパターン、広告制作の実際など、広告ビジネスの実態についても触れる。最後に、二つのターゲットを想定したメディアミックス案を自ら考えるワークに取り組む。 | | |
| | 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |

| | | | | |
|--|------------------|--|-----|---|
| | 流通業のマーケティング | 立地戦略、商品陳列、店頭販促、品揃え、価格戦略、商品開発(プライベートブランド)、物流戦略、ネット活用、業態開発など、流通業特有のマーケティング手法について、具体的な事例から学んでいく。身近な流通業だが、その背景にある課題や考え方をすることで、店舗や商品への見方が変わってくる。最近行った店で、本講義で示した工夫が施されていた事例について議論する。 | | |
| | No14 予習内容(時間) | 配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる | 120 | 分 |
| | 復習内容(時間) | 講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる | 120 | 分 |

[前画面へ戻る](#)